

KOMAZAWA

2001(平成13)年度

# 講義内容

文学部

 駒澤大學

# 講 義 內 容

## 目 次

1. 專 門 教 育 科 目		
(1) 国 文 学 科	.....	9
(2) 英 米 文 学 科	.....	65
(3) 地 理 学 科	.....	117
(4) 歴 史 学 科	.....	181
(5) 社会学科(社会学専攻)	.....	257
(6) 社会学科(社会福祉学専攻)	.....	293
(7) 心 理 学 科	.....	347
2. 他 学 部 履 修 科 目	.....	397
3. 随 意 科 目	.....	489
4. 「日本語」・「日本事情」科目	.....	503
5. 教職課程・資格講座科目	.....	527

専 門 教 育 科 目	国 文
	英 米 文
	地 理
	歴 史
	社会(社会学) 社会(社会福祉学)
他学部履修科目	心 理
	随意科目
日本語・日本事情科目	
教職課程・資格講座	

## (注 意)

講義内容に掲載している担当学科（学年）の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、**地理学科・社会学科**については次のとおりになっています。誤りのないように履修してください。

地理学科	地域文化研究専攻（13年度入学生）	.....	地 文
	地域環境研究専攻（13年度入学生）	.....	環 境
	12年度以前入学生	.....	地 理
社会学科	社 会 学 専 攻	.....	社 会
	社会福祉学専攻	.....	福 祉

# 1. 专门教育科目

## (1) 国文学科



# 1. 専門教育科目

## (1) 国文学科

基礎国語学	〈三澤成博〉	9
基礎国文学 I	〈高橋文二〉	9
基礎国文学 I	〈松井健児〉	10
基礎国文学 I	〈田中徳定〉	10
基礎国文学 II	〈岡田豊〉	11
基礎国文学 II	〈高田知波〉	11
漢文学	〈今浜通隆〉	12
国語学概論	〈木村晟〉	12
国文学概論	〈村上光徳〉	13
国文学史 I (古典)	〈小野寛〉	13
国文学史 I (古典)	〈近衛典子〉	14
国文学史 II (近現代)	〈岡田豊〉	14
国語史	〈土井光祐〉	15
国語学史	〈休講〉	
国語学研究 I	〈木村晟〉	15
国語学研究 II	〈休講〉	
上代文学研究 I	〈小野寛〉	16
上代文学研究 II	〈金井清一〉	16
中古文学研究 I	〈松岡智之〉	17
中古文学研究 II	〈松井健児〉	17
中世文学研究 I	〈村上光徳〉	18
中世文学研究 II	〈田中徳定〉	18
近世文学研究 I	〈近衛典子〉	19
近世文学研究 II	〈休講〉	
近代文学研究 I	〈山崎眞紀子〉	19
近代文学研究 II	〈高田知波〉	20
国語学特講 I	〈土井光祐〉	20
国語学特講 II	〈田中章夫〉	21
国文学特講 I	〈三浦廣子〉	21
国文学特講 II	〈中村文〉	22
国文学特講 III	〈立石和弘〉	22
国文学特講 IV	〈多田圭子〉	23
国文学特講 V	〈神野志隆光〉	23
国文学特講 VI	〈立石和弘〉	24
国文学特講 VII	〈植田恭代〉	24
国文学特講 VIII	〈篠原進〉	25
国文学特講 IX	〈中村三代司〉	25
国文学特講 X	〈井上理恵〉	26
国文学特講 XI	〈休講〉	
国語学演習 I	〈木村晟〉	27
国文学演習 I	〈小野寛〉	28
国文学演習 I	〈高橋文二〉	29
国文学演習 I	〈松井健児〉	29
国文学演習 I	〈田中徳定〉	30

国	文	学	演	習	I	〈村	上	光	德〉	30									
国	文	学	演	習	I	〈林		達	也〉	31									
国	文	学	演	習	I	〈近	衛	典	子〉	31									
国	文	学	演	習	I	〈岡	田		豐〉	32									
国	文	学	演	習	I	〈松	村	ま	き〉	32									
国	文	学	演	習	I	〈高	田	知	波〉	33									
国	語	学	演	習	II・III	〈木	村		晟〉	33									
国	文	学	演	習	II・III	〈小	野		寛〉	34									
国	文	学	演	習	II・III	〈神	野	志	幸	恵	34								
国	文	学	演	習	II・III	〈植	田	恭	代	35									
国	文	学	演	習	II・III	〈高	橋	文	二	35									
国	文	学	演	習	II・III	〈松	井	健	児	36									
国	文	学	演	習	II・III	〈田	中	德	定	36									
国	文	学	演	習	II・III	〈中	村		文	37									
国	文	学	演	習	II・III	〈村	上	光	德	37									
国	文	学	演	習	II・III	〈林		達	也〉	38									
国	文	学	演	習	II・III	〈近	衛	典	子〉	39									
国	文	学	演	習	II・III	〈岡	田		豐〉	39									
国	文	学	演	習	II・III	〈山	下	真	史	40									
国	文	学	演	習	II・III	〈山	崎	眞	紀子	40									
国	文	学	演	習	II・III	〈高	田	知	波	41									
国	文	学	演	習	II・III	〈中	村	三	代司	41									
国	語	学	演	習	IV	〈木	村		晟〉	42									
国	文	学	演	習	IV	〈小	野		寛〉	42									
国	文	学	演	習	IV	〈高	橋	文	二	43									
国	文	学	演	習	IV	〈松	井	健	児	43									
国	文	学	演	習	IV	〈田	中	德	定	44									
国	文	学	演	習	IV	〈村	上	光	德	44									
国	文	学	演	習	IV	〈林		達	也〉	45									
国	文	学	演	習	IV	〈近	衛	典	子〉	45									
国	文	学	演	習	IV	〈岡	田		豐〉	46									
国	文	学	演	習	IV	〈高	田	知	波・中	村	三	代司・山	崎	眞	紀子・山	下	真	史〉	46
中	国	文	学			〈南	雲		智	47									
比	較	文	学			〈満	谷	マー	ガレット	47									
児	童	文	学			〈山	口	節	子	48									
有	職	故	学			〈大	塚	英	子	49									
日	本	民	俗	学		〈谷	口		貢	50									
民	間	信	仰	論		〈谷	口		貢	51									
日	本	史	概	説	I	〈松	本	信	道	51									
日	本	史	概	説	II	〈黒	沢	文	貴	52									
日	本	文	化	史	I	〈廣	瀬	良	弘	53									
日	本	文	化	史	II	〈休			講										
仏	教	概	論			〈池	田	練	太郎	54									
東	洋	思	想	史		〈末	木	恭	彦	54									
西	洋	思	想	史		〈麻	生		建	55									
美	術	史	概	説		〈矢	野	陽	子	55									
演	劇	概	論			〈井	上	理	恵	56									
書	道	概	論			〈金	子	卓	義	56									

書	道	史	〈那	須	隆	吉〉	.....	57
書	道	I	〈金	子	卓	義〉	.....	57
書	道	II	〈野	村	宙	弘〉	.....	58
書	道	III	〈那	須	隆	吉〉	.....	58
編	集	務	〈長	谷	川	孝〉	.....	59





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 語 学	み さわ しげ ひろ 三 澤 成 博	国 文 1 必	4

講義のねらい

国語学に関する知識を身につけるべく、音韻、文字、文法などについて史の変遷にも触れ講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 音声と音韻
- 2 仮名と仮名遣い
- 3 語彙と文体
- 4 文法
- 5 言語生活

履修上の留意点

ノートを作成し、各時間の講義内容をまとめておく。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、レポート・出席等を参考資料とする。

教 科 書

鈴木真喜男・長尾勇著『新編国語要説』（学芸図書）1,200円

参 考 書 等

『岩波講座日本語』（岩波書店）  
『日本語の世界』（中央公論社）  
『国語学研究事典』（明治書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	たが はし ぶん じ 高 橋 文 二	国 文 1 必	4

講義のねらい

平安時代の女流歌人の勅撰集所載歌を読み、その文学的特質について考え、さらには日本古典文学史上の歌の意味あいを考察する。

成績評価の方法

出席の状況、レポートの提出（秋期）、期末テストの成績によって評価する。

教 科 書

高橋文二・浅井伸一編『平安鎌倉女流歌人集』（加藤中道館）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	まつ い けん じ 松 井 健 児	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておこなう。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学作品を、本文に即しながら読解し、併せて古典文学研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上代～近世の代表的な古典文学作品について、文学史の流れを考えながら読解する。その中で、文学作品と歴史・社会との関わりを考える。

履修上の留意点

専門科目の必修科目であるので、出席を基本とし、1/3以上欠席した場合には評価の対象としないことがあり得る。

成績評価の方法

授業時間内に行なう小テストと前期末に課すレポート、および年度末試験。

教 科 書

岡田啓介他編『日本文化を知る』（おうふう）2,500円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	おか だ ゆたか 岡 田 豊	国 文 1 必	4

講義のねらい

泉鏡花の小説を読む。とともに、日本の近代小説の〈読み〉について学習しようとする学生に対して基礎的な知識の提供と研究方法についての説明を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主に〈観念小説〉と呼ばれた作品を読む。明治20年代後半の文学史的な状況も概観するが、その時代の雰囲気、風俗についても味わい感じ取ってゆく。後期は〈幻想文学〉などと称される作品を読む。明治29年以降30年代の作品を取り上げ、近代の深層を考えてみたい。また、映像を授業中に上映することもある。

履修上の留意点

作品を読んで授業に参加すること。新しい作品に入る度に、感想文を提出させる。

成績評価の方法

授業中に提出を求める感想文等も考慮に入れる。また欠席回数が多い者は定期試験の受験資格を失う。筆記試験のみで成績を出すのではなく、トータルにみたらうで評価を下すつもりである。

教 科 書

泉鏡花作『外科室・海城発電機五篇』・川村二郎編『鏡花短篇集』（ともに岩波文庫版）  
その他、プリントを配布する。

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 1 必	4

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は森鷗外『舞姫』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨病的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだというところを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教 科 書

夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫）  
森 鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫）  
川端康成『伊豆の踊子』（新潮文庫）

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
漢 文 学	いま はま みち たか 今 浜 通 隆	国 文 1 必	4

- 講義のねらい**

現存する中国最古の小説集と言われる『世説新語』について講義し、その文学性について言及し、漢文訓読の能力を養成する。
- 講義の内容・授業スケジュール**

中国六朝時代の宋朝の劉義慶(403-444)の手になったとされる『世説新語』という文学作品について、その書誌・注釈書・日本文学への影響などについて、まずは概観する。また、その前段階で、同書が「小説」のジャンルに分類されていることから、中国および日本の古代の人々にとって、「小説」とはどのようなものと認識され、どのような価値観を持つものと意識されていたのかを論ずることとする。さらに、同上書はわが平安朝に早くから将来され、日本文学に大きな影響を与えたとされているが、その軌跡を具体的にみていくことも本授業の重要な眼目したい。以上の概説を終えてから、テキストを漢文訓読法によって実際に読み進めることになる。
- 履修上の留意点**

教材は中国で出版された『世説新語校箋』をプリントして各自に配付する。各自はその原文に返り点や送りなが等を入れる作業を進めることになる。授業には漢和辞典を必ず持参のこと。予習も必要となる。
- 成績評価の方法**

前・後期の定期試験の成績のほか、レポートの提出、出席率を重視する。
- 教科書**

随時プリントを配付。
- 参考書等**

授業中に必要に応じて指定。
- その他**

授業への積極的な参加を要望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 概 論	き むら あきら 木 村 晟	国 文 1 ・ 2 必	4

- 講義のねらい**

国語学が特殊言語学の一つであって、一般言語学の学問研究の方法が国語学にも応用される面も多くあるが、日本語独自の特徴があるゆえに、国語学特有の研究法もあることを理解する必要がある。そのために音韻・文字・語法・語彙・文体の各分野に関して概説をするとともに、それらの研究方法についても講ずることとする。問題意識を深める。
- 講義の内容・授業スケジュール**

前期(4月～9月)には国語学の総論と音韻論・文字論・語法論について、実際の研究論文なども紹介しながら、その研究方法を講義する。特に音韻研究には重点をおく。  
後期(10月～1月)には語彙論・文体論と方言研究について、やはり実際の研究論文を紹介しながら、研究方法を講ずる。特に文体研究に重点をおく。
- 履修上の留意点**

授業中に必要な参考文献(書籍・雑誌論文など)を紹介するので、各自図書館でよく調べ自習しておくことが肝要である。授業にはよく出席をして、欠席しないように努めること。
- 成績評価の方法**

期末試験によって評価する。
- 教科書**

福島邦道著『国語学要論』(笠間書院) 1,200円
- 参考書等**

橋本進古著『国語学概論』(岩波書店)  
時枝誠記著『国語学原論』(岩波書店)  
山田忠雄著『国語学概論』(日大通信教育部)
- その他**

その他各項目毎に授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 概 論	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	国文1・2必	4

講義のねらい

授業の方法——講義の方式を採るが、必要に応じて討議する場合もある。  
国文学とは何か。日本文学の研究はどうあるべきか。また研究方法は、等の問題を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

古代から近代にいたるまでの各時代の研究方法や文献学とか民俗学、歴史科学的な方法等について整理してみたい。

履修上の留意点

テキストなしの講義になるから欠席しないように。

成績評価の方法

定期試験、出席状況による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 史 I (古 典)	お 小 の 野 ひろし 寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本文学の発生からその成長・変遷・展開・発展を、日本文学の独自のジャンルである和歌について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

和歌の文芸としての確かな出発といえる『古今和歌集』の前後から時代をたどってゆく。

履修上の留意点

講義は毎時間、どんな話が出てくるかわからない。必ず出席して、ひたすらノートをとること。問題点は自ら積極的に調べる習慣を身につけてほしい。

成績評価の方法

前・後期2度の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学史Ⅰ（古典）	この え のり こ 近 衛 典 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	国文学研究に不可欠な文学史的知識を身に付ける。
講義の内容・ 授業スケジュール	上代から近世に至るまでを対象とする。しかしながら、すべての項目を網羅的に取り上げる時間的余裕はないので、「和歌・連歌・俳諧——万葉集から芭蕉まで——」、「物語の展開」を軸に、我々の文化的遺産ともいべき古典文学の大きな流れをつかむ。
成績評価の方法	前・後期末にテストを行なう。
教科書	山岸徳平『作品中心日本文学史』（新典社）1,000円
その他	講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学史Ⅱ（近現代）	おか だ ゆんか 岡 田 豊	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	今年度は自然主義文学の確立から講ずる。派・主義による分類にとどまらず、表現史・メディアの役割についても考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	小説を主に考察してゆくが、同時代評等も丁寧に読む。日頃あまり目にしない資料が出てくる。
履修上の留意点	日頃、目にしない資料が出てくるが、それらを読むのに付き合ってもらう。
成績評価の方法	出席状況と学年末の試験で評価する。
教科書	山田有策編『近代文学Ⅰ』（学術図書出版社）およびプリント。
参考書等	その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 史	ど 井 光 祐 と い こう ゆう	国文・2・3・4選必	4

講義のねらい

日本語は、1000年以上前の言語資料が今日に伝存する世界でも数少ない言語の一つである。古代から近代に至る日本語の歴史について、音韻、文字、文法、文体にわたって解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主に、音韻史、文字史を扱い、後期は文法史、文体史を扱う。  
国語史は、原則として文献資料に基づいて研究、解明されてきたものである。各時代の代表的な国語史資料の概略、位置付けを学ぶことは、国語史研究の大前提となるので、適宜解説を加えていきたい。

成績評価の方法

試験

教 科 書

沖森卓也編『日本語史』（おうふう）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 研 究 I	き 村 晟 き むら あきら	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『延慶本平家物語』の国語学的研究を行なう。鎌倉時代語の音韻・語彙・語法・表記等を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

『平家物語』諸本の中で、書写が最も古く、しかも鎌倉時代語を伝えている『延慶本平家物語』を国語史的な立場に重点を置き、読解を進める。特に語彙・語法・表記については、『今昔物語集』（岩波古典文学大系本）を常に参照する。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書は常に参照する。

成績評価の方法

期末テスト、平常点、出席状況などにより評価する。

教 科 書

『延慶本平家物語〔一〕』（汲古書院）2,000円

参 考 書 等

授業中に紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 I	おの の ひろし 小 野 寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。
講義の内容・授業スケジュール	今年度は万葉集巻三から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。
履修上の留意点	講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。
成績評価の方法	数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。
教科書	小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 II	かな い せい いち 金 井 清 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	古事記と日本書紀とが持つそれぞれの文学的性質を比較対照しながら、いかなる理由、いかなる条件によって、それらの文学性が作品の中に胚胎され来ったのかを考える。またその文学性が、古事記・日本書紀の本質に対して整合的であるか、矛盾的であるかを追究し、矛盾的であると考えられた場合は、何ゆえにそうした事態が生じたのかを考える。「文学とは何か」という問題意識を常に持ちながら講義をする。
講義の内容・授業スケジュール	まず、古事記上巻と日本書紀神代紀を相互に比較し、それぞれの本質を把握する。次にその本質と整合性を持たないと一見して思われるような部分を取りあげて、その理由を考え、諸説を検討する。例として、いくつかの国家あるいは天皇に対する叛逆譚を取りあげて話す予定。それらの叛逆譚にこそ文学性が豊かであることが多いのである。文学に対して国家権力や政治がいかに向き合ってきたかという問題がここにあり、無視して通り過ぎることができないことを考えてもらいたい。
履修上の留意点	固定した立場を捨て、柔軟な感受性をもって考えたり感じたりして欲しい。毎回出席をとる。講義には連続性があるので欠席が多いと講義の真意が伝わらず、誤解の危険性がある。年度最終回まで聴き終えることが大切。
成績評価の方法	定期試験と出席率。鋭い良質の質問も評価する。
教科書	「古事記」（岩波文庫、倉野憲司校注）
参考書等	「日本書紀」（全五冊、岩波文庫、坂本太郎他校注。各冊1,000円程度）。その他の参考文献は講義の中で紹介する。毎回、資料を配布する。
その他	授業の方法は講義形式。又、質問用紙をあらかじめ配布しておき、これに答える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 古 文 学 研 究 I	まつ おか とも ゆき 松 岡 智 之	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

古典の文学作品は現代においていかに読みうるか。作品理解の基盤となるものは何であるかということ、『源氏物語』について考える。

講義の内容・授業スケジュール

作中人物の死をめぐる叙述を中心に、『源氏物語』を読み進める。

履修上の留意点

『源氏物語』を通読したことがある者、またはこれを機会に通読する意欲のある者の受講を求める。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 古 文 学 研 究 II	まつ い けん じ 松 井 健 児	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

王朝初期物語のなかから『伊勢物語』を読む。『伊勢物語』は「歌物語」という、日本文学史においても特異な形態を有している。したがって、一般的な古代物語としての方法を考察すると同時に、日常生活状況における歌の詠出方法の考察が必要となる。また主人公のモデルとされる在原業平をめぐる人間関係や歴史的な社会構造の理解も必須の要件となる。この講座ではこれらをふまえつつ、歌と物語との交互関係、および、かれら王朝の男女が歌に託したコミュニケーション機能の問題を中心に探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本文講読の形式をとる。短章形式の作品であるが、いくつかの有機的なまとまりを持つ章段群を設定し、物語全体を統一的な視点のもとに読み進める。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

①の論述を中心とした筆記試験 ②出席状況 ③その他を総合しておこなう。

教科書

新渡辺実・校注、潮日本古典集成『伊勢物語』（新潮社）

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅰ	むら 村上 かつ 光 徳	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	「中世女流日記」文学について考察する。作者の問題、時代背景、人間関係などにつき講ずる。
講義の内容・授業スケジュール	「十六夜日記」・「たけむきが記」・「とはずがたり」などの作者、作品を中心に他の時代の作品をも参考にして考える。
履修上の留意点	出席を考慮する。
成績評価の方法	筆記試験が中心
教科書	教科書は使用しない

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅱ	た 田 なか のり 中 徳 定	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	保元・平治の乱、源平の合戦に始まり、中世は戦乱の世であった。その中において、平安朝文学とはまったく異質の、軍記文学・説話文学等が花開いていった。それら中世独自の文学作品に描かれる人間の姿を通して、中世という時代を考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	中世文学の諸分野の中から随筆、評論、軍記、説話、室町時代物語における代表的作品を読みながら中世という時代を考える。
成績評価の方法	レポートによる（課題は授業中に指示する）。
教科書	岩佐美代子他編「新選中世の文学」（和泉書院）1,500円
参考書等	授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	このえのりこ 近 衛 典 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

井原西鶴の浮世草子のうち、『本朝二十不孝』を読む。下剋上の世界を生き延びて政権の座に就いた徳川氏は、主君への忠・親への孝を絶対的な価値として、永くその頂点に君臨することとなった。その、幕府による忠孝の奨励を逆手に取って「孝を勤める一助」と称して書かれたのが本書である。徹底した親不孝者を描き出すこの作品は、中国に淵源を持つ『二十四孝』や藤井懶斎作『本朝孝子伝』を下敷にしたパロディともなっている。近世の時代背景を押さえつつ、西鶴の軽妙な文章を味わいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 西鶴略歴
- II 『本朝二十不孝』概略
- III 卷一の一「今の都も世は借物」
- IV 卷二の二「旅行の暮の僧にて候」
- V 卷二の四「親子五人仍書置如件」
- VI 『二十四孝』『本朝孝子伝』との比較
- VII まとめ

成績評価の方法

出席状況、及びレポートで評価する。

教 科 書

佐竹昭広『絵入本朝二十不孝』（岩波書店）2,400円。適宜プリントを配布する。

そ の 他

講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 研 究 I	やま さき ま き こ 山 崎 眞 紀 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

21世紀の幕開けである。日本近代文学を通して私たちはいったい何を学びとることができるのだろうか。20世紀最後のオリンピックは女性の活躍が目立ったと報道されていた。〈男性〉と〈女性〉という枠組みで未だ語られることの多い現代であり、それならばこの境界線を崩す前に、〈女性〉という枠組みから見えるものは何であったのか？ この百年間において、〈女性〉は歴史的・文化的にどのような変貌を遂げたのか？ いったい何が変わり、何が変わらなかったのか？ を考えてみる必要があるのだろう。講義では日本の近代化が進められた明治期から昭和までの女性作家の作品を読むことを通して、上記の問題を考えていきたいと思う。女性が表現してきた言語空間を、さまざまなアプローチ方法で読みとり、現代に照射させ、未来に向かってどのようなヴィジョンを抱くことができるのかを考察していきたい。また、未だ学問の世界は男性中心である。実社会の現実はその以上だ。人=manではないように男性の視点=ニュートラルではないことを、女性文学を通じて発見・認知していく力をつけたいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

樋口一葉、与謝野晶子、水野仙子、田村俊子、吉屋信子、宇野千代、尾崎翠、岡本かの子、佐多稲子、林芙美子などの短編小説を読む。女性作家の作品を読むからといって、女子学生のみが対象と思っていたわけではない（そんなことを考える人はいないだろうが）。女性がいったいどのようなメンタリティをもつのかを身体構造も含めて、より一層理解を深めるよい機会となるように小説以外の資料も用いてアプローチしていく。一方的な講義ではなく、双方向的な授業を行う。

履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を読んでくること。ただ講義を聴くという受け身的な態度ではなく、常に意見を発表できるよう、積極的な態度を望む。

成績評価の方法

平常点を重要視する。前期・後期終了時にレポート提出を課し、ペーパーテストは行わない。3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しない。

教 科 書

女性文学会編『女性文学の近代』（双文社出版）2,000円  
この他、文庫本などを使用することもあるかもしれない。その際は適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

年間テーマは「一葉を読む」である。一葉は24歳で病死した夭折の作家であるが、明治、というより日本の近代文学全体を代表する小説家の一人としての評価は高い。年間講義を通じて、その一葉の文学世界に迫りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『たけくらべ』『十三夜』『にごりえ』等、一葉の代表作を順番に読んでいく。女優・幸田弘子氏の朗読テープも活用する。

履修上の留意点

講義を聴きながら、自分の意見を確立できるようにつとめてほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教 科 書

樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学特講Ⅰ	ど い こう ゆう 土 井 光 祐	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

文献に基づいた国語史研究の実際を、鎌倉時代語を中心に体系的に解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

鎌倉時代は、従来の国語史の中心的課題である口語史の観点からすれば、まさに空白期にあたる。当期は、近代語の芽生えの時期と言われるが、一方で古代語という「古典」を持って久しく、口語と文語とが複層的に絡み合った時代と言える。

前後の平安時代語、室町時代語の資料、研究史を紹介、解説しつつ、鎌倉時代の言語資料、研究方法を具体的に検証して、問題点を明らかにしていく。

成績評価の方法

試験又はレポート

教 科 書

プリントを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 特 講 Ⅱ	た なか あさ お 田 中 章 夫	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

言語に様々な変容をもたらす位相と、それによって生ずる日本語の位相差について考察する。特に、日本語における位相差の実態と、その問題点を受講者自身の調査を通じて理解する。

たとえば、手紙の文章ひとつをとっても、そこには男女による違い、年齢層による違い、あるいは、目的や相手による違いなど、さまざまな変容がみられる。言語表現に、こうした差異をもたらす要因を位相というが、位相による差異は、音声にも文法にも用語にも現われ、言語表現のバリエーションをかたちづくる。講義では、近代日本語の形成過程にみられる位相上の問題を、具体例に基づいて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1学期では、主として書簡・詩歌・談話など表現様式による差異を中心に考察する。第2学期では放送・電話・新聞など伝達媒体に基づく言語表現の特性の問題をとりあげる。

履修上の留意点

講義では、位相上の特性の顕著な言語資料をプリントで配布し、受講者とともに、資料を解読し、分析していく。

成績評価の方法

第1・第2学期それぞれ一回ずつレポートを課して評価するが、出席も加味する。

参 考 書 等

真田信治『日本語のバリエーション』（アルク社）1989  
 島田勇雄『位相論（講座・日本語の語彙・1）』（明治書院）1982  
 菊沢季生『国語位相論』（明治書院）1933  
 田中章夫『日本語の位相と位相差』（明治書院）1999

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅰ	み うら ひろ こ 三 浦 廣 子	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

怪談狂言をとりあげる。江戸の歌舞伎において、怪談物が夏の季節と結びついて上演されるようになったのは文化文政期である。鶴屋南北と尾上松助による「天竺徳兵衛韓嘶」の犬当りに始まり、怪談の要素を拡大しつつ夏狂言として定着して行ったのである。南北の怪談狂言は、超現実の怪異の世界が日常的世話の世界と結合して立ち現れるところに特色がある。そのような怪談の多層的世界を考えてみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

鶴屋南北の作「阿国御前化粧鏡」「東海道四谷怪談」を読む。

成績評価の方法

レポート提出をもって行う。出席の状況も加味する。レポートは前後期各一回の予定。

教 科 書

プリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅱ	<small>なかむらあや</small> 中 村 文	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

王朝時代の和歌は、景物に触れて引き起こされた感動を述べるもので、詠むことで生活をより趣深く美的にするという役割を負っていました。しかし、平安後期には性格が大きく転換して、歌題に従って想像力を駆使し、一つの場面を作り上げていく文芸詩へと変貌します。和歌が言葉で組み立てられる小宇宙になったために、人々は虚構世界を支える〈ことば〉の詩的なはたらきについて自覚的になり、同時にどうにかして新しく面白味のある場面を作り出そうと様々な試みを繰り返しました。多くの歌人が和歌の可能性を模索を続ける一種の混乱状況の中で、どうしたら素晴らしい歌が詠めるのか、言葉を扱う上でどのような注意と態度が必要なのかを説いた歌論書・歌学書がたくさん書かれました。その一つである『無名抄』を通読し、この時代の和歌の方向と、新しい和歌を求めて苦闘する人々の姿勢について考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

『無名抄』は鎌倉時代の初めに鴨長明が著した歌論書です。長明と言えば『方丈記』が有名ですが、彼は新古今時代に活躍した歌人でした。また、師匠の俊恵（平安末期の歌人）の教えを多く書き留めており、平安時代から鎌倉初頭にかけての、和歌をめぐる試行と思索の流れを俯瞰することができます。和歌や歌人のエピソードもたくさん載っているのです。まずは和歌に親しむことを目指して、楽しく読み進めていきたいと考えています。恐らずに参加して下さい。

成績評価の方法

評価は前・後期末に記述形式の試験を行って判定します。出席・授業態度も重視します。

教 科 書

川村晃生・小林一彦校注『無名抄』（三弥井書店）1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅲ	<small>たていしかずひろ</small> 立 石 和 弘	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

王朝物語文学の研究史を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

王朝初期物語、『源氏物語』、王朝後期物語の分析に際し、さまざまな方法論が試みられてきた。ここでは特に、七〇年代以降の研究史に注目し、具体的には、テキスト論、引用論、王権論、話型論、身体論、ジェンダー論、セクシュアリティ論、精神分析学と物語分析、新しい歴史学と物語分析、言説研究、文化研究などを対象化する。代表的な論文を読み、また実際に作品を分析しながら、今、こうした方法論の何が問題となっているのかを検証する。

成績評価の方法

筆記試験と出席。

教 科 書

プリントを配布。

参 考 書 等

適宜教室で指示する。

そ の 他

講義形式だが、意見を書いてもらう機会を用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 IV	た だ しい こ 多 田 圭 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「説話」はそれを語る者や語られる時代の意識を鋭敏に受け止めつつ継承されてきた。ここでは主に軍記物語の挿入説話をとりあげて、その展開を共時的・通時的に辿りながら、中世説話の特質について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

説話や軍記物語を読むための基礎的事項を確認したうえで、伝本間あるいは関連資料との比較等を通して、説話の展開の軌跡とその諸相を検討する。説話のヴァリエーションの在り方とともに関連説話にも目を向けて、説話の世界の広がりにもふれることができるよう読み進めてゆきたい。

成績評価の方法

前期：筆記試験／後期：レポート／受講状況。

教 科 書

必要に応じてレジュメを配布、参考書・参考文献を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 V	こう の し たが みつ 神 野 志 隆 光	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

古代文学の表現について、漢字表現という点から考察する。いうまでもなく、日本語は文字をもたなかった。外国語の文字である漢字を受け入れて文字をもつこととなったのである。どのようにして漢字で書くことがなされていったのか、そこで何が果たされたのか。新しく見出されてきた文字資料が、いま、この文学史の基本問題——文化史の基本問題ともいえる——について正面から考えることをもとめている。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は以下の三段階で進める。  
第一期。現在の文字資料を概観することからはじめて、資料整理をおこない、歴史的な見渡しを明確にする。  
第二期。七世紀の文字世界に焦点をあわせて問題を整理する。文字を受入れ、自分たちのことばのなかで用いることがいかになされたかを考える。人麻呂や古事記が出てきた文字基盤をとらえようとするものである。  
第三期。漢字で表現する文字テキストが、どのような方法をめざしたか。訓で表現することのなかに人麻呂歌集や古事記を見るべきだという立場を確認しつつ、実際にテキストを読むことに向かう。

成績評価の方法

評価は、出席点と、授業中の小テストによっておこなう。出席を重視する。

教 科 書

プリントを中心に進める。

参 考 書 等

参考書等については授業中に指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅵ	たて いし かず ひろ 立 石 和 弘	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

物語文学史上初の長編物語である『うつほ物語』を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

「俊蔭」から「桜の上・下」に至る全二〇巻を、巻順に従い読み進める。俊蔭一族の琴の継承の物語、貴宮求婚譚など、物語展開の縦糸と横糸を整理しながら、その表現世界を味わう。また、『うつほ物語』に特徴的な具象的・羅列的な記述を通して、物、身体、空間、関係性などに視点を据えながら、言説化された王朝の生活世界の具体相を探っていくことにする。

成績評価の方法

レポート提出と出席。

教 科 書

プリントを配布。

参 考 書 等

適宜教室で指示する。

そ の 他

講義形式だが、意見を書いてもらう機会を用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学特講Ⅶ	うえ た やす よ 植 田 恭 代	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『源氏物語』について考える。まず『源氏物語』の諸知識を確認し、物語の展開を視野におさめたい。本年度は「紅薬賀」「花宴」両巻を中心にとりあげる。

履修上の留意点

現代語訳でもよいから、作品のあらすじを把握するよう、読んでおいてほしい。

成績評価の方法

出席・記述式テスト、授業への参加態度等による総合評価とする

教 科 書

新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅷ	しの 篠 原 すすむ 進	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「風はおそろしく本を読まない。彼がスポーツ新聞とダイレクトメール以外の活字を読んでいるところにお目にかかったことはない。」(『風の歌を聴け』)。村上春樹が二〇年前に提示した、不吉な予言(『群像』1979年6月)。それが今、現実のものとなりつつあります。

そんな文学不振の中、唯一健闘しているのがミステリーです。ミステリーはなぜ、私たちの心をときめかせるのでしょうか。そうした問題意識から、現代の文学との往復運動を繰り返しながら、西鶴小説の魅力をミステリーという視点で考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

西鶴についての予備知識は、必要ありません。講義はできるだけ分かりやすく、一回で完結するよう心がけ、資料はコピーで提供する予定。条件が許せば、教材提示装置や、ビデオも活用するつもりです。

履修上の留意点

就職試験などで止む終えず欠席する受講生は、事前に連絡してください。

成績評価の方法

出席状況や、試験などで総合的に評価します。

教 科 書

テキストは、その都度コピーを配布する予定です。

参 考 書 等

参考文献などは、講義の中で紹介します。

そ の 他

基本的には講義形式ですが、一方通行にならないよう、受講者の意見や感想を聞き、討論する時間も持ちたいと考えています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅸ	なか むら み よ し 中 村 三 代 司	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

昨年度に引き続いて、太宰治の作品を取り上げる。本年度は太宰のいわゆる中期に該当する昭和10年代の代表作を精読しつつ、時代状況との関わりや坂口安吾・石川淳など同時代作家などの動向を視野に入れながら、それぞれの作品のモチーフやテーマについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「女の決闘」「駈込み訴え」「老ハイデルベルヒ」「走れメロス」などを、後期は、「東京八景」「新ハムレット」「清貧譚」などをそれぞれ読む予定である。

履修上の留意点

次回取り上げる作品を指示するので、必ず読んでから受講すること。

成績評価の方法

年2回(前期・後期)のレポート、及び出席状況を勘案して評価する。

教 科 書

『太宰治全集』第3巻(ちくま文庫)定価900円  
同 第4巻(ちくま文庫)定価900円

参 考 書 等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 X	<small>いの</small> 井 <small>うえ</small> 上 <small>よし</small> 理 <small>え</small> 恵	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本近代戯曲を取り上げ、そのドラマトウルギーを検討しながら戯曲研究の方法を考える。これまで戯曲は文学作品として研究されることが少なく上演と関連づけて検討されることが多かった。本講義では文学としての戯曲という視点で近代戯曲にアプローチする。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治期では、森鷗外、有島武郎、岡本綺堂、木下杢太郎、久保田万太郎、長谷川時雨、岡田八千代ら的一幕物を読み、時代との関係、斬新さ、歴史的価値等々を検討する。大正期は「大正の戯曲時代」といわれている。その多くが一幕物であるが、何故戯曲時代であったのか、小説と比較して戯曲はいかなる位置付けで作家たちは考えていたのか…等々に言及しながら武者小路實篤、中村吉蔵、平沢計七、菊池寛、鈴木泉三郎、金子洋文、泉鏡花、秋田雨雀、岸田国土、小山内薫らの戯曲を読む。昭和期ではプロレタリア戯曲からリアリズム戯曲への転換を見ながら三好十郎、久保栄らを、そして木下順二まで読む。後期に時間があれば現代戯曲、野田秀樹、つかこうへい、平田オリザなど読みたい。

履修上の留意点

戯曲の舞台化はビデオ視聴するつもりだが、本講座を選択する者には実際の舞台を見に行ってもらふことを義務付ける。5000円位を予定してほしい。尚、演劇、映画、テレビ、ラジオ等の創造部門に就職を希望する者は受講するといいたいだろう。

成績評価の方法

発表、レポート（2回観劇批評含む）、テストで評価する。

教 科 書

「日本の近代戯曲」（翰林書房）2,500円

参 考 書 等

井上理恵著『近代演劇の扉をあける』（社会評論社刊）4,500円  
日本近代演劇史研究会編『20世紀の戯曲』（社会評論社刊）4,700円。

そ の 他

講義形式だが、ビデオ視聴や学生の発表も取り入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 I	木 村 晟 <small>きむら あきら</small>	国 文 2 必 選 国 文 2 必 選	4

講義のねらい

中世語の語彙・語法・音韻・仮名遣い等について国語史的に学び、近代語の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

『実語教注』を「抄物」、「キリシタン資料」などと対照させ、それぞれの語彙・語法・音韻・仮名遣いなどの特徴を考察する。特に国語史の基礎を十分学ぼうにする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『口葡辞書』等の古辞書の類は常に参照する。

成績評価の方法

平常点で評価する。研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

プリントを用意する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	おのの 野 寛 <small>ひろし</small>	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

万葉集をよむ。

講義の内容・  
授業スケジュール

万葉集巻一の歌から選んで各自担当し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作歌の背景など、くわしく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、レポートの提出、学年末の筆記試験によって評価する。

教 科 書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう刊）  
小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい	『伊勢物語』を読み、そこに表れている人間観、自然観の意味するところを探り、平安時代の歌物語の特質を考える。
講義の内容・授業スケジュール	はじめの3～4回は問題点につき、概論風の講義をするが、あとは各自担当箇所を決めて、研究発表をする。
履修上の留意点	研究発表にあたっては担当箇所の語彙の用例調査、諸注釈の検討、時代状況の確認などをあらかじめして授業に臨むこと。
成績評価の方法	年二回のレポートの提出、研究発表の内容、出席の状況によって評価する。
教科書	『異本対照 伊勢物語』（和泉書院）1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	まつ い けん じ 松 井 健 児	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい	平安時代物語の研究を自律的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。
講義の内容・授業スケジュール	受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』「須磨」「明石」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を展開できる技術を養う。
履修上の留意点	演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報と質が、この科目の成否を決定する。
成績評価の方法	受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。
教科書	石田稔二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）
参考書等	参考書は授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習 I	田 <sup>た</sup> 中 <sup>なか</sup> 徳 <sup>のり</sup> 定 <sup>さだ</sup>	国文 2 必 国文 2 選	4

講義のねらい	古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	『宇治拾遺物語』をとりあげ、説話集中に登場する人物調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、他作品における同類話との比較から、個々の作品の性格と話の伝承形態を探求する。
成績評価の方法	授業時間内に行う口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。
教科書	新潮日本古典集成『宇治拾遺物語』（新潮社）3,500円
参考書等	授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習 I	村 <sup>むら</sup> 上 <sup>かみ</sup> 光 <sup>みつ</sup> 徳 <sup>のり</sup>	国文 2 必 国文 2 選	4

講義のねらい	「平家物語」巻上、巻十一、巻十二を読み、内容の把握、物語の特色、人物について、時代背景等を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	学生中心に発表形式ですすめ、できるだけ多くの句を読むようにする。出席最重要視。
履修上の留意点	学生諸君は自主的、かつ意欲的に調査、研究するよう努力してほしい。
成績評価の方法	レポートの提出及び出欠によって評価
教科書	村上編「平家物語抄」（桜楓社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	はやし 林      たつ や 達 也	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

- ・『おくのほそ道』研究
- ・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことについて、身をもって修得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な辞書の使い方を覚える。
- ・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方
  - ・学年末提出のレポート
- の二点によって評価する。

教 科 書

『おくのほそ道』（岩波文庫）

参 考 書 等

開講時に示す。

そ の 他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	この え のり こ 近 衛 典 子	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

読本の代表作の一つ、『雨月物語』の中から数話を取り上げ、丁寧に読み解いていく。中国の典拠との相違、日本古典作品の利用の方法などを検討し、重層的な表現の面白さを味わいたい。更に、その奥に秘められた屈折した作者の思いを汲み取ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 概説 — 作者と作品 —
  - II 『雨月物語』序文
  - III 「浅茅が宿」
  - IV 「吉備津の釜」
  - V まとめ
- 担当学生による研究発表、質疑応答を主とする。

履修上の留意点

出席状況を重視する。

成績評価の方法

研究発表、討議への参加状況、レポートを総合して評価する。

教 科 書

浅野三平、新潮日本古典集成『雨月物語・癩癩談』（新潮社）2,400円程度。

そ の 他

ゼミ形式。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	<small>おか</small> 岡 <small>だ</small> 田 <small>ゆたか</small> 豊	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

演習という授業の初学者に対し、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎的トレーニングを行う。

講義の内容・授業スケジュール

芥川龍之介の小説を読む。  
対象作品は、『袈裟と盛遠』『地獄変』『疑惑』『秋』『南京の基督』『六の宮の姫君』等を予定している。司会も学生が行い、演習生が一丸となって討論する。先行論文を調べ、踏まえた上で報告することになるので、さぼることのないよう努めて欲しい。

履修上の留意点

初回の授業で報告の分担や報告の仕方等についての説明を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

演習は教員の説明を聞いてノートをとる形式とは異なり、学生自身が実際に調査・報告・討論を行う。よって欠席回数が多いと多く続けると履修不可能となる。成績評価は報告内容、討論参加の態度、レポートを総合的にながめたいうで下す。

教 科 書

角川文庫テキストを各自で用意する。

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	<small>まつ</small> 松 <small>むら</small> 村 <small>ま</small> ぎ	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

宮澤賢治の童話について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

平常点と年度末のレポートにより総合的に評価する。

教 科 書

宮澤賢治『注文の多い料理店』（角川文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅰ	高田知波	国文2必 国文2選	4

講義のねらい

夏目漱石とその時代について学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏目漱石の代表的作品を、学生の分担発表と、演習生全員によるディスカッションを軸にしながらか読んでいく。

成績評価の方法

年度末のレポートと、平常点を総合して評価を出す。

教科書

夏目漱石『坊っちゃん』・『虞美人草』・『三四郎』・『それから』・『こころ』（いずれも新潮文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学演習Ⅱ	木村 晟	国文3必・国文3選	4
国語学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

国語語彙史の研究を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

『漢和三五韻』（貞享3年刊）の豊富な和訓を採り挙げ、中近世の語彙史研究を行なう。実証的ならしめるため、多くの文献を参照する。また、関連する論文もいくつか採り挙げ読むこととする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』や『倭玉篇』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書類は常に参照する。

成績評価の方法

平常点で評価する。ただし研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	お 小 の 野 ひろし 寛	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

- 講義のねらい

本文、注釈、作品論、作家論などについての正確な結論を得るためには、大量の情報をしっかりと整理する必要がある。その情報処理の能力を養ってもらうことをねらいとする。
- 講義の内容・授業スケジュール

古事記から万葉集までを対象として、各自が選んだ作品の本文研究と解釈について発表し、出席者全員で討論することによって進行する。
- 履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。
- 成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによる。
- 教 科 書

万葉集は、鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	こう の し さち え 神 野 志 幸 恵	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

- 講義のねらい

万葉集巻四の作品を順に講読していく。注釈書を参看しながら丁寧に読んでいきたい。相聞歌の表現について注意しながら読むことをめざす。
- 講義の内容・授業スケジュール

各人が一つの作品を担当し、発表する形で行なう。
- 履修上の留意点

出席を重視する。担当者のみならず出席者すべてが主体的に授業に参加することを期待する。
- 成績評価の方法

平常点と学年末のレポートによる。
- 教 科 書

鶴久、森山隆編『万葉集』（おうふう）
- 参 考 書 等

授業の時々に表示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	う え た や す 植 田 恭 代	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『源氏物語』「横笛」「鈴虫」巻を読む。諸註釈をたどりつつ、本文を丹念に読み進めることによって見出される問題を追究し、時代に生きる人々の心性や思想を探る。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回担当範囲と報告者を決め、資料作成のうえ報告をしてもらう。

履修上の留意点

各自で予習をし、積極的に討論に参加してほしい。

成績評価の方法

発表・討論への参加態度・出席、レポートによる総合評価とする。

教 科 書

新潮日本古典集成『源氏物語 五』（新潮社）

参 考 書 等

授業時に指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	た か ほ し ぶ ん 高 橋 文 二	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『源氏物語』の「御法」巻を読み、光源氏と紫の上の晩年の文学世界の意味あいを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの3～4回は概論風の講義をし、「御法」巻の問題点について触れる。あとは出席者各自の研究発表の形をとる。

履修上の留意点

語彙索引の類を十分に活用して、担当箇所に出てくる言葉の用例などを綿密に調べ、古注釈なども検討する。細かい方法等については授業時間内に指示する。

成績評価の方法

研究発表の内容、年二回のレポート、出席の状況などを勘案して評価する。

教 科 書

影印本『御法』（新典社）  
『字典かな』（笠間書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	まつ い けん じ 児 松 井 健 児	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の玉鬘十帖を扱い、具体的には「真木柱」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究をおこない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。

教科書

石田稷二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 四』（新潮社）

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読みながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありよう、さらには人間の姿について考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

『今昔物語集』に収められている説話について、出典あるいは原拠となる説話を調査し、『今昔物語集』の中において、説話が、どのように改変、潤色されているのかを考察する。また、他の説話集あるいは文学作品中に、同・類話がある場合には、それらの同・類話と比較することによって、作品によって説話がどのように改変されていくのか、その様相を探る。

履修上の留意点

専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。

成績評価の方法

授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。

教科書

今野 達編『新注今昔物語集選』（大修館書店）876円

そ の 他

受講生に担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行ない、その結果をレジュメに作成し、授業中に口頭発表を行なってもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	なかむらあや 中村文	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

藤原俊成の歌論書『古来風躰抄』を読み、俊成が和歌の本質や伝統についてどのように考えていたのか、その思索の道筋をたどってみたい。俊成は晩年に至るまで多くの歌合で判者を勤め、新進歌人たちに影響を与えた。新古今集に見える斬新で前衛的な歌風は、俊成の和歌に関する考え方を受け継いだ人々によって担われている。文学性豊かな和歌世界の基礎を作り上げた俊成の、詩的言語をめぐる苦闘と、和歌史に関する深い認識について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

俊成が記した歌論部分の読解を主とするが、万葉集および勅撰七集から抄出された和歌についても、時間の許す限り触れ、時代による和歌の変遷についても、実際の歌に即して理解を深めることとしたい。冒頭部分は担当教員が解説を加えながら講読するが、その後は受講者の報告によって授業を進める。受講者は必ず担当箇所について報告を行うこと。

履修上の留意点

テキストには影印を用いる。変体仮名に親しむと同時に、古典作品を扱う際の基本的な手続きである、テキスト批判の方法についても習熟することを目指す。

成績評価の方法

担当箇所の報告内容、およびどれだけ積極的に参加・発言したかにより判定する。

教 科 書

中村文・廣木一人・綿抜豊昭『中世歌論選』（三弥井書店）予価1,500円位

参 考 書 等

『字典かな』（笠間書院、350円）など、変体仮名の手引書。その他の参考文献については、授業開始時にプリントを配布する。

そ の 他

報告の具体的なやり方については、最初の授業時に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	むらかみみつのり 村上光徳	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

「明德記」の輪読。軍記物語諸作品中、「明德記」はあまり読まれたり、話題になったりしたことのない作品だが、明德2年に起った山名氏清、山名満幸の乱が背景になって書かれた作品だが、十分読解し、乱について、人間関係、作品の評価等につとめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生中心の発表形式で授業はすすめる。

履修上の留意点

学生諸君の自主的な調査、研究が要求される。

成績評価の方法

レポート提出、出席最重要視。

教 科 書

テキストは写真版を使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	はやし 林 たち 達 や 也	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい

- ・『俳諧七部集』を読む。
- ・本年は「猿蓑」の連句を読み、連句の作られ方、連句の楽しみ方を知ることが目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・俳諧の本来は連句にある。連句に親しみ、俳諧の世界を探る。
- ・「わび」だとか「さび」だとか、抽象的な言葉は、この演習では禁句にする。
- ・言葉を確実に捉えるところから始める。
- ・各句の意味、光景を把握した上で、前句と付句の関係を理解し、そこに展開する世界を具体的に理解する。
- ・俳諧の世界と和歌の世界の違い、俳諧の語法と和歌の語法の違いにも注意を払う。
- ・注釈の歴史を知る。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方。
- ・学年末提出のレポート  
の二点によって評価する。

教 科 書

『俳諧七部集』（岩波文庫）

参 考 書 等

- ・幸田露伴『評釈 芭蕉七部集』（岩波書店）
- ・雲英末雄編『芭蕉連句古注集 猿蓑篇』（汲古書院）
- ・島居 清『芭蕉連句全註解』（おうふう）
- ・新古典文学大系『芭蕉七部集』（岩波書店）

そ の 他

授業は、レポーターの発表を中心に行う。  
レポーターは古注釈に至るまで充分理解し、発表すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	このえのりこ 近 衛 典 子	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

近世小説研究として、上田秋成最晩年の作品『春雨物語』を読む。不幸な出生、火災による破産と没落、失明といった人生における悲運を文学に没入する自己への天罰と意識する秋成は、古典研究を通して、人間を翻弄する運命というものへの特異な観念を形成していく。その沈潜する思いを形象化したものが本作品である。短編集である本作のうち数編を取り上げ、数度にわたる改稿の意味、文学と歴史との境界とは何か、等の問題について、多角的に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 「血かたびら」、「死首のゑがほ」の二作品を取り上げる予定。
- I 概説 — 作者と作品 — (講義)
- II 「血かたびら」(担当学生による発表)
- III 「死首のゑがほ」(同上)
- IV まとめ (討論)

成績評価の方法

演習への出席状況を重視し、研究発表、討議への参加状況、レポート等を総合して評価する。

教科書

美山靖、新潮日本古典集成『春雨物語・書初機嫌海』(新潮社) 2,700円。

その他

ゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	おかのり 岡 田 豊	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

昭和30年代を起点とし、平成までに発表されたいいくつかの小説をとりあげて読む。

講義の内容・授業スケジュール

2人ないしは3人でチームを組んで報告する。演習生全員で報告者が提起する問題点をめぐって討論する。司会進行係も学生からその都度選出する。教員は殆ど口を出さない。演習生全員が盛り上げるつもりでいて欲しい。扱う作家は、松本清張・古井由吉・中上健次・村上龍・津島祐子・田中康夫・島田雅彦・山田詠美・吉本ばなな等を予定している。

履修上の留意点

初回の授業で報告の分担等を決めるので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数やその内容等の演習参加の態度も考慮に入れる。

教科書

文庫本をテキストにする。

参考書等

その都度教場で紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	やま した まさ 小み 山 下 真 史	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

大正末から昭和初期は、いわゆる昭和文学の実質が形成された時期だが、その時期に書かれた詩や小説のうち、新しい文学の潮流を示すものを読み、それらに対する理解を深める。あわせて、当時の文学を含めた時代状況に対する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前衛詩、新感覚派、プロレタリア文学、モダニズム文学など、昭和文学を代表する潮流の中からそれぞれいくつかの作品を取り上げる。作品名は未定だが、作家名を挙げれば、高橋新吉、横光利一、川端康成、小林多喜二、井伏鱒二、牧野信一、中村正常らを予定している。

初回に学生の希望に従って、作品の担当者を決める。2回目以降は、学生の発表と討論を中心に授業を進める。受講者には前期・後期に一回ずつ発表してもらう予定だが、受講者の人数が多い場合は、二人一組で発表してもらうこともある。

履修上の留意点

出席者は全員、当該作品をよく読んで、積極的に討論に参加してほしい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、授業中の発表・討論、及び年度末のレポートを総合的に判断して行う。出席状況が甚だしく良くない者には、単位を与えない。

教 科 書

使用する文庫本、プリントなどは、授業の最初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	やま さき まさ 小み 山 崎 真 紀 子	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

4月開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

近代小説の名作を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治から昭和前期までの小説の中から、学生の希望を尊重して代表的な作品を選んで年間プログラムを作成し、学生の分担発表と演習生全員によるディスカッションを軸にしながら読んでいく。

成績評価の方法

年度末のレポートと、平常点を総合して評価を出す。

教 科 書

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	なか むら み よし 中 村 三 代 司	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

前期は、明治40年代の森鷗外・夏目漱石等、大正期の芥川龍之介・谷崎潤一郎・志賀直哉・佐藤春夫等、昭和10年代までの江戸川乱歩・夢野久作・太宰治等の主要作品を、後期は受講者の希望作品（作家、時代は問わない）をそれぞれ読み、作品研究の方法を考える。また、作品を研究する場合の参考文献の調べ方、レジュメの作成法、分かりやすい発表の技術等も併せて習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回1作品につき、2名程度がレジュメを準備してレポートし、その発表内容に基づいて討議を行なう。また、レポーター以外の受講者には、予習の意味を含めて当該作品の簡単なレポートを毎回提出してもらう。なお、取り上げる作品については開講時に指示する。

履修上の留意点

毎回取り上げる作品を読了した上で演習に参加するのはいうまでもないが、作品をいかに読んでくるかが重要である。問題意識をもって演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

前・後期各1回の発表、出席状況を重視して評価する。また、授業中の発言も勘案する。

教 科 書

各社文庫本。作品毎に指定する。

参 考 書 等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 IV	木 村 晟 <small>きむら あきら</small>	国 文 4 必	4

講義のねらい

国語学を専攻する学生の卒業論文の指導をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

国語学の各領域のうち、方言研究・文字論・語彙論・文体論などの専門的な論文を読み、検討をし、解説を加える。これを重ねることによって、学生が論文の書き方が学べるようにする。

履修上の留意点

卒業論文は力いっぱい努力をして、骨惜しみをしないこと。質問は遠慮せず、たびたびすること。

成績評価の方法

平常点により評価する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは用意する。

参 考 書 等

授業はグループ毎に読んだ論文を報告し、質疑応答をする。また後期には各自の論文の中間報告もさせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	小 野 寛 <small>おの ひろし</small>	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は演習形式で、各自が卒業論文に選んだテーマに沿って作品を選び、詳細な本文研究と確かな解釈の上に立つ作品研究を報告し、みんなで討議する。

履修上の留意点

卒業論文のテーマを一日も早く決定する。4月の開講時には各自の卒業論文の計画書を提出してもらう。

成績評価の方法

卒業論文提出のあと、学年末にレポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国 文 4 必	4

講義のねらい	卒業論文作成のための授業。
講義の内容・ 授業スケジュール	問題点確認のために5月以降、月ごとにレポートを提出し、一回は口頭発表をする。資料（用語例など）調査の中間発表を夏休みの課題レポートとして提出する。9月中に卒論の構想を示せるようにすること。
成績評価の方法	レポートと出席の状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	まつ い けん じ 松 井 健 児	国 文 4 必	4

講義のねらい	平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。
講義の内容・ 授業スケジュール	卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。
履修上の留意点	自主性と積極性。
成績評価の方法	①研究論文としての形式的要件を備えていること。②問題意識にそって本文が十分に読み込まれていること。③研究史をふまえつつ個性的な論述が明晰に展開されていること。以上を総合しておこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	たなか のりさだ 田 中 徳 定	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

全体的には、卒業論文作成に必要な調査方法や諸手続きについて指導を行う。また、個々の卒業論文のテーマにあわせ、個人ごとの指導を行っていく。卒業論文の論題提出時までに、研究計画書を提出してもらい、卒業論文作成過程においては、卒論中間発表会においてその内容を口頭発表してもらう。

成績評価の方法

卒論中間発表会における口頭発表とそれをまとめたレポートの内容によって評価を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	むら かみ みつ のり 村 上 光 徳	国 文 4 必	4

講義のねらい

中世女流日記の一つ「竹むきが記」の読解を通して、作者の生き方、天皇との関係、当時の時代背景等を考察す。  
合わせて卒業論文の指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生中心の発表形式で授業はすすめる。

履修上の留意点

学生諸君の自主性を要求する。

成績評価の方法

レポート提出と出席重視

教 科 書

テキストは写真版使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	はやし 林 達 也	国 文 4 必	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文指導のための授業である。  
近世文学で卒業論文を書く学生を対象とする。中世和歌を対象とする学生も受け入れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

5月連休明けまでに、卒業論文の対象を決める。  
6月中に対象をどれだけ理解しているか、どういう点に興味をもっているのか、などについて、第一回目のレポート（400字原稿用紙10枚）提出。  
前期末までに、前記提出レポートについて教師と面談。  
10月末までに、第二回目レポート（30枚）提出。  
11月中旬、卒業論文目次提出。  
12月10日 卒業論文提出

履修上の留意点

講義の内容・授業スケジュールの日程を守らない学生については、責任をもたない。

成績評価の方法

一般的には、卒業論文による。  
論文作成までの道程も評価の対象とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	この 近 衛 のり 衛 典 子	国 文 4 必	4

講義のねらい

近世文学で卒業論文を作成する学生を対象に、実践的な指導を行なう。卒業論文は各自がそれぞれの問題意識を持って主体的に取り組むべきものであり、本演習はそれを援助するものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自の研究テーマに応じて個別指導・助言を行なう。また、夏休み終了後に、中間報告としてレポートを提出してもらう。

履修上の留意点

積極的な取り組みを望む。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、及び卒業論文の内容により評価する。

そ の 他

ゼミ形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	<small>おか た ゆたか</small> 岡 田 豊	国 文 4 必	4

講義のねらい	卒業論文作成のための研究指導。
講義の内容・ 授業スケジュール	〔前期〕 隔週で講義する。課題提出までに必ず1度の面談を義務づける。 〔後期〕 決められた日時に面談を行う（2回以上来なければならない）。面談中心で進めるが、あらかじめ質問内容、相談内容をまとめたメモの持参を義務づける。これがない場合、面談はキャンセルとする。
履修上の留意点	相談に来ること。そして約束された作業をしっかりとこなすよう努めてもらう。
成績評価の方法	出席状況・レポート・面談をトータルにながめて評価するが、卒業論文の成果も加味する。
教 科 書	テキストはその都度学生との相談で決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	<small>たかだ ちなみ なかむらみ よし</small> 高田 知波・中村三代司 <small>やまざき まきこ やました まさみ</small> 山崎真紀子・山下 真史	国 文 4 必	4

講義のねらい	卒業論文作成のための演習である。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は卒業論文のテーマの絞り方や、参考文献蒐集の方法等に重点を置き、後期は具体的な論の展開に重点を置く。
履修上の留意点	卒業論文の成否にかかわる演習だということを十分に理解してほしい。
成績評価の方法	平常点と卒業論文によって評価を出す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学	南雲 智 <small>な くも さとる</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

中国文学の流れをつかむと同時に、中国文学の特質とは何かを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

長い歴史を有する中国文学の全体像をすべて把握するのは困難であろう。断片的にならざるを得ないが、大きな流れだけは見失わないように授業を進めたい。

成績評価の方法

成績評価はレポートにする予定であるが、変更する場合もあり得る。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

授業中に適宜、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	満谷 マーガレット <small>みつたに</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995  
 日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991  
 西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	やまぐちせつこ 山 口 節 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日の状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教 科 書

授業の際に、事前に紹介する。

参 考 書 等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	おお つか ひで こ 大 塚 英 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解説の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期 A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。
- B、平安朝の年中行事
1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
  2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
  3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
  4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。
- 後期 A、『源氏物語絵巻』と服飾
1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
  2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
  3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。
- B、平安朝における官職位階の制度

履修上の留意点

常時出席しないと修得はむづかしい。

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教 科 書

河鱈実英『有職故実』（塙書房）1,900円、源氏物語絵巻のコピー、及びプリントを使用。

そ の 他

OHP・ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本民俗学	谷口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 間 信 仰 論	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 I 〔 古 代 ・ 中 世 〕	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教 科 書

『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）2,900円

参 考 書 等

青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会）1,650円 笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 II 〔 近 世 ・ 近 代 〕	くろ きわ ふみ たか 黒 沢 文 貴	国文2・3・4選	4

講義のねらい

近世・近代の日本政治外交史を講じるが、力点は近代におく。ヨーロッパ国際秩序の原理とは異なる東アジア国際秩序に属した日本が、ヨーロッパ国家系と出会うことによって自らの秩序認識をいかに変容させ、近代国民国家への道を歩もうとしたのかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

江戸期の日本をとりまく東アジア国際秩序とヨーロッパ国際秩序の相違を確認した上で、幕末の黒船来航に対する幕府の対応をはじめとして、岩倉遣欧使節のヨーロッパ認識等重要な歴史事象を取り扱う。その際視点の中心の一つは、当時の日本人（政策決定者たち）がどのような認識をもっていたのか、その認識をもとにいかなる活動を展開したのか、という点にある。なお取り扱う時代は、明治末年頃迄を予定している。

履修上の留意点

毎回授業に出席することが希望である。できれば高校日本史教科書レベルの知識をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

出席と定期試験の結果を総合的に評価するつもりである。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禪宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれるものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	いけ た れん た ろう 池 田 練 太 郎	国文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝(仏・法・僧)の体系にしたがって、開祖であるブツダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブツダの生涯、②仏の本質、③法——仏教の真理観、④一切法——法の種類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心——実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史(インドとその周辺・中国・朝鮮・日本)の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』(東京大学出版会刊) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 思 想 史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	国文2・3・4選	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想(儒教的教養)の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート(年1回以上)
2. 平素の受講態度(年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。)
3. 受講の積極性(質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。)

教 科 書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	あ 麻 生 けん 建	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい	ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。 特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。
履修上の留意点	教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。
成績評価の方法	学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。
教科書	麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円
参考書等	特になし。必要な場合は授業中に指示する。
その他	講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	や 矢 の 野 よう 陽 こ 子	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい	フランス絵画史。西欧の中心に位置するフランスは、交通の要衝であり、商業活動の経由地であり、巡礼の道も通っていた。国際的に開かれているという状況から、フランスは周囲の国々からさまざまな要素を受け入れながら固有の文化を生み出していった。この授業では、17世紀から19世紀にいたるフランス絵画の歴史をたどり、その特色を考える。
講義の内容・授業スケジュール	絶対王政が確立する17世紀から始め、18世紀末フランス革命を経て、新しい芸術運動が次々に起こった19世紀まで、時代を追って主要な流れを見ていく。前期は17・18世紀を、後期はフランス革命以後を扱う予定である。
成績評価の方法	前期のレポート提出と後期の筆記試験、出席等を合わせて評価する予定。
参考書等	高階秀爾著『フランス絵画史』（講談社学術文庫）
その他	授業ではスライドを使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 劇 概 論	井 上 理 恵 <small>いの うえ よし え</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウロジー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになろう。ビデオや舞台で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講 X を同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいて批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト。

教 科 書

授業時に販売（約500～800円）「井上理恵講義ノート」（私家版）

参 考 書 等

毛利三彌『東西演劇の比較』放送大学教育振興会

そ の 他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書 道 概 論	金 子 卓 義 <small>かね こ たか よし</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

古今の書の作品を鑑賞し、書芸術に対する理解を深め、書に親しむ心を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオ、スライド、コピーなどを用い、なるべく視覚的な授業を行う。歴史的に重要な作品から、現代の書まで幅広く鑑賞することにより、書の流れや本質を理解してゆく。

成績評価の方法

年間10回程度の復習試問の小テストを行い、また展覧会などの鑑賞レポートを提出して採点の基とする。

教 科 書

高外用教科書『書道Ⅱ』（光村図書出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 史	な す たか よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教 科 書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社）  
日本書道史のテキストは後期に指示する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 I	かね こ たか よし 金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

書の歴史を探りながら、古典の臨書を中心に学び、表現技術の習得と、書に対する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

楷書、行書、漢字仮名交じりの書を学習する。主に半紙で学び、毎回提出する。  
用具のことは、はじめの授業で説明する。

教 科 書

高校用教科書『書道I』（光村図書出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道実習Ⅱ	野村 宙 弘 <small>の むら おき ひろ</small>	国文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨・硯・筆・文鎮・下敷・半紙等の文房四宝の用意が必要。  
(正しい用筆法・正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王 羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道実習Ⅲ	那須 隆 吉 <small>な す たか よし</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

隷書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教科書

コピーによる。

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	はせがわ たかし 長 谷 川 孝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

編集とは、〈だれかに——何かを——伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」（視点・視野・視角）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取る力、自分の表現をつくり出す力を養うことを大切にします。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した（自分なりに感じ気づき考えた）ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、自己評価点および感想文（授業で書く短文）など平常の提出物によります。

教 科 書

プリントを使用します。



# 1. 專門教育科目

## (2) 英米文學科



# 1. 専門教育科目

## (2) 英米文学科

作品講読 I	〈東 雄一郎〉	65
作品講読 I	〈高野正夫〉	65
作品講読 I	〈佐藤千春〉	66
作品講読 I	〈河崎征俊〉	66
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	〈サンダース, L. P.〉	67
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	〈レイン, R. V.〉	67
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	〈マーティン, S. F.〉	68
作品講読 II	〈河崎征俊〉	68
作品講読 II	〈佐藤千春〉	69
作品講読 II	〈中岡 洋〉	69
作品講読 II	〈東 雄一郎〉	70
スピーチ・アンド・コミュニケーション II	〈ブランケン, D. L.〉	71
スピーチ・アンド・コミュニケーション II	〈サンダース, L. P.〉	72
スピーチ・アンド・コミュニケーション II	〈ハバード, W. D.〉	72
英語学概論	〈荒井良雄〉	73
英語表現法	〈高野正夫〉	73
英語表現法	〈東 雄一郎〉	74
英語表現法	〈佐藤千春〉	74
英語表現法	〈河崎征俊〉	75
アメリカ文学史	〈佐藤千春〉	75
イギリス文学史 I	〈河崎征俊〉	76
イギリス文学史 II	〈中岡 洋〉	77
英語史	〈荒井良雄〉	78
イギリス文学特講 I	〈石原孝哉〉	79
イギリス文学特講 II	〈高野正夫〉	79
イギリス文学特講 III	〈岡崎寿一郎〉	80
イギリス文学特講 IV	〈中岡 洋〉	80
イギリス文学特講 V	〈富士川 義之〉	81
イギリス文学特講 VI	〈丸小 哲雄〉	82
演劇特講	(イギリス・アメリカ) 落合和昭	83
演劇演習	(イギリス・アメリカ) 逢見明久	83
アメリカ文学特講 I	〈東 雄一郎〉	84
アメリカ文学特講 II	〈杉浦銀策〉	84
アメリカ文学特講 III	〈川崎笑佳〉	85
アメリカ文学特講 IV	〈杉浦銀策〉	85
アメリカ文学特講 V	〈杉浦銀策〉	86
イギリス文学演習 I	〈富士川 義之〉	86
イギリス文学演習 II	〈高野正夫〉	87
イギリス文学演習 III	〈芦澤久江〉	87
イギリス文学演習 IV	〈増田 恵子〉	88
イギリス文学演習 V	〈富士川 義之〉	88
アメリカ文学演習 I	〈川崎 浩太郎〉	89
アメリカ文学演習 II	〈サンダース, L. P.〉	89
アメリカ文学演習 III	〈川崎 笑佳〉	90



アメリカ文学演習Ⅳ	〈古 富 猛〉	90
アメリカ文学演習Ⅴ	〈川 崎 笑 佳〉	91
時 事 英 語	〈サンダース, L. P.〉	91
商 業 英 語	〈町 井 靖〉	92
ラ テ ン 語	〈佐 藤 玖美子〉	92
ギ リ シ ャ 語	〈長谷川 岳 男〉	93
英 米 文 化	〈広 川 治〉	94
外 国 文 学	〈栗 原 万 修〉	94
英 米 思 想 史	〈麻 生 享 志〉	95
現 代 美 術	〈矢 野 陽 子〉	96
日 本 文 化 史 I	〈廣 瀬 良 弘〉	97
日 本 文 化 史 II	〈 休 講 〉	
放 送 英 語	〈大 庭 直 樹〉	98
英 作 文 演 習	〈東 雄 一 郎〉	99
英 作 文 演 習	〈中 岡 洋〉	99
英 語 学 演 習 I	〈荒 井 良 雄〉	100
英 語 学 演 習 I	〈ピアス, D. M.〉	100
英 語 学 演 習 II	〈杉 浦 銀 策〉	101
英 語 学 演 習 III	〈町 田 尚 子〉	101
英 語 学 演 習 IV	〈 休 講 〉	
英 語 学 演 習 V	〈ブランケン, D. L.〉	102
オーラル・イングリッシュ	〈ナトウシュ, B. A.〉	103
オーラル・イングリッシュ	〈ハバード, W. D.〉	103
オーラル・イングリッシュ	〈リアーディ, N.〉	104
オーラル・イングリッシュ	〈レイン, R. V.〉	105
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈東 雄 一 郎〉	105
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈荒 井 良 雄〉	106
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈河 崎 征 俊〉	106
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈佐 藤 千 春〉	107
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈サンダース, L. P.〉	107
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈杉 浦 銀 策〉	108
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈高 野 正 夫〉	108
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈中 岡 洋〉	109
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈富士川 義 之〉	110

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	<small>あづま</small> 東 <small>ゆう いち ろう</small> 雄 一 郎	英米文1必	2

講義のねらい

英文の速読力を含め、読解力の養成、向上をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、3～4人の発表者に発表してもらう。取り扱う作品はアメリカ文学の短篇小説、例えば Nathaniel Hawthorne, Edgar Allan Poe, O. Henry, F. Scott Fitzgerald, W. Faulkner, Ernest Hemingway, Bernard Malamud 等の作品。前期、後期、数篇ずつ、通年で約100頁程の英文を読む。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に参加すること。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、小レポート数回、発表内容をもって評価する。

教 科 書

*The Penguin Book of American Short Stories* (英宝社ペンギン・ブックス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	<small>たか</small> 高 <small>の まさ</small> 野 正 <small>お</small> 夫	英米文1必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教 科 書

教場にて指示します。

そ の 他

授業は演習形式で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	佐藤千春	英米文 1 必	2

講義のねらい	アメリカ文学の作品を講読する。作品は年度により異なる。本年度は授業開始時に連絡する。
講義の内容・授業スケジュール	作品の精読、内容の分析・解釈を織りませる。
履修上の留意点	事前に発表部分をあてておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。
成績評価の方法	授業内での発表、前期・後期のテストの結果で決定する。なお、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので注意すること。
教科書	授業開講時に連絡する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	河崎征俊	英米文 1 必	2

講義のねらい	Arnold Bennett の文学論を読みながら、文学一般のみならず英文学の本質を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	文学の目的、古典の本質とその読み方、内容と文体の問題、及び読書法等を年間を通してできるかぎり読み進める予定。
履修上の留意点	演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。
成績評価の方法	年 2 回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。
教科書	英文ベネット『文学案内』（英宝社）1,500円位。
参考書等	授業時に指示する。
その他	参考資料のプリントを時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 1 必	2

講義のねらい

This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of practical listening exercises, and/or short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.

成績評価の方法

Attendance, participation in class activities, speech and / or recitation, two tests (one at the end of each semester).

教 科 書

教材は教室にて配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	レイン, R. V.	英米文 1 必	2

講義のねらい

This class will provide students with the opportunity to improve their speaking ability with an emphasis on the usage of American idioms in a conversational context.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of two parts. The first[approximately 30 minutes]consists of drill activities of basic language patterns based on handouts provided by the teacher. The second[approximately an hour]consists of activities derived from the textbook. Here students will work both individually and in pairs creating stories using idioms from the text and making class presentations of both original stories and advertisements using American idioms.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes[approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded regularly during the year on both the drill activities and class presentations. Additionally, there will be an exam at the conclusion of each semester on the idioms studied from the textbook. Excessive absences will have a negative effect on the student's grade.

教 科 書

*The Idiom Advantage* by Dana Watkins. Addison-Wesley Publishers

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Martin, Steven Franklin (マーティン, S. F.)	英米文 1 必	2

講義のねらい	This class is designed to allow students to access and build upon existing knowledge of the English language and culture through task-based listening and speaking activities.
講義の内容・授業スケジュール	Students are expected to engage in activities using pair work, group work, and individual speaking. The class approach is heavily biased toward psychological analysis and humanistic, values clarification-type exercises drawing on the personal lives of the students.
履修上の留意点	This is a low-pressure, no-pressure class, so I want you to enjoy playing with ideas and English.
成績評価の方法	Student Evaluation will be based on attendance, class performance, occasional homework, and occasional quizzes.
教科書	<i>Getting By-Basic Conversations for Communication</i> by Diane Nagatomo, Kinseido Ltd., ISBN : 4-7647-3634-9 The textbook will be used for the first half of the year, but is primarily chosen as reference material for those students who plan on travelling to an English speaking country.
参考書等	A variety of games, music, literature, and newspaper, video, and radio derived materials will be used in addition to the text.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品講読 II	かわ 河 さき 崎 まさ 征 とし 俊	英米文 2 必	2

講義のねらい	Virginia Woolf の <i>To the Lighthouse</i> を読みながら、現代英語文学の本質を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	現代英語の小説の手法（特に女性文学者）はどのような特質をもっているのか、また、それは所謂「偉大な伝統」の流れの中でどのような位置を占めているのか、この授業ではこのような問題を中心に考えながら現代英文学の読み方を習得していく予定。
履修上の留意点	演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。
成績評価の方法	年 2 回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。
教科書	英文『灯台へ』（南雲堂）1,500円位
参考書等	授業時に時々指示する。
その他	参考資料をプリントを数回配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品講読Ⅱ	佐藤千春	英米文2必	2

## 講義のねらい

アメリカ文学史で扱われている作家の作品を講読するが、作家および作品は、その年度により異なるし、また扱う作家も複数の時もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

作品の精読、内容の分析・解釈・他の作家の作品との比較などを織りまぜる。

## 履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時内における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。

## 成績評価の方法

「履修上の留意点」での注意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。

## 教科書

テキスト、参考書、その他注意すべきことは、授業開講時および授業内において連絡、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品講読Ⅱ	中岡洋	英米文2必	2

## 講義のねらい

何を讀んだか後になってもわかるような英語作品の読み方をすることがねらい。論語読みの論語知らずにならないように、作品がきちんと記憶されるように勉強してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には19世紀作家 Anne Brontë の *Agnes Grey* (1847) を教材にして学生が順次順番を決めて一ページ一ページ読み進む。一年間で一作品を最初から最後まで完全に読み終えたいと思っている。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。

## 成績評価の方法

出席回数と試験の成果と受講態度によって評価する。

## 教科書

Anne Brontë, *Agnes Grey* (大阪教育図書、1999)

## 参考書等

その都度教場で指示する。

## その他

特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読Ⅱ	あづま 東 ゆう いら ろう 雄 一 郎	英米文2必	2

講義のねらい

読解力の養成、向上をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回、3～4人の発表者に発表してもらう。アメリカの短篇小説、Isaac Asimov, Gina Berriault, Ernest Haycox, Shirley Jackson, Joyce Carol Oates, Kurt Vonnegut, Narman Rush等の作品を精読する。通年で、約140頁程の英文を読む。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に参加すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

前期、後期試験の結果、小レポート、発表内容をもって評価する。

教科書

*American Short Stories of Today* (南雲堂ペンギン)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Blanken, David L. (ブランケン, D. L.)	英米文 2 必	2

## 講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings – they will record themselves in various speaking situations – and conversation with the instructor.

 講義の内容・  
授業スケジュール

The schedule will be as follows. :

Spring Semester

Fall Semester

Week 1 : Vetting of student oral proficiency	Fall Semester overview
Wks 2 & 3 : <i>English on the Move</i> (EOM), Unit 1	EOM, Unit 5
Wks 4 & 5 : EOM, Unit 2	EOM, Unit 6
Wks 6 & 7 : Outside material & activities (1)	EOM, Unit 7
Wks 8 & 9 : EOM, Unit 3	Outside material & activities (3)
Wks 10 & 11 : EOM, Unit 4	EOM, Unit 8
Wks 11 & 12 : Outside material & activities (2)	EOM, Unit 9
Week 13 : Book check : makeup work	Book Check : makeup work
Week 14 : Final Examination	Final Examination

## 履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, *English on the Move*. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text : it will take the form of puzzles, games, music and simple reading-and-speaking activities. The presentation of *English on the Move* will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the *Schedule for the Semester*. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non-sequential. The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course : students are obliged to prepare and perform the latter.

## 成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria : (1) classwork, using *English on the Move* : 30% ; (2) classwork, using supplemental materials : 20% ; (3) attendance and weekly speaking performance : 30% ; and final Examination : 20%

## 教 科 書

Name : *English on the Move*  
 Authors : Baxter and Pustulka  
 Publisher : Metropolitan English Publications, 1999  
 Price : 2,200円

## 参 考 書 等

A suitable English-English dictionary is strongly recommended, but not required : the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.



科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 2 必	2

講義のねらい	This course will be based on developing practical speaking skills and listening comprehension for the intermediate level student.
講義の内容・授業スケジュール	Each class will consist of listening exercises and videos on related topics, followed by conversation practice and discussions related to cultural studies topics.
成績評価の方法	Class participation, attendance, punctuality, and two tests
教科書	教材は教室にて配布する。
その他	ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文 2 必	2

講義のねらい	This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level II or III tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.
講義の内容・授業スケジュール	<p>In the first semester (class periods 1-12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.</p> <p>In the second semester (class periods 13-24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for such tests as the EIKEN level II or III.</p>
履修上の留意点	Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2).
教科書	No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学概論	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文2必	4

講義のねらい

English Linguistics と English Philology のさまざまな研究分野に関する基礎的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

1. Outline of the History of English Language (英語史概説)
2. Words
  - a) Defining words
  - b) Combinations of words
  - c) Words in action
3. Sounds
  - a) Phonetics
  - b) Phonology
  - c) Sounds in action
4. Sentences
  - a) Some word classes in English
  - b) Analysing sentence structure
  - c) Grammar in action
5. Texts and conversations
  - a) Text analysis
  - b) Conversation analysis

成績評価の方法

12月の試験（小テスト）と学年末試験の成績で評価する。

教科書

Joanne Kenworthy 著『現代英語学概説』(*Language in Action*, ロングマン社・英潮社) 2,800円

参考書等

英語学事典および各研究分野に関する参考書は、講義の進行に合わせて、教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	たか の まさ お 高 野 正 夫	英米文2必	4

講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	あずま とう ちゅう いちろう 東 雄 一 郎	英米文 2 必	4

講義のねらい	英作文の基礎力を養成する。単なる和文英訳にならないように、日英両語の発想の相違にも配慮する。
講義の内容・授業スケジュール	ミニ・エッセイを読み、イデオムの使い方を考え、より英語らしい表現ができるように練習してもらう。
履修上の留意点	必ず予習をして参加すること。
成績評価の方法	通年、前期・後期 2回の試験の結果、小テスト、小レポートをもって評価する。授業への欠席日数の多い者は評価を下さない。
教科書	『役に立つ! 語英作文』(南雲堂) 1,600円程
参考書等	中英和辞典、英英辞典 (いずれの出版社のものでも可) を必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文 2 必	4

講義のねらい	この授業で扱う英文はすべて日常会話のものばかりである。いわゆる書き言葉なるものは一つとしてない。口語英作文と考えてもらえばよい。初めに基本となる表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程の短い文を与え、基本が身についているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し英語訳を行う。この授業で扱う表現はすべて実際の会話に役立つものばかりである。できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現ができるようになること、これが授業のねらいと目的である。
講義の内容・授業スケジュール	下記にあげるテキストの Part I より始める。それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressions の説明、及びテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明して行く。この後はすべて学生諸君に 1問ずつ質問に答えてもらう。Writing Practice はあらかじめあておくので準備をし、板書してもらう。
履修上の留意点	授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。
成績評価の方法	毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。
教科書	<i>The Road from Writing to Speaking</i> 『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂)
参考書等	授業内にて紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	かわ さき まさ とし 河 崎 征 俊	英米文2必	4

## 講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

## 履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的に意欲的な授業への参加が求められる。

## 成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

## 教科書

中内正夫『新実用英作文』（南雲堂）1,300円位

## 参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学史	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文2・3選必	4

## 講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点を絞り、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

## 履修上の留意点

講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

## 成績評価の方法

毎回ではないが出席をとる。場合によってはレポートの課題も与え、期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。

## 教科書

井上謙治編『アメリカ文学史入門』（創元社）

## 参考書等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史 I	かわ 河 崎 征 俊 <small>がわ さき まさ とし</small>	英米文2・3選必	4

講義のねらい

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義は次のような順序で行う。
- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
  - (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
  - (3) 中世後期の文学の内容と特質
  - (4) チョーサー文学
  - (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
  - (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
  - (7) シェイクスピア文学
  - (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
  - (9) ジョン・ダン文学
  - (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
  - (11) ジョン・ミルトン文学
  - (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
  - (13) 新古典主義文学
  - (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
  - (15) アレキサンダー・ポープ文学
  - (19) 市民社会と小説の隆盛
  - (20) 18世紀後半の文学の内容と特質
  - (21) ロマン主義文学への曙光

履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけでなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書・参考書等

教科書：『英米文学史概要』（成美堂）2,500円  
参考書については、授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

そ の 他

参考資料を時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史Ⅱ	なか 中 岡 ひろし 洋	英米文2・3選必	4

## 講義のねらい

ロマン主義文学以降のイギリス文学の歴史をたどり、時代や社会の価値観を知って、歴史的感覚を養うとともに、教養を深め、資質を向上させることをねらいとする。

 講義の内容・  
授業スケジュール

ロマン主義の台頭から現代まで、約250年間イギリスの文学がたどってきた歴史を跡づけ、歴史のうねりを広範囲に取り扱う。それは社会そのものの動きであり、変化である。文学は時代・社会の反映であり、人間は時代の子であらざるを得ず、文学がその如実な表現であることを知るようになる。

具体的にはロマン主義の黎明期から取り扱う。まず Romantic Revival といわれる所以を説明し、それがさらに大きな歴史のうねりの一部であることを理解し、William Wordsworth (1770-1850) をはじめとする湖畔派詩人から、George Gordon Byron (1788-1824) らのきらびやかなイギリス詩人たちについて語る。またいかにして Realism が生まれてきたかを、小説の発生から Jane Austen (1775-1817) へ、さらにロマンティックな趣をたたえる小説の歴史を Sir Walter Scott (1771-1832) から Charlotte Brontë (1816-55) らの姉妹へと語っていく。ウィクトリア朝作家・詩人として Charles Dickens (1812-70)、William Makepeace Thackeray (1811-63)、Alfred Lord Tennyson (1809-92)、Robert Browning (1812-89) らの巨匠たちを調べた後は、George Eliot (1819-80) の近代小説の始まりについて語り、ラファエロ前派から象徴主義へ移り、世紀末の Oscar Wilde (1854-1900) の唯美主義について語り継ぐ。Wilde は小説、童話、戯曲、エッセイを書き、世紀末の文学を代表する。William Butler Yeats (1865-1939)、Lady Isabella Augusta Gregory (1852-1932)、John Millington Synge (1871-1909)、Sean O'Casey (1880-1964) らの Irish Renaissance が起こり、イギリスの美意識はよりゆたかになった。また Thomas Hardy (1840-1928)、Henry James (1843-1916) らの小説は世紀末を越えて、20世紀文学に引き継がれ、Joseph Conrad (1857-1924)、Herbert George Wells (1866-1946)、John Galsworthy (1867-1933)、Arnold Bennett (1867-1931)、Edward Morgan Forster (1879-1970) の小説の展開を述べ、やがて James Joyce (1882-1941)、Virginia Woolf (1882-1941)、David Herbert Lawrence (1885-1930) らの「意識の流れ」小説に繋ぐ。詩歌の面では Georgian Poets、Imagists らの登場、Thomas Stearns Eliot (1888-1965) の詩的革命について語る。二度の大戦と絡みながら Auden Group の活躍、演劇の面では一大金字塔 Bernard Shaw (1856-1950) の出現と、それに続く傑出した多くの劇作家について語り、社会問題意識を明らかにする。時代の先端を走り、戦争の苦しい時代を生きのびたイギリス文学は着々とその富を蓄え、Aldus Huxley (1894-1963)、George Orwell (1903-1950)、Graham Greene (1904-91)、Edith Sitwell (1887-1964)、Dylan Thomas (1914-1953)、John Boynton Priestley (1894-1984) らの文人について語る。第2次世界大戦後の「怒れる若者たち」(Angry Young Men) は時代の歪みに対して激しく抵抗し、Kingsley Amis (1922-95) の Lucky Jim (1954)、John Osborne (1929-94) の Look Back in Anger (1956) は戦後の価値観の変化を実感的に写し取り、当時の社会を代表した。その後こうした伝統と変化は Philip Larkin (1922-85)、John Wain (1925-94)、Ted Hughes (1930- ), Seamus Heaney (1939- ) らを生み出した。次に Muriel Spark (1918- ), Doris Lessing (1919- ), Iris Murdoch (1919- ), Edna O'Brien (1932- ), Margaret Drabble (1939- ), Susan Hill (1942- ) らの女性作家、William Golding (1911-93)、Lawrence Durrell (1912- ), Anthony Burgess (1917-93) らの新風と、Samuel Beckett (1906-89)、Harold Pinter (1930- ), Arnold Wesker (1932- ) の新しい劇について講ずる。

## 履修上の留意点

受講学生は出席に励み、まじめに受講し、知識が知恵となるよう真剣に勉強してほしい。

## 成績評価の方法

出席回数、受講態度、授業への積極的参加、および各種レポートや学年末における試験によって習熟度を測り、評価する。決して試験の結果のみにて判定することはない。

## 教科書

『イギリス文学史』(大阪教育図書) 2,500円

## 参考書等

イギリス文学史については各種の参考書があり、枚挙にいとまがない。従って教場で適宜指摘するので、聞きもらさないよう注意すること。それぞれの作品についても同様であるのでその都度必要な書物は読むように心がけること。

## その他

授業は発表形式でおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 史	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3必	4

## 講義のねらい

世界の人々をつなぐコミュニケーションの手段としての英語は、万国共通の国際語として、その地位を実質的に確立している。したがって、国際社会で活躍するためには、英語の運用能力に堪能になる必要があって、その基礎として、英語史の正確な知識は不可欠である。この講義では、今や世界語になりつつある英語の生成発展過程や、語彙と構造と発音の歴史的变化を、文化史、文学史、社会史などを背景にすえて明らかにし、国際交流に役立てる英語の実力養成の一助としたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

英語の語形、音韻、語彙、辞書などの歴史を、Old English, Middle English, Early Modern English, English Around the World に大別し、戯曲、詩歌、演説、小説、随筆、日記、手紙などを材料にして考察する。主な講義内容は下記の通り。

1. From Runes to Printing
2. Old English (*Beowulf*)
3. Middle English (Geoffrey Chaucer)
4. Shakespeare's English
5. The Authorized Version
6. Dr. Johnson's Dictionary
7. The Older Scottish Tongue
8. The Language of Old Ireland
9. Noah Webster's Dictionary
10. Cockney
11. Yinglish (Yiddish and English)
12. British and American English
13. English around the World
14. English Today

## 履修上の留意点

*The Oxford English Dictionary* (O. E. D.) をはじめ、*Webster's Third International Dictionary* ほか、多くの英語辞書や参考書を駆使して、英語史や英語学や音声学の世界へ、少しでも深く踏み込むための興味を喚起し、基礎を養いたい。

## 成績評価の方法

前期の最終講義と学年末試験の2回の試験の結果で評価する。

## 教 科 書

Gary Buck 著、*The History of the English Language in Simplified English*. (英潮社) 1,300円

## 参 考 書 等

Heiner Gillmeister 著、小野茂訳『英語史の基礎知識』〔SERVICE〕(開文社出版) 1,200円  
 Gerry Knowles 著、小野茂・小野恭子訳『文化史的にみた英語史』(*A Cultural History of English Language*) (開文社) 2,000円  
 David Crystal 著、久保内端郎・山縣宏光・馬場彰・編注『クリスタル：英語史入門 (*The History of English*)』(金星堂) 2,700円  
 R. W. パーチフィールド著、加藤知己訳『オックスフォード英語史概論』(オックスフォード大学出版局) 2,800円  
 ロバート・マクラム他著／岩崎春雄他訳『英語物語 (*The Story of English*)』(文芸春秋)  
 R. McCrum 他著、*The Story of English* [Special Complete Edition] (マクミラン・ランゲージハウス) 1,650円

## そ の 他

例文の朗読に英米の専門家や俳優の録音テープを、必要に応じて使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	いし 石 原 孝 哉	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

シェイクスピアを中心に、ルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。

## 講義の内容・授業スケジュール

主として取り上げる内容は、① 神話と文学 ② 文学の源流 ③ 詩・民話・劇 ④ ルネッサンスと新学問 ⑤ トマス・モアと新しい流れ ⑥ エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦ クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ ウィリアム・シェイクスピアの世界Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ ⑨ シェイクスピアと歴史Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ⑩ イギリスの文化（歴史と文学を中心に）

## 成績評価の方法

期末試験およびレポートで評価する。

## 教科書

『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たか の まさ お 高 野 正 夫	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

## 成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

## 教科書

教場にて指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おが ざき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おが ひろし 中 岡 洋	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講 V	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。
講義の内容・授業スケジュール	講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。
履修上の留意点	積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。
成績評価の方法	レポートと試験。
教科書	コピーを配布する。
参考書等	適宜指定する。
その他	講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 VI	丸 小 哲 雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自律していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあつて、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

- イ) *Elements of fiction* by R.Scholes (英宝社)
- ロ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』(英宝社)
- ハ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

参 考 書 等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』(ミネルヴァ書房)
- ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』(ミネルヴァ書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ)	おちろ あい かず あき 落 合 和 昭	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Shirley Jackson (1919-65)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947- )、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930- )である。

## 履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

## 成績評価の方法

定期試験ではなく、前期二回、後期二回の課題やその他の合計で評価する。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）

## 教 科 書

- 1) 『演劇用語辞典』マクミラン 3,300円
- 2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 演 習 (イギリス・アメリカ)	おう み あき ひさ 逢 見 明 久	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

1950年代以降の映画化されている現代英米演劇の作品を取り上げる予定。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期に2作、後期に2作を扱う予定。

## 成績評価の方法

各々の作品に関するレポートの内容と、授業中における発言や発表の結果から判断。

## 教 科 書

開講時に指示。

## そ の 他

まず、劇作品を読み物としてではなく、生身の人間が演じる芝居としてとらえるために、台詞を分担して原語でテキストの読み合わせをすることから始めます。その後、各々が発見した作品に関する疑問点を全員で討論します。こうして各々の視点から戯曲に託された原作者の意図を解釈した上で、映画版において原作が如何に演出されているか詳細な映像分析を試み、映画監督の作品解釈を読み取ることを実践します。その結果、各自が最終的に到達した作品解釈をレポートとして提出しなければなりません。

教室での読み合わせや討論を充実させるには、事前に作品を綿密に読み込む姿勢が大切です。また、欠席は言うまでもなく、望ましくありません。それは芝居の途中で居眠りをするのと同じ行為です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講 I	あづま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand 等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

## 教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

## 参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講 II	すぎ 杉 うら 浦 さん 銀 さく 策	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

アメリカの歴史と文学に大きな影を落としているものは、人種問題である。したがってこの講義では「アメリカ文学における黒人像」と題して、主として小説の分野で黒人がどのように描かれてきたかについて検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- a) アメリカの歴史における黒人奴隷制の成立。
- b) ヴァージニア州に起こった Nat Turner の反乱 (1831) を頂点とする一連の黒人奴隷の暴動。
- c) 黒人奴隷の反乱をもたらした波紋を中心に Edgar Allan Poe, *The Narrative of Arthur Gordon Pym* (1838), Herman Melville, "Benito Cereno," (1855), Arna Bontemps, *Black Thunder* (1936), William Styron, *The Confessions of Nat Turner* (1967) 等について。
- c) 黒人奴隷解放の文学的原動力となった Mrs. Stowe, *Uncle Tom's Cabin* (1852) について。
- d) Mark Twain, *Adventures of Huckleberry Finn* (1884 ; 1885) および *The Tragedy of Pudd'n-head Wilson* (1894) における黒人像
- e) William Faulkner におけるアメリカ深南部の黒人問題。
- f) 黒人文学をはじめて文学史の主流近くまで高めた Richard Wright, *Native Son* (1940)
- h) Toni Morrison を中心とした現代黒人女流作家。

## 成績評価の方法

出席および試験。

## 教 科 書

プリント配布。

## 参 考 書 等

教場にて紹介する。

## そ の 他

授業方法は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	かわ 川 崎 笑 佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	Mark Twain の作品を読み、歴史的背景等を考慮に入れつつ、その作風、思想を探っていく。
講義の内容・授業スケジュール	ディスカッション形式で授業を行う。又、毎回数名の学生に発表してもらう。
履修上の留意点	予習を前提に授業を進める。
成績評価の方法	積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言や小レポートを平常点とし、前期・後期あわせて2回のレポートを加えて、年間の評価とする。
教科書	『The Higher Animals』（北星堂書店）1,500円
参考書等	必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	すぎ 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	アメリカ文学における批評。
講義の内容・授業スケジュール	アメリカ文学史におけるピューリタニズム、ロマン主義、リアリズム、自然主義、モダニズム、ポストモダニズム等の概念について西欧文学との対比において講義を行い、同時にニュー・クリティシズムおよびデコンストラクションについても解説する。
成績評価の方法	成績評価の方法は出席と試験。
教科書	教科書はなし。必要に応じてプリント配布。
参考書等	教場にて指定する。
その他	授業の方法は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講 V	すぎ 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	アメリカ文学における古典の名作を歴史的に順を追って解説することによって受講者諸君に文学史的潮流を把握してもらうのが狙い。
講義の内容・授業スケジュール	取り上げる作家は Nathaniel Hawthorne, Herman Melville, Henry James, Stephen Crane, Theodore Dreiser, Ernest Hemingway, Bernard Malamad, Thomas Pynchon 等々。
履修上の留意点	受講者は翻訳で作品を読んでおくことが望まれる。
成績評価の方法	出席および試験。
教科書	原文引用のコピーを配布。
参考書等	教場で紹介する。
その他	授業方法は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習 I	ふじ 富士 川 義 之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	Thomas Hardy から Ted Hughes や Seamus Heaney まで、20世紀イギリス詩の中から、その最も代表的なものを厳選して読む予定。比較的やさしい詩を中心にできるだけイギリス現代詩に親んでもらうことを目標とする。伝記的な事実や文化的背景についてもふれる20世紀イギリス詩入門風な授業になるだろう。
講義の内容・授業スケジュール	精読が中心になるが、きちんと予習し、自分の意見や感想を発表できるようにしてほしい。
履修上の留意点	辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。
成績評価の方法	レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。
教科書・参考書等	<i>Modern English Poetry</i> (開文社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅱ	たかの まさお 高野正夫	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

18世紀の英詩においては主に二つの流れがあった。ひとつは、ポープやジョンソンなどの古典主義の伝統を受け継いだ Augustan Age の詩人たちであり、もうひとつは、このような古典主義から脱して、人間的感情を回復しようとした、いわば Romanticism への移行期の詩人とも言える、グレイ、クーパー、コリンズなどの非伝統的詩人たちである。このまったく対照的な詩を生み出した18世紀の詩人の作品を中心に読む予定です。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。

## 教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅲ	あし ざわ ひさえ 芦澤久江	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

詩歌を鑑賞し、人間のより豊かな情緒を養い、知性をより高めることを目標とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

ブレイクをはじめとするロマン派黎明期の詩人たちやワーズワース、コウルリッジ、サウジー、バイロン、シェリー、キーツなどの燦然たるイギリス詩人たちの作品を取り上げ、鑑賞する。

## 履修上の留意点

授業に積極的に参加することを期待する。

## 成績評価の方法

出席日数、日頃の授業態度とともに、朗読テスト、レポートなどによって総合的に判断し評価する。

## 教科書

鳥海久義編『*Selected Poems*』（開文社）

## 参考書等

必要に応じて指示する。

## その他

講義を中心として、必要に応じて学生の発表も行う。



科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習Ⅳ	増田恵子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

19世紀イギリスの散文作品を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

## 講義の内容・授業スケジュール

単語をきちんと調べたうえで、音読と独自の訳をせよ。また作家や作品、時代背景についても予習し、自分の意見を発表できるようにしておくことが望ましい。

## 履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。

## 成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

## 教科書

Elizabeth Gaskell, *The Life of Charlotte Brontë* (Penguin Classics)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習Ⅴ	富士川義之	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

イギリスの現代作家の短篇小説を読みながら文章を正確に読みとる訓練をしたい。いずれも粒よりの短篇ばかりで、内容面でも読みごたえがあり、おそらく語学的にも相当骨の折れることがあるかもしれない。だが、たとえ少々歯ごたえがあっても投げ出さず、辞書と知性と想像力を十分に活用して積極的に読解に挑んでほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、作家と作品などについて折りにふれて説明する。

## 履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

## 成績評価の方法

レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。

## 教科書・参考書

富士川義之・松村伸一編 *The Prophet's Hair and Other Stories* (英宝社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅰ	かわ さま こう た ろう 川 崎 浩 太 郎	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

アメリカ詩の全体的な流れを把握すること、および、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。また、詩とは何かについてクラス全体で考えていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間ごとに二編ほど選んで、2～3人のグループで発表してもらう。発表者にはまず、作家についての説明、その作品が書かれた時代背景等を説明してもらった上で、作品の音読と自分なりの訳をし、いくつかの問題点をあげてもらう。その問題についてクラスで話し合っていく。作品は、ピューリタンの詩から、ポストモダンの詩まで、時代順に扱って行くつもりである。授業中に読んだ作品から一編を選び400字詰め原稿用紙5枚ほどのレポートを前期と後期の最後に提出してもらう。

## 履修上の留意点

アメリカ文学のおおよその流れを把握していることが望ましい。

## 成績評価の方法

年2回のレポートと、授業中の発表をもとに評価する。

## 教科書

こちらでプリントを用意する。

## 参考書等

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社出版）2,200円  
『アメリカ名詩選』（岩波文庫）670円

## その他

授業は基本的に、議論を中心に進めて行くつもりなので、活発な発言を期待している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅱ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

1980年代のコンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。本年度は下記の作品も学習する。William Gibson.  
また、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッドをジャンル別に学ぶ。

## 成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

## 教科書

プリントを配布する。

## その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅲ	かわ 崎 笑 佳 川 崎 笑 佳	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

J. D. Salinger の短編をいくつか講読し、それぞれの作品を通して作家の思想や作風、時代精神等を考察する。

## 講義の内容・授業スケジュール

毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらう。その際、重要と思われる箇所や疑問点等について発表してもらい、それらについて皆で考えていく。また、各作品を読み終える毎にレポートを提出してもらう。

## 履修上の留意点

単語の意味等を辞書で確認するのは勿論、内容を吟味して授業に臨むこと。

## 成績評価の方法

授業態度（授業中の発表）とレポートをもとに評価する。

## 教科書

『The Laughing Man and Other Short Stories』（南雲堂）1,400円

## 参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅳ	こ 古 富 猛 古 富 猛	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

ここ2・3年、主にフォークナーについて授業を行なってきたが、私はかねがねアメリカが背負っている歴史的事実、それが持っている重大性を考え直してみたいと思っていた。つまり、時代的必然性を強調して、その正当化を計ってきたアメリカ・インディアンの問題である。ネイティブという表現に固執するとエスキモーも入れなければならないので、ここではインディアンと呼ばせてもらいたい。

その悲劇性はあまりにも深く、良心的アングロ・サクソンも告発するのをたじろがざるを得ない。そのために事実ねじまげられ、インディアンは野蛮で、文明的ヨーロッパ人が成敗してやったのだという説が、60年代くらいまでまんえんしていた。70年代から主にハリウッドにより野蛮なのは白人側もそうであったという考えが登場し、それまで封印されていた事実にもメスを入れる動きが出てきた。そのことは映画のみでなく、当然文学の世界でも必要ではないかと思われる。

日本では資料が少なく大変であるが、その問題を念頭にフォークナーばかりでなく、他の作家がいかに関わったか考えてみたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

上記の問題に触れている作家の作品を発表形式で進めてゆきたい。

## 履修上の留意点

日頃より、我々の生活の中にいかにマイノリティ文化への回帰、あこがれ、またそれに癒しを求めているか注意してもらいたい。

## 成績評価の方法

主に発表により評価したいが、適宜ペーパーテスト・レポート等も加味する。

## 教科書

*Three Famous Short Stories* by William Faulkner VINTAGE BOOKS (1,300円)  
(プリントを併用します。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習 V	川崎笑佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることもあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

教科書

『Contemporary American Short Stories』（南雲堂）1,400円

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。media studiesのメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 英 語	まろ い やすし 町 井 靖	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファー、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラ テ ン 語	さ とう く み こ 佐 藤 玖 美 子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進度に従って、簡単な物語りの講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教科書

松本悦法著『ラテン語入門』（駿河台出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への(特に近代以降の欧米文化)影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学(例えばヘッセの『車輪の下』)でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいため、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』(大修館書店)1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 文 化	ひろ <small>ひろ</small> かわ <small>かわ</small> 治 <small>おまむ</small>	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

主に映画、演劇を通して英米の文化の諸相を学ぶ。可能な限り多くの映画や演劇をレポートを通じて見て視野を広げてもらいたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を講義内容の予定とするが、受講者の知識や興味、あるいは上映になる映画や上演される舞台など、東京で見ることのできる様々な英米関連のイベントや作品に応じて、講義内容は追加、変更していく。

- ・イギリス王室の歴史と映画
- ・アメリカ大統領の映画
- ・映画に見る英米の主要都市、地域文化
- ・Shakespeare 劇の上演と映画化
- ・ロンドン、ブロードウェイの現代演劇、ミュージカル
- ・英米のロック、ポップスのアーティスト
- ・英米文化の背景として重要な聖書とギリシア神話、およびそれらの映画化
- ・'99年度アカデミー賞受賞式
- ・20世紀の名作・名監督・名優を振り返る

## 履修上の留意点

初回の授業でレポートの課題や提出の方法、成績等について説明するので必ず出席すること。4月の授業内で必ず履修の許可を得た上、登録すること。

## 成績評価の方法

レポートを中心に評価する。詳細は授業内にて説明する。

## 教 科 書

プリント配布の予定

## 参 考 書 等

授業内に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 文 学	くり <small>くり</small> はら <small>はら</small> かず <small>かず</small> のぶ <small>のぶ</small> 修	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

近年、洋の東西を問わず「メルヒェン」は文学及び文学研究の一ジャンルとして定着しています。メルヒェンは、おもしろく楽しいというだけでなく、人間や社会の深層にひそむ思いがけない実体を映し出しているものと考えられています。現在、文学、心理学、民俗学、教育学、宗教学等のさまざまな分野でメルヒェン研究がつけられています。今年度はドイツのグリム兄弟の「メルヒェン(昔話)」を中心に、ヨーロッパや日本のメルヒェンについてもオリジナルをもとに具体的な事例をあげながら講義をすすめていきます。できれば、すべて一方的な講義ではなく、時として受講生が積極的に発言する討論の場がもてればよいと思っています。

## 成績評価の方法

成績評価については、学期末試験(筆記試験)と夏休みのレポート、豆テスト等を考えています。

## 教 科 書

特定の教科書は使用せず、資料は必要に応じて教場で配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 思 想 史	あき お たか し 麻 生 享 志	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、より深い専門的な読書に向かうために、きっかけや興味を持ち、基本的な能力を得ることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、哲学だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から1950年頃までを予定します。

履修上の留意点

聴講者全員に、2週目の講義（初回）において、英米（広く英語圏で可）の思想関係の著述家の内から、関心のある人を一名（ないしそれ以上）あげ、その思想内容について論じてもらいますので、そのための準備を（出来るだけ早期から）しておいて下さい。

後半に演習形式を採った場合に、積極的に取り組む意欲のある学生を希望します。

成績評価の方法

単位取得の必須条件は、夏休み前最終授業への出席と、レポートの提出です。そして、平常点（出席・授業時間内に書いた文章）と、年度末のレポートにて評価します。また、講義途中で発表を行った場合などにレポートの免除をすることがあります。

教科書

教科書はありません。

参考書等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

その他

前半は、哲学史に思想史の方法論を加味した講義を行います。後半では、希望者による発表を中心とした演習形式を採りますが、希望人数が少なければその分は講義とします。（発表者予定は、夏休み前の最終授業において決定します。）

初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代美術	矢野陽子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	現代美術、すなわち20世紀の美術においてはかつてないほど大胆で革新的な活動が展開されてきた。この授業では、現代美術の多様な動向について、主要な芸術家と作品を紹介しながら、それらのもつ意味や周囲に与えた影響などを考察していく。美術は同時代の社会と共に存在するものであり、したがって美術は戦争、機械文明の著しい発展、マスメディアの発達、大量消費型の生活といった現代社会と深く関わっている。現代美術を知ることは、今日の社会を考えるのに大きな示唆を考えてくれるのである。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、20世紀美術のバックグラウンドである19世紀後半の美術から始めていく。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に、後期はシュルレアリスムやポップアートなどを取り上げる。
履修上の留意点	美術館や展覧会に行ったり、画集、テレビなどを通して、現代美術に積極的に触れてほしい。
成績評価の方法	前期のレポートと後期の定期試験、出席等を総合して評価する予定。
参考書等	美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円
その他	授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史Ⅰ	ひろせ りょうこう 廣瀬良弘	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 送 英 語	おお ぼ なお き 大 庭 直 樹	英米文3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

このクラスでは、前半はネットで流れている「大庭直樹のホームページ」(www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/gaikoku.html)上の「Lecture notes 2000」に従って課題をこなしていく。後半は、コンピュータとLLを駆使したCALLシステムを使って、マルチメディアによる英語を学ぶ。前半における第一の課題は、インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶことである。世界中の最新の報道(CNN、New York Times)をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく(例えば、ニュース・サイト Patherfinder (<http://pathfinder.com/>)にあるTime誌、アメリカの日刊紙 USA Today, New York Times, あるいはエンターテインメント・サイト (<http://www.imdb.com/>)にある映画のデータベース、そしてCNN ニュースなど)。ネット・サーフィンで大切なことは、インターネットを一人歩きし、必要な情報探索ができるようにすることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を日本語や英語で要約する訓練をする。

次の課題は、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。そして、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題に挑むことができる。

後半は、最新の語学設備、CALLシステムを使って、実際の状況を疑似体験しながら、英語を話す力、理解する力を身につけていく。教材としては、外国の報道番組、映画、英会話教材を利用するが、これらはすべて、自分のフロッピーデスク、カセットテープにダウンロードして補習しなければならない。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度 of ドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

教 科 書

受講者が購入するものは教場で指示する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室(朝9時より夜9時まで開館)で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文 演 習	<small>あずま</small> 東 <small>ゆう いち ろう</small> 雄 一 郎	英米文3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

これまでに培った「読む・書く能力」をベースに、さらに高度な内容や多様な状況に対応できる自己表現能力の養成を狙いとする。「パラグラフ・ライティング」のアプローチ、「文章展開の方法」、「書くプロセス」のノウハウを重視する。受講者（履修者）は必ず予習をして授業に参加すること。成績評価は、通年、2回の試験の結果、小テスト、小レポートをもって下す。欠席日数の多い者は評価対象としない。テキストは、『自己表現のためのライティング』（三修社、定価、1700円）。中英和辞典と英英辞典を必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文 演 習	<small>なか</small> 中 <small>おか</small> 岡 <small>ひろし</small> 洋	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

何をどう表現すればよいか、英語表現の形を習得するのがねらい。自分のなかの思想感情を自然な形の英語で表してみよう。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的にはテキストに従って問題をこなしていく。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。

## 成績評価の方法

出席回数と試験の成果と受講態度によって評価する。

## 教 科 書

『Brush Up 英作文』（大阪教育図書、1999）

## 参 考 書 等

その都度教場で指示する。

## そ の 他

特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学演習 I	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

英語音声学の演習を、Speech in Action の理論と実践を中心におこなう。前期は英語の Rhythm の研究 (Hearing から Speaking へ)、後期は Rhythm と Stress [Emphasis] の研究 (Speaking から Reading へ)。Public Reading と Public Speaking と Oral Interpretation の演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間、音声教材として、演説、演劇の名場面、映画シナリオの名場面、長篇小説の名場面、短篇小説、随筆、聖書などの抜粋集と、その録音資料を使って、リズムと強勢の研究をおこなう。

## 履修上の留意点

講義でなく、演習なので、毎時間、英文の効果的な音声表現法の実習をおこなう。英語を聞く力と英語音声表現法を探究し習得したい学生の参加を期待する。

## 成績評価の方法

平常の授業の発表とレポートの両方で評価する。学年末試験はおこなわない。

## 教科書

プリントを使用する。

## 参考書等

*Speech in Action*, by Karl F. Robinson and Charlotte Lee, Scott, Foresman and Company

## その他

Old English の *Beowulf* から Ronald Reagan の Second Inaugural Address まで、テープや LP に録音された資料を使ってリズムと強勢の分析をおこなう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学演習 I	ピアス, D.M.	英米文3・4選	4

## 講義のねらい

The members in this class are very special students ; this is an important opportunity to learn to speak English fluently. This course is career-oriented. The class is to prepare you for a life-time career as an English specialist : possibilities range over careers as English teachers, interpreters, translators, travel agents, television announcers, and international businessmen. It is presumed that, since the students of this class major in English-American literature, they plan to use English their whole lives in their work. Without the ability to speak English, no such English-related career is a real possibility. It is expected that the students who enter this class will make great efforts to improve their ability ; students will have to speak English for the full ninety minutes of every period. Very intensive practice will be focused on listening comprehension, composition, conversation, grammar, and reading, so that students who complete the course can make a very good impression with their English ability in employment interviews. It is also hoped that students will use this course in preparation for foreign travel, one-month intensive English programs overseas, and one-year overseas study programs.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学演習Ⅱ	すぎ 杉 浦 銀 策	英米文3・4選	4

講義のねらい	英語の文法構造のより深い理解によって英文解釈と和文英訳の正しい手掛かりを習得してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	英語の例文や練習問題を中心に授業を進めるので、毎回辞書を持参すること。
履修上の留意点	予習を怠らぬこと。
成績評価の方法	出席および試験。
教科書	教場にて指示する。
その他	授業方法は演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学演習Ⅲ	まち 町 だ 田 尚 子	英米文3・4選	4

講義のねらい	英語はどのような言語でしょうか。「英語の歴史は侵略 (invasion) の歴史である」といわれるのはなぜでしょうか。ヨーロッパの諸言語と比べ、語形変化でことばの約束事=文法を示すことがとても少なくなり、語順や助動詞、前置詞などの比重が高くなっています。語彙数は世界の言語の中で最も多い約50万語。その3割強が語属を異にするロマンス語のフランス語とラテン語からの借入です。借入による同義語の多さは、英語の表現力を豊かにすると同時に、微妙な使い分けを直感的に求めることにもなります。英語を母語としない外国人英語学習者にとって、これは厄介な問題です。また、英語を母語とする人たちも煩雑だと認める綴り字と発音の不一致はなぜ生じたのでしょうか。「ことばは変わる」という観点から英語の諸特徴を歴史的に考察します。
講義の内容・授業スケジュール	以下の項目を中心に進めていきます。 ①英語学、言語学の基礎知識の復習 ②英語の歴史的概観 ③語彙 (言語接触と借入)、文法、発音と綴り字、標準語と変異・方言などの問題の考察。 それぞれに最適の記述を下記参考書目から抜粋してハンドアウトとともに渡します。また、資料に基づく調査作業となる課題提出を前期・後期あわせて4回求める予定です。
成績評価の方法	授業中の担当発表、課題レポートの評価と定期試験の論述筆記試験成績で評価点を出します。
教科書	ハンドアウト・プリントコピー等
参考書等	Charles Barber, <i>The English language : a historical introduction</i> , Cambridge U. P. A. C. Baugh&T. Cable, <i>A History of the English Language</i> (4th edition) Routledge. N. F. Blake, <i>A History of the English Language</i> , Macmillan. David Crystal, 『クリスタル：英語史入門』金星堂。 Stanley Hussey, <i>The English Language : Structure &amp; Development</i> , Longman.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 V	Blanken, David L. (ブランケン, D. L.)	英米文3・4選	4

英  
米  
文

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (EIKEN) series. The specific goals are to (1) develop student aural-oral ability : (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability : and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・  
授業スケジュール

Spring Semester

Fall Semester

Week1 : TOEIC materials & methods  
Week2-6 : Presentation of topics : drills  
Week7 : Sample TOEIC Test 1  
Week8-12 : Presentation of topics : drills  
Week13 : Sample TOEIC Test 2  
Week14 : Analysis of test performance

TOEIC materials & methods  
Presentation of topics : drills  
Sample TOEIC Test 1  
Presentation of topics : drills  
Sample TOEIC Test 2  
Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30-45 minutes a day. Homework will be checked : the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week : reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEIC tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester or afterwards.

To the students : You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30-45 minutes each day is enough - you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows : (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25% : (2) classwork, attendance and performance, 25% : (3) homework, amount of exercises and readings done, 25% : and (4), test performance in terms of progress shown, 25%.

教 科 書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参 考 書 等

Materials : Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting.

Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Natusch, Barry A. (ナトウシュ, B. A.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・  
授業スケジュール

Warm Up Activities  
Students converse using simple telephone dialogues to practise listening, note taking, pronunciation and speaking skills. (Pair work)

Vocabulary Expansion  
Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)

Fluency Development  
Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)

Listening for Main Points  
Retelling a news item after 2-3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two oral presentation projects, two written tests at end of Semesters 1 and 2.

教 科 書

*Real Life Spoken English Series 2* (3 small workbooks)  
A Dictionary of Communicative Expressions(Nanundo)  
Photocopied materials will also be used.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

To provide the basic concepts and strategies for successful speech and communication in English.  
Students will learn basic delivery, structural, and organizational skills in six clear steps : 1.What, 2.Why, 3.How, 4.Practice, 5.Performance, 6.Evaluation. This approach allows students to make quick, visible improvements and gain confidence in speaking and giving presentations.

講義の内容・  
授業スケジュール

April : Introduction to the Physical Message/Posture and Eye Contact  
May : Informative Speaking Skills/Gestures  
June : Layout Skills/Voice Inflection  
July : Demonstrating Speaking Abilities  
September : The Story Message  
October : Being Persuasive 1 The Body  
November : Transitions and Sequencers/Being Persuasive 2  
December : Making Visual Aids/Explaining Visual Aids  
January : Demonstrating Speaking Abilities with Visual Aids

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class participation, and presentations.

教 科 書

*Speaking of Speech* by David Harrington and Charles LeBeau, Macmillan LanguageHouse



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year :

講義の内容・  
授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year : one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials : tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Lane, Ronald V. (レイン, R. V.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, formulate opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be provided with handouts of newspaper and magazine articles dealing with high-interest cultural issues. Students are expected to have read the handouts carefully before class such that during each class students will be able to discuss the content of the handout intelligently with direction and support from the instructor. At the conclusion of the discussion of each handout, students will prepare a short class presentation on a topic to be assigned by the instructor.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes[approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded regularly during the year on class preparation, participation and the quality of class presentations.

教 科 書

Handouts prepared by instructor

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	あづま 東 雄 一 郎	英米文3必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文4選	

講義のねらい

エミリー・ディキンソンの詩を読み、イマジスト (H. D., エズラ・パウンド、W. C. ウィリアムズ等) の詩人たちの作品へと進んでゆきます。第1次世界大戦 (1914-18) の前後から1920年代にかけて、新しい詩の変革運動が世界的規模でおこりました。パリのダダとシュールレアリスム、イタリアの未来派、そしてイギリスとアメリカではイマジズム運動がおこり、人々の注目を集めました。これらは、古い有機的な世界観の崩壊による必然的な再生運動で、この時代の芸術上のスローガンは、「更新」(“Make it new”) でした。19世紀の主観的なスタイルに対する反動としての即物的な表現の強調、精神的荒廃 (現代人の幻滅の意識・危機的な不安感) からの詩的出発とそこから脱出、定型の韻律によらない自由詩、没個性 (impersonality) の強調、これらはイマジズムの詩人たちに共通した詩的変革でしたが、その根は実はアメリカ土着のイマジスト、19世紀のディキンソンの中にありました。ホイットマンが歌ったあの有機的な世界観 (開拓者精神と民主主義の理念) が、ディキンソンには消滅していました。ディキンソンは、即物的で卑近なものの中に不滅を見ることから始めなければなりません。彼女は欠乏の美学を実践していました。エミリー・ディキンソンからイマジストたちのモダニズムへの流れを考え、論じてゆきます。有機的な世界観の崩壊は、here and now、現在にもおこっています。現在にとっての「更新」とは何でしょうか? テキストは、研究社小英文学叢書の『エミリー・ディキンソン詩抄』(新倉俊一解説注釈) を使用します。参考文献、『エミリー・ディキンソン評伝』(新倉俊一・鶴野ひろ子訳、国文社)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

英語文化ゼミナールの研究主題は、「シェイクスピアと聖書の英語」(Early Modern English)である。Shakespeare's *King Henry IV, Pt.1*と *The Holy Bible* (The King James Version) をテキストにして、朗読法を含めた英語学的研究、文学的研究、演劇的研究、映画化作品研究などをおこなう。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの語学的研究、夏休みにはリポート(400字10枚前後)の作成、後期はリポートの発表を中心にした共同研究をおこなう。

## 成績評価の方法

毎時間の発表とレポートと学年末試験の成績を総合して評価する。

## 教科書

市川三喜・嶺卓二注、*King Henry IV, Pt.1* (研究社詳注シェイクスピア双書)、2,233円。  
*The Holy Bible* (日本聖書協会、教文館他)

## 参考書等

*The Complete Works of Shakespeare* (Alexander Text), Collins.  
小田島雄志訳『シェイクスピア全集』(白水社)ほか

## その他

毎時間、発表形式で授業を進めるので、出席を重視する。ゼミ論集出版のため前期と後期に小論文を提出することになる。以上の点を覚悟の上で、ゼミに参加するかどうかを判断すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	かわ きま まさ とし 河 崎 征 俊	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかになりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

## 講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

## 履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

## 成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

## 教科書

教科書は、A. C. Baugh 版をコピーにして使用する予定。

## 参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

19C. アメリカ・ルネッサンスには二つの流れがある。一方はエマソンを代表とするオプティミスティックな思想、もう一方はホーソンを中心としたペシミスティックな思想である。これが特にホーソンの場合、その人間観、世界観などにどのような形で表われているか、他の作家たちとも比較しながら調べ、さらにアメリカ・ルネッサンスという時代の特徴を探ることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

ホーソンの作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。

## 履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、ならびに難解な部分の説明を求める形式で進めて行く。

## 成績評価の方法

授業の最終時に、作品の解釈上の説明を求める形式のテストを予定、あるいは原稿用紙（400字詰）5～10枚程度の課題を出し、これにもとづいて評価する。

## 教科書

*Nathaniel Hawthorne, Selected Tales & Sketches*  
(Penguin Classics)

## 参考書等

授業内において、その都度紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

このセミナーは、カルチャー・スタディのアプローチをもとに、1980年代から現在までのコンテンポラリー文学を学ぶ。  
そして次の3つの点に注目する—technology, media, and culture.  
今年度は、“サイバー・スペース”のクリエイターであるウィリアム・ギブソンの代表作『ニューロマンサー（1984）』などを学習する。また、アリス・ウォーカーの作品を通して多様文化について学ぶ。

## 成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

## その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	すぎ杉 うれ浦 ぎん銀 さく策	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

第一次世界大戦後のアメリカは空前の経済的豊かさを享受し、いわゆるジャズの時代あるいは狂乱の二十年代の到来となったが、スコット・フィッツジェラルドの『偉大なるギャツビー』はこの時代のアメリカの夢とその崩壊を描いた傑作である。本ゼミでは、この作品を味読する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

*The Great Gatsby* の原文を読みながら、物語の構造と意味について考える。

履修上の留意点

翻訳（新潮文庫）を各自購入し、内容の把握につとめること。

成績評価の方法

出席とレポート。

教科書

F. Scott Fitzgerald, *The Great Gatsby* (英潮社) を駒大書房にて購入すること。

参考書等

教場にて紹介する。

その他

授業方法は演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	たか高 の野 まさ正 お夫	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であった W. H. Auden は、1939年1月にアメリカに渡った後アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した、1939年以降のオーデンの詩を読んでいく予定です。

成績評価の方法

積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えること。

教科書

W. H. Auden, *Collected Shorter Poems 1927~1957* (Faber) を使用する。

その他

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	なか おか ひろし 中 岡 洋	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

## 講義のねらい

イギリス小説を扱いながら、それを分析研究する知識と方法を身につけていくことをねらいとする。ただしただ単に小説を読み、物語を知りだけにとどまらず、文学全体、さらには学問全体に眼を開き、柔軟な発想ができるようになることが望ましく、そのためにはたくさんの本を読むことを心がけてほしい。方法論は各種さまざまなものがあるけれども、自分をもっとも有効に使いこなすことができるのはどのような方法であるかを発見してもらいたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には Emily Brontë (1818-48) の *Wuthering Heights* (1847) を材料にして、学生が順番を決めて順次各章から感銘ぶかい箇所を選び、テキストを読み、解釈をほどこし、感想を述べ、みんなで討論する。英語のテキストを正確に読みこなすのは当然、そこから何を読み取るかという主体的問題にまで勉強を深めていく。腰を落ち着けてじっくりと勉強するのも学生時代には特に重要なことである。なお学年末に『中岡ゼミ論集』を発行し、これが勉強の成果として形に残る。すでに先輩たちの残したものが多数あるので、参考にしてもらいたい。またそれらがそれなりの伝統を形成しており、その伝統に進んで参加されるよう希望する。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。毎年の経験であるが、3年次から4年次への急激な成長ぶりは驚嘆すべきものがあり、単なる知識の詰め込みに終わらないよう各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

## 成績評価の方法

出席回数と発表成果によって評価する。

## 教 科 書

Emily Brontë, *Wuthering Heights* (Penguin Classics)

## 参 考 書 等

非常に豊富な資料があるので、教場で適宜指示する。

## そ の 他

ゼミは学生の所属クラスであるから、そのまま卒業論文に繋げるように努力しよう。4月には新入ゼミ生歓迎会、夏休みには夏合宿、秋には秋合宿、2月には謝恩会、3月には卒業祝賀会を行う予定で、そのための費用がかかる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	英 米 文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英 米 文 4 選	

英  
米  
文

講義のねらい

Oscar Wilde の *Salome* と *The Importance of Being Ernest* を中心に、劇作家としての Wilde のさまざまな特色について考察することを旨とするゼミ。英国の世紀末という文化的・社会的コンテキストの中に置いて、両作品をとらえ、分析してみたい。両作品とも多様な文学的・芸術的広がりをもつので、その点に留意しながら授業をすすめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

いちおう精読と講義を中心にするが、卒業論文の書き方、論文のテーマの見つけ方などについても述べる。

履修上の留意点

随時さまざまなテーマをめぐって発表してもらうので、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。

教 科 書

*Salome* (研究社)、*The Importance of Being Ernest* (北星堂書店)。

# 1. 專門教育科目

## (3) 地 理 学 科





# 1. 専門教育科目

## (3) 地理学 科

自然地理学概論〈長沼信夫〉	117
自然地理学概論〈小池一之〉	118
人文地理学概論〈竹内啓一〉	119
人文地理学概論〈桜井明久〉	120
自然地理学実習(地図学実習含む)〈市川清士〉	120
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)B]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈中村和郎〉	121
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地理学実習含む)E]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈長沼信夫〉	121
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)C]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈高木正博〉	122
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)D]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈長沼信夫〉	123
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)C]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈橋詰直道〉	124
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)F]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈土谷敏治〉	125
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)C]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈小田匡保〉	126
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)D]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈藤島範孝〉	126
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)A]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈佐藤哲夫〉	127
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)G]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈桜井明久〉	127
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)B]	
地域文化研究概説〈休講〉	
地域環境研究概説〈休講〉	
地理学調査法(現地調査含む)A〈小池一之〉	128
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)B〈休講〉	
地理学調査法(現地調査含む)C〈高木正博〉	128
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)D〈休講〉	
地理学調査法(現地調査含む)E〈竹内啓一〉	129
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)F〈休講〉	
地理学調査法(現地調査含む)G〈藤島範孝〉	129
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)H〈休講〉	
地理学調査法(現地調査含む)I〈土谷敏治〉	130
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)J〈休講〉	
地理学調査法(現地調査含む)K〈橋詰直道〉	131

〔平成9年度以前入学生：地理学調査法（現地調査含む）〕		
地 域 概 論	〈須 山 聡〉	131
〔平成9年度以前入学生：地誌学概論〕		
地 理 学 演 習 I A	〈小 田 匡 保〉	132
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕		
地 理 学 演 習 I B	〈 休 講 〉	
地 理 学 演 習 I C	〈桜 井 明 久〉	132
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕		
地 理 学 演 習 I D	〈 休 講 〉	
地 理 学 演 習 I E	〈 休 講 〉	
地 理 学 演 習 I F	〈佐 藤 哲 夫〉	133
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕		
地 理 学 演 習 I G	〈須 山 聡〉	133
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕		
地 理 学 演 習 I H	〈長 沼 信 夫〉	134
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕		
地 理 学 演 習 I I	〈中 村 和 郎〉	134
〔平成9年度以前入学生：地理学演習 I〕		
地 理 学 演 習 I J	〈 休 講 〉	
地 理 学 演 習 I K	〈 休 講 〉	
地 理 学 演 習 II	〈小 田 匡 保〉	135
地 理 学 演 習 II	〈小 池 一 之〉	135
地 理 学 演 習 II	〈桜 井 明 久〉	136
地 理 学 演 習 II	〈佐 藤 哲 夫〉	136
地 理 学 演 習 II	〈須 山 聡〉	137
地 理 学 演 習 II	〈高 木 正 博〉	137
地 理 学 演 習 II	〈竹 内 啓 一〉	138
地 理 学 演 習 II	〈土 谷 敏 治〉	139
地 理 学 演 習 II	〈長 沼 信 夫〉	140
地 理 学 演 習 II	〈橋 詰 直 道〉	140
地 理 学 演 習 II	〈藤 島 範 孝〉	141
地 理 学 演 習 II	〈中 村 和 郎〉	141
巡 検	A 〈 休 講 〉	
巡 検	B 〈竹 内 啓 一〉	142
巡 検	C 〈長 沼 信 夫〉	142
巡 検	D 〈 休 講 〉	
地 図 学	〈柳 瀬 訓〉	143
図 学 実 習	〈清 水 長 正〉	143
日 本 地 誌	〈橋 詰 直 道〉	144
外 国 地 誌 特 講	〈梅 原 弘 光〉	144
文 化 生 態 学	〈中 俣 均〉	145
ア ジ ア 地 誌	〈佐 藤 哲 夫〉	146
ア メ リ カ 地 誌	〈須 山 聡〉	147
ヨ ー ロ ッ パ 地 誌	〈桜 井 明 久〉	147
経 済 地 理 学	〈生 井 沢 進〉	148
産 業 地 域 論	〈須 山 聡〉	148
村 落 地 理 学	〈藤 島 範 孝〉	149
地 形 学	〈小 池 一 之〉	149

地	形	学	实	習	〈清	水	長	正〉	.....	150			
社	会	地	理	学	〈宮	口	侗	廸〉	.....	150			
交	通	地	理	学	〈土	谷	敏	治〉	.....	151			
外	書		講	読	〈佐	藤	哲	夫〉	.....	152			
気		候		学	〈中	村	和	郎〉	.....	153			
気	候	学	实	習	〈中	村	和	郎〉	.....	153			
水		文		学	〈長	沼	信	夫〉	.....	154			
水	文	学	实	習	〈高	木	正	博〉	.....	154			
都	市	地	理	学	〈橋	詰	直	道〉	.....	155			
人	口	地	理	学	〈大	友		篤〉	.....	156			
歴	史	地	理	学	〈小	田	匡	保〉	.....	156			
歴	史	地	理	学	〈小	田	匡	保〉	.....	157			
地	球	物	理	学	〈柳	田		誠〉	.....	158			
土	壤	地	理	学	〈漆	原	和	子〉	.....	159			
生	物	地	理	学	〈清	水		善和〉	.....	160			
環	境	地	理	学	〈休			講〉					
地	理	思	想	史	〈竹	内	啓	一〉	.....	161			
計	量	地	理	学	〈土	谷	敏	治〉	.....	162			
計	量	地	理	学	〈土	谷	敏	治〉	.....	163			
測		量		学	〈小	池	一	之〉	.....	164			
リ	モ	ト	セ	ン	シ	ン	グ	佐	藤	哲	夫	.....	165
文	化	地	理	学	〈小	田	匡	保〉	.....	165			
第	四	紀	学	〈鈴	木	毅	彦		.....	166			
応	用	地	理	学	〈高	木	正	博〉	.....	166			
地	域	計	画	論	〈今	野	修	平〉	.....	167			
地	理	情	報	論	〈村	山	祐	司〉	.....	168			
現	代	地	理	学	特	論	〈長	谷	川	均	.....	169	
地	理	学	特	講	I	〈橋	詰	直	道〉	.....	170		
地	理	学	特	講	II	〈生	井	沢	進	.....	170		
地	理	学	特	講	III	〈沖	野	行	男〉	.....	171		
地	理	学	特	講	IV	〈竹	内	啓	一〉	.....	172		
地	理	学	特	講	V	〈中	村	和	郎〉	.....	173		



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概論	なが 長 沼 信 夫	地文・地理1必	4

講義のねらい

地理学を専攻する学生諸君のために、自然地理学的な立場から基礎的知識の一端を提供しようとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義では、第四紀時代における自然環境の変遷を中心に実施していく。その概要は次の通りである。

- 1) 地理科学における自然（地理学）とは。
- 2) 最新の地質時代である第四紀の特徴とその自然環境。
- 3) 身近かな地形の在り方とその生い立ち：丘陵地、台地、低地＝世田谷南部地域と渋谷駅付近、東京とその周辺地域を事例に概説する。
- 4) 第四紀時代の地殻変動と氷河性海面変動。
- 5) 自然環境の変貌に伴う災害の諸問題。
- 6) 世界と日本における地理学的な自然誌論。

履修上の留意点

高校までの地理教育において、自然分野に費やす時間は少なく、自然系は不得意であるという学生諸君も多いと思われる。そこで我々の生活舞台となる身近かな土地の成り立ちなどから自然環境に対する理解を深めていき、地理学に対する見方、考え方が広がることを期待する。

成績評価の方法

筆記試験を前期と後期の授業中に各1回実施する。また、前期には地理学書2冊以上を読み、レポートを作成してもらう。

教 科 書

田淵 洋編『新版 自然環境の生い立ち－第四紀と現在－』（朝倉書店）2,800円

参 考 書 等

講義中に適時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学概論	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	環境・地理1必	4

講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。

講義の内容・授業スケジュール

まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：  
 自然地理学の基礎的概念      地球の歴史と第四紀  
 第四紀の気候変化と海面変化      地震と関連する諸問題  
 火山の恵みと災害      人間活動と自然環境の変化  
 地球温暖化にまつわる諸問題

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修しない学生にも理解できるよう出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを3割ほど加味する。

教科書

小池一之・太田陽子（編）『変化する日本の海岸』（古今書院）2,800円

参考書等

日本第四紀学会（編）『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,200円  
 小池一之ほか訳『一般地理学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式でプリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概論	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地文・地理1必	4

講義のねらい

現代の人文地理学の全貌を体系的に提示するとともに、人文地理学という学問を勉強するためのモラル、すなわちその実社会への応用はいかになされるべきか、調査はいかになされるべきかということについても考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

毎回講義の要旨、参考文献を記したプリントを配布する。下記の教科書を受講者全員が持つこと。必要に応じてこの教科書の読むべき箇所を指示する。

履修上の留意点

レポートにはすべて朱をいれて返却する。これは私にとって大変な仕事であるから、私のコメントを参考にして、レポートの改善に努めること。また、学年末試験は授業に出席していないと解答できないような出題をするのが私の理想である。

成績評価の方法

講義でふれられたことについて、自由にトピックを選ぶかプリントで指示した文献の要旨、あるいは、教科書に記されている内容について、それらをさらに深めた勉強の成果を、年間を通じて6回レポートとして提出してもらう。さらに、学年末には持ち込み一切自由の筆記試験を行う。配点は、6回のレポートが60点、学年度末試験が40点である。

教科書

浮田典良編『ジオグラフィックパル、地理学便利帳 最新版』（海青社）

参考書等

教科書に多くの文献が掲げられており、これらの文献にはできるだけ目を通してもらいたいが、それ以外に下記の文献を講義全般にわたる参考書として指示しておく。

- 西川治（編）『地理学概論』（総観地理学講座 第1巻）（朝倉書店）
- 坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』（大明堂）2,600円
- グールド、矢野・立岡・水野訳『現代地理学のフロンティア（上）（下）』（地人書房）
- 川島哲郎『経済地理学』（総観地理学講座 第13巻）（朝倉書店）
- 山本健児『経済地理学入門』（大明堂）3,450円
- 矢田俊文（編著）『地域構造の理論』（ミネルヴァ書房）
- 石井素介（編）『産業経済地理、日本』（総観地理学講座 第14巻）（朝倉書店）
- 山本正三（編）『産業経済地理、世界』（総観地理学講座 第15巻）（朝倉書店）
- ハーヴェイ（水岡訳）『都市の資本論』（青木書店）7,725円
- クラヴァル（竹内訳）『現代地理学の論理』（大明堂）1,854円
- 竹内啓一『とぼろうぐ』（古今書院）2,900円
- ハーヴェイ（竹内・松本訳）『都市と社会的不平等』（日本ブリタニカ）
- ハーヴェイ（松石・水岡ほか訳）『空間編成の経済理論 上、下』（大明堂）
- スミス（竹内監訳）『不平等の地理学、みどりこきははずこ』（古今書院）
- 大島・浮田・佐々木（編著）『文化地理学』（古今書院）
- 高橋・田林・小野寺・中川『文化地理学入門』（東洋書林）2,575円
- ジャクソン・スミス（浜谷訳）『社会地理学の探検』（大明堂）
- ノックス（小長谷ほか訳）『都市社会地理学上、下』（地人書房）
- 吉原直樹『都市空間の社会理論、ニュー・アーバン・ソシオロジーの射程』（東大出版会）
- 吉原直樹『都市の思想、空間論の再構築にむけて』（青木書店）
- 柴田徳衛『現代都市論』（改訂版）（東大出版会）
- 柴田徳衛『都市経済論』（有斐閣）
- テイラー（高木訳）『世界システムの政治地理』（大明堂）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 文 地 理 学 概 論	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	環 境 ・ 地 理 1 必	4

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、人文地理学の特色を考える。つまり、事象と場所（位置、方位）、事象間の距離、縮尺：事象群の分布と密度、領域・地域と地球、地域的複合、地域系（地域構造）といった問題を考え、「地図」で考えるという意味について検討したい。後期には、本学の先生方の研究などを具体的に取り上げながら、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、本学で人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

おおよそ、出席とミニレポート40点、読書レポート10点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教 科 書

『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）2,500円

参 考 書 等

『地理学講座3 環境と生態』（古今書院）2,800円  
 『地理学講座4 地域と景観』（古今書院）2,800円  
 『地理学講座5 立地と空間的行動』（古今書院）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (前期)(後期)	いち かわ きよ し 市 川 清 士	地 文 ・ 環 境 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
自然地理学実習(地図学実習含む)B(前期)(後期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

自然地理学（特に地形学）を学ぶために必要な地形図の読図や製図、空中写真判読、調査器材の取り扱いなどの基礎的な作業技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

実習は次のような作業を予定している。  
 1) 1/2.5万地形図の読図。  
 2) 1/2.5万地形図を用いた主題図の作成。  
 3) 地質図の読図、地質断面の作成。  
 4) 簡易測量による図面の作成。  
 5) 空中写真による地形の判読。

履修上の留意点

授業には出席し、課題は期限内に必ず提出すること。

成績評価の方法

成績の評価は出席状況・提出物の内容などをもとに総合的に評価する。

そ の 他

地形図・製図用筆記具は個人で購入してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (前期)	なか 村 和 郎 中 村 和 郎	地 文 1 必	1
自然地理学実習(地図学実習含む) E (前期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

## 講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要ないくつかの基礎的な技術の習得を目標とする。とくに地理学では地図を描くスキルの習得がもっとも重要であるので、これに力を入れたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

1. 地形図の作業  
地形図の線種、文字、色の種類。位置・距離・方位の計測など。
2. 製図  
製図用ペンを用いて、地図やグラフを描くための基礎的な技術を習得する。

## 履修上の留意点

地理学は教科書の勉強だけでは本当の理解が得られない。実習の時間は、教科書の知識を暗記するのではなく、自分から進んで手足を動かして、地理学的なものの見方考え方を習得するように心がけること。机の上の作業ばかりでなく、屋外に出て行くこともあるので遅刻したり、欠席したりすると、実習を受けられないことがあるので注意。  
製図用のペンを購入する必要がある。講義中に指示されたペンを用意すること。

## 成績評価の方法

出席状況と、平常の取り組み方、および提出物によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む) (後期)	なが ぬま のぶ お 夫 長 沼 信 夫	地 文 1 必	1
自然地理学実習(地図学実習含む) C (後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

## 講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 実習内容は次のような作業を予定している。
- 1) 地形図の読み方など
  - 2) 地形図を用いて地形計測=水系・谷密度分布図、起伏量図、傾斜分布図などの作成
  - 3) 空中写真の判読方法
  - 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法

## 履修上の留意点

国土地理院発行の地形図(1/5万、1/2.5万)や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

## 成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

## 教科書

特に指定しない。

## 参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂) 2,520円

## その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	環 境 1 必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)D(後期)		10~12入学生/地理1必 9以前入学生/地理1必	

地  
理

講義のねらい	地形図読図や空中写真判読などの作業をととして、自然地理学を学ぶために必要な基礎的技術を修得する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて変更することがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地形図の読図(等高線から地形断面や地形特性などを読む)</li> <li>2) 水系図、起伏量図など主題図の作成(地形図の利用)</li> <li>3) 空中写真の実体視・判読ならびに主題図の作成(空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を求める)</li> <li>4) 資料や調査結果の整理と製図</li> </ol>
履修上の留意点	課題に取り組む積極的な姿勢を求める。成果は期日までに提出すること。
成績評価の方法	提出物の内容、毎回の作業進捗状況、出席回数などを総合的に評価する。
教科書	各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。
参考書等	必要に応じて紹介する。
その他	地形図・製図用筆記具は個人で購入してもらう。30cm程度の定規、図面保護筒は必需品である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	なが 長 ぬま 沼 のぶ 信 お 夫	環境1必	1
		10~12入学生/地理1必	
自然地理学実習(地図学実習含む)C(前期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 実習内容としては、次のような作業を予定している。
- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測(水系分布図、起伏量図などの作成)
  - 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
  - 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
  - 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
  - 5) 簡易測量(高さ・距離などの測定、平板測量)

履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂)2,520円

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地 文 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)F(前期)		9以前入学生/地理1必	

地  
理

講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には①地理学文献の検索方法、②地図・空中写真・地理データの入手方法、③地理情報の判読(地形図判読、空中写真判読)、④調査課題の設定と現地調査の方法(フィールドノートのとおり方、アンケート用紙の作成)、⑤入手した地理データの処理・分析手法(地図化、グラフ化、パソコンを用いた基礎統計分析方法、相関回帰分析)、⑥調査レポート(プレゼンテーション)の作成などについて学ぶ。統計分析は総合情報センターのパソコンを使用予定。

履修上の留意点

必修科目であり、課題中心の授業となるので、課題への取り組みはもちろんのこと。出席(遅刻をしないこと)状況や授業中への参加態度も重視する。課題レポートはワープロ使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートなどの成果品、授業への出席状況(一定基準以上)や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教 科 書

とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

そ の 他

総合情報センター利用登録を4月中に済ませ、各自メールアドレスを取得しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (後期)	つち 土 谷 敏 治	地 文 1 必	1
人文地理学実習(地図学実習含む) C(後期)		10~12入学生/地理1必	
		9以前入学生/地理1必	

#### 講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

9～11月：コンピュータによって、レポート作成の実習や資料の基礎的な統計分析を行う。  
12・1月：用意した資料を用いてデータの整理・図表作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。主な実習項目は、次のとおりである。

- ① コンピュータの基本操作  
コンピュータの基本的操作法を修得する。
- ② ワードプロソフトによる文書作成  
レポート、論文作成に備えて、ワードプロソフトの操作を習得する。
- ③ 作表実習  
表計算ソフトを用いて、作表操作を習得する。
- ④ 統計分析  
表計算ソフトを用いて、基礎統計分析やグラフ作成の操作を習得する。
- ⑤ 地図製作  
グラフィックソフトを用いて、データの地図化を行う。
- ⑥ 文献検索と読解  
各自文献の検索を行い、抄録・書評を書く。

#### 履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターの使用登録を行う必要があるが、その方法についても授業時に指示する。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

#### 成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。休み中の課題は、それまでの学習成果のまとめであり、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

#### 教 科 書

とくに指定しない。

#### 参 考 書 等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となる。  
浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』(海青社)  
中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)  
菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)  
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	お だ ま き やす 小 田 匡 保	地 文 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む) D(前期)		9以前入学生/地理1必	

- 講義のねらい      この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。
- 講義の内容・授業スケジュール      ①文献利用の方法、②参考図書、③地形図、④統計、⑤主題図の作成、⑥グラフの作成
- 履修上の留意点      毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。パソコンが必要な課題も出す予定なので、インターネット環境にあるパソコンが自宅にない場合は、総合情報センターの利用登録をしておくこと。
- 成績評価の方法      成績評価は、出席状況、課題の提出状況（遅れずに提出したかどうか）によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。
- 教 科 書      担当教員作成のプリントを配布する。
- そ の 他      製図ペンや定規・地形図などを購入する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む) (後期)	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	環 境 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む) A(後期)		9以前入学生/地理1必	

- 講義のねらい      故郷、郷土、同郷などの我々の意識を分析し、地図化の可能を試みる。南北に長い列島には地域の四季があつて、自然も風土も感性も異なることを認識し、県民意識や古い行政意識など追求する。
- 講義の内容・授業スケジュール      日本人の意識の地域差、郷土意識、帰属意識、方言（東京弁、京都弁、大阪弁）について地図化し、のち地域における生活態度から家族観、結婚観、道徳観、宗教観、政治観などの特徴の分析と地図化の試みをしたい。
- 履修上の留意点      地域差の研究や調査はややもすると不公平、不平等や差別といった人権に関わる注意をし乍ら理解する努力を養う。なお、常に地図帳と色鉛筆を持参されたし。
- 成績評価の方法      出席、課題地図の提出、自由研究図の作成・郷土に関する報告書、面接口頭による表現力の査定。各自ノートの整理。
- 参 考 書 等      参考書、その都度整理するが、全般にわたっては「現代の県民気質」(全国県民意識調査)NHK出版のものを利用する。
- そ の 他      講義と実技(地図化)と現地調査報告文を作成する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	環 境 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)G(前期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

この実習では、PCを用いて人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標とする。図表やレポートの体裁、地図作製や統計分析などの基礎的技術とともに、地域論の基礎的理論についても学ぶ。題材として東京23区を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の予定に従うが、受講者の理解度を見て調整しながら進める。
- 情報の検索 : 地理の資料、文献の検索、インターネットの利用
  - 論文要旨の作成 : ワードプロ(ワード)を使う、発表要旨の体裁
  - 地図の作成 : 作図ソフト(ペイント)を使う、地図の体裁
  - 様々な主題図 : 分布図、濃淡図、流線図
  - Geographic Matrix : 表ソフト(エクセル)を使う、統計情報の地理的整理
  - 基本統計量の利用 : 平均と標準偏差、特化係数
  - 地域区分 : 度数分布と階級区分、地域区分
  - 時系列変化 : 指数、グラフと表の体裁
  - モデルと回帰分析 : 回帰分析
  - 調査とそのまとめ : フィールドワーク、論文・レポートの構成と体裁

地  
理

履修上の留意点

PCによる実習なので、自宅でウィンドウズPCを利用できない場合は、総合情報センターの利用登録を行い、自習室を利用すること。毎回、課題が出る。これまでの例では、作業課題は授業時間内に終わらないことが多く、自宅に持ち帰って仕上げてもらっている。

PCやソフトの操作方法についてはあまり時間をかけず、作業の意味や原理について説明したい。従って、すでにPCの操作に習熟している人は、積極的に初心者や友人の手助けをして欲しい。また、わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問して欲しい。

成績評価の方法

各回の課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは主に各人の進捗を把握するためのものである。課題提出の最終的な締め切りは7月18日であり、遅れた場合は不可となる。

教科書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	環 境 1 必	1
		10~12入学生/地理1必	
人文地理学実習(地図学実習含む)B(後期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

図書館の利用、ワードプロの利用、土地利用図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作成、統計手法の利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

履修上の留意点

実習であるので、とりわけ授業に出席することが必要となる。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える予定であるが、欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生にあらためて確認しておくこと。

成績評価の方法

授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

そ の 他

様々な地域の地形図、色鉛筆、定規、ロットリング、計算機などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) A	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地域の特性を研究することを主たる目的とする地理学においては、「百聞は一見にしかず」という諺があるように、現地調査(野外巡検)に勝る教育方法はまず見当たらない。野外調査法の習得を主な目的とするこの科目は野外巡検を中心としてすすめられる。共通テーマは地形を中心とするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地理学調査法入門(4~5月)
2. 調査地と調査テーマの選定(6~7月)
3. 現地調査日程と調査計画(7~9月)
4. 現地調査。本年度は巡検予定地を「青森県津軽地方」とし、10月上旬に3泊4日の日程で実施する予定である。1日は参加学生の班別自由テーマによる自主巡検を予定している。巡検実施までには、ほぼ毎週基礎事項の説明、関係地形図の読図、関係文献の紹介などがある。また、自由テーマにそった資料などの収集もきわめて重要である。
5. 現地調査結果のまとめと発表(11月以降~)

履修上の留意点

事前の授業および現地調査には必ず出席すること。時間厳守

成績評価の方法

平常の授業態度、出席状況、現地調査中の学習態度、レポート内容などで判定する。

教科書・  
参考書等

授業の時に指示

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) C	た か き ま さ ひ ろ 高 木 正 博	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学の基本とも言える「地域」の捉え方を、現地調査を含めて1年間にわたり学ぶことである。とくに、それぞれの地域に固有な水と人々のかかわりを、現地での測水調査やさまざまな利水慣行などの調査をとおして明らかにしたい。現地調査を重視し、結果・考察をまとめた報告書を作成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査の準備段階として文献調査、資料収集、地形図・空中写真などによる地域概要の把握を行い調査マニュアル(資料集)を作成する。現地調査は班別行動を原則とし、各班毎の主題に沿って、各種の実測調査、聞き取り調査や資料収集などを実施する。現地では効率のかつ精度の高い調査が要求される。調査期間中は毎日の成果を報告し、レポートを作成する。調査終了後は、各自の成果をまとめた個人レポートを提出すると共に、各班毎に行った調査結果を整理・分析・考察して発表し、最後に報告書を作成する。

履修上の留意点

調査テーマは各自の希望を尊重するが、場合によってはこちらで指示することもある。現地では班別行動をとるので、同様なテーマを持つ人同士で班を構成してもらう。  
資料集および報告書は、ワープロの使用を義務づける。

成績評価の方法

レポートの内容を主に判断するが、授業への出席状況や現地での調査行動、報告書作成への取り組みなどを総合的に評価する。

参 考 書 等

参考書は適宜指示する。

そ の 他

調査地域は、福島県磐梯山麓・猪苗代湖周辺を予定している。調査目的が明確であれば、会津盆地も調査範囲に含めてもよい。現地調査の実施時期は9月下旬を予定している。内容などの詳細についてはガイダンスの際に発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) E	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学の調査には、文献、地図、航空写真、統計資料などの検討という屋内での作業と、屋外作業である現地調査とがある。また、調査の対象にする場所が国内であるか、国外であるかによって、言語の問題等、調査法はおおいに異なる。この4単位の授業では、国外の現地調査をすることはできないが、国内地域の調査のための方法を身につけてもらい、現地調査（高知県宿毛市で行う予定）を行うほか、履修者が選んだ国外の場所についての文献地図等、資料による調査の実習をしてもらう。この機会に新しい外国語を一つ習得するのもおおいに歓迎する。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査は夏休み後に行う予定である。具体的調査地は4月に示すが地場産業都市をとりあげる予定である。屋内作業で手分けして行うとともに、学年のはじめに履修者は国外地域を一つ選んで、それについての資料による調査を行い、何回かその成果を報告しなければならない。

履修上の留意点

調査実習であるので、毎時間必ず出席しなければならない。

成績評価の方法

レポート、報告の内容のみでなく、仲間の報告に対して積極的に問題を提起し、討論に参加することを重視する。

そ の 他

授業の中で全員に共通する参考書は示すが、国外調査については、各自が必要な資料、文献等を探し出すことも調査の重要な一部である。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) G	ふし しま のり たか 藤 島 範 孝	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

自然環境と人間生活の組み合わせ、環境を克服した人々の姿勢と土着の事実を把握したい。

講義の内容・授業スケジュール

実地調査は下伊那を中心として構造線下の生活、高齢と過疎の先進区の実態、風化花崗岩に挟まれて生きる生活の工夫を学ぶ。特に開拓と開発・自然遺産がもたらした負荷など分析してみたい。

履修上の留意点

もともと調査などということは現地にとって不遜なことなので、この礼と義について知っておくこと。我々は人を調べる特権ない迷惑なことをしているのを自覚する。

成績評価の方法

調査参加、出席、調査報告、地図化利用と作製、統計類の消化力、発表方法、報告文の構成、ノート、野帳の整理、資料史料の蒐集力など総合評価する。

参 考 書 等

その都度指図する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) I	つち 土 谷 とし 敏 治	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、現地調査を実施するにあたっての調査目的・調査地域・調査スケジュールの設定、統計資料を用いた調査地域の特色の把握や事前の準備、現地調査後の収集資料の整理・分析、報告書の作成も同様に重要である。本授業では、都市の問題、とくに都市構造や商業活動、都市の交通問題を主要テーマとして、現地での調査能力に加え、このような現地調査前後の準備段階から最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

地  
理

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査対象地域：函館市を対象とする予定であるが、詳細は4月の地理学調査法振り分け説明会の際指示する。

現地調査日程：10月22～26日（予定）

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

- ① 各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行い、レポートにまとめる。
- ② 各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。
- ③ 現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ④ 現地調査。
- ⑤ 調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑥ 調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑦ 調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑧ 各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

履修上の留意点

現地調査とともに、事前準備、事後の分析が重要であり、現地調査当日はもちろん、大学での授業への出席、口頭発表、討論への参加、レポートの提出、報告書作成作業への参加が不可欠である。

事前のレポート、調査結果のレポート、口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しない。

そ の 他

事前の準備、統計の分析はグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学調査法(現地調査含む)K	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

**講義のねらい** 講義で得た知識を実際に現地調査で確認すると同時に、特定のテーマに沿った調査を実施し、その成果を1冊の報告書としてまとめる。  
 今年度の調査テーマ：「地方都市の機能と自立」  
 今年度の現地調査予定地：帯広市、現地集合、現地解散  
 今年度の現地調査期間：7月1日(日)～5日(休)の4泊5日(予定)

**講義の内容・授業スケジュール** これまでに高知市、徳島市、福井市、富山市などで「地方都市の機能と自立」をテーマに調査した。現地では、①都市機能、②都市構造、③都市計画、④都市の生活行動、⑤都市問題などの調査を中心に行い、地方都市の特徴や地方都市のかかえる諸問題を学ぶ。  
 地理学調査法の授業は、テーマに沿った事前の文献調査・現地調査・調査結果のまとめ作業からなる。現地調査では、詳細な課題テーマごとに班別調査を実施する。毎日班別の調査報告とミーティング、レポート作成が必要となる。現地調査は、公共交通機関を利用すること。  
 スケジュールは4～6月が事前調査(文献・資料調査による事前学習と現地調査資料の作成)、7月2日～5日が現地調査、7月第2週が現地調査結果の個人報告書提出、7月第3週が現地調査結果の班別発表会、9～12月は現地調査結果の班別集約作業並びに現地調査報告書の作成とその印刷製本、そして郵送作業となる。

地  
理

**履修上の留意点** 選択科目であるが、現地調査への参加はもちろん、4～12月の地理学調査法の授業へも積極的に取り組む学生に限る。

**成績評価の方法** 毎時間の授業への出席状況(一定基準以上)、現地調査レポート、現地調査個人報告書、班別報告書作成への取り組み、授業・現地調査での参加姿勢や態度を総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域概論	す  やま  さとし 須  山  聡	10以降入学生/地理2・3・4選	4
地誌学概論		9以前入学生/地理2必	

**講義のねらい** 地誌学は地域をひとまとまりとして捉え、そこに展開するさまざまな自然・人文現象を総合的に理解できるきわめて魅力的な学問である。本講義ではその視点・概念・方法論を紹介し、地域の理解のしかたや分析の視点を修得することを目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 本講義は(1)地理学の目的・理念、(2)基本的概念、(3)方法論の3つによって構成される。予定は以下の通りである。  
 1. 地誌学の目的(地域性・地域差・空間認識)  
 2. 地誌学の対象(「地域」の概念)  
 3. さまざまな「地域」(等質地域・結節地域)  
 4. 土地利用と景観  
 5. 立地・分布・拡散  
 6. 地域構造  
 7. 認知と行動

**履修上の留意点** 出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。また、随時簡単なエッセイを課する。  
 試験は(考えようによっては)大変に難しいので、受講者は講義内容のみで満足することなく、さらなる学修のきっかけと捉えて欲しい。

**成績評価の方法** 学年末試験(50%)、出席状況(50%)で判定。

**教科書** 適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I A	小 田 匡 保 <small>お だ まさ やす</small>	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

人文地理学関係の文献を読み、研究動向と論文の書き方を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、各自が任意のテーマについて文献を集め、その概要について発表する。後期は、それらの文献のうち主要な論文の内容について発表する。

地  
理

履修上の留意点

人文地理学の中でも、文化地理・歴史地理・村落地理的なテーマに関心のある履修者を歓迎する。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・発表内容・レポートによって行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I C	桜 井 明 久 <small>さくら い あき ひさ</small>	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

東京の都市農業と、東京圏の近郊農業及び中郊農業とそれら農村地域について、都市化と農民の対応から考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

東京の都市農業、近郊農業、中郊農業に関する従来の研究を収集し、文献を読んで、情報交換し、いくつかの研究グループを作り、現地を訪れるなどして、現状を調べ、文献が書かれた時代のそれと現状とを比較し、東京やその周辺地域の農業の特色とその変化、将来像などを検討する。農業にとどまらず、農家の人々が都市化にいかに対応して生きてきたかという視点でも検討したい。ゼミ旅行では調査実習も試みたい。

履修上の留意点

演習であるから、各自が責任を持って決められた日程にしたがってレポートを行うことと、討論に参加することが重要であり、出席が不可欠である。

成績評価の方法

出席、討論への参加の状況、発表などを総合的に勘案して行う。

教科書

授業の中で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I F	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

この演習では、景観を構成する要素としての家屋ないし建築物・建築環境に注目し、それを地理学の視点から研究する方法について考える。さらに調査の実習を通じて、調査技法について学ぶ。なお内容的に、来年度に開講予定の地理学調査法との関連性を意識している。

講義の内容・授業スケジュール

建築について書かれた文献を参加者が分担して読んでその要旨を報告し、理解を深める。最初に地理学評論や人文地理など、地理学の学術誌に掲載された論文を読んで、地理学における建築物の取り上げられ方について学ぶ。さらに関連分野の文献を地理学の視点から評論してみる。また、夏休み以降数回、駒沢大学周辺で地図や写真を利用しながら景観観察を実施し、建築物・建築環境の観察・記録を行なって、観察・分析・報告の技法を身に付ける。

履修上の留意点

文献の担当などを決めるので、第1回目の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席状況、とくに参加の積極性で評価する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I G	す やま さとし 須 山 聡	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

人文地理学・地誌学における研究課題の設定、データの収集方法、分析手法、論文のまとめ方、およびプレゼンテーションの技術を、実際の地域調査を通じて修得する。卒業論文を作成するときにまごつかないようにすることが、本演習の最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

9月下旬に伊豆諸島の八丈島において地域調査を実施する。前期はそのための準備期間とし、参考文献の紹介、調査テーマの設定、調査計画の立案に費やす。調査は数人のグループを単位として行う。調査後はレポートの執筆に取り組み、1月末を目途に調査報告書を刊行する。

履修上の留意点

現地調査は4泊5日の予定で行う。経費は、船で往復した場合、約4万円である。

成績評価の方法

各人の取り組み方、および報告書の完成度をもとに総合的に評価する。

参考書等

市川健夫 1985、『フィールドワーク入門－地域調査のすすめ－』古今書院。  
正井泰夫・小池一之編 1994、『卒論作成マニュアル－よりよい地理学論文作成のために－』古今書院。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I H	なが めま のぶ お 長 沼 信 夫	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	水文地理学とその応用（水環境、水資源、水利用、自然災害など）に関連する文献・資料の研究を中心に行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期：水文学関係の文献・資料を用い、水の地理学に関する知識を養うとともに、論文構成のあり方やその読み方などを学ぶ。また、水文調査から得られたデータを用い、望ましい図表類の作成などを検討する。 後期：受講者各自が関心をもつ論文を2編以上読み、これを基に要旨の作成、口頭発表並びに討論を行う。
履修上の留意点	少人数のゼミ形式で行うため、発表や討論への積極的な参加を希望する。
成績評価の方法	出席回数、口頭発表、レポート作成などを基にして総合的に評価する。
教科書	前期に使用する文献・資料については、担当者が用意する。
参考書等	必要に応じて適時指示する。
その他	年度内に1回（時期未定）、1泊2日程度の小巡検あるいは合宿を実施する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I I	なか むら がず お 中 村 和 郎	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	研究のテーマの決め方と研究の進め方について各自が自分のできるように訓練を重ねたい。専門的な論文講読などを通して先人の体験を学ぶとともに、地理学的な調査法とは何かについて考え、自分で研究報告をまとめることができるようになることをねらいとしたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)各自があるテーマについて複数の専門的な論文を読み、要旨をつくって全員に配布して報告をする。(論文検索の方法、論文の読み方、発表の仕方を学ぶ) (2)少人数のグループ別討論と、全員が参加する討論を行う。(共同作業の仕方を学ぶ) (3)各自が自分のテーマで小論文をまとめる。(論文の書き方を学ぶ)
履修上の留意点	毎回出席して、課題をきちんとやること。討論に積極的に参加すること。
成績評価の方法	出席状況、討論への参加態度、論文要旨とその発表、小論文を総合的に評価する。
参考書等	浮田典良編『ジオグラフィックバル 地理学便利帖』（海青社）2,200円 浮田典良『大学地理教育とレポート』（古今書院）2,575円 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（海青社）2,700円 正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	小 <sup>お</sup> 田 <sup>だ</sup> 匡 <sup>まさ</sup> 保 <sup>やす</sup>	地理4必	4

講義のねらい

この科目のねらいは、①卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること、②人前でわかりやすく発表できること、③他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること、の三つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、従来の研究史を中心に、各自が自分の卒論の構想について発表する。後期は、現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を再度行なう。卒論提出後、簡単な卒論発表会をする。

履修上の留意点

発表の後は、受講者の間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。特に4月最初の授業は必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	小 <sup>こ</sup> 池 <sup>いけ</sup> 一 <sup>かず</sup> 之 <sup>ゆき</sup>	地理4必	4

講義のねらい

地形学を含む自然地理学の基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論論題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域を決め、同調査を行なう。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期はゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教科書・参考書等

演習進行時に、適宜紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	地 理 4 必	4

講義のねらい

農村・農業地理学を中心とする人文地理学、地理教育などに関する卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のはじめに、論文作成の方法・スケジュールについて簡単に説明し、その後、各自、研究テーマと研究方法、調査の具体的手順を考えてもらい、ゼミ形式でそれを深め合う。後期には、毎回、簡潔に調査結果の中間報告を行い、研究を深め合う。卒論完成後は、要旨集を作り、発表会を行う。

履修上の留意点

卒業論文は各自の研究ではあるが、互いに研究を助言し、仲間同士で研究を深め合うことが求められる。欠席する場合は、事前に、各自の研究の進捗状況をレポート用紙に簡単にまとめて提出しておくこと。論文、ゼミ資料はワープロで作成する。

成績評価の方法

卒業論文の成果、ゼミへの出席、討論への貢献の程度、他の人の研究への助言の適切さなどから、総合的に行う。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地 理 4 必	4

講義のねらい

この演習では卒業論文作成の方法を指導する。参加者の研究の進行状況に合わせて、個人別に、研究を進める上での課題を適宜与える。ただし研究計画の立案と進行は各自の責任で管理する。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象地域を決定し、調査地域をカバーする国土地理院の地形図を直ちに購入しておくこと。できれば現地を踏査して、概況を把握しておいてほしい。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進めてもらう。5月の段階では3まで、10月の段階では5までを目標に進める。

- 1 研究対象地域を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行う。
- 2 文献調査で研究の目的・方法を限定する。
- 3 仮説（あるいは暫定的な解釈）を設定し、調査計画を作成する。
- 4 現地調査などにより、仮説の検証に必要な資料を収集する。
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てる。
- 6 論文の構成を修正しつつ、執筆を進める。

卒論提出までに、履修者全員による発表・報告会を何回か開催する。

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとることが必要である。学期中は最低でも3週間に1回は連絡をすること。Eメールを通じた指導も可能であるので、積極的に利用してほしい。報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモを作成してこよう。文章に書くことで頭の中が整理できる。また小さな積み重ねで、あとあと楽になる。

成績評価の方法

積極性（例えば報告の頻度や、課題の達成度）で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	須 <sup>す</sup> 山 <sup>やま</sup> 聡 <sup>さとし</sup>	地理4必	4

## 講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回3～4人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論でより緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスチョンを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

## 履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やつつけ仕事」として卒論を捉えられることをもつとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

## 成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

## 教科書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

## その他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	高 <sup>たか</sup> 木 <sup>ぎ</sup> 正 <sup>まさ</sup> 博 <sup>ひろ</sup>	地理4必	4

## 講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、①適切な論文のテーマを設定すること、②研究成果の要旨をまとめて発表すること、③論文作成の具体的な方法を指導することなどである。授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や製図作業などを課題として指示する。また、前期と後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いてきた構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。  
後期は、現地調査や文献・資料から得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸注意をおこない提出に備える。

## 履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。  
受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいけないはずである。場合によっては調査に協力してもらってもできるであろう。授業を欠席する場合は事前に連絡すること。

## 成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論内容など、平常点で決める。

## 参考書等

適宜紹介する。

## その他

基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地 理 4 必	4

講義のねらい

教場における演習を卒業指導と切り離して、7月、9月に行う。その内容は、各自が自分の関心にしたがって、地理学と関係はあるが狭義の地理学以外の複数の専門書を読み、その内容を、地理学にひきつけて批判的に紹介し、全員で討論する。

夏休み中の課題として、卒論のテーマとは別の複数の読みでのある本の書評、旅行記、ビデオ作品の製作などをしてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒論作成指導のために、以下の日程で、2泊3日の、卒論についての発表・討論会を行うので万難を排して参加すること。

第1回 4月30日(月)13:30集合 5月2日(水)13:00解散

場 所：八王子セミナーハウス

費 用：1万3千円(飲食費込み)

各自、卒論の構想について約20分報告してもらう。

第2回 10月下旬または11月初旬、大学祭の頃

場 所：駒澤大学富浦セミナーハウス

費 用：1万1千円(飲食費込み)

あと卒論の指導は、随時個別指導のかたちで行う。

成績評価の方法

成績評価の基準は、卒論に関しては、まず卒論の内容、2回の合宿における報告内容と討論への参加状況、そして最終口述試験におけるディフェンス(私からの質問に対する答弁)による。演習IIに関しては、主として夏休みの課題による。仲間の報告に対して活発に討論を展開することを期待する。

そ の 他

4月の第1回目の授業時間の時には、年間の予定についていろいろ相談すること、指示することがあるので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	つち 土 谷 敏 治 たに とし はる	地理 4 必	4

#### 講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。  
 5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。  
 7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。  
 8月：各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。  
 9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。  
 11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。  
 1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。

地  
理

#### 履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

#### 成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となろう。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

正井泰夫・小池一之編『卒業論文作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	なが ぬま のぶ お夫 長 沼 信 夫	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。

後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表内容などを基に総合的に評価する。

教科書・  
参考書等

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

そ の 他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論発表会のための合宿を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成のための指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。年間スケジュールも提出してもらう。

6～7月は、それまでの文献調査などの成果をもとに中間発表会を個人別に全員実施する。

9～11月は、夏休中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会をグループごとに行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方についても具体的に検討する。

論文提出後、内容・構成など卒業論文として不完全なものは12月に書き直しを要求する。

1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・合本を行う。2月の第1週（2000年度は2月1日）には卒論発表会を行う。この発表会には3年の次期演習Ⅱ履修予定者も全員参加してもらう。

履修上の留意点

卒業論文はワープロで作成する。卒業論文の提出後1月に卒業論文要旨集を作成、さらに2月には発表会も行うので、積極的な研究姿勢が重要である。

成績評価の方法

演習Ⅱ（卒論発表会を含む）の授業への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参 考 書 等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

そ の 他

事前に『地理学文献目録』（図書館）などを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	地 理 4 必	4

講義のねらい

都市の形成の背景を地名から追求する。各地方の代表的都市の考証と現状とを比較し、学際的領域を確認し乍ら追求する。同時に卒業論文の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

都市圏とヒンターランドの関係を究明する。

履修上の留意点

古都市図、地方都市図の蒐集と読み方、理解、地名の解釈などを含め古文書を理解するようになりたい。

成績評価の方法

出席、調査参加、都市地図の作成、蒐集力、課題別報告書、口頭面接、発表能力などから総合判断する。

参 考 書 等

その都度指図する。文献や各地地名解釈書は各自の蒐集とする。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	なか むら かず お 中 村 和 郎	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。卒業論文は、4年間に学んだ専門的知識と技術とを全部活かして作成するものである。自分が選んだ課題について、必要な情報を収集処理して、誰もが納得する説明を自らの力で見出す。

講義の内容・授業スケジュール

論題の決定 研究計画の作成 文献検索 文献研究 現地調査 研究成果の整理 研究成果のプレゼンテーション

履修上の留意点

大学教育の中で学生がもっとも自主的、主体的に学ぶことができる授業である。個人々と接触する機会をできるだけ多くして、お互いに納得のいく最終学年にしたい。わからなくなったり、行き詰まったりしたときこそ、頻りに相談に来てほしい。先輩や同級生にも指導を仰ぐ心構えを期待したい。就職活動などを理由に無断欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

平常の研究態度を重視する。

参 考 書 等

浮田典良編『ジオグラフィックバル 地理学便利帖』（海青社）2,200円  
 浮田典良『大学地理教育とレポート』（古今書院）2,575円  
 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）2,700円  
 正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡 検 B ( 後 期 )	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

首都圏内日帰り巡検を2回行うことにより、「江戸・東京研究」へ関心を持ってもらう。

講義の内容・授業スケジュール

第1回は都電荒川線沿線、第2回は柴又から行徳まで東京の東郊。日取りは未定、受講者と相談して決める。

履修上の留意点

両国の江戸東京博物館をまだ見学していないものは、別途必ず見学しておくこと。

成績評価の方法

討論への参加とレポートの出来による。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡 検 C ( 前 期 )	なが めま のぶ お 長 沼 信 夫	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

野外での地理的事象や景観などの観察・見学を通して、自然や社会環境の地域的特色の一端を検討・理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は巡検（現地研究）を中心に実施するが、その準備段階で文献・資料の収集や輪読、現地研究後には資料整理やレポート作成作業などを行なう。

現地研究は、次の要領で実施する予定である。

主要テーマ：地理学的視点から見た自然環境と人々の生活環境

巡検地域：箱根・東伊豆地域

巡検時期：平成13年6月上旬（2泊3日）

巡検内容：1) 箱根の火山地形と東伊豆の海岸地形

2) 箱根と東伊豆の温泉

3) 丹那盆地の生活と丹那断層

4) 伊豆高原の観光と交通

5) 伊豆高原の別荘開発とリゾート施設

履修上の留意点

前期に行なう。特に出席を重視するので、遅刻・欠席はしないよう望む。

成績評価の方法

出席回数とレポートの提出などによって評価する。

教科書・参考書等

必要な地形図・文献・資料などは、現地研究前の準備段階で指示する。

そ の 他

ゼミ形式で行なうため、学生諸君の自主性を期待する。また、現地研究の際には車を使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地図学	やなせ 柳瀬 さとす 訓	地理2・3・4選	4

## 講義のねらい

土地・地域に関する自然的・人文的事象を記述し、伝達する手段としての地図。その基本である地形図利用のための基礎、および基本的な主題図について講義する。また、空中写真判読の基礎についてもふれたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

地図の種類、地形図の作り方と精度、地形図の図式と読図のための注意点、地形図を使った各種計測法、地図記号から判読される地域特性、メッシュデータ化など地図情報のデジタル化とその利用、日本の主要な主題図作成の経緯とその内容の時代による変遷、データ（地理統計）の解析と作図法、空中写真判読の基礎など

## 成績評価の方法

期末試験（またはレポート）を主に行うが、授業中に行う小テスト、出席状況などをこれに加味する。

## 教科書

なし

## 参考書等

授業中に紹介する。

## その他

理解を容易にするため地形図（コピーで配布）上で簡単な図上作業を行うことも考えているので、20cm直線定規、2色鉛筆などを用意してもらう場合がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
図学実習（後期）	しみず 清水 ちよう せい 長正	地理2・3・4選	1

## 講義のねらい

本実習では、地形図図式の理解、地図製図や編集に関する種々の技術の習得を目標とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下の内容について、ミニ試験、各種の成果品の作製などをベースに実施する。

- ① 現在・2万5千分1地形図は地理調査等の基図として最も利用されている。この地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』である。地理調査を行うための利用者としても、地形図の性質を知ることが意味のあることと思われるので、ここでは『地形図図式』を読み合わせ、ミニ試験などを実施しながら、その内容の理解を深めてもらう。
- ② 実際の地形図を用いて、各種読図・地図編集作業を実施する。
- ③ 作図ソフトを用いた地図製図法や数値地図の利用法について実習を行う。

## 履修上の留意点

地図学・測量学などの講義は、事前または同時に履修していることが望ましい。

## 成績評価の方法

ミニ試験、成果品等により評価する。

## 教科書

使用テキスト：『昭和61年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

## 参考書等

使用する地形図等は実習中に指示する。

## その他

半期の実習で、時間が少ないので、②③は実習中または冬休みの宿題となろう。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 地 誌	はし 橋 つめ 詰 なお 直 みち 道	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、動態地誌的に日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①自然環境と生活（気候景観、水の利用、地下資源の利用、植物群落と農耕、自然災害）、②中山間地域の変容（森林の保全と活用、棚田の保全と活用）、③農業地域の変容（兼業化の進展、自立型農業地域）、④都市周辺地域の変貌（都市農業、近郊農業地域）、⑤工業地域の変貌（工業団地、農村工業）、⑥観光地域の変容（ふるさと運動・農村観光・スキーリゾート）、これらの項目について最近の地理学の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席状況や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）及び学年末試験（1月）の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

山村順次編『図説日本地誌』（大明堂）2,750円  
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』（古今書院）2,527円  
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、配布プリントと OHP を中心に行い、課題や小テストも実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 地 誌 特 講	うめ 梅 はら 原 ひろ 弘 みつ 光	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

フィリピン共和国が戦後歩んだ社会経済発展の過程を振り返りながら、全体として社会がどう変わり、いかなる地域変化があったか、その実態とメカニズムを考察する。前半では、東南アジア地域全体の歴史的経過と現状に注目、後半でフィリピンに焦点を当てた地誌を講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半：東南アジアの地理的位置、稲作発祥と伝播、植民地支配、農民世界、巨大都市形成、観光と環境、  
後半：フィリピンの農村社会不安、社会経済開発（工業化、農地改革、「緑の革命」）、社会変容（都市化、農業商業化、農村階層分化、労働力移動）、地域変化（森林破壊、アップランドの居住地域化、地域間格差拡大）

履修上の留意点

1回ごとの読み切りではないので、出来るだけ連続して授業を聞いて欲しい。

成績評価の方法

平均点と夏休み中のレポートおよび期末試験

教 科 書

授業中に指示する。

参 考 書 等

授業中に指示する。

そ の 他

講義が中心となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 生 態 学	なか また ひとし 中 俣 均	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

「文化生態学」という学問の分野は、アメリカの C. O. Sauer を始祖とする Berkeley 学派の文化地理学の一部門と位置づけられる。そのことを明確にした Wagner, P. & Mikesell, M. (1962) : 『Readings in cultural geography』では、文化生態学を「環境に対する人間（集団）の巧妙な操作を包摂する特定のプロセス」と定義し、また「(ある地域の) 出来事の経過の内に暗示されているプロセスに関心を抱き」それを記述するものだとしている。このような点に鑑み、本講義では、わたしのフィールドである「沖縄」（ただし沖縄県とはかならずしも同一ではない）を対象にして、いわば「生態地誌」を展開してみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

詳しい講義のスケジュールについては、講義開始時に指示する。

履修上の留意点

時代遅れだとの噂も聞くが、主義として、うるさく出席をとる趣味はもたないので、教室には意欲のある学生だけが存在していると考え。よって、教室内においては、私語は厳に慎まれたい。

成績評価の方法

学期末および学年末の「試験」（形式については未定）による。

教 科 書

あえて特定のものを指定はしない。毎回、プリント教材を配布して、それをもとに進める。

参 考 書 等

- 講義の理解に資するために下記のを座右におくことをすすめる。
- ・外間守善 (1986) : 『沖縄の歴史と文化』(中公新書)
  - ・歴史教育協議会編 (1998) : 『知っておきたい沖縄』(青木書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 地 誌	佐 藤 哲 夫	地理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、タイランドに焦点を合わせて東南アジアの地誌を講じるが、話題をタイランドに限定するわけではない。下に述べるように、まず東南アジア全体に共通する特徴について論じ、その後、タイランドを例として詳しく学ぶ。また補論として、卒論程度でも実行可能な、東南アジアでの現地調査の簡単な方法を紹介する。外国での地域文化・環境研究法の例として学んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

序 東南アジアはどういうところか

第1章 自然景観と地域

1. 東南アジアの気候 1) 大気の大循環 2) モンスーン 3) ドライゾーン
2. 東南アジアの地形 1) プレート運動 2) 川・水の作用 3) 海岸の地形と生物相
3. タイランドの自然地域 1) 季節と暦 2) チャオプラヤ川流域の自然  
3) メコン川流域の自然 4) マレー半島部の自然

第2章 伝統的生活様式

1. 東南アジアの森林 1) 森林の分布 2) 山地の焼畑農業 3) 沿岸低湿地の生業
2. 東南アジアの稲作 1) イネと稲作の拡大 2) 稲作と水利 3) 稲作技術の改良
3. 東南アジアの民族 1) 民族の分布 2) 民族文化の発展 3) 植民地化と外来文化
4. タイランドの民族 1) タイ族とタイランド 2) 農業と集落 3) 国内の少数民族

第3章 都市の文化景観

1. 東南アジアの伝統都市 1) 宗教と都市 2) 貿易と都市 3) 政治と都市
2. 東南アジアの近代都市 1) 植民都市 2) 後背地の開発 3) チャイナタウン
3. タイランドの都市 1) スコータイまで 2) チェンマイとアユタヤ 3) バンコク

第4章 経済と現代社会

1. 東南アジアの社会 1) 独立と経済開発 2) 二重経済と社会 3) 新しい社会階層
2. 東南アジアの工業化 1) 世界経済と工業化 2) 巨大都市 3) 他地域との関係
3. 現代のタイランド 1) 近代国家の成立 2) 開発と地方都市  
3) バンコクの発展 4) パーツ経済圏の発展

結 再び、東南アジアはどういうところか

補論1 地図に見える東南アジア

補論2 都市の景観観察

補論3 農村の景観観察

成績評価の方法

前期末と学年末の試験またはレポートをそれぞれ40%ずつで評価し、残り20%は平常の出席により評価する（授業時間末に適宜小テストを行う）。

教 科 書

資料を授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ地誌	す 須 山 聡	地理2・3・4選	4

講義のねらい

ラテンアメリカ地誌について講義する。とくにブラジル植民の拠点となったブラジル北東部(ノルデステ)については詳細に講義する。またラテンアメリカ地域に限らず、日系人の出稼ぎなど我々の身近なテーマについても言及する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. ラテンアメリカの地理的位置
2. 自然環境
3. 国家と国民
4. 歴史的背景
5. 産業基盤
6. 都市と農村
7. ノルデステの風土
8. ノルデステの伝統的農牧業
9. ノルデステの近代化
10. ラテンアメリカの巨大都市
11. ラテンアメリカの日系移民
12. 日系人の「再移民」

地  
理

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。地図帳を必ず持参されたい。

成績評価の方法

学年末試験(50%)、出席状況(50%)で判定。

教科書

斎藤ほか編著『ノルデステ』(大明堂)を後期のテキストとする。その他適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ地誌	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	地理2・3・4選	4

講義のねらい

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの地域性を考える。

講義の内容・授業スケジュール

文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考え、その後、中核部としての北西ヨーロッパについて、特にその農業の発達、地域性、近年の農村・農業の状況を、日本のそれと対比しながらその地域性を考えたい。後半は、資料の見方についてとくに配慮したい。

履修上の留意点

出来る限り、授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートに書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

前期：ジョールダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』(大明堂) 5,160円  
後期：桜井明久『西ドイツの農業と農村』(古今書院) 4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済地理学	なま い ざわ すずも 生井 沢 進	地理2・3・4選	4

講義のねらい

経済地理学の対象とする範囲は、農業、製造業（工業・鉱業）、流通（商業）、サービス、そして都市と多岐にわたっている。本講義ではこのうち、流通活動の変化について、社会経済状況の変化や、都市構造・都市システムとの関連を中心として解説してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては商業活動の特徴、商業活動の変化から都市構造や都市システムの変化にアプローチしてゆく。後期には今度は都市構造、商業立地、消費者行動の側面から流通構造の変化にアプローチするという方法を探って行く。

履修上の留意点

次の成績評価の方法とも関連するが、夏季休暇中にレポートの作成と提出を義務付ける。成績評価の半分を占めることから、レポートを提出しない場合は単位が取れないことを留意しておいて欲しい。

成績評価の方法

夏季休暇中に作成したレポートと期末の定期テストの結果を中心とするが、前期、後期に少なくとも1回は課題レポートが要求される。

教科書・参考書等

講義の最初に参考図書は指定する。その他には講義毎に随時プリントを配布して講義を進めてゆく。

そ の 他

授業の方法は基本的には講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業地域論	す ずま さとし 須 山 聡	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。従来の経済地理学では扱いきれなかった諸現象に注目し、地域に根ざした産業の特徴や存立基礎を考察する。講義の後半において、日本の在来工業地域を事例に、新たな地域観の定立を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の予定で講義を進める
1. 経済地理学の目的と方法
  2. 経済地理学の基本的概念
  3. 日本の在来工業地域の概観
  4. 徒弟制による熟練形成と労働市場
  5. 在来工業地域の形成
  6. 在来工業地域の発展と変容
  7. 近代工業と在来工業の競合・共存
  8. 大都市の在来工業（西陣織・江戸木目込人形）
  9. 地方都市の在来工業（輪島塗・井波彫刻）
  10. 農村地域の在来工業（結城紬）

履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

出席状況（50%）と試験（50%）を規準とする。

教科書

とくに定めず、適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
村落地理学	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	地理2・3・4選	4

講義のねらい	国民の食糧の供給や国土の保全、自然環境の維持に村落農村が重要な役割を果たしている。しかし、実際の農村は都市を補完する居住区としての地域対象でしかないことが多い。生活環境や文化機会に遅れている村落を整備し、いわゆる「村づくり」の基礎的なあり方を究明する。村落の近代性について探求する。
講義の内容・授業スケジュール	前半と後半に区分する。前半は「むら」のおいたちと、村おこしの史的経験、環境としての農村、村整備の基本的方向、農村としての整備計画、土地利用計画、生産と流面など村落構造と再興について考える。後半は村落整備のケーススタディで、明治以前、農業恐慌後、第2次大戦中の標準農村対策、戦後の緊急開拓の実態とモデル事業などについての村落政策を再検討し、更に先駆と思われるドイツの農村整備、フランスの計画体系、イギリスの田園都市計画などの手法に觸れて、村落の明日について考えるものとする。
履修上の留意点	各省の白書、農林省構造局、農地局、各県市町村の総合計画書類を蒐集、分析できるようにしておくことが大事である。
成績評価の方法	出席度合、課題別報告書の提出、指定資料の分析、統計及び村落地図の理解についての口頭面接による判断で決める。
参考書等	その都度指示する。ただ、国土庁計画の国土利用計画関係資料と農林水産ハンドブックを常備していることが望ましい。
その他	講義中心。プリントに作図することもある。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 形 学	こ 池 かず ゆき 小 池 一 之	地理2・3・4選	4

講義のねらい	地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。
講義の内容・授業スケジュール	年間の授業スケジュールの概要は次の通りである： 地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、 地表水の働きと地表の変化（マズウェステイング、種々の河成地形、組織地形） 海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形（火山地形など） 地形発達
履修上の留意点	地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。
成績評価の方法	基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。
教科書	小池一之・坂上寛一ほか著『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学-地形と土壌」』（東海大学出版会）2,575円
参考書等	貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円 小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円
その他	授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学実習(前期)	清水 長正	地理2・3・4選	1

講義のねらい

本実習は、地形学・地質学・第四紀学などで学習する地形および第四紀地質の調査方法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

地形調査の主な技術として、空中写真判読、現地調査、レポートの作成の3項目に重点を置く。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握をベースとし、各種地形の相互関係から地形発達をある程度推定できるまでの技術の向上を目指す。現地調査については、休日を利用して地形調査の巡検を2～3回程度行い、現地における地形形態の実測および地形を構成する物質(とくに第四紀地質)の露頭調査など、各種器材の使用法を含めた実習を行う。レポートの作成では以上の実習内容をレポートにまとめ、地形の記載の仕方について会得してもらう。

履修上の留意点

地形学、地質学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、事前または同時に履修してもらいたい。また、空中写真実体視はマスターしていることが望ましい。

成績評価の方法

読図・空中写真判読成果および巡検のレポートなどにより評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書は実習中に指示する。

その他

空中写真はカラーコピーを使用するので、代金(700～800円程度)がかかる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会地理学	宮口 侗 勉	地理2・3・4選	4

講義のねらい

人間集団がその基本的な活動の積み重ねにより社会空間を形成していく過程の研究が社会地理学であるという認識のもとに、主として日本の農山村社会の動向を論じる。

講義の内容・授業スケジュール

日本各地にどのような地域社会(空間)がつくられてきたかを、スライド等を用いながら説明した後、外国と対比しながら、その発展の方向も論じたい。

成績評価の方法

ある程度以上の出席を前提に、学年末に試験を行い、評価する。

教科書

宮口著『地域を活かす』(大明堂) 2,800円を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交 通 地 理 学	つち なた とし はる 土 谷 敏 治	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、現実の交通現象や交通政策に加えて、これらの相互作用を含めた地域間の結びつきについても解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はこれまでの地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ
4. 都市圏内部における公共交通の現状と課題
5. 鉄道交通の現状と問題点
6. 航空交通の特色と都市間結合関係

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの最終回の授業時間に試験を実施、その総合得点（すなわち、2回の試験の合計点）で成績を評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』（大明堂）  
 奥井正俊『自動車交通の地域分析』（大明堂）  
 奥野隆史『交通と地域』（大明堂）

そ の 他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

この授業では、地理学評論に掲載された英語論文を読む。なるべく多く読み、地理学の専門的な英語に慣れ親しむことを心がける。日本人の書いた英語なので、英語表現としては最適とは言えないかもしれないが、東京をテーマにした題材なので内容的には理解が困難ということはない。

講義の内容・  
授業スケジュール

参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、それに解説を加えながら進める。テキストには以下のような論文が掲載されているが、参加者の希望に応じて順不同で取り上げる。

- ・ Tokyo : From a Feudal Million City to a Global Supercity
- ・ The Status of Tokyo in Japan from the Standpoint of High-Order Urban Function
- ・ Recent Trends in the Activities of Financial Institutions of Tokyo
- ・ Changing Segregation Pattern by Age Group in the Tokyo Metropolitan Area
- ・ Development of Private Sports Facilities As a Side Business of Urban Farmers
- ・ Types of Agricultural Income in the Southwestern Part of the Tokyo Metropolitan Region
- ・ The Uplands and Lowlands of Tokyo : a Geomorphological Outline
- ・ Urban Hydrology in Tokyo
- ・ The Urban Climate of Tokyo
- ・ Natural Disasters and Countermeasures for the Tokyo Lowland
- ・ The Inhabitants and the Citizens of Tokyo

履修上の留意点

順不同で毎回少なくとも1度はあてるので、必ず予習してきて欲しい。英和辞典を持ってくること。電子辞書は薦めない。専門的な用語は、普通の英和辞典に載っていないものもあるので、その場合は地理学辞典を調べる必要も出てくる。

成績評価の方法

成績は出席と参加の積極性で評価する。

教 科 書

テキストは必要部分を配布する。出所は下記のとおりで、入手可能である。  
*Geographical Review of Japan Vol.63B No.1(Special Issue ; Tokyo)* (日本地理学会1990) 3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
気 候 学	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理2・3・4選	4

講義のねらい

日本および世界各地の気候現象と人間生活との関係などの具体的事例を通して、気候現象のメカニズムを学び、気候学の基本的な諸概念を理解する。大気の物理学というよりは、大気現象を中心とした地理学に近づけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 地理学と気候学        | 6. 大気大循環        |
| 2. 大気組成とエネルギー収支   | 7. 季節学          |
| 3. 雲と風の地理学 気象衛星画像 | 8. 気候変動と気候変化    |
| 4. 総観気候学          | 9. 気候分類と気候区分    |
| 5. 気団と前線 高気圧と低気圧  | 10. 世界の気候と日本の気候 |

地  
理

履修上の留意点

提出期限に遅れたレポートは受け取らないので注意。

成績評価の方法

時々実施する出席調査の結果と、前期のレポート、および後期の試験によって評価する。

参考書等

気象衛星センター監修『ひまわりで見る四季の気象』（大蔵省印刷局）  
住 明正『地球の気候はどう決まるか？』（岩波書店）  
中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）  
中村和郎『雲と風を読む』（岩波書店）  
吉野正敏『気候学』（大明堂）  
吉野正敏ほか編『気候学・気象学辞典』（二宮書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
気候学実習（後期）	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理2・3・4選	1

講義のねらい

「気候学」の講義で学ぶ知識を確実なものとすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 気象観測
2. 気象統計
3. 各種気候図の作成

履修上の留意点

「気候学」の講義を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

出席と平常の学習態度、課題の提出によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学	ながぬまのぶお夫 長沼信夫	地理2・3・4選	1

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
- 2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
- 3) 陸地における水の基本的な在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
- 4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜市域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
- 5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し、評価する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水－』（東海大学出版会）2,625円

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPなどを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学実習(前期)	たかぎまさひろ 高木正博	地理2・3・4選	1

講義のねらい

身近な河川や湧水などの調査をとおして、水文環境の一端を明らかにする事を目的とする。野外での水量や水質などの測水調査及び試料の分析に重点をおく。

講義の内容・  
授業スケジュール

調査の準備段階として、対象水域の概要や水量・水質などに関する基礎的な学習を行ってから、調査目的、水域・地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用法などについて検討する。調査後は、試料の分析、図表の作成、結果の整理・考察などとおして総括する。測水調査は2～3回予定している。

履修上の留意点

野外での調査、実験室での分析など授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。時間の制約等が考えられるが、積極的に受講してほしい。

成績評価の方法

日頃の実習態度を基礎点とし、提出物の成果と合わせて評価する。

教科書

新井 正『水環境調査の基礎』（古今書院）2,500円

参考書等

日本分析化学会北海道支部『水の分析』（化学同人）  
日本地下水学会『名水を科学する』（技報堂出版）、その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
都市地理学	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地理2・3・4選	4

講義のねらい

モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①都市の概念、②都市システム(順位規模法則・中心地理論・日本の都市システム研究)、③都市機能の分類(ハリス・ネルソン・石水・山口らによる研究)、④都市の内部構造(古典的モデル・因子生態モデル)、⑤都心機能(CBDの形成、垂直的・水平的機能分化)、⑥都市化と大都市圏(地価・超郊外化)、⑦居住空間(郊外住宅地と居住地選好)、⑧都市空間の認知(パーソナルスペース・メンタルマップ)、⑨都市住民の行動(生活時間と生活行動)、⑩都市環境の整備と保全(都市計画、緑地保全政策)、これらの項目について最近の都市地理学の研究成果を中心に概説する。

地  
理

履修上の留意点

毎時間の出席状況や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)および学年末試験(1月)の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林) 2,500円  
石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院) 3,605円  
高橋伸夫・谷内 達 編『日本の三大都市圏』(古今書院) 4,326円  
森川 洋『日本の都市化と都市システム』(大明堂) 3,800円  
荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫 編訳『生活の空間都市の時間』(古今書院) 3,000円  
荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『都市の空間と時間』(古今書院) 3,090円  
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、参考書と配布プリント及びOHPを中心に行い、課題や小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人口地理学	おおとも あつし 大 友 篤	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史地理学	おたまた やす 小 田 匡 保	地理2・3・4選	4

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学的主要内容を概観する。地理学科の学生が歴史地理学的調査をする場合を考えて、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教科書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 地 理 学 実 習 ( 後 期 )	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地 理 2 ・ 3 ・ 4 選	1

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。その他、本学図書館所蔵の古地図を閲覧する時間を設ける。

履修上の留意点

旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教 科 書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』（NTT 出版）1,650円

参 考 書 等

林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』（柏書房）2,524円

そ の 他

教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球物理学	やなぎ だ まこと 柳 田 誠	地理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は地理学専攻の学生を対象として地球物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アイソスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。現段階では定説がないものも多い。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

1. 地球の構造

地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係を見る。地球の化学組成や物性（粘性）について説明する。

2. プレートテクトニクス

地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振りかえる。

3. 地震と火山

日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。

後期

4. 活断層とは何か？

内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。

5. 地球の年代

地球の年齢は？どうやって決まっているのか？月の年齢は？

6. 山はなぜ高いか？

山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか？高くしているのはなにか？なにかが山を削るのか？いろいろと考えてみたい。

履修上の留意点

地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。

教科書

授業中に紹介する

その他

OHP やスライドを多く使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
土 壌 地 理 学	<small>うるし</small> 漆 <small>ぼら</small> 原 <small>かず</small> 和 <small>こ</small> 子	地理2・3・4選	4

講義のねらい

種々の岩石が土壤生成作用を受けて熟成していく過程を説明し、次に世界と日本の気候と植生の差に対応して分布する土壤型とその分布様式について考える。土壤特性の差がどうして生じるのか、人々はその特性をどのように利用してきたのかについて説明する。さらに人間活動が関与して変化した土壤特性や開発上の問題点についてもふれる。基礎知識として、地形学、気候学を履修していることが望ましい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は基礎を、後期は分布様式と人間活動について講義する。

履修上の留意点

教科書以外の教材も多用するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は出席と試験によっておこなう。

教 科 書

ブリッジズ著『世界の土壤』（古今書院）3,800円

そ の 他

スライドを用い、プリントを配布する。土壤のサンプル、岩石のサンプルにふれ、分類する機会をつくる。講義が主体。

地  
理



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 地 理 学	し 清 み 水 よ 善 か 和	地 理 2・3・4 選	4

講義のねらい

現在、地球上には1000万種を越える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。その分布は現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種のたどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに存在するのではなく、地球の歴史や環境条件のまとまりに応じて大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

地  
理

講義の内容・  
授業スケジュール

第1章 生物地理学の基礎

- (1) 「生物地理学」とは？
- (2) 生物の分布と移動
- (3) 進化とメカニズム
- (4) 生態系とニッチ

第2章 分類体系

- (1) 分類体系と学名
- (2) 生物五界説
- (3) 種の定義と属性
- (4) 分類の方法

第3章 区系生物地理学

- (1) 分布パターンと地理区
- (2) 世界の生物地理区
- (3) 日本の生物地理区
- (4) 分布境界線と移行帯

第4章 生態地理学

- (1) 気候帯とケッペンの気候図
- (2) 植生と気温指数
- (3) 世界の植生帯
- (4) 日本の植生帯
- (5) 植物群落体系と植生図

第5章 過去をさぐる方法

- (1) 化石と地質年代表
- (2) 花粉分析
- (3) 年輪解析
- (4) 放射能の半減期
- (5) 地磁気の逆転
- (6) 南極の氷柱
- (7) 分子時計
- (8) 全地球史解説

第6章 絶滅

- (1) 絶滅の様式
- (2) 大量絶滅
- (3) 大型哺乳類の絶滅
- (4) 人による絶滅

第7章 大陸移動と生物分布

- (1) プレートテクトニクスと  
プレウムテクトニクス
- (2) ゴンドワナ起源の生物
- (3) 南米生物相の発展
- (4) ヒマラヤ造山
- (5) 魚類の進化と分布

第8章 氷河期と生物分布

- (1) 氷期の気候変動
- (2) 後氷期の生物移動
- (3) 海面変動と生物分布

第9章 大洋島の生物

- (1) 大洋島と大陸島
- (2) 長距離散布と定着
- (3) 動的平衡モデル
- (4) 適応放散的種分化
- (5) 鳥症候群
- (6) 島大陸と古代湖

第10章 帰化生物

- (1) 人為的な生物の移動
- (2) 代表的な帰化生物
- (3) 帰化生物の影響
- (4) 家畜の野生化

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	たけのうち けいいち 竹内啓一	地理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシャンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の連接と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的実践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

地  
理

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をして、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを年間4回おこなう。

#### 成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

#### 教 科 書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円  
日本の地理思想史については、私が作成した資料を配布。

#### 参 考 書 等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。

手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 (古今書院)  
西川治 (編) 『地理学総論』 (総観地理学講座1) (朝倉書店)  
水津一朗 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)  
野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)  
飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)  
野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)  
竹内啓一 『とぼろうく』 (古今書院)  
織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)  
織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)  
長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)  
スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』 (原書房)  
増田義郎 『大航海時代』 (世界の歴史13) (講談社)  
ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代まで』 (河出書房新社)

日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。

*Modern Japanese Geography: An Intellectual History.* Kokon-Shoin

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計 量 地 理 学	つち だに とし はる 土 谷 敏 治	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 相関・回帰分析
5. 多変量解析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもに使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要があるが、方法については授業時に指示する。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。

後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。

成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）

野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
計量地理学実習 (前期)	つち なた とし はる 土 谷 敏 治	地理2・3・4選	1

講義のねらい

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、これらの分析手法を活用できるようになるため、基本的なソフトウェアの使用法を習得するとともに、計量地理学の学習の準備をすることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excel の使用方法
2. データの入力方法
3. データの加工方法
4. 統計的分析方法
5. グラフ作成方法
6. 統計地図作成方法
7. Microsoft Power Point の使用方法
8. コンピュータによるプレゼンテーション

履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel と Power Point を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
測 量 学	こ 小 池 一 之	地理2・3・4選	4

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を決定する技術を研究する実学性の強い学問分野である。それぞれの点の間の距離や高度差（比高）、および、それらの点を結ぶ線の方角を測定することが測量の基本である。本講義では測量学の基本を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

授業スケジュールは、地球の姿、誤差論、角測定法、距離測定法、水準測量、多角測量、地形測量、写真測量、写真判読法の順で各項目に2～3時限をあてる予定である。それぞれの項目の講義終了後に実習をおこなうか課題を義務付ける。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得（国家試験免除）のための必修科目である。したがって、成績評価は厳しい。また、高校の数学（とくに三角関数、対数の基礎）を十分に復習しておくこと。ちなみに測量士補の国家試験の合格率は例年15%前後である。

成績評価の方法

成績の評価は、期限内に提出された課題を基礎点とし、学年末試験の点数を加えた総合点で評価する。課題の提出不足や不提出者は試験の点数が満点に近い場合にのみ単位が与えられる。

教科書

小田部 和司 著『図解 土木講座「測量学」(第二版)』（技報堂出版(株)）3,200円＋税

参考書等

測量士補受験用 図解テキスト 1～4（今井佐一 監修 測量の基礎知識、水準・地形・応用測量、三角・多角測量、写真測量・地図編集）（市ヶ谷出版社）各2,000円

その他

授業の中心は講義形式であるが、年間数回の課題実習を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リモートセンシング	佐 藤 哲 夫	地理2・3・4選	4

講義のねらい

この科目では、環境や資源の調査に利用されているリモートセンシング（空中写真の利用を含む）の初歩を学ぶ。応用的な性格の強い分野なので、関係する技術の全てを、根本的な原理から積み上げて理解するのは大変困難である。したがって、実習を通じて、リモートセンシングの可能性について知ることに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 リモートセンシング入門   | 11 デジタル処理の基本(2)  |
| 2 空中写真の利用       | 12 画像の表示と分析      |
| 3 空中写真の判読       | 13 フィルタリング       |
| 4 空中写真の計測       | 14 画像間演算         |
| 5 空中写真の実体視      | 15 シングルセル分類      |
| 6 空中写真測量（視差）    | 16 最短距離法による分類    |
| 7 空中写真測量（比高の計測） | 17 幾何補正（座標変換）    |
| 8 リモートセンシングの原理  | 18 幾何補正（リサンプリング） |
| 9 リモートセンシング画像   | 19 土地被覆分類（まとめ）   |
| 10 デジタル処理の基本(1) | 20 リモートセンシングの活用  |

地  
理

履修上の留意点

ウィンドウズ PC による実習を行うので、ウィンドウズの操作ができることが受講の前提となる。自宅でウィンドウズを利用できない場合は、総合情報センターの利用登録をすること。地図の読図・作図作業や数学の嫌いな人には向いていない。また、これまでの例によれば、フィールドワークの経験に乏しい三年生での学習も難しいようである。

成績評価の方法

空中写真判読のレポート、空中写真測量の練習問題、衛星画像判読のレポート、土地被覆分類図作成のレポートを各20%、そのほかに実習の過程で課す小課題を総合して、100%の評価とする。

教 科 書

空中写真の判読と計測に関する参考資料は配布する。衛星リモートセンシングに関しては、下記を教科書として指定するほか、資料と教材（FD）を配布する。教科書は上記の授業スケジュールにあわせて、ランダムに参照する。  
 日本地図センター 『空中写真の知識（改訂版）』 1,300円  
 長谷川 均 『リモートセンシングデータ解析の基礎』（古今書院） 3,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化地理学	小 田 匡 保	地理2・3・4選	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、本講義では、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市  
5. 巡礼

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
第 四 紀 学	すずき たけひこ 鈴 木 毅 彦	地理 3・4 選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、人類、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末と後期末の筆記試験

参考書等

教科書は特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

そ の 他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応 用 地 理 学	たかぎ まさひろ 高 木 正 博	地理 3・4 選	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教 科 書

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書 等

配布プリントをとおり随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 計 画 論	こ 今 の 野 し 修 へい 平	地理3・4選	4

講義のねらい

地理学の研究対象である地域は、自然、歴史等の基礎条件の下、市場原理に基づく資本の動向と、社会的意志決断による政策選択により大きく影響を受け、日々新たになりつつ未来へ向けて人々の努力が続けられている。

本論は社会的意志決断による政策選択を主として取上げ、これが地域形成にもたらした影響とこの政策の在り方を考えることを講義のねらいとしている。地理学にとって Sein の科学から Sol-len の科学への道を切り拓こうとするものでもある。

戦後体制の中で体系化している準憲法、行政体系、政策の沿革等を認識した上で、体系上の基本計画となる全国総合開発計画を詳細に取上げ、現在審議中の次なる全国総合開発計画にも触れる。学習の一環として実地に則した学習の一つとして、夏休みには「ふるさとの未来像」と取組むこととしている。

地  
理

履修上の留意点

本講義の関連科学として最も密接な領域は経済政策、交通計画、都市学、環境生態学等多岐に亘るため、幅広い学習が求められると共に、これを克服していく熱い情熱と意欲が求められる。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに取組む「ふるさとの未来像」の取組みと、年度末試験によるが、途中何回かの小論文テストとレポートがあり、重要事項の復習と思考力および論文作成能力向上のトレーニングを行う。

教 科 書

とりあえず『第4次全国総合開発計画』（国土庁刊）を使用するが、国における政策の進展状況によっては、新しい刊行物を追加利用する。またコピーや OHP での資料配布等も随時行なう。

参 考 書 等

参考図書等は講義中紹介する。

そ の 他

地域を地域住民の手で自らつくり上げていく上で、取組むべき姿勢、不可欠な視点、基礎認識として必要な学識、計画策定への思考方法の最も基本的領域に取組み、地域づくりの主人公としての市民が持つべき責務を痛感させられる講義にしたいと念じている。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理情報論	むら やま ゆう じ 村 山 祐 司	地理3・4選	4

講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システム GIS について概説する。

GIS は、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GIS は、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献）
2. 地理情報の収集方法（統計データ）
3. 地域分析に有用な統計パッケージ
4. 地理情報と空間分析
5. 多変量解析
6. 地理情報システム GIS とは
7. GIS のハードウェア
8. GIS の発展史
9. GIS のデータ構造
10. アナログ地図とデジタル地図
11. ラスターデータとベクターデータ
12. 社会モニタリング
13. GIS の空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング）
14. GIS の空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション）
15. GIS の社会的応用（環境問題・防災）
16. GIS の社会的応用（行政・民間）
17. インターネットによる GIS・地理情報の入手
18. インターネット GIS
19. GIS の将来
20. 地理学と GIS（まとめ）

成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

教科書

中村和郎・寄藤 昂・村山祐司編（1998）『地理情報システムを学ぶ』（古今書院）3,000円

そ の 他

- 1) 駒澤大学「情報処理センター」において、GIS のデモを行う。
- 2) GIS 関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	は せ がわ 長 谷 川 ひとし 均	地理3・4選	4

講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつき込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。  
なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退席は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅰ (後 期)	はし 橋 つめ 詰 なお 直 みち 道	地理3・4選	2

講義のねらい

今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法とその課題について紹介する。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年の講義(半期=後期)内容は、次の項目を予定している。①都市計画と地理学、②都市計画の歴史、③市街地の整備(区画整理事業と市街地再開発事業)、④都市計画と都市農業(生産緑地)、⑤都市のアメニティ(都市緑地の保全と都市公園の整備)、⑥都市の緑地計画(緑の基本計画)、⑦エコ・シティ(環境共生住宅)、⑧英国の田園都市運動(ガーデン・シティ)、⑨英国の郊外住宅地計画(ガーデン・サバープ)、⑩市民参加型まちづくり、これらの項目について最近の都市計画や造園学などでの研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

定期試験(1月)の成績及び授業への出席日数が基準以上であることを総合的に評価する。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』(岩波新書)580円  
石田頼房『都市計画と都市生活』(自治体研究社)700円  
山田学ほか編『現代都市計画事典』(彰国社)4,280円  
長素連訳『明日の田園都市』(鹿島出版会)980円  
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、参考書と配布プリント及びOHPを中心に、小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅱ (前 期)	なま い ざわ 生 井 沢 すずむ 進	地理3・4選	2

講義のねらい

地理学には法則性の追求を目的とした純学問的な分野とともに、実際の経済社会問題の解決を目的とした応用分野(応用地理)も存在している。本講義では地域開発・都市開発について、地理学的アプローチと、マーケティング的アプローチとを比較しながら具体的な取り組みについて紹介してゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

地域振興についてのマーケティングプロセスを具体的事例で追いながら紹介し、地域開発における思想と手順を理解してゆくようにする。

履修上の留意点

地域開発に関する断片的な知識の授受が目的ではなく、プロセスに重点をおいた授業を行いたいので、出席を重視します。このことから、毎回出席をとります。

成績評価の方法

出席点、課題に関するレポート、期末(前期末)に行うテストで成績評価します。最も重視するのは出席点です。

教 科 書 ・  
参 考 書 等

最初の時間にプリントを配布します。そのプリントをもととして授業を行います。

そ の 他

プリントを解説しながら授業を進めますが、受講生に対しては様々な質問を行うと同時に、討論に参加してもらう授業を考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅲ	おきの 沖野行男	地理3・4選	4

講義のねらい

運輸省管轄の「旅行業務取扱主任者試験（国家資格）」の受験・合格を目指す学生の為めの補助・補完的講座としての位置付け。

講義の内容・  
授業スケジュール

受験科目は：1) 法及びこれに基づく命令についての知識（旅行業法令）  
2) 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款に関する知識（旅行業関連約款）  
3) 国内旅行実務（国内運賃料金・国内観光地理・国内旅行業務）  
4) 海外旅行実務（国際運賃料金・海外観光地理・海外旅行業務・観光英語・出入国法令／手続）

一般は4科目、国内は3科目であるが、1)及び2)は共通受験科目であり、年1回10月と9月に実施される。従って週1回の講義では全ての科目内容をカバーすることには制約があるので、前期（4月-9月）では共通科目である「旅行業法令」と「旅行業関連約款」にのみ講義の焦点を絞り込む。後期では「旅行業入門」と題して「四つの視点」から旅行業務内容を「旅程管理業務（添乗業務）」を軸として、講義を展開する。

履修上の留意点

地理学科の学生諸氏には履修する専門学科の実用・応用化と捉え、ひろく観光産業関連（運輸業・宿泊業・旅行業・娯楽施設業など）を意図する際の「資格」の一つとする。従って「観光英語」「国内・国際運賃／料金」「国内・国際観光地理」「出入国法令・手続」などの受験科目については学生の自主的勉学に委ねることとなるが、適切な「傾向と対策」と「参考書」についてのアドバイスを行う。

成績評価の方法

前期・後期の出席率 50%  
定期試験の成績評価 50%（又は課題レポート評価）  
尚一般・国内旅行業務取扱主任者試験合格者には無条件4単位付与とする。

教科書

「旅行業法令」「標準旅行業約款」「航空運送約款」

参考書等

『「一般短期完成」旅行主任者試験シリーズ』（株）トラベルジャーナル出版事業部）2,500円（税別）

その他

必要に応じ講義課題についてプリントを配付する。  
「旅行業務取扱主任者（国内・一般）試験」についての通信教育講座の教材・教本や参考書などは多数出版されているので、いずれを持参されても差し支えない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 特 講 IV	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地理 3・4 選	4

講義のねらい

現代の経済地理学の体系を、英語圏で最も多く用いられている概説書の日本語訳を教科書にして講義する。教科書の各章ごとの要旨・解説のプリントを配付する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は上下に分かれていて、上巻は古典的な経済立地論で、経済地理学を展望した序論の後、以下の6章からなっている。この部分を4月から10月までの間に勉強する。

- 1 経済活動の空間的組織：単純化されたモデル
  - 2 異質的地表面
  - 3 輸送と経済活動の空間組織：経路、ネットワーク、輸送費
  - 4 生産費の空間的差異
  - 5 需要、規模、および集積
  - 6 時空間の次元：累積的経済発展
- 11月以降勉強する下巻は、以下の4章からなっている。
- 7 現代のビジネス世界：その経済構造、企業組織、競争過程
  - 8 大企業組織の戦略行動：地理学的展望
  - 9 マルクスの社会・経済理論による立地研究
  - 10 社会関係と生産の地理学

履修上の留意点

教科書をよく読み、またすでに履修した部分をよく理解していないと講義の内容がまったく理解できなくなるので、丁寧に復習すること。この点をチェックするため、年間に4回予告なしに小テストを行う。

この教科書は経済地理学の体系的な提示としては非常によくできているが、日本語訳には誤訳等、いくつか問題があり、この点は講義の中で指摘する。また、巻末に掲げられている参考文献には、日本語訳があるものがかなりあるが、これもこの日本語訳では示されていないので、講義の中でそれぞれ指摘する。

この教科書は若干値ははるので、もとをとるつもりでしっかり勉強して、内容をマスターしてほしい。

成績評価の方法

上記授業時間中の小テストの成績（40点）と、学年末の試験（60点）による。小テストおよび学年末試験はノート、教科書等、参照するものは一切自由である。

教科書

ピーター・ディッケン、ピーター・E・ロイド著、伊藤喜栄監訳『立地と空間：経済地理学の基礎理論』上・下（古今書院）1996年 各3,200円

参考書等

参考文献はこの教科書にたくさん示されており、いくつかの日本語訳については、講義の中で提示する。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 特 講 V	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理 3・4 選	4

講義のねらい	気候学の基礎を学んだ後に、さらに進んで世界各地の気候を学びたいという学生が増えてきた。残念なことに日本語で書かれた世界気候誌の本が少ないので、外国語の書物や論文を読んで学んでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気候地理学</li> <li>2. 熱帯地方の気候</li> <li>3. 温帯・寒帯地方の気候</li> </ol>
履修上の留意点	気候学を履修していること。英語の専門書を読む意欲を持っていること。各自進んで、世界のある地域の気候を調べる課題に挑戦してほしい。
成績評価の方法	レポート
教科書	とくに指定しない。
参考書等	W. Eriksen “ <i>Klimageographie</i> ”, Wissenschaftliche Buchgesellschaft R. T. Trewartha “ <i>The Earth’s Problem Climates</i> ”, The Univ. of Wisconsin Press. K. Boucher “ <i>Global Climate</i> ”, The English University Press. 学術雑誌 “ <i>Monthly Weather Review</i> ”, “ <i>Weather</i> ” など



# 1. 專門教育科目

## (4) 歷史學科





# 1. 専門教育科目

## (4) 歴史学 科

基礎歴史学	〈中村 淳〉	181
基礎歴史学	〈松本 信道〉	181
基礎歴史学	〈中野 達哉〉	182
史学概論	〈伏島 正義〉	182
日本史概説Ⅰ (古代・中世)	〈松本 信道〉	183
日本史概説Ⅱ (近世・近代)	〈黒沢 文貴〉	183
東洋史概説Ⅰ (古代・中世)	〈中村 淳〉	184
東洋史概説Ⅱ (近世・近代)	〈渡辺 惇〉	184
西洋史概説Ⅰ (古代・中世)	〈伏島 正義〉	185
西洋史概説Ⅱ (近世・近代)	〈青木 道彦〉	186
考古学概説Ⅰ (日本)	〈酒井 清治〉	187
考古学概説Ⅱ (外国)	〈飯島 武次〉	187
日本史史料講読Ⅰ	〈瀧 音能之〉	188
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
日本史史料講読Ⅱ	〈久保田 昌希〉	189
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
日本史史料講読Ⅲ	〈廣瀬 良弘〉	190
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
日本史史料講読Ⅳ	〈小林 和幸〉	190
〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕		
東洋史史料講読Ⅰ	〈中村 淳〉	191
〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕		
東洋史史料講読Ⅱ	〈渡辺 惇〉	191
〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕		
西洋史史料講読Ⅰ	〈伏島 正義〉	192
〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕		
西洋史史料講読Ⅱ	〈佐々木 真〉	192
〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕		
日本史学史	〈瀧 音能之〉	193
東洋史学史	〈中村 淳〉	193
西洋史学史	〈佐々木 真〉	194
考古学史	〈小柳 美樹〉	194
考古学実習 (写真)	〈塚原 明生〉	195
考古学実習 (測量)	〈千葉 基次〉	196
考古学実習 (石器)	〈上敷領 久〉	196
考古学実習 (土器)	〈上敷領 久〉	197
考古学実習 (情報)	〈小柳 美樹〉	197
考古発掘実習	〈酒井 清治・飯島 武次〉	198
演習Ⅰ	〈久保田 昌希〉	198
演習Ⅰ	〈小林 和幸〉	199
演習Ⅰ	〈瀧 音能之〉	199
演習Ⅰ	〈中野 達哉〉	200
演習Ⅰ	〈広瀬 順皓〉	200
演習Ⅰ	〈廣瀬 良弘〉	201

演	習	I	〈松本信道〉	202				
演	習	I	〈中村淳〉	202				
演	習	I	〈渡辺惇〉	203				
演	習	I	〈佐々木真〉	203				
演	習	I	〈伏島正義〉	204				
演	習	I	〈飯島武次〉	204				
演	習	I	〈酒井清治〉	205				
演	習	II	〈久保田昌希〉	205				
演	習	II	〈小林和幸〉	206				
演	習	II	〈小林和幸〉	206				
演	習	II	〈瀧音能之〉	207				
演	習	II	〈中野達哉〉	207				
演	習	II	〈廣瀬良弘〉	208				
演	習	II	〈松本信道〉	209				
演	習	II	〈中村淳〉	209				
演	習	II	〈渡辺惇〉	210				
演	習	II	〈佐々木真〉	210				
演	習	II	〈伏島正義〉	211				
演	習	II	〈飯島武次〉	211				
演	習	II	〈酒井清治〉	212				
演	習	II	〈千葉基次〉	212				
古	文	書	学	〈松本信道・久保田昌希・小林和幸・廣瀬良弘〉	213			
古	文	書	講	讀	I	〈吉田政博〉	214	
古	文	書	講	讀	II	〈中野達哉〉	214	
日	本	仏	教	史	I	〈休講〉		
日	本	仏	教	史	II	〈休講〉		
日	本	仏	教	史	III	〈岡野浩二〉	215	
西	洋	文	化	史	I	〈休講〉		
西	洋	文	化	史	II	〈佐々木真〉	216	
日	本	文	化	史	I	〈廣瀬良弘〉	217	
日	本	文	化	史	II	〈休講〉		
日	本	史	各	説	I	〈瀧音能之〉	218	
日	本	史	各	説	II	〈久保田昌希〉	218	
日	本	史	各	説	III	〈中野達哉〉	219	
日	本	史	各	説	IV	〈黒沢文貴〉	219	
日	本	史	特	講	I	〈古代〉	〈松本信道〉	220
日	本	史	特	講	II	〈中世〉	〈亀谷弘明〉	220
日	本	史	特	講	III	〈中世〉	〈小松寿治〉	221
日	本	史	特	講	III	〈中世〉	〈粟野俊之〉	221
日	本	史	特	講	IV	〈近世〉	〈宮本由紀子〉	222
日	本	史	特	講	V	〈近世〉	〈小高昭一〉	222
日	本	史	特	講	VI	〈近代〉	〈岸本昌也〉	223
日	本	史	特	講	VII	〈近代〉	〈小泉雅弘〉	223
東	洋	史	各	説	I	〈古代〉	〈休講〉	
東	洋	史	各	説	II	〈古代〉	〈小林惣八〉	224
東	洋	史	各	説	III	〈中世〉	〈休講〉	
東	洋	史	各	説	IV	〈中世〉	〈石田肇〉	224

東洋史各説Ⅴ(近世)〈野沢佳美〉	225
東洋史各説Ⅵ(近世)〈休講〉	
東洋史各説Ⅶ(近・現代)〈趙軍〉	226
東洋史各説Ⅷ(周辺史)〈松本弘〉	227
東洋史各説Ⅸ(周辺史)〈片岡一忠〉	227
東洋史各説Ⅹ(周辺史)〈奈良修一〉	228
東洋史特講Ⅰ(古代)〈小林惣八〉	229
東洋史特講Ⅱ(古代)〈休講〉	
東洋史特講Ⅲ(古代)〈休講〉	
東洋史特講Ⅳ(中世)〈石田肇〉	230
東洋史特講Ⅴ(中世)〈休講〉	
東洋史特講Ⅵ(中世)〈休講〉	
東洋史特講Ⅶ(近世)〈野沢佳美〉	231
東洋史特講Ⅷ(近世)〈休講〉	
東洋史特講Ⅸ(近世)〈休講〉	
東洋史特講Ⅹ(近・現代)〈趙軍〉	232
東洋史特講Ⅺ(近・現代)〈休講〉	
東洋史特講Ⅻ(近・現代)〈藤谷浩悦〉	233
東洋史特講Ⅼ(周辺史)〈奈良修一〉	234
東洋史特講Ⅽ(周辺史)〈片岡一忠〉	235
東洋史特講Ⅾ(周辺史)〈休講〉	
西洋史各説Ⅰ〈岩本裕子〉	236
西洋史各説Ⅱ〈休講〉	
西洋史各説Ⅲ〈休講〉	
西洋史各説Ⅳ〈伏島正義〉	237
西洋史特講Ⅰ〈長谷川岳男〉	237
西洋史特講Ⅱ〈休講〉	
西洋史特講Ⅲ〈亀長洋子〉	238
西洋史特講Ⅳ〈佐々木真〉	238
西洋史特講Ⅴ〈休講〉	
西洋各国史Ⅰ〈渡辺知〉	239
西洋各国史Ⅱ〈鳥越泰彦〉	239
西洋各国史Ⅲ〈宮本直美〉	240
西洋各国史Ⅳ〈長谷川岳男〉	240
考古学各説Ⅰ〈休講〉	
考古学各説Ⅱ〈吉開将人〉	241
考古学各説Ⅲ〈休講〉	
考古学各説Ⅳ〈今村啓爾〉	241
考古学特講Ⅰ〈休講〉	
考古学特講Ⅱ〈田村晃一〉	242
考古学特講Ⅲ〈酒井清治〉	242
考古学特講Ⅳ〈矢野和之〉	243
西域美術史〈松平美和子〉	244
哲学史〈山口祐弘〉	244
歴史哲学〈麻生建〉	245
仏教美術〈松田誠一郎〉	245
中国歴史文学〈南雲智〉	246

有	職	故	実	〈大	塚	英	子〉	.....	246
日	本	民	学	〈谷	口	貢	〉	.....	247
美	術	史	説	〈矢	野	陽	子〉	.....	248
ラ	テ	ン	語	〈佐	藤	玖美子	〉	.....	248
ギ	リ	シ	語	〈長	谷川	岳	男〉	.....	249
歴	史	地	学	〈小	田	匡	保〉	.....	249
人	文	理	説	〈小	池	とみ子	〉	.....	250
地	地	誌	学	〈川	元	豊	和〉	.....	250
地	誌	誌	学	〈新	井	祥	穂〉	.....	251
			学	〈藤	島	範	孝〉	.....	251

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎歴史学	なかむらじゆん 中村 淳	歴史 1 必	4

講義のねらい	高等学校教育における日本史・世界史あるいは歴史小説などと、大学で学ぶ歴史学との間には、歴然としたそして大きな違いがある。そのことを理解してもらうことが、本講義最大の目的である。
講義の内容・授業スケジュール	史料の扱い方、ものの見方・考え方など、歴史学という学問領域における研究方法について、具体的な事例を提示しながら講義する。
履修上の留意点	ほぼ毎回出欠をとる。また随時、レポート等を課す。
成績評価の方法	出席点にレポート等の結果を加味して、総合的に判断する。
教科書	とくに指定しない。
参考書等	授業中に随時、紹介する。
その他	随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎歴史学	まつもと のぶ みち 松本 信 道	歴史 1 必	4

講義のねらい	歴史を理解するための基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	歴史とは何か、歴史を学ぶ意味とは何か、歴史を研究する目的とは何か、などの歴史を研究する上での基本的な問題について講述し、また歴史認識と歴史観の変遷、歴史研究の方法論、史料批判の方法論などの具体的なテーマについてもアプローチしてみたい。
履修上の留意点	大学は受動的に教わる場ではなく、主体的に学習していく場であることを自覚して授業に臨んでほしい。
成績評価の方法	前期・後期2回のレポートで成績を評価したい。
教科書	ルイス・フロイス著『ヨーロッパ文化と日本文化』（岩波文庫）
参考書等	浜林正夫・佐々木隆爾編『歴史学入門』（有斐閣）
その他	授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎歴史学	なかの たつ や 中 野 達 哉	歴史1必	4

講義のねらい

歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

高校の教科書の記述の変化、歴史と歴史学・歴史研究、日本人の歴史観、自国史（日本史）と世界史、時代区分の再検討、地域と歴史研究、戦後歴史学など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。

履修上の留意点

授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法

夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。

教科書

必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
史学概論	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史2・3・4必	4

講義のねらい

「歴史とは何か」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近代までの、歴史認識の展開とその特徴を、日本、中国、西洋においてみる。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 I ( 古 代 ・ 中 世 )	まつ 松 本 のぶ 信 道	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教 科 書

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館) 2,900円

参 考 書 等

青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会) 1,650円、笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 II ( 近 世 ・ 近 代 )	くろ 黒 沢 さわ 文 ふみ たか 貴	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

近世・近代の日本政治外交史を講じるが、力点は近代におく。ヨーロッパ国際秩序の原理とは異なる東アジア国際秩序に属した日本が、ヨーロッパ国家系と出会うことによって自らの秩序認識をいかに変容させ、近代国民国家への道を歩もうとしたのかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

江戸期の日本をとりまく東アジア国際秩序とヨーロッパ国際秩序の相違を確認した上で、幕末の黒船来航に対する幕府の対応をはじめとして、岩倉遣欧使節のヨーロッパ認識等重要な歴史事象を取り扱う。その際視点の中心の一つは、当時の日本人(政策決定者たち)がどのような認識をもっていたのか、その認識をもとにいかなる活動を展開したのか、という点にある。なお取り扱う時代は、明治末年頃迄を予定している。

履修上の留意点

毎回授業に出席することが希望である。できれば高校日本史教科書レベルの知識をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

出席と定期試験の結果を総合的に評価するつもりである。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

適宜紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史概説Ⅰ (古代・中世)	なかむら じゅん 中村 淳	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい	東洋史概説Ⅰでは、広く近代以前のアジアの歴史を対象とする。従来、前近代の人類は、いくつかの孤立した文明圏もしくは歴史世界の中で、閉鎖的にそれぞれの歴史を歩んだかのように理解されてきた。しかしながらここでは、それらの歴史世界の真ん中に位置する中央ユーラシアと、そこに展開した遊牧国家については、ほとんど顧みられることはなかった。本講では、彼ら遊牧民が果たした歴史的役割を素直に見つめながら、より客観的・俯瞰的に前近代アジア史をとらえ直してみたい。同時に、既存の歴史観や文献史料の記述に引きずられないための基礎訓練となることをねらっている。
講義の内容・授業スケジュール	地域は、時に西アジアやヨーロッパにまで及ぶが、とくにアジア東方が中心となる。匈奴と漢の対立・共存時代から順に、モンゴルが人類史上最大の版図を実現した13～14世紀(近年、この両世紀を「モンゴル時代」と呼ぶ)までを扱う予定である。
履修上の留意点	出席をとる。 前年度は前期のみ出欠をとった。
成績評価の方法	出席点に定期試験の結果を加味して、総合的に判断する。定期試験は論述形式で、授業内容を理解しているか、かつ、そのことが答案に示されているかを見る。
教科書・参考書等	教科書はとくに指定しない。授業中に随時、参考書を紹介する。
その他	随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史概説Ⅱ (近世・近代)	わたなべ あつし 渡辺 惇	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい	東洋史概説Ⅰが主に中国の古代、中世史(唐末まで)および近世の前半(宋・元)を対象とするのに対して、本講義Ⅱは、それ以後の時代、近世の後半(明・清)、および近現代史について取扱う。本来、東洋史の概説であるからには、広く中国以外の諸地域についても言及すべきであるが、時間的にも無理である。せいぜい中国の周辺地域に言及しうのみで、他の講義にゆだねざるを得ない。
講義の内容・授業スケジュール	概説Ⅰとらず、Ⅱのみをとる者もいると思うので、はじめに中国を中心とする東アジア史の特色を、(1)北方遊牧民族と中国農耕民族との対立抗争、交流、(2)漢民族の江南への拓殖発展という2点を中心に概観する。 近世史は、(1)征服王朝による長期にわたる漢民族支配、(2)皇帝独裁による専制王朝体制の成熟といった点が特に顕著である。これらを中心に、とくに明・清時代の政治・外交、社会経済、文化等について、相互に関連させて講義する。 近現代史はとくに中国民族の植民地支配からの脱却、つまり「反帝反封建」の革命運動史といった傾向におち入りがちであるが、本講義では最近の傾向である社会史の観点にも留意していきたい。授業の中に随時、写真や絵画、ビデオなどを折り込んで、視覚を通じた理解をも深めていきたい。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	評価は定期試験に出席点を加味する。
教科書	参考書は沢山出ているゆえ、特に指定せず、授業の中でその都度言及する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 概 説 I ( 古 代 ・ 中 世 )	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

私達が日常経験する土地所有をめぐる問題は、さまざまな話題を提供している。しかしこの近代的土地所有形態も一つの歴史的形態である。本講ではそうした近代的土地所有形態の淵源を尋ねたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

西洋古代末期から近世初頭までを範囲として、土地の「所有」形態、経営形態の変遷について概説する。特にゲルマン民族大移動を契機として生まれた新しい社会、つまり西洋中世社会の成立過程、その社会構造、発展と盛衰を基軸に据える。講義で通説を紹介し、特にその力点を史料の根拠に置く。地域としてはイギリス、フランス、ドイツを中心とする。

履修上の留意点

近代的土地所有形態の本質の1つは私的所有であるが、当該所有形態が具体的に、いつ、どのような過程において発生したのかについては必ずしも定説があるわけではない。本講ではこの点について、これまでの研究史をふまえ、各人が自身の答えを探求しようとする姿勢を必要とするものであり、必ずしも西洋史の知識をあらかじめどれだけ多く知っているかが前提となるものではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教 科 書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘し、あるいは史料のプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 概 説 II ( 近 世 ・ 近 代 )	あお き みち ひこ 青 木 道 彦	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

ヨーロッパ(特に西欧)中心に講義するが、中世までは必ずしも他の文化世界に対して、優位にたっていたなかった西欧世界が、なぜ世界の近代工業化の先頭になって、他の文化世界に強い衝撃を与えるようになったのかという問題を理解させるための、一種の「ヨーロッパ論」を展開することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

この問題に関連をもつ範囲で、中世史にもふれ、以下のように授業を進めて行く。

1. ヨーロッパ文明史叙述の問題点
2. ビレンスのヨーロッパ成立論
3. ヨーロッパ形成史の問題点 ④ヨーロッパ農業社会の変遷 ⑥西欧自治都市の成立 ⑦身分制議会と官僚制 ⑧十字軍時代から百年戦争期へ
4. ルネサンス、宗教改革、絶対王政と海外進出(西欧世界拡大期の問題点検討)
5. イギリス革命、17～18世紀の国際関係、植民地抗争(工業化開始の前提条件検討)
6. 産業革命、フランス革命などの市民革命、自由主義と国民主義、1848年の意義
7. 国家主義の台頭、帝国主義と第一次世界大戦、戦間期の動向

履修上の留意点

1. 出席してノートをとることが肝要。
2. 四年生を除き、現代史に関する読書課題を課す。

成績評価の方法

上記の読書課題と定期試験の成績によって、評価を決定する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

以下の三冊が適当と思われる。

- ① 衣笠茂ほか著『西洋史概説』(東京創元社)
- ② 祇園寺信彦編『西洋史要綱』(御茶の水書房)
- ③ 大下尚一ほか編『西洋の歴史(近現代編)』(ミネルヴァ書房)

\*特に購入の必要はない。図書館などで随時参照するとよいと思われる。

そ の 他

なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 概 説 I (日 本)	さか い きよ し 酒 井 清 治	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい	日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。
講義の内容・ 授業スケジュール	考古学の研究史、方法論、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。
履修上の留意点	遅刻をしないこと。
成績評価の方法	定期試験で採点。
参 考 書 等	鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会） 安藤政雄『考古学キーワード』（有斐閣） 江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）
そ の 他	OHP等を使用する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 概 説 II (外 国)	い い し ま たけ つぐ 飯 島 武 次	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・ 授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参 考 書 等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年
そ の 他	スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	たき 瀧 おと 音 よし 能 ゆき 之	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

奈良時代を対象として、関連する史料を『続日本紀』を中心に読みこんでいくつもりです。奈良時代はわずか70年あまりの短い期間ですが、そこには政治・経済・文化・外交といったさまざまなできごとが詰めこまれています。また、聖武天皇・藤原不比等といった権力者から「百姓」といわれた民衆にいたるまで多様な階層の姿を時代のうねりの中に見出すことができます。こうした姿を史料を通してみつめたいと思っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを使って毎回、ひとつずつテーマをとりあげて、それについて関連する史料をできるだけいねいに読みこんでいきます。

履修上の留意点

史料についての読解力もさることながら、何よりも意欲をもって参加することを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視してつけますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合的に評価します。

教 科 書

瀧音能之著『奈良時代の史料と社会』(岩田書院)

参 考 書 等

中村修也編『続日本紀の世界』(思文閣)

そ の 他

授業は講義形式でおこないますが、何回かは講義に関連したビデオなども使用したいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	くぼ た ま さ き 久保田 昌 希	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。  
史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきなのであろうが、もとより中世史料は膨大で、かつ時間的な制約もあり、その一端に止めざるをえない。なお史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅲ (10年度以降入学生)	ひろ せ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

いうまでもないことであるが、歴史を研究していく上では、史料を読解する力や、その背景にあるものを明らかにする分析力が求められる。本学科では3年次に演習Ⅰ、4年次に演習Ⅱを設け、史料を解読する力を養い、卒業論文の作成に備えているが、やはり、なるべく早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということから本講座が設けられている。近世史研究に必要な基礎的な史料を講読していくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

近世史料の特徴は、村や町で大量の文書が作成され、それが今も残されているということである。まして、幕府や藩は膨大な史料を残している。また朝廷・公家・寺社も同様である。商業や諸産業に関する史料も多い。

これらの史料の解読に基づく研究成果は豊富であるが、近年はそれに加えて、絵図や金石文(石碑や梵鐘の銘文など)、近世考古遺物・遺跡の研究、あるいは外国人が本国へ送った手紙なども訳されており、近世史像は、より豊かに形成されつつある。本講座では、①戦国大名の領国支配と産業の発達に関する史料、②統一政権成立期の史料、③江戸期の村や町の史料、④幕政や藩政史料、⑤商業や諸産業に関する資料などから活性化されているものを読み進めていく。史料保存機関等の、史料展示も随時紹介していく。

履修上の留意点

ともかく古い史料には、現代の私たちには想像もできないような面白いことが含まれている場合がある。期待を持って臨んでほしい。本学の図書館や町の図書館で「〇〇市近世史料編」を開いてみるなど、自分の住んでいる所の歴史に興味をもつこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況。

教科書

随時、史料のコピーを配布する。

参考書等

『新編史料による日本の歩み(近世編)』(吉川弘文館) 3,914円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅳ (10年度以降入学生)	こ ばやし かず ちき 小 林 和 幸	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取扱い方と解読の手法を学ぶことにより、日本近代史研究のための基礎的な史料読解力の養成を目的とする。あわせて、近代史料の特質や史料の伝来等を解説すると共に、各史料保存機関の所蔵史料についても随時紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール

近代日本の公文書類や政治家の書翰、日記等の一次史料をテキストにして、受講者と共に解読し史料内容の検討分析を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

教科書

随時、テキストとなる史料を配布する。

参考書等

児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	なかむらじゅん 中村淳	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

東洋史のみならず歴史を研究する際、史料を読解しあるいは論文を読むために修得しなければならない言語は数多い。本講では、その中でも最も基本的な英語で書かれた論文を取りあげる。同時に引用された論文(日本語・英語・現代中国語など)や史料(漢文中心)についても検証し、論文の読み方や漢文をはじめとする史料の扱い方の基礎を養いたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

何を読むかは、授業時に指示し、分担箇所・分担者を決める。担当者には、分担箇所の和訳を作成、引用された論文や史料などを調べ、レジュメを作成して報告してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるので、出席点・平常点を総合して評価する。

教科書

必要なテキストは、プリントで配布する。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	わたなべあつし 渡辺 惇	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

中国史を学ぶ上で漢文および中国現代文を読解することは必須の条件である。本年度は、王成聖著『中国近代史要略』(台湾、天声出版社、1962)を取りあげてみたい。この本は文章が簡潔で読みやすく、入門書として適していると考えられる。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめはしばらく私が読み説明する形式をとるが、時期をみて、分担をきめて各自に読んでもらうようにしたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは購入不可能ゆえ、プリントを配布する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	ふせ しま まさ よし 伏 島 正 義	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会学科の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問かけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学ぶ場合もありうる。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

特に定めない。必要な史料等はプリントして、配布する。

参考書等

授業に合せて、その都度指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	さ さ き まこと 佐々木 真	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史の研究には、外国語の読解力が必要不可欠である。本講義では、西洋史に関する史料を原文で講読し、西洋史研究に必要な基礎的な語学力を養成するとともに、史料の内容を検討することにより、史料を通じての歴史像把握の力を養成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ近代史に関する史料をゼミ形式で輪読する。具体的な書名は、受講生が興味をもっている分野を勧案し、第1回の授業時に受講生と相談して決定する。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはないので、毎時間確実に予習しておくこと。また、歴史学の授業であるので、単に単語のみならず、テキストの中に登場する固有名詞の内容などについても調べておくこと。

成績評価の方法

成績は、授業中の各自の発表の内容、出席および学年末に実施する試験によって総合的に評価する。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、1時間に2人から3人に発表をしてもらう。2年次生の必修科目なので、2年生は必ずいずれかの授業を受講すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史学史	<small>たき</small> 瀧 <small>おと</small> 音 <small>よし</small> 能 <small>ゆき</small> 之	歴史2・3・4必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

講義のねらい

古代から近代までの間に、どのような歴史書が編まれて来たかを、時代を追って説明しようとするのが狙いです。従って講義形式で授業をおこないます。前期は古代・中世、後期は近世・近代が中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は必修課目ですので、毎回出欠をとり、出席日数が足りない場合は受験資格を失うので注意して下さい。また、理由のない遅刻は出席日数に影響するので注意して下さい。

履修上の留意点

最初の授業は必ず出席して下さい。何よりも意欲をもって参加して下さい。

成績評価の方法

成績の評価は、学期末に行う試験の結果に、出席状況などの平常点を加味して総合的におこないます。

教科書

瀧音能之『日本の古典籍』（白鳥社）

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史学史	<small>なか</small> 中 <small>むら</small> 村 <small>じゆん</small> 淳	歴史2・3・4必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史学は、日本が世界に誇ることの出来る学問のひとつである。本講では、日本における東洋史学の成り立ちと発展についてできるだけ平易に概論し、現在の我々の位置するところを理解してもらうことを第一の目的とする。同時に、東洋史を学ぶ上で当然知っておかなければならない基本的な事項を修得してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。できるだけ工夫して講義を進めるが、本講の性格上、やや単調とならざるを得ない。しかし、東洋史学を学ぶ上で必要不可欠なことばかりで、また、学年を経る毎に重要になる内容であることは間違いないので、心して受講してもらいたい。

成績評価の方法

まず出席を重視する。また、随時小テストを行ないレポートを課して、理解度をみる。それらの評価を出席点に加味し判断する。

参考書等

授業時に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史学史	佐々木 真	歴史2・3・4必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4

講義のねらい

西洋史の各時代の主要な歴史作品を紹介し、歴史学の方法論上に関する基礎知識、とりわけ西洋史を学ぼうとする者が当然知っていなければならない学問上の常識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の順序で講義を進める。
1. 古典古代の歴史作品（ギリシア、ローマ、ヘレニズム）
  2. 中世の歴史記述（キリスト教歴史観と世俗の歴史叙述）
  3. ルネサンス～近世期の変化（文献学の発達と啓蒙思想）
  4. 近代歴史学の成立（ランケ、ヘーゲル、マルクス）
  5. 現代歴史学の諸課題（アナール学派を中心に）

履修上の留意点

西洋史学史の全貌を1年の講義で紹介することは不可能なので、受講生は講義中に紹介された書籍をなるべく多く読んでほしい。

成績評価の方法

成績は前期終了時、および学年末に2回提出してもらうレポートにより判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

林健太郎・澤田昭夫『原典による歴史学入門』（講談社学術文庫）、ゲーチ『19世紀の歴史と歴史家たち』（筑摩叢書）、ピーター・パーク『フランス歴史学革命』（岩波書店）、リン・ハント編『文化の新しい歴史学』（岩波書店）、竹岡敬温『「アナール」学派と社会史』（同文館）、ノワリエル『歴史学の危機』（木鐸社）など。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学史	小柳 美樹	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学の歴史を通じて自己の研究理念を高める。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを画期となった発見、発掘調査、論争を挙げて論じる。  
また、日本人研究者による外国調査と研究、他分野の学問との共同研究、文化財保護の歴史についても触れていきたい。

履修上の留意点

学生諸君には考古学という枠組みを超えたさまざまな領域に関心を持つことを期待したい。また授業で取り上げた文献の講読、遺跡、博物館等の見学を自主的に行うことを望む。

成績評価の方法

数回のレポート提出と学年末の試験を予定している。

教科書

なし

参考書等

授業の進捗に従って、その都度、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（写 真）	つが 塚 ほら 原 あけ 明 お 生	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

写真撮影のための、基礎をわかりやすく説明して、実践での活用がすぐに出来るような人材を多く育てたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

カメラのしくみとシステム、写真用品の解説をはじめとし、レンズや絞りシャッターの速度の意味を学びながら、初級者もわかる講義からはじめる。

屋外での撮影と室内での撮影、カラーフィルム、モノクロフィルムそれぞれの選び方と取り扱い方現像の方法。撮影目的に合わせた、機材の選び方とその取り扱い方法。

被写体に合わせた光源選びと、各種光源による特性を理解したうえでの撮影の実習。暗室作業によるフィルム現像、プリント焼付け引き伸ばしなどを体験しながら写真技術の向上をはかる。

平面および立体物の形状質感形態等を表現するための照明のあて方扱い方を基本から学びプロの技術に習う。

現役の写真家としての仕事を例にとり、つねに実践にむいた授業内容とする。

Q&A 方式も取り入れ、学生の理解度に合わせ、質問を多く受け付け、わからないまま進行する事のないよう、常にコミュニケーションをとり、受講者全員と学んでいきたい。

履修上の留意点

学ぶ事の喜びと、知る事の喜びを持って実践的学習をする中で、写真人としての自覚を大切に、全員プロカメラマンになれるよう目指して努力してほしい。

成績評価の方法

作品提出による内容と授業態度。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

特になし。

そ の 他

講義、撮影実習、暗室実習、課題作品提出、合同講習会等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（測量）	ちばもと つぐ 千 葉 基 次	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

遺跡の地理的把握という目的のため、地形の測量法について、実習を行なう。測量方法は、平板測量が主である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①測量の基礎内容
- ②測量機器の取り扱い
- ③多角測量の基礎内容

履修上の留意点

実習は数人一組で行ないます。一年間休みなく続けられること。

成績評価の方法

実習成果、出席状況

そ の 他

男女とも野外作業に適した服装

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（石器）	かみ しきりょう ひさし 上 敷 領 久	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

石器は先史時代社会の生活形態を理解するためには最も基本的な資料であり、そこには様々な情報が盛り込まれている。この情報を抽出するためには、石器の細部を注意深く観察し、理解することが必要である。こうした石器研究の基礎となる石器実測図作成の基本的知識についての講義・実習を行う。石器研究史および実測図の歴史、石器製作の原理、石器研究の理論的な知識をふまえた実技を通して、考古資料の観察法と記録化およびその目的について学ぶ。

履修上の留意点

授業第1週に、具体的な年間スケジュールと実技の必需品を紹介するので必ず出席すること。また石器実測の技術を体系的に身につけていただきたいのでちよくちよく休むようであれば初めから受講しないように。考古学専攻生以外には不向きである。

成績評価の方法

成績評価は実技・レポート・授業への取り組み方などを総合して行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

特になし。作成したプリントを配布し、参考書および参考文献等は講義中に適宜紹介する。

そ の 他

実技にはグラフ用紙、コンパス、ディバイダー等の個人で準備する文房具類が必要となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（土器）	かみ しきりょう ひさし 上 敷 領 久	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

考古学の基本は発掘調査と出土遺物の実測である。本講義では土器の実測実習を通して考古資料の観察方法について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

上半期は土器の形式論についての講義と土器実測の基本的なテクニックを学び、下半期は歴史時代の土器を実測する。

履修上の留意点

考古学専攻の学生を対象とした講義であるため、他分野の専攻生にはなじまない。また、年間を通して理論と実践を学ぶスケジュールであるため、できるだけ休まずに受講すること。

成績評価の方法

年間を通して作図する2枚の実測図とレポートによる定期試験によって評価する。実測図のみ、あるいはレポートのみでは評価の対象としない。

参 考 書 等

講義中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（情報）	こ やなぎ よし き 小 柳 美 樹	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

現在、我々の周囲には情報が溢れており、その活用のためにコンピューターを使うことは不可欠なこととなっている。このことは学問の分野でも同じである。この講座はコンピューターを使うことの基礎を学び、情報の収集・論文作成に活用できることをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業ではコンピューターを実際に使ってもらうことを通して、基礎的な知識と技能を習得してもらう。講義はまず、コンピューターの基本的構造と基本的な操作、OSソフト（Windows）の基礎とその基本操作を実習する。ついで使用頻度の高いアプリケーションソフトであるワープロ・表計算などを習得してもらい、「ソフトを使う」ことを理解してもらう。さらにインターネットの利用法としてWeb上の検索エンジンの使い方や電子メールの送受信の方法など、インターネットによる情報の収集と発信について学習する。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、自主的にコンピューターを使う時間をもってもらいたい。

成績評価の方法

成績は課題（頻繁に出します）・テスト・出席をもって評価します。

教 科 書

駒澤大学情報センター『パソコン使いこなし術』  
（履修者は情報センターでもらうことができます。必ず入手すること。）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古発掘実習	酒井清治・飯島武次	歴史3必(考古学) 歴史3選(考古学以外)	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点および発掘実習と発掘日誌。

教科書

『考古学調査ハンドブックス1野外編』（雄山閣）2,800円 1984年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	久保田昌希	歴史3必 歴史3選	4

講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では数年来、織田信長の右筆太田牛一の著した「信長記」（池田本）をテキストとしてきたが、一昨年度でようやく読み終えた。

昨年度から一新して、戦国大名関係の文書と取り組んでいるが、とくに東国戦国大名を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一枚の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

教科書

適宜史料コピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

その他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ ばやし かず 仰き 小 林 和 幸	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

日本近代史の政治、思想、文化に関する諸問題を検討する。近代日本の形成・確立の過程は、その複雑さと多様性の故に、確定されていない歴史的な事実も多く残されている。また、それだからこそ、興味深い研究のテーマも豊富に存在しているといえるであろう。本演習は、受講者による史料に則した報告と演習参加者全員による討論を通じて、各自が日本近代史に関する史料の読み解き方や研究法を身につけることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

本演習では、維新期及び明治期の史料を素材とし、担当報告者が正確に史料内容をつかんだ上  
に立って、興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに参加  
者全員によって討論をすることで日本近代史に関する理解を深めていく。

履修上の留意点

既存の価値判断から離れ、史料に基づいた新しい日本近代史像を構築するという積極的な姿勢  
を期待する。

成績評価の方法

出席、報告、学習態度を勘案する。

教 科 書

適宜史料を配布する。

参 考 書 等

報告に則して、関連する先行研究を適宜参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	たき おと よし 仰き 瀧 音 能 之	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

古代史の史料の中でユニークな位置を占める『常陸国風土記』をテキストとして、演習をおこ  
ないます。そもそも『風土記』とは奈良時代に国ごとにまとめられた地誌ですが、そこには、地  
域に生きた人々の生活・習慣・信仰などが豊富に盛り込まれています。『常陸国風土記』も例外  
ではありません。この演習では古代の東国のさまざまな環境を探ると共に、史料に対してのとり  
扱いの方法について知ることをねらいとしたいと思っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初の授業のさいに、史料の割りあてなどのガイダンスをおこないます。その後、何回かは、  
『常陸国風土記』の性格などについて講義をおこないます。そして、できるだけ早いうちから、  
各人もしくは各グループによる発表報告を主体とした授業に入っていくつもりです。

履修上の留意点

演習は、学生諸君の発表報告が主体の授業です。何よりも意欲をもって参加してくれることを  
期待いたします。

成績評価の方法

成績の評価は、発表報告の内容を重視しますが、それに加えて、他の報告者に対するコメ  
ントおよび出席状況も考慮しまして総合評価といたします。

教 科 書

最初の時間に指示いたします。

参 考 書 等

参考書は、特にあげませんが、各人の発表報告にさいしまして、関連するものをできるだけ多  
く読むようにして下さい。

そ の 他

授業は、発表報告が主体ですが、報告者だけが調べてきたことをのべればよいというのではな  
く、発表報告に対するコメントの時間も重視するつもりです。発表報告に対して、積極的な討論  
を期待いたします。



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なかの 野 達 哉	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

史料の解説・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解説から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞哀藁』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世前期の社会について考える。講読は受講者が分担して解説し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

その他

史料の見学・調査なども考えたい。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひろ せ よし ひろ 広 瀬 順 皓	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

日本近代史研究を始める際に問題となるのは、その史料の膨大さである。中央・地方の行政記録、政党・企業などの民間組織や団体の記録、政治家・軍人・官僚などの個人文書など、一次史料も膨大であるし、新聞・雑誌・回顧録といった二次史料も多い。本演習では明治初期から大正期に至る政治史的な事件をテーマに様々な史料を読み分析する。その際の問題意識は、①帝国主義の時代、列強の外圧の下で日本は如何に独立を守り近代化を達成したのか、②明治維新より大日本帝国憲法制定まで22年の歳月を要しているが、こうした一種の漸進主義はどのような政治的リーダーシップの下で形成されたかの2点である。史料にあらわれる個々の問題を大局的に位置づけるための基礎知識の獲得が本演習の課題である。

講義の内容・授業スケジュール

授業では主として講義のねらいの問題意識にかかわる史料を読み分析して史料と事件等に関する理解を深める。スケジュールは開講時に配布し、参考文献・関係史料は適宜指示する。

履修上の留意点

受講者はスケジュールに従って分担予習し、レジメを作成して授業時にそれを配布・報告する。報告内容は、担当の事件・事項などについての解説・関係研究論文の紹介など。各受講者は質疑応答などに積極的に参加すること。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。提出レポート・発表や討論など演習への参加度、出席によって成績評価を行う。

教科書

大久保利謙他著『史料による日本の歩み 近代編』（吉川弘文館）2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴 史 3 必 歴 史 3 選	4

講義のねらい

戦国期・織豊期・江戸期の史料を用い、戦国時代・織豊政権期を経て、近世幕藩体制社会が成立していく過程を考え、当該期の社会・文化などについて考え、戦乱や貧困の多い中、人びとはいかに生き抜いていったかを考える。近世史料の読解力・分析力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

移行期から近世初期にかけての史料（信長・秀吉・家康等に関する文書や、乱世・移行期に生きた女性に関する史料である「おあむ物語」「おきく物語」やルイス・フロイス『日本史』など）と江戸前期から中期にかけての史料（町奉行から町方へ出された法令を集めた『江戸町触集成』や遠州の名主の日記である「中井家日記」など）の講読を交互に行い、史料の読解力・分析力を養い、当該期の社会・文化への知識を深め、4年次の卒論作成に備える。

受講者は、上記の史料から、希望するものを選び、その解説・分析を行い、その史料の背景にあるものを分析して発表する。その際には、発表に必要な資料を作成すること。また、受講者は、他者の発表の時には積極的にディスカッションに参加すること。

授業スケジュールは、

〔前期〕

- ① 移行期から江戸期における研究動向に関する知識を深める学習をする。
- ② 家康の発給文書や「おあむ物語」などの史料の講読を行う。
- ③ 『江戸町触集成』を中心とした町触の江戸前期～中期の史料を講読する。

〔後期〕

- ④ 家康の関東入国前後の関連史料の講読を行う。
- ⑤ 江戸期の村方に関する史料の講読を進める。
- ⑥ これらに合わせて、移行期から江戸期の文化に関する史料にも親しむ。
- ⑦ 卒論に向けてこの準備報告を行う。史料見学を兼ねた合宿を予定。

履修上の留意点

探究心をもって歴史史料に臨んでほしい。

成績評価の方法

発表状況・発言状況・出席状況など。試験は行わない。

教 科 書

随時、史料のコピーを配布する。

参 考 書 等

随時紹介してゆくが、『くずし字解読辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	まつもと のぶ みち 松本 信 道	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なかむら じゅん 中村 淳	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』を講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、授業時に指示する。毎回、担当者を決め、担当者にはレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点を総合して評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	わた なべ あつし 渡 辺 惇	歴 史 3 必 選 歴 史 3 選	4

講義のねらい

趙翼著『二十二史劄記』（王樹民校証の中華書局本）を講読する。趙翼は清朝の乾隆・嘉慶時期の学者で、進士に合格して官僚となったが、報いられず、のち著述に専念した。『二十二史劄記』は中国歴代の正史の中から、特に後世に参考となる重要問題を選んで箇条書きにした解説集。文章もわかり易く、日本では従来より中国史の史料講読を行う際に、テキストとしてもっとも広く用いられている。

講義の内容・授業スケジュール

本年は明代の部分を中心に講読する。各自割当てられた部分について調べてきて資料をつくり、自ら読んで説明を行う。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは入手難のため、プリントを配布する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	き さき まこと 佐 々 木 真	歴 史 3 必 選 歴 史 3 選	4

講義のねらい

西洋史に関する古典的なフランス語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養うと同時に、卒業論文作成の準備を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、Alexis de Tocqueville, *Ancien Régime et la Révolution* (1858) を予定している。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する文献の調査レポートを作成してもらう。卒業論文作成の準備として、後期には、各受講生に、自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づける。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表の内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教科書

授業開始時に、購読する文献のコピーを用意する。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献購読の場合には輪読で、1時間に2～3人に発表してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	伏島正義	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマ具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集とその方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語で書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語たる独語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかに関心し積極的に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

テキストは受講生と相談し、決める。

参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	飯島武次	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

中国原典『新中国考古五十年』（1999年）の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『新中国考古五十年』（文物出版社、1999年）

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	酒 井 清 治	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集、執筆の方法などを学ぶ。また、研究レポートを作成し、論文作成の基礎知識を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で討議する。

各自で興味あるテーマを日本考古学の中から選び、研究レポートを書く。それを授業で資料の収集の方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらう。それについての問題点等を質疑応答する。

履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

研究レポート、発表と報告者へのコメント、出席状況。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

論文掲載の引用文献

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	久 保 田 昌 希	歴史 4 必 歴史 4 選	4

講義のねらい

本講座では、3年での演習Ⅰの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討議を行う。そしてそのことで、受講者(発表者)自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴 史 4 必 選 歴 史 4 選	4

講義のねらい

維新、明治期を中心とする日本近代史研究の現状を把握した上で、史料状況を検討分析し、近代日本の政治や文化について考察する。受講者各自のテーマについて研究を深化させ、あわせて「卒業論文」作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

担当者が、先行研究や関係史料の分析検討を報告し、さらに演習参加者全員による討論を行い、各自テーマの理解を深める。

履修上の留意点

研究テーマに対する真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを勘案する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴 史 4 必 選 歴 史 4 選	4

講義のねらい

日本近代、特に、大正期から昭和戦前期に関する研究史を把握した上、史料を検討分析し、その時代の特徴について考察する。受講者各自のテーマに基づいた研究を深化させ、あわせて「卒業論文」作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自が、先行研究や関係資料分析をふまえた研究報告を行い、さらに、受講者全員による検討を行って、研究テーマの理解を深める。

履修上の留意点

近代史全体に対する興味を持ち、また、研究テーマに対し情熱を以て取り組んで欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを勘案する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	たきの瀧 おとよし ゆき之	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	なかの たつや 中野達哉	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい

大学生生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解説・分析力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程（順番）を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

教科書

なし



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴 史 4 必 選 歴 史 4	4

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていく。

授業スケジュールとしては、

- ① 卒業論文のテーマの提示（4月～）
- ② 研究史の整理（5月～）
- ③ 卒論論題の確定（6月10日教務部へ論題提出）
- ④ 研究史の整理と参考文献の検討
- ⑤ 中心的史料等の分析と論点の明確化（6月～）
- ⑥ 卒論の章立に関する作業
- ⑦ 卒論の概要に関する発表（7月～）
- ⑧ 卒論作成に関する技術的なアドバイス（7月～）
- ⑨ 中間報告（9月中旬～）
- ⑩ 最終報告（10月下旬～）
- ⑪ 下書の提示に基づく指導と添削（10月末～11月20日）
- ⑫ 清書・完成・提出（12月10日提出）

の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導の形式で進めていく。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価する。

教 科 書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していく。

参 考 書 等

随時、示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	まつ 松 本 のぶ 道 信 道	歴 史 4 必 選 歴 史 4	4

講義のねらい	日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは『令義解』所収の「職員令」を用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について考えてみたい。
履修上の留意点	受講生は必ず予習をして出席すること。
成績評価の方法	平常点と出席点の総合で行う。
教科書	『令義解』の当該部分をコピーして配布します。
参考書等	『新字源』（角川書店）
その他	授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	なか 中 村 淳	歴 史 4 必 選 歴 史 4	4

講義のねらい	卒業論文に関する指導を主とし、並行して文献講読を行なう。
講義の内容・授業スケジュール	卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。スケジュールについては、最初の講義の際に発表する。
履修上の留意点	出席重視。
成績評価の方法	出席点と平常点を総合して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	わた なべ あつし 渡 辺 惇	歴 史 4 必 選 歴 史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して中国文の講読を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏休みあけの9月～10月の間、各自が進行中の論文について中間発表をやってもらいます。これは各自の考えをかため、より確かなものにする上で意義があるので、全員必ず行うこと。

履修上の留意点

卒論指導と並行して、范文瀾著『中国近代史』の講読を行う。これは純粋な現代文で、中国文の雑誌論文等の文献を読む力をつけ、卒論作成を助けようとするのがねらいです。主に私が読みます。

成績評価の方法

平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは入手が困難ゆえ、プリントを配布します。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	さ さ き まこと 佐 々 木 真	歴 史 4 必 選 歴 史 4 選	4

講義のねらい

フランス語のテキストの輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、Michelle Perrot 編 *Histoire de la vie privée* (『私生活の歴史』) 第4巻所収の論文、Lynn Hunt "Révolution française et vie privée" (『フランス革命と私生活』) を予定している。内容は平易なので、なるべく多くの量を読むことを目標としたい。また、必要に応じて各人の卒業論文の準備状況を報告してもらおう。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してくること。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表の内容に出席を加味して決定する。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となる。出席はあくまでも必要条件でしかないことに注意すること。

教 科 書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意する。

そ の 他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2～3人に発表をしてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	伏島正義	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい	演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	演習Ⅰの段階で読むことのできなかった文献の入手と解説に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。
履修上の留意点	上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職せんとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なによりもそのための努力、忍耐が期待される。
成績評価の方法	演習にいかにつと熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	飯島武次	歴史 4 必選 歴史 4 選	4

講義のねらい	卒業論文の指導。
講義の内容・授業スケジュール	考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。
履修上の留意点	発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第になる場合がある。
成績評価の方法	成績評価は平常点。
その他	授業方法は、学生による研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	酒井清治 <small>さか い きよ じ</small>	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

卒業論文の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文を書くために、どのようにしたらよいのか、テーマについても話し合いながら進めたい。また、各自テーマを決める前、あるいは決めたあとにも、それについて学生に発表してもらい、討議する講義方法をとる。

履修上の留意点

発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日、発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。

成績評価の方法

卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。発表内容・発表者への質問も考慮。

教科書

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	千葉基次 <small>ち ば もと つぐ</small>	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

卒業論文作成への指導。

講義の内容・授業スケジュール

一般的な論文の書き方(技術的部分)の概略説明から始めて、以後逐次受講者自身の研究発表。

履修上の留意点

研究発表を含む受講者の遅刻と無届け欠席は御法度。発表の順番を決めるため、年度第1回目の授業には必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業出席と研究発表と論文提出が評価の基礎。教師側の判断で、次年度再履修も充分有り得る。

その他

年度第1回目授業欠席者には、研究発表順位第一位を無条件で付与する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書学	松本 信道・久保田昌希 小林 和幸・廣瀬 良弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

古代から近現代にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ① ガイダンス……4月13日（担当教員全員）。
  - ② 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…4月20日～5月25日（松本担当）。
  - ③ 中世の記録史料およびその特徴、中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…7月1日～10月5日（久保田担当）。
  - ④ 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…6月1日～6月29日（廣瀬担当）。
  - ⑤ 近現代の情報文書学、近現代の公文書と私文書の収集・整理・修復・保存・利用法…10月12日～11月16日（小林担当）。
  - ⑥ 現代史料情報学の歩みと将来…11月30日～12月14日（担当教員全員）。
- ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

歴  
史

#### 履修上の留意点

古代から近現代までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

#### 成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

#### 教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

#### 参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

#### その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書講読Ⅰ	よし た まさ ひろ 吉 田 政 博	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世社会を研究するための素材としての文献史料は、文書・記録・編纂物などに大別されているが、実際の研究を進めていくうえでは、これらの文献史料に加えて、関連史料などを総合的に判断し、検討していく作業が必要となっている。

本講義では、特に史料批判の中心となる中世文書への理解は基礎として、それを実際に解読することで、史料への分析力・解釈力を身につけてもらうことが大きな目的である。

加えて講義のなかでは、古文書の利用方法や保存の問題、あるいは文化財として保護の問題など、現状での課題点を織り込みながら講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、中世に関する文献史料の概要・基礎知識についての講義を行う。その後は武家文書・寺社文書・記録類などの中世文書のコピーを教材として配付し、講読しながら解説を行う。その際には受講生に史料を解読してもらい、個々の史料解読力を養っていただきたい。

履修上の留意点

予習・復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世をテーマとした博物館の展示会を展覧するなど、積極的に古文書などの実資料に接する機会を持ってもらいたい。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特になし。史料のプリントを随時配付する。

参考書等

授業のなかで随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書講読Ⅱ	なか の たつ や 中 野 達 哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世になると、識字率は、飛躍的に上昇する。中世までは、領主層を中心に上層の者だけに限られていた文字利用が、近世には、庶民にまで拡大するためである。そして、近世の社会は文書(もんじょ)による支配が行われたといわれるように、領主支配を始め、意志の伝達や契約が、文字・文書を通じて行われた。しかし、多量に作成され、伝えられてきた近世文書のほとんどは、活字化されておらず、近世史の研究には原文書を読む力をつけることが必要である。また、古文書の利用とともに、保存について考えることも重要な課題となっている。

こうした立場から、本講座では、近世文書について知り、解読力を養うことを目的とする。さらには古文書の利用と保存の問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、近世文書の概要や基礎知識について講義するが、そのあとは、武家・町方・村方・寺社文書などについて、実際に講読しながら説明する。講読は、初歩的なことから始め、次第に難解なものへと進むが、解読力をつけるため、学生に文書を読んでいただく。講読を進めるなかで、随時、近世文書の整理・保存方法などについても講義し、今日の近世文書の利用と保存の問題点などにも触れる。

履修上の留意点

文書の解読力は、文書に慣れ親しむことからつく。予習・復習はもちろんのこと、講義だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。試験では、原文書一点をあげ、その読み下し文と意味を書かせて、文書の解読力を問う。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

講読する史料のプリントを配布する。

参考書等

『古文書解読辞典』(柏書房) 2,500円 『くずし字解読辞典』(東京堂出版) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史 Ⅲ	おかの 岡 野 浩 二	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

平安時代の教団・信仰・政教関係を、人物を手掛かりにして講義する。ここで取り上げる人物は、在家の信者、半僧半俗の沙弥、皇族・貴族の出身者など、教団と世俗社会の中間に位置した人々である。聖・俗の多様な側面を認識し、概説書の記述に終始しない、新しい平安仏教史を模索していただきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義事項は次のとおりである。1) 平安時代の仏教史をどう捉えるか 2) 文室浄三(奈良時代の王権と仏教) 3) 広智(天台・真言宗と東国) 4) 橘嘉智子・正子内親王(尼寺と尼戒壇) 5) 高岳親王(大仏修理と天竺への旅) 6) 遍昭(天台宗と南都の融和) 7) 宇多上皇(出家の最高権力者) 8) 寛朝・尋禪・覚源(貴種の入寺) 9) 慶滋保胤(文人貴族と浄土教) 10) 藤原道長(法会と造寺・霊場参詣・尼戒壇と園城寺戒壇) 11) 性信・覚行法親王(院政と仏教) 12) 大江匡房(往生伝の世界) 13) 寛助・寛信(東大寺・高野山・東寺の経営) 14) 沙弥西念(作善行為の諸相) 15) 平親範(入道と氏寺の経営)

履修上の留意点

傑出した人物や、際だった事件に目を奪われるのではなく、組織や制度の解明、類例や比較対象の検討にも留意したい。地味で面白みのないような話も、辛抱して聞く根気が必要である。

成績評価の方法

定期試験とレポートを中心に成績を評価する。

教 科 書

教科書はとくに指定しない。適時にプリントを配付する。

参 考 書 等

参考書は、大野達之助『新稿日本仏教思想史』(吉川弘文館、1973年、3,204円)、速水侑『日本仏教史 古代』(吉川弘文館、1986年、2,400円)、服藤早苗編『王朝の権力と表象』(森話社、1998年、2,600円)。

そ の 他

基礎的事項の予習を希望する。授業中に基礎知識を確認する小テストを実施する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 文 化 史 Ⅱ	佐々木 真 <small>ささき まこと</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

ヴェルサイユ宮殿についての歴史的解説を中心に、権力と宮廷の関係について検討を加える。ヴェルサイユについて語る場合、その大きさと豪華さが強調される傾向が強い。しかし、ヴェルサイユは、室内装飾や庭園の構成、宮廷での儀礼を通じて、非常に計算された形で国王イメージのプロパガンダを行ったという点で、従来の宮廷とは質的にも大きく変化していた。この講義では、王権の表象物としてヴェルサイユがどのように機能していたのかを、建造物とそこで繰り広げられた儀式を通じて検討し、絶対王政期の権力のあり方について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. ヴェルサイユ前史
2. ルイ14世と宮殿の建設
3. 室内装飾
4. 庭園
5. 宮廷儀礼
6. 国王権力と宮殿

履修上の留意点

授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定する。

教 科 書

教科書は特に指定しない。

参 考 書 等

参考文献は必要に応じて講義中に紹介する。

そ の 他

授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 I	ひろ せ 瀬 りょう じょう 弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

#### 履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

#### 教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅰ	たぎ おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されることです。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再確認させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

教科書

瀧音能之著『古代の出雲的世界』（白鳥舎）

参考書等

瀧音能之著『古代出雲と風土記世界』（河出書房新社）

その他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなど使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅱ	く ぼ た ま さ き 久 保 田 昌 希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は中世史を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。  
日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史（公家政権の衰退史）が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。  
それから約50年後の今日、中世史研究は活況を呈している。それはなぜであろうか。それはおそらく先に述べたように、政治史的には武家領主層が王朝権力との拮抗を軸に展開し、ついにはそれを凌駕していく過程や、一方で歴史の主役に民衆が登場してくるという躍動感あふれる時代というイメージが強いということもあろう。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。  
中世という長い時代を年間約25回の講義で、全体的に細かくまとめることはなかなかむずかしい。したがって、焦点を絞りながら、当該の研究史も紹介しつつ述べていきたい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅲ	なかの なつ かの 中 野 達 哉	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

## 履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

## 成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

## 教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

## 参考書等

とくになし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅳ	くろ さわ ふう たか 黒 沢 文 貴	歴史2・3・4選	4

## 講義のねらい

昭和戦前期の日本政治外交史と日本近代のさまざまな見方を講じる予定である。それを通して歴史事象理解の多様性と戦前日本の「太平洋戦争への道」に対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、戦前日本の「太平洋戦争への道」に対するさまざまな解釈を中心に講じる。東京裁判史観、講座派的史観、十五年戦争論、「革新派」論、総力戦体制史観、自由主義史観等を紹介する予定である。

後期は、戦前日本の「太平洋戦争への道」を、第一次大戦後から講じる。

## 履修上の留意点

毎回授業に出席することが望まれる。

## 成績評価の方法

出席及び試験・レポート等の成績を総合的に勘案して評価する。

## 教科書

とくに指定しない。

## 参考書等

黒沢文貴『大戦間期の日本陸軍』（みすず書房）。他の参考書については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅰ (古代)	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい	奈良・平安時代の政治と仏教の関係について、具体的な史料の再検討を試みながら講述することを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	『本朝高僧伝』（『大日本仏教全書』所収）に記載されている僧侶の伝記を講読しながら政治と仏教の関係について考えてみたい。
履修上の留意点	必ず予習して出席すること。
成績評価の方法	前期・後期2回のレポートによって評価したい。
教科書	『本朝高僧伝』の当該部分をコピーして配付します。
参考書等	速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）
その他	授業の方法は史料講読と講義を平行して行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅱ (中世)	かめ たに ひろ あき 亀 谷 弘 明	歴史2・3・4選	4

講義のねらい	日本列島は周囲を海にかこまれており、現代の我々にとっても食生活のみならず様々な側面で「海民文化」の伝統の影響を大きくうけている。例えば、祝儀の際の“ノシ”は古代以来の「海民文化」の伝統の一つである。近年、日本史の分野でも中世史を中心として列島内外の海上交通を媒介とした交流、非農業民の活躍などがクローズ・アップされてきており、このことが原始・古代以来の伝統であると論じられることが多い。それ自体は決して誤りではないが、中世史研究者が古代の「海民文化」を論じる際、平安時代の『延喜式』の分析のみで、それ以前の奈良時代の海民の動向については必ずしも詳細な検討がなされていないのが現状である。そこで、奈良時代の新出史料である木簡も含めた諸史料からはじめて、『延喜式』の貢進物史料、さらに中世の記録等の検討を通じて古代から中世への日本列島の「海民文化」の展開について明らかにしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	1. ガイダンス 2. 歴史学と民俗学 3. 渋沢敬三と式内魚名 4. 現代生活と海民文化 5. 古代の海民・山民研究 6. 地名から海民の生活を探る 7. 膳氏と安曇氏 8. 古代木簡と海民 9. 参河国幡豆郡三島の贅 10. 隠岐国の海産物貢進 11. 伊豆国の堅魚（鯉）貢進 12. 若狭国の塩貢進 13. 延喜主計式の検討 14. 伊勢神宮領御厨について 15. 古代・中世東国の海上交通について 16. まとめ
履修上の留意点	プリントを随時配付するので、毎回出席されたい。
成績評価の方法	レポート、定期試験等から総合的に判断する。
教科書	特に指定しない。参考書等は適宜授業中に紹介する。
その他	授業は基本的に担当教員の講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 Ⅲ ( 中 世 )	こ まつ とし はる 小 松 寿 治	歴 史 2・3・4 選	4

講義のねらい

談状や置文などの相続にかかわる史料を検討しつつ、鎌倉時代の武士の「イエ」の在り方について考えてみる予定です。

講義の内容・  
授業スケジュール

相続にかかわる研究のなかで代表的な論文の解説をする。そのうえで個別の事例にあたりたいと思います。

履修上の留意点

講義では板書が多くなるので、ノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

評価は試験によって行いますが、論理的に説明ができているかを重視します。

教 科 書

教科書は特に定めず、参考となる文献については授業中に紹介しますので、購入等は自己の判断でしてください。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 Ⅲ ( 中 世 )	あわ の とし ゆき 粟 野 俊 之	歴 史 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本中世史は、中世封建制社会あるいは荘園公領制社会の研究を基本とする。その研究は多岐にわたり、簡単にまとめることは出来ないが、時代的には中心となる政治権力の交代があり、動乱の時代であった。そのため、中世社会には多くの魅力的な題材が潜んでいる。中世とはいかなる時代であり、その様相はどうであったのかを考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世は少なくとも平安末期から織田・豊臣期に至るおよそ四百年の時代的な幅を持つので、具体的には中世後期を対象としたい。はじめに、中世社会の基本的な事柄について講義する。ついで、中世後期の社会の様相を戦国・織田・豊臣期を中心として、大名・領主と村落・農民を対比させながら考察する。授業は、史料を講読しながら進めるつもりである。日本史では、史料を解読し、理解・解釈した上で、それを史料として論文に結び付ける作業が必要となる。このような作業の一助となるべく授業を行うし、受講者は、卒業論文作成にあたり、有益な授業となることを保障する。

履修上の留意点

受講者は、出席することが第一である。普段の講義を聞き、その内容を理解しなければ、結局授業を受けた意味がない。出席することが、最終的に受講者の利益となる。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験を基本とする。これとともに、出席を参考として単位を認定する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時、授業の進行の中で提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅳ (近世)	みやもと ゆきこ 宮本由紀子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

身分制度という枠のほかに女性というもう一つの枠のなかで生きぬいた近世の女性たちについて法制学・社会学・民俗学等の成果を取り入れて立体的に講義する。何故不況になると女子学生に対して社会は就職の場を閉ざすのか、日本民族に流れる男尊女卑の思想はいつ、どうして生まれたのかという疑問を女性史に立脚して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

恋愛・結婚・出産・教育・離婚・犯罪などのテーマをたてて、前期・後期を通じて講義する。

履修上の留意点

ノート中心とするため講義にはできるだけ出席し、よく聞いて疑問点は質問や自分で調べる努力をし、補充しつつノート作りに励むこと、批判的精神を養ってほしい。

成績評価の方法

論述試験を実施する。また成績評価の際出席日数を参考にする。

教科書

なし。

参考書等

なし。

その他

講義のみ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅴ (近世)	お だか しやう いち 小高昭一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世に生きた庶民、特に村落生活者に視点をあて、彼らのライフサイクルや日常生活を探り、近世社会の実態を考える。成人した男女の婚姻、家督相続、遺言や財産分与、あるいは村の日常生活で起るもめごとがどのように結着・処理されたのか、史料を解説しながら考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材には古文書史料（活字史料）を配布して毎回受講生に解説させ、史料解読力をつけていただく。自分なりにノートを作成し、予習・復習が必要となる。

成績評価の方法

論述試験を実施。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

なし。プリントを随時配布する。

参考書等

随時紹介する。

その他

講義のみ。講義1回あたり4～5人に解説・板書等の指名をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅵ (近代)	岸本昌也	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義の目的は、近代日本における国家と宗教の関係を「戦死者の遺体・遺骨の取扱いとその祀り方」という観点から分析することにある。従来戦死者祭祀については「国家神道」なる分析概念の下で、戦死者の英霊を祀る靖国神社・各地の招魂社（後の護国神社）という系列が問題とされてきたが、ここでは戦地での火葬・遺骨の内地送還・郷里での葬儀というもう一つの系列を考える。前者は当然ながら神社神道が担当する霊または魂の系列であり、公的な祭祀である。後者は謂わば骨の系列であり、戦死者個人の葬儀であるがゆえに日本人の宗教分布からその大多数を仏教が担当していた。しかし一見私的領域と思われる骨の系列においても、郷里での葬儀は市町村葬（公葬）であり、国家関与までは見られないがこちらも公的色彩の強い葬儀であった。つまり公的な死を遂げた者に対する公的な祭祀と葬儀を異なる宗教（政府の公式見解は神社非宗教であったが）が分け合っていたのであって、ここに公的立場を自負する神道者側による公葬回収運動すなわち英霊公葬問題が生じる契機が存在したのである。この二つの系列の生成過程と両者の「公」を巡る対抗関係、両者を併せ持つ国家や軍の立場を、明治維新から昭和戦後後期までを通して論じていく。またこの問題は様々な論点を派生させる。国家の圧力に抗しつつ国策貢献という形で国家と協調する戦時期の宗教の在り方、徴兵制軍隊の補償制度整備や戦死問題という軍隊論、忠魂碑などの戦争記念碑論、多数の戦死者とその遺骨送還が与えた社会的影響、戦後の遺骨収集に見られた遺骨への執着の民族的意味、などである。これらに対しては宗教学、民俗学、社会学などの隣接する学問領域の成果にも依拠しながら解答を与えていくこととしたい。

#### 成績評価の方法

レポートによる成績評価を行う。

#### その他

授業の方法は講義形式とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	小泉雅弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

#### 履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

#### 成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

#### 教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

#### 参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説Ⅱ (古 代)	こばやし そう ばち 小林 惣 八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義で取扱う範囲は、秦の統一から後漢滅亡までの約400年間である。  
 今日確認できる最古の王朝は夏王朝を倒した殷王朝からである。文献上のうえで最古の王朝とされる夏王朝はその実在が確認されておらず、今後の中国考古学の大きな課題となっている。殷王朝の実体は多数の邑制国家の連合体であった。次の西周においても、この構造は基本的には同じであった。東周時代の初めには、このような邑制国家は二百数十を数えたが、春秋・戦国時代の激しい抗争の間に滅国併合された結果、秦が天下を統一して秦として漢の統一国家の時代を迎えるのである。またこの間は、新石器時代に芽生えた文明が中国固有の文化に発展して1つの結実をもたらした時期でもあった。その高度な文化は周辺の諸民族に多大な影響を与え、やがて中国を中心とする東アジア世界の形成に向かうのである。

中国の歴史の中で、我々はこの一連の時期を古代としてとらえている。したがって本講義の取扱う範囲は中国古代史であり、そのうちでも特に漢代史に焦点を当てるものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

取扱う内容は

- ① 古代帝国の成立 (秦時代)。 ② 古代帝国の発展 (前漢時代)。  
 ③ 古代帝国の没落 (新・後漢時代)。 ④ 古代中国をめぐる国際関係。

以上を軸に、講義を主に、時にディスカッションを交えて進めたい。

履修上の留意点

中国史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書・  
参考書等

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説Ⅳ (中 世)	いし だ ぼしめ 石 田 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈唐宋変革期の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科挙論といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。

履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出によります。

教科書

なし。

参考書等

適宜、講義中に示します。

そ の 他

講義を中心としますが、なるべく受講生に発言を求めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 V ( 近 世 )	の 野 ざわ よし み 野 沢 佳 美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国では唐の後半期からさまざまな現象に変化が見られ、中国の歴史上、大きな転換期となっている。いわゆる「唐宋変革」とよばれる唐末・五代・宋初におよぶこの時期には、さまざまな分野で中世的なものから近世的なものへの変化が確認される。こうした動きは、中国王朝自身はもちろん、周辺諸国にまで波及し、とくには北方および西方に強力な新王朝が建国され、中国王朝を圧迫し、やがては中国王朝の一部もしくはそのすべてを支配するまでに成長した。いわゆる「征服王朝」の出現である。本講義では、唐代後半期以降の中国に現れた変化について、契丹(遼)・金・西夏などの周辺諸国との関係を視野に入れながら、その歴史的な意義を時代の流れにそって概観したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、唐代後半期に起きた「安史の乱」以降、藩鎮や黄巢の乱、唐の滅亡、五代十国時代などについて、その推移と人物の行動などを通じて概観する。後期は、近世の特徴の一つである「征服王朝」についての理論をまず取り上げ、遼・金の出現とそれに伴う宋朝(北宋・南宋)の対応について、とくに講和条約の内容を中心にその南北関係を中心に概観したい。

履修上の留意点

本講義は、あくまでも概説であるから、あまり専門的な問題点まで深入りしない。しかし概説という性格上、その歴史的流れを重視したいので、各種出版されている概説書の多読を希望する。

成績評価の方法

概説的講義が中心となるため、本講義では出席を重視する。またレポートなどを提出してもらうことがある。これらと年度末試験とを総合的に評価する。

教 科 書

本講義では特定の教科書は使用せず、随時プリントを配布する。

参 考 書 等

竺沙雅章『征服王朝の時代』(講談社現代新書)。その他は講義時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 VII ( 近 ・ 現 代 )	ちよう 趙 ぐん 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

1. アヘン戦争と中国の「開国」
2. 「太平天国」農民運動
3. 洋務運動と日清戦争
4. 士紳らの救国運動-戊戌維新-
5. 農民らの救国運動-義和団事件-
6. ブルジョア階級による救国運動-辛亥革命-
7. 北洋軍閥統治下の中国
8. 国民革命の開始と挫折
9. 日本の満州侵略と紅軍の長征
10. 中国の抗日戦争
11. 解放戦争と新中国の誕生
12. 1950年代前期の中国
13. 「反右派闘争」前後
14. 「文化大革命」の嵐
15. 鄧小平と改革開放政策

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』岩波新書336（岩波書店）

参 考 書 等

授業の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 VIII ( 周 辺 史 )	まつ もと ひろし 松 本 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の目的は、中東やイスラームについての基礎的・一般的な理解にある。中東といえば、少なくとも初学者の関心は日々マスコミから提供される報道にあらうが、現代の事件・事象への考察には過去の歴史に関わる知識が必要となる。一方、歴史への関心にとっても、現在の状況やその変化は、理解の道程に不可欠な情報をもたらす。しかし、時間的な制約から、歴史と現代の双方をバランスよく扱うことは大変難しい。幸い、本講義は複数年に渡り単位取得が可能なシステムにあり、昨年度から1年ごとに歴史と現代のどちらかにウェイトを置く方式をとっている。もちろん、1度しかこの講義を履修しない学生諸氏が大半であるため、毎年必要と思われる基礎的な知識の提供は行い、歴史と現代の双方に言及するが、そのどちらを講義の主眼とするかは1年ごとに交代される。昨年度は、現代（中東和平、イスラーム原理主義等）に主眼を置いたので、今年度は歴史が講義の中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

中東の歴史はエジプト文明、メソポタミア文明といった古代から始まるが、本講義は西暦7世紀におけるイスラームの成立以降とする。それは、イスラームの預言者ムハンマド、正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝といった初期イスラーム時代及び拡大・成熟期の政治・社会の歴史と特質、イスラーム神学・法学といったイスラーム思想史とその時代状況との関連、イスラーム神秘主義の思想と実態、オスマン帝国の隆盛と衰退及びそれに始まる「中東の近代」の一般性と特殊性などからなる。以上のように、今年度は中東の中世史・近代史が講義の対象となるが、後半の近代史は言うまでもなくそのまま中東現代史の背景を形成しており、時間計な余裕に従って現代の諸問題も講義に含めることとする。

成績評価の方法

評価は、前期末及び年度末の2回の試験により行う。

教科書・参考書等

教科書・参考書は特に指定せず、適宜参考文献目録及びプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 IX ( 周 辺 史 )	かた おが かず ただ 片 岡 一 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本と中国は長い交流の歴史をもっている。今日でも両国の関係はいろいろな分野で活発であるが、時としてはトラブルが起こっている。その背景には近代における日中関係が影を落としているといえる。講義では近代における両国の政治・文化的分野での事件を取り上げ、今日の両国の歴史的背景とその問題点を提示したい。

講義の内容・授業スケジュール

①中国の近代と日本の近代 ②近代以前の日中関係 ③日清修好条規 ④国境確定と日中関係 ⑤琉球問題 ⑥1880年代の日本の変化 ⑦日清戦争 ⑧中国人の日本留学 ⑨日本の中国関係団体 ⑩辛亥革命と日本 ⑪第一次大戦時期の日中関係 ⑫日中国交正常化の途 ⑬日中間の諸問題

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。日本史・アジア史に関心のある学生の聴講を歓迎する。

成績評価の方法

前後期各1度の小テストと後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配付する。

参考書等

授業のなかで指示する。

その他

講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史各説 X (周辺史)	奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

F・ブローデルの『地中海』が翻訳されてから、海をテーマにした歴史が語られるようになってきた。そのために、陸の「シルクロード」だけでなく、海の「シルクロード」にも焦点が当てられるようになってきた。この海上ルートは、陸上ルート以上、広く長く使われてきており、紀元前後から、モンスーンを利用し、様々な商品だけでなく、文化・技術・思想なども運んでいる。

この講義では、この海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに、16-18世紀に活躍した、オランダ東インド会社 (VOC) の活動に焦点を当てたい。というのは、この時代は、近世 (Early Modern) であり、この近世こそ、海上交易が盛んになった時代であるからである。また、VOC が、歴史上初めて、一つの組織によって、ヨーロッパから東アジアに至る海上交易ルートの管理を行ったからである。

この VOC の歴史を通し、改めて、シルクロードと呼ばれる交易ルート、特に海上ルートがどのような歴史を持ち、また、どのような商品が運ばれたか、さらに、この交易により、他の地域のどのような変化を起こしたのか、という、東西相互の関係を考察していきたい。

授業においては、最初に、古代から中世の海上貿易について概観し、その上で、15世紀からの大航海時代、さらに、VOC の歴史へと移っていきたい。

さらに、人間にとって「交易」とはいかなるものかも考えていきたい。

東西交渉史となると、どうしても、扱う範囲が広がる。そのために、基本的な世界史の知識を確認しておくほうが、良いかと思う。

成績はレポートによって評価する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1) 「近世」以前の海上交易
- 2) 近世までのヨーロッパ史
- 3) オランダの歴史 : VOC 成立の背景
- 4) VOC の成立とその機構 : その組織と歴史的な位置づけ
- 5) VOC の商館 : バタヴィア
- 6) : スラット
- 7) : スリランカ
- 8) : ベンガル
- 9) : 台湾
- 10) : 日本
- 11) : トンキン
- 12) : アユタヤ 等
- 13) VOC のあつかった商品 : 生糸
- 14) : 香料
- 15) : コーヒー
- 16) : 茶
- 17) : 鉄砲等
- 18) VOC 時代のヨーロッパ : EIC 前史
- 19) VOC と EIC
- 20) VOC の終焉 : バタヴィアの崩壊
- 21) 「近世」と「近代」
- 22) 結論 : 近世における VOC の位置

#### 参 考 書 等

永積昭『オランダ東インド会社』(講談社学術文庫) 2000  
 科野孝蔵『オランダ東インド会社の歴史』(同文館) 1988

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史特講Ⅰ (古代)	小林 惣八 <small>こばやし そうはち</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

内陸アジア史において先進的な役割を演じたのはオアシス地帯である。そこには支配者及びその行政機関が存在し、農産物・工業製品は豊かに、隊商は東西に往来した。東西各地の名のあふ宗教が行われ、寺院においては高僧が求道や布教に努め、芸術も盛んで、高度な文明が現出した。しかし、その孤立的な性格は全体として統一されることなく、東西の交通をみずから一元的に維持するほどの力ももたなかった。この地帯を安穏に通ずることは遊牧民の力を借りずにはなし得なかった。玄奘が西突厥可汗の紹介でインドまで出られたことや、後のモンゴル帝国の交通繁栄の場合などがそのよい例であろう。遊牧民こそはその政治的統一によってオアシス国家を支配下におき、この大道を保護し、東西交通を円滑にした実力者であった。

また一方中国のような大農耕地帯と相対するときには、遊牧民はその帝国の混乱期には一個の強力な軍事集団として参加し、征服への道を追及する。そしてみずから支配者、帝王となり強固な政治組織を建設する。いわばアジアの専制主義機構は多くの場合、彼らによって再建されたのである。北魏以降清朝に至る大帝国の成立は皆それが事実であることを証明するであろう。内陸アジアはアジア全体に対して政治的エネルギーの発生源となっており、そこに内陸アジア史の大きな歴史的意義を我々は考えることができる。

講義の内容・  
授業スケジュール

取扱う内容は

- ① 遊牧国家とオアシス国家  
匈奴遊牧国家以前とそれ以降  
オアシス諸国家

- ② 征服王朝

以上を軸に、講義を主にディスカッションを交え進めたい。

履修上の留意点

アジア史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書

特に定めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 IV ( 中 世 )	いし だ だ 石 田 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈金石学の種々相〉と題して講義します。金石学は英語の EPIGRAPHY に相当し、これは銘辞学と訳されています。一般に金属や石などに施された文字や文章、つまり金石文、あるいはそれら金属や石などを研究対象にします。金石文は史料ですから、金石学は紙以外に記された史料を対象とするともいえます。文献史料が少なれば少ないほど重要な意味を持つといえますので、近頃では金石文に注目して新しい史料を見いだそうとする傾向があり、関心が高まりつつあります。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義では基礎的なこととお話する予定です。前期では金石学の意義、金石学の大綱、日中の金石学の歴史などを簡単にお話し、後期では具体的な例をいくつか取りあげることになります。それらは中国中世の墓誌、石碑、仏足石、鐘銘などで、これらの歴史的背景を説明し、金石文を読み、史料として扱って行く予定です。ところで金石文は活字の文字ではないため、文字には異字体も多く、釈文に苦勞することがあります。そのため本年度は時間的に余裕があれば、文字の歴史についても取りあげることにし、いかに金石文を読むか、という点にも配慮します。一方、受講者の関心を深めるために日本の金石も取りあげ、日本の身近な金石についてのレポートを提出してもらいます。東洋史専攻者だけでなく日本史の専攻者の受講を歓迎します。それゆえ受講者に応じて取りあげる素材を変える予定です。金石を扱うには拓本の取り方を知らなければなりませんので、時間の余裕があれば拓本の手ほどきもします。

履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示しますので、配付資料・史料を必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出によります。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適宜、講義中に示します。

そ の 他

講義を中心にしますが、なるべく受講生に発言を求めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 VII ( 近 世 )	の 野 さわ よし み 野 沢 佳 美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国と日本との関係を知る上で、中国の王朝史料である「正史」中の日本関係記事（倭国伝・日本国伝）は重要なものである。一般的に「魏志倭人伝」や「隋書倭国伝」などが有名であるが、宋代以降の正史中に存する「日本伝」も、それぞれの時代において中国がどのように日本を見ていたかがわかり興味深いものがある。本講義では、『隋書』以降の正史中の日本に関する史料を取り上げ、中・日交流史および各時代の中国の人々がどのように日本を見ていたかを考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、まず正史とはなにか、また日本に関する記録がどこに収められているかの特徴を押え、『隋書』『旧唐書』『新唐書』中の倭国伝・日本国伝の記述を検討しながら、記述内容の変化とそこに述べられた日本国の状況を比較する。後期では『宋史』『元史』中の日本国伝を取り上げ、近世以降の中日間における人物や文化の交流を検討する。

履修上の留意点

講義内容の性格上、受講者は東洋史・日本史の知識を深めて臨んでもらいたい。

成績評価の方法

授業への参加意欲、出席状況、年度末レポートなどで総合評価する。

教 科 書

石原道博編訳『新訂 魏志倭人伝他三篇』（岩波文庫）、同『新訂 旧唐書倭国日本伝他二篇』（岩波文庫）。また随時プリントを配付する。

参 考 書 等

参考書は授業時の随時指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 X ( 近・現代 )	ちよう 趙 ぐん 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山滿と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年  
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参 考 書 等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年  
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅱ (近・現代)	ふじ 藤 谷 浩 悦	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と文化を中心に考察する。テーマは前期が「民衆反乱」、後期が「文化摩擦」である。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は以下の通りである。

〔前期〕

- ①問題提起 ②18世紀の世界 ③白蓮教徒の乱 ④民間諸宗教 ⑤反乱の世界  
 ⑥会党と近代 ⑦太平天国Ⅰ ⑧太平天国Ⅱ ⑨太平天国Ⅲ ⑩義和団Ⅰ  
 ⑪義和団Ⅱ ⑫義和団Ⅲ ⑬辛亥革命 ⑭(予備) ⑮(予備)

〔後期〕

- ①問題提起 ②お茶と文化 ③茶の世界史 ④病気の歴史 ⑤茶とアヘン  
 ⑥アジアの近代 ⑦アヘン戦争Ⅰ ⑧アヘン戦争Ⅱ ⑨上海と横浜 ⑩上海の歴史  
 ⑪留学生と日本 ⑫文化と政治Ⅰ ⑬文化と政治Ⅱ ⑭(予備) ⑮(予備)

履修上の留意点

当該時期に関心を抱くことが望ましい

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う

教科書・  
参考書等

教科書や参考書は授業の中で指示する

その他

適宜、史料を配付する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 XIII ( 周 辺 史 )	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現在、「近世」(Early Modern)という概念が、世界史の中で使われるようになってきている。それまで、時代区分とは、古代、中世、近代の三分法で考えられてきていたが、歴史研究が深まるにつれ、そのような考え方だけでは間に合わなくなってきた。

このようなとき、「近世」という概念が使われだしたのである。これは、中世と近代の中間というよりも、独立した時代と捉えられている。この時代区分は、東南アジア史研究において、頻繁に使われるが、東南アジアだけでなく、東アジア史研究でも使われる概念であろう。

この授業においては、「近世」を、「モンゴル帝国」の時代から、18世紀までの時代と捉える。この時代は、モンゴル人の大遠征により、ユーラシア大陸の東西が緩やかに結合され、経済が発展したあと、各地で様々な王朝が成立した時代である。東アジアでは、中国の明・清王朝、朝鮮の李氏朝鮮、日本の安土桃山時代から江戸幕府が成立した時代であり、東南アジアでは、「商業の時代」に重なる。ヨーロッパ人が来航し、タイのアユタヤ朝などの海外貿易が盛んになった時代である。そのために、この地域の各地の政府が海上貿易を統制するようつとめ、しかも、民間人による貿易活動が盛んとなっていた。

この近世の東・東南アジアを、「東方アジア」として、一つのまとまりと考え、この地域が、歴史的にも、文化的にも、一つの世界と考えられることを考察したい。この地域だけでなく、他の地域との比較や、世界史的な視野から、その相互関係を中心として見ていきたい。この地域を一つとして見る試みは、新しいものであるが、F・ブローデルがその著『地中海』で、地中海世界を一つの世界として考察した手法を取り入れて、「シナ海世界」を考えていく予定である。このために、中国人の活動について、焦点をあわせることが多くなるが、それだけでなく、日本人や、オランダ人、イギリス人のヨーロッパ人、さらに、東南アジア各地の人々の活動にも、ふれていく予定である。

さらに、経済活動だけでなく、思想や宗教の普及といった文化交流も考察していく。

なお、受講する際に、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。

成績はレポートによって評価する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1) 東方アジア：地理、気候
- 2) 東方アジア：インド化された地域と中国化された地域
- 3) 「近世」の歴史：モンゴル帝国
- 4)                   ：明帝国
- 5)                   ：清帝国
- 6)                   ：琉球
- 7)                   ：マラカ
- 8)                   ：アユタヤ
- 9)                   ：ヴェトナム
- 10)                  ：日本
- 11)                  ：ジャワ・ミャンマー
- 12) 東方アジアの統一原理：朝貢冊封体制
- 13)                   ：「鎖国」
- 14)                   ：民間の商人
- 15) 東方アジアの黄金期：18世紀
- 16)                   ：その貿易実態
- 17) 東方アジアの文化：儒教
- 18)                   ：仏教
- 19)                   ：道教、ヒンドゥー教、イスラム
- 20) 東方アジアの言語：中国語関係
- 21)                   ：東南アジア諸語
- 22) 結論：前近代の世界のあり方、ブローデルの紹介

#### 参 考 書 等

フェルナン・ブローデル『地中海』(藤原書店、全5巻、1991)  
そのほか、必要に応じて、授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 XIV ( 周 辺 史 )	かた 片 岡 かず 一 ただ 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国とその西方、すなわち西域との関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1 西域とは 2 西域の地理的環境 3 オアシア世界の政治経済的特徴 4 遊牧民と西域 5 中国と遊牧民 6 中国と西域 7 中国王朝の西域政策 8 清朝の西域征服とその統治政策 9 19世紀の世界情勢と西域 10 清朝の政策の変更 11 辛亥革命と西域（新疆） 12 20世紀中央アジア・ソ連と中国-

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域（中央アジア）に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教 科 書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参 考 書 等

授業の中で指示する。

そ の 他

講義形式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 各 説 I	いわもと ひろこ 岩 本 裕 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋史の中でもアメリカ合衆国の歴史を講義してきている。これまでは、「インディアン」と間違っって呼ばれた先住民が、最初にアジア大陸から南北アメリカ大陸に渡ったときから現在までを対象とした通史、あるいは「多文化社会アメリカ」を形成する様々な要素、すなわち人種、民族、宗教、ジェンダー（男女性別）、セクション（地域性）など合衆国独特のテーマ別史、また全米50州を対象に各州や地域別の歴史というように、年度ごとに様々なテーマで講義してきた。昨年度と一昨年度の2年間では、担当者の専門領域である「アメリカ黒人の歴史と文化」を講義した。初年度は通史を、2年目は前期は人物史、後期は黒人女性史をテーマとした。

今年度は、合衆国の歴史を「映画の中に読み込む」作業を行う。映画はフィクションであり、歴史の対象にはなり得ないと考えられるが、映画が歴史に裏付けられていることは「時代考証」という言葉からも明らかである。映画を読む上で歴史の知識が必要であることが実証されるような講義にしていく。歴史学科の学生だから「歴史嫌い」はないだろうが、「映画嫌い」はあるかも知れない。そういう学生にこそ「映画を学ぶことが大切だとわかる歴史好き」になるために、ぜひ受講してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として指定する拙著『スクリーンで旅するアメリカ』に即して講義していく。本書では、大学の講義に併せて、春夏秋冬という時間を縦軸に、全米50州という地域を横軸にして合衆国の歴史という一枚の織物を織る。その布が平坦な薄物にならないために映画によって立体化していく。歴史と映画という、事実と虚実の結び付けによって、歴史理解を深めていきたい。

以下は講義内容の一例として、各季節の章題をあげておく。

第一部 春

ヴァージニア州、イギリス人最初の植民地／マサチューセッツ州、巡礼始祖の到着地／ニューヨーク州、始まりはオランダ人の植民地／ワシントン DC、さまよえる首都物語の終結／他

第二部 夏

深南部南部色の濃い複雑な地域／南部らしさと懐かしい歌／ミシシッピを北上してジャズの旅 逃亡の道「ルート66」／ニュー・メキシコ州、「マンハッタン計画」の遂行地

第三部 秋

カリフォルニア州、様々な人生の実験場／ハリウッド、映画の都の光と影／砂漠州と山岳州／テキサス州とフロリダ州、サンベルト地帯の豊かな州／大平原州と五大湖周辺州

第四部 冬

大西洋岸の6州、ニューイングランド地方／太平洋岸の3州／ハワイ州、王国から50番目の州へ／ニューヨーク、クリスマスの似合う街／戦争というキーワードで首都をめぐる

履修上の留意点

講義で引用する映画のシーンについては、可能な限り講義の中で見せていきたいと思うが、時間や教室の限界もあり、言葉での引用に終わるケースの方が多くなることは避けられない。そうなるで見ないまま映画で合衆国を語ることになり、不十分な理解になってしまう。ビデオが普及している昨今なので、受講生の個々人で映画を見ることで確認をするという作業をしてほしい。

成績評価の方法

前期と後期の各期で試験を行う。同配分で評価の対象とするため2回受けることは必須である。自筆ノートのみ持ち込みの試験であるため、講義に出席することは大前提である。

教科書

岩本裕子『スクリーンで旅するアメリカ』（メタ・ブレーン、98年）

参考書等

上記教科書巻末に参考文献リストをあげているので、参照してほしい。個々のテーマによって、講義の折々に参考文献は紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 各 説 IV	伏 島 正 義	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。

講義の内容・  
授業スケジュール

文献、関係論文(邦文、英文)、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文(邦文、英文)をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法と学ばんとするものである。

履修上の留意点

本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求せんとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。

成績評価の方法

あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決める。但し、その場合、毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。

教 科 書

教科書は特に定めはない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。

参 考 書 等

参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 I	長 谷 川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋史を専攻する場合、欧文文献の講読は不可欠な作業となる。なぜならば自分が研究したいテーマに関する日本語文献は史料も研究論文も不十分に足りないと思われるからである。これに対して英語の文献は様々な分野の研究に及んでおり、また英語に翻訳された様々な言語の史料も存在する。それゆえ英語の読解力がまず必要となる。そこで本講義においては、西洋史を学ぶために必要な英語の読解力の向上をめざしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

研究文献や史料の読解とは受験までの速読による概要把握ではなく、なによりもまず一字一句の精読によって内容を正確に知ることが求められる。そこで本講義において時間を要することは構わず、学生諸君一人一人の訳す作業を通して英文の正確な理解とそれを土台に文献から必要な情報を得る術を習得してもらいたい。

履修上の留意点

上記の目的を達成するためには丹念に辞書を繙き事前に予習することは当然である。しかし本講義は語学の授業ではないので日本語に訳すだけで満足しないで、それに加えてテキストの内容を歴史的に理解しなければならない。そのため叙述にある歴史的な事件、人名、地名等も事前に調べることも必要である。なお、新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻の希望の3年生は必ず出席すること。

教 科 書

第一時限目に指示する。欧米文化の特質を古代ギリシア・ローマ文化の影響という観点から考察した論考を予定している。

そ の 他

ゼミ形式で、事前に訳者を割り当てはしない。それゆえ必ず予習して、そして英和辞書(最低でも中辞典以上のもの)を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史特講Ⅲ	かめなが ようこ 亀長洋子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「中世イタリアの家族と社会」

本講義では、中世イタリア都市国家の一つであるジェノヴァの事例を通して、家族史やソシアビリテ研究について実証研究から考察する。本講義を通じて、家族、また、家族を越えた人と人との結びつきが、いかなる形で歴史を動かしていくかを味わってほしい。また、家族の問題を考える素材やテーマの多様性にも頭をめぐらせてほしい。加えて、自分がこれまで関わってきた家族、将来自分が形成しようと思う家族像を再考し、自分が現代の家族、さらには社会構造のなかでどのような位置におかれ、どのような形で様々な人と結びつき、そのうえでどのような判断を下して生きているのか、また、これから生きていこうとするのかを、考えてみてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、前期は前提を説明したあと中世盛期、後期は中世後期を舞台に、それぞれの時代の商業生活や都市生活における「家」や「家」を軸にした人と人との結びつきについて、具体的な事例をあげながら考察する。

成績評価の方法

学年末の試験によって評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

亀長洋子『(仮題) 中世ジェノヴァ商人の「家」』(刀水書房、2001年2月刊行予定) その他、授業中に関連文献を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋史特講Ⅳ	ささき まこと 佐々木真	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

いわゆる近代社会や近代的な価値観は、18世紀から19世紀にかけてヨーロッパで成立したものであるが、それらが今日においてもわれわれの社会を強く規定していることは否定できない。本講義では、「近代を読む」というテーマで、近代社会の成り立ちについて考察を加える。

講義の内容・授業スケジュール

近代社会（国民国家や経済的自由主義など）や近代的価値観（家族関係、公と私、公衆衛生、規律など）に関する著作や論文を受講生に読んできてもらい、それを報告してもらう形で授業を進めていく。授業では報告者をあらかじめ指定し、担当する文献の内容と討論の対象となる点を報告してもらう。

履修上の留意点

指定された者がきちんと準備をすることは当然だが、その他の者もなるべく、検討する著作を事前に読んできてほしい。講義形式の授業ではないので、各受講生が積極的に授業に取り組み、討論では多くの発言をすることを期待している。重要なことは、文献を読んで自分がいかに考えるのかということである。やる気のある学生のみ受講してほしい。

成績評価の方法

成績は、授業中の各自の発表の内容に出席や討論での発言を加味して決定する。ただし、受講生の数によっては、年に1回あるいは2回レポートを課すこともあり得る。

教科書

教科書は特に指定しない。課題図書は第1回目の授業の時に指定するが、例としては次のようなものを考えている。ミッシェル・フーコー『監獄の誕生』、ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』、ジョルジュ・ヴィガレロ『清潔になる（私）』、アラン・コルバン『浜辺の誕生』

その他

講義はゼミ形式で行い、担当者の発表の後に討論を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史Ⅰ	わた なべ ちか 渡 辺 知	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀以降のイギリスの社会がどのような社会であったのかを見ながら、イギリスの歴史がどのような特殊性を有しているのか、また、イギリスの近現代の歩みが世界史的にどのような意味を持つのか、考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期はジェントルマン、労働者、女性、子ども、移民等は19世紀のイギリス社会においてどのような位置を占めていたのか、またこれらの間にはどのような関係が結ばれていたのかを主なテーマとして講義をすすめます。また、近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。さらに、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。後期は、このように明らかにされつつあるイギリス帝国の多様なあり方がイギリスの社会にどのように影響を与えたのかを考えていくこととします。

成績評価の方法

前、後期末にそれぞれ試験を行います。また、夏休みあけにはブックレポートを提出していただきます。成績はこれらの総合評価とします。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋各国史Ⅱ	とり ごえ やす ひこ 鳥 越 泰 彦	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、ヨーロッパとはいえあまり知られていない国のひとつである、ハンガリーの歴史を取り上げます。今年度は、特にハンガリー史のなかで「英雄」とされている人たちに焦点をあてて、彼らがなぜ「英雄」とされているのかを考えたいと思います（扱う時代は、9世紀から第一次世界大戦くらいまでの予定です）。このようなテーマを設定するのは、いわゆる「ハンガリー英雄列伝」を語ろうとしているからではありません。ハンガリー史の「英雄」たちがなぜ「英雄」とされているのかを考えることで、実はハンガリー史の中に潜む一定の偏り、時代的な背景が浮かび上がってくるからです。そういう作業のなかで、一國史というイデオロギーにどのような問題があるかも考えたいと思っています。

受講にあたって特にハンガリーについての知識はいりませんが、たんに講義を聴講し帰るだけではなく、疑問を持ち、考える人を歓迎します（ほぼ毎回、皆さんに意見や質問を求めます）。はじめは億劫かもしれませんが、いろいろ考えていくうちに、皆さん自身にもきついろいろな発見があるはずです。そういう発見を体験してみませんか。

教科書は特にありません。参考文献は適宜、指示します。

また多くの皆さんが、ハンガリーという国についてご存知ないか、またはなにか暗いイメージを持っていると思うので、実際はどうかをビデオなどで見てもらう機会をたくさん作る予定です。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には、ハンガリー史における重要な問題（ハンガリーの建国、中世のハンガリー王国、オスマン帝国支配下のハンガリー、オーストリア＝ハンガリー帝国、ハンガリー革命、社会主義時代のハンガリー、ハンガリーの現在）をピックアップして扱っていきます。ただしハンガリー史がどのように語られるのか、ということも随時検討したいと思います。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋各国史Ⅲ	みやもと なおみ 宮 本 直 美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、19～20世紀前半のドイツを対象として、その広義のナショナリズムの歴史を幅広い角度から概説する。ドイツ近現代史を考える以上は、ナチスを避けて通ることはできないが、しかしその問題に取り組むにあたっては、ナチス期だけに注目してその要因を考察すればよいというものではない。この問題を射程に入れつつ、ではどのような解明方法があるのか、どのような視覚があるのかを、学生諸君に知ってもらい、かつ考えてもらうことが本講義の目的である。このように考える時に、ナチスの問題は我々の今日的な問題として認識されるのである。したがって、講義では、一般の「歴史概説」のように年代を追って事件を並べるのではなく、政治史、社会史、文化史、精神史、思想史、女性史、歴史社会学といった相互に関連する分野を順次取り上げて、それぞれの分野の問題意識から見た「ドイツ近代」を紹介してゆく。それによって、学生諸君には、史実を暗記する機会ではなく、歴史について自ら考える契機を提供したいと考えている。

履修上の留意点

前述のように「歴史を記述する視覚」を重視するため、場合によっては、ドイツ近現代史の範囲を越える内容を講義に盛り込むこともある。また、受講にあたってはドイツ語の知識は特に要求しない。

成績評価の方法

半期ごとにレポートを課す。評価は、レポートの成績と出席率を考慮して行う。

教科書・参考書等

教科書は特に指定しない。参考書は授業ごとに指示する。

その他

講義を予定しているが、受講者の人数・要望によっては、演習形態を取ることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋各国史Ⅳ	はせがわ たけお 長 谷 川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋文明の源流に位置し、その後の歴史的展開にも大きな影響を与えた古代ギリシア世界は、各地に形成されたポリスをその生活の基盤とした。本講義においては、このポリスが実際にはいかなるものであったのかを、近年の研究成果を摂取して、我が国での一般的なアプローチとは異なるアングルから考察する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

従来、一般的に認識されている古代ギリシアのポリスは「都市国家」と訳され、市民は都市的な生活を基本として政治に参加し、文芸に親しむというイメージが強かった。しかし近代の国家のように、都市を核として経済や政治が展開し、他ポリスとの国際関係に関しては「自由と自治」を旨として外交をなしたコミュニティという把握には様々な点から疑義が提出されている。本講義においては、特にポリスを規定したものは何であったか、そしてそこでの「自治」という概念をポリス間の関係から注目し、加えて近年の考古学のめざましい成果、さらには視覚的な資料にも関心を向けて日常の生活やネクロポリスのあり方なども取り上げて、ポリスの「現実」を考察することにより古代ギリシア社会の特質を明らかにする予定である。

履修上の留意点

ただ情報を得るだけでなく、講義内容を土台に古代ギリシア世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する近代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。

成績評価の方法

講義をした上で考えたいが、出席が前提となる。

教科書

使用しない。

参考書等

講義中に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学各説Ⅱ	吉 開 将 人 <small>よし かい まさ と</small>	歴史2・3・4選	4

- 講義のねらい** 講義テーマを「中国歴史考古学をめぐる諸問題」とし、歴史世界としての中国世界の成り立ちと、文字資料の豊富さなど特有の条件を持つ中国歴史考古学の特徴を、概説・各論双方の利点を生かして、分かりやすく紹介することを目指す。前期の概説では新石器時代の末頃から漢代までの時期を広く扱い、後期の各論ではそのうち春秋時代から漢代にかけての時期を主に扱う予定である。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は「中国歴史考古学」の概説として、「地域」とその結び付きのあり方に目を向けながら、中国世界の形成過程について概説する。歴史世界として「中国」をとらえる発想に沿った内容なので、古代以外の中国史や東アジアの他地域の歴史・考古に関心のある者についても参加を歓迎する。後期は、「生産・流通」および「制度」的側面に関心を絞り、青銅器・漆器・玉石器・貨幣・印章・都市を題材に、現在進めている個別の研究の一端を、その手法とともに紹介したい。
- 履修上の留意点** 専門が異なる履修者を考慮して、講義の中で基礎的な事項についても補って解説していく予定なので、専攻する時代・地域は問わない。広い関心と柔軟な思考力をもつ多くの学生の参加を期待する。
- 成績評価の方法** 平常点および学年末のレポートによる。レポートのテーマは自由選択とする。講義でとりあげた論点や方法論に一定の関連をもつものであれば、中国以外の考古・歴史を扱ったものでも構わない。
- 教科書** 特になし。
- 参考書等** 講義の進行に合わせ、適宜紹介する。
- その他** 基本的に、毎回の講義内容に合わせたプリントを配布する。適宜、講義内容に関連するスライド・ビデオを上映し、議論の材料とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学各説Ⅳ	今 村 啓 爾 <small>いま むら けい じ</small>	歴史2・3・4選	4

- 講義のねらい** 縄文時代について文化と社会の特徴を知り、東アジアにおける位置付け、人類史における位置など広い視野の中でそのありかたを理解することをめざす。また現在の研究の課題とその解明の現状について学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 学史・時代区分論などアウトラインから話をはじめ、次いで時間の流れに沿って文化の変遷を見る。後期は遺物・集落・生業研究など特定の問題を順次とりあげ、最後にアジアの中における縄文文化の位置付けを考える。
- 成績評価の方法** 毎回講義終了後に質問カードを配布するので、その日の講義に関する質問を1つ記入すること。次回にその中からいくつかをとりあげ答えを述べる。採点はこの質問カードによって行なう。ただし聴講者が多くて毎回これを行なうことが困難と思われるときにはペーパーテストに切りかえる。
- 教科書** 今村啓爾『縄文の実像を求めて』（吉川弘文館）1,700円
- その他** 講義形式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅱ	田 村 晃 一 <small>た むら こう いち</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

朝鮮半島はその地理的位置のゆえに日本と深い関係をもっている。それにもかかわらず朝鮮半島の文化について、多くの日本人は無関心ないし無知であるように思われる。それは明治時代以来、日本政府のとってきた政策のせいでもあるが、同時にまたわれわれの取り組み方の問題でもあるようである。

ここでは、日本と朝鮮の関係を視野にいれつつ、主として先史時代から三国時代ころまでを対象に、朝鮮半島での考古学的事象について講義し、朝鮮半島の文化の実態を究明することとした。ただし、通史的ではなく、トピック的になるであろう。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	酒 井 清 治 <small>さか い きよ じ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

考古学における古墳時代は、古墳の築造に特色をもつように古墳の変遷はその時代を知る重要な要素である。また、古墳からの出土遺物も古墳時代を知るためにも重要である。このような古墳の変遷、地域色、あるいは出土遺物から、列島における中央・地方の関係、あるいは各地の首長層の動静を知ること可能である。

この講義では、古墳時代を知るために、古墳あるいは出土遺物から古墳時代史を探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

古墳時代の論文を受講者とともに読み解く。

履修上の留意点

遅刻はしないように。

成績評価の方法

平常点とレポートによる。

教 科 書

白石太一郎編『古代を考える 古墳』（吉川弘文館）

参 考 書 等

授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 IV	矢 野 和 之 <sup>や の かず ゆき</sup>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西域美術史	まつ だいら みわ こ 松 平 美 和 子	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

西域、いわゆるシルクロードは装飾文様の宝庫である。欧米の美術の中では概して二次的な位置が与えられてきた装飾文様は、西域では常に美術の中心的な位置を占めてきた。本講義ではバミール高原東側の東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、この地域の古代美術品、特にその装飾文様の中に東西文化交流の様を探りたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ①シルクロードの主要な遺跡とその美術。  
イラン周辺の遺跡、クシャーン朝の遺跡、タクラマカン砂漠周辺のアアシス都市近郊の遺跡、さらに最近注目を集める旧ソ連領の各遺跡などを概説する。
- ②シルクロードの装飾文様とその東西交流。  
各遺跡の出土品にみられる装飾文様をとり上げ、その様式を分析し、地域や時代によりどのように変化しながら伝播していったかを考察する。装飾文様としては「バルメット文」、「聖樹文」、「葡萄唐草文」などの植物文、「花喰鳥文」、「動物闘争文」などの動物文、さらに「飛天文」、「グリロス」、「アラバスク」などをとり上げていく。

#### 成績評価の方法

夏季休暇後と学年末の二回のレポートで評価する。

#### 教科書

講義時にプリントを配布する。

#### 参考書等

講義時に適宜紹介する。

#### その他

具体的な作品を対象とするので、毎時間スライドを使用し、必要に応じてビデオも用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学史	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確かな思索を行おうとするならば、繰り返してそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

#### 参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ 麻 生 けん 建	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	まつ だ せい いちろう 松 田 誠 一 郎	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

平安時代前期〔784～951〕から平安時代後期〔951～1185〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史的変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題にも論及する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】		【後期】	
第1回	ガイダンス	第1回	7. 仁和寺の阿弥陀三尊像
第2～3回	1. 神護寺の薬師如来像	第2回	8. 清涼寺の阿弥陀三尊像
第4回	2. 新薬師寺の薬師如来像	第3～4回	9. 室生寺金堂の仏像
第5～6回	3. 神護寺・観心寺の密教彫塑	第5回	10. 上醍醐寺の薬師三尊像
第7～8回	4. 広隆寺金堂・講堂の仏像	第6回	11. 六波羅蜜寺の十一面観音像
第9～10回	5. 東寺講堂の密教彫塑	第7～8回	12. 同聚院の不動明王像
第11～12回	6. 法華寺の十一面観音像	第9～12回	13. 平等院鳳凰堂の仏像
第13～15回	進度調整のための予備日	第13～15回	進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

前期末と後期末に筆記試験を実施し、その単純平均によって厳密に評価する。

教科書

水野敬三郎著『奈良・京都の古寺めぐり－仏像の見かた－』、1985年、岩波書店。

参考書等

水野敬三郎・関口欣也・大西修也編『法隆寺から薬師寺へ』（『日本美術全集』第2巻 飛鳥・奈良の建築・彫刻）1990年（講談社）

その他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国歴史文学	南雲 智	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国文学の流れをつかむと同時に、中国文学の特質とは何かを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

長い歴史を有する中国文学の全体像をすべて把握するのは困難であろう。断片的にならざるを得ないが、大きな流れだけは見失わないように授業を進めたい。

成績評価の方法

成績評価はレポートにする予定であるが、変更する場合もあり得る。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

授業中に適宜、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
有職故実	大塚 英子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解説の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 A 「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。
- B 平安朝の年中行事
1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
  2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
  3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
  4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。
- 後期 A 『源氏物語絵巻』と服飾
1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
  2. 摂関時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
  3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。
- B 平安朝における官職位階の制度

履修上の留意点

常時出席しないと修得はむづかしい。

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教科書

河鱒実英『有職故実』（塙書房）1,900円、源氏物語絵巻のコピー、及びプリントを使用。

その他

OHP・ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	谷 口 貢	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）



科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	矢野陽子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

フランス絵画史。西欧の中心に位置するフランスは、交通の要衝であり、商業活動の経由地であり、巡礼の道も通っていた。国際的に開かれているという状況から、フランスは周囲の国々からさまざまな要素を受け入れながら固有の文化を生み出していった。この授業では、17世紀から19世紀にいたるフランス絵画の歴史をたどり、その特色を考える。

講義の内容・授業スケジュール

絶対王政が確立する17世紀から始め、18世紀末フランス革命を経て、新しい芸術運動が次々に起こった19世紀まで、時代を追って主要な流れを見ていく。前期は17・18世紀を、後期はフランス革命以後を扱う予定である。

成績評価の方法

前期のレポート提出と後期の筆記試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

高階秀爾著『フランス絵画史』（講談社学術文庫）

その他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ラテン語	佐藤玖美子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進度に従って、簡単な物語の講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教科書

松本悦法著『ラテン語入門』（駿河台出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違うが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書をある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への(特に近代以降の欧米文化)影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学(例えばヘッセの『車輪の下』)でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をとまとうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』(大修館書店)1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史地理学	おだまさやす 小 田 匡 保	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学の主な内容を概観する。地理学科の学生が歴史地理学的調査をする場合を考えて、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要 2. 歴史地理学の資料 3. 村落 4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位確定は保証できない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	こいけ とみ子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい	地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール	最初に、人文地理学と地域論をとりあげる。 次に前期は主として民族・国家・人口の観点から、後期は経済発展と地域の変容の観点から、世界の諸地域が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら検討する。
履修上の留意点	地図帳を持参していただきたい。
成績評価の方法	試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。
教科書	特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。
参考書等	高校用地図帳（「新詳高等地図」帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。） その他の参考書は講義の中で順次紹介する。
その他	授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 誌 学	かわもと 豊かず	歴史2・3・4選	4

講義のねらい	南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。
講義の内容・授業スケジュール	前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。
履修上の留意点	高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。
成績評価の方法	出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。
教科書	特に定めず、プリントを配布する。
参考書等	白田雅之・佐藤宏・谷口智吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円 水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円
その他	年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	<small>あら</small> 新 <small>い</small> 井 <small>さち</small> 祥 <small>ほ</small> 穂	歴史2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

わが国の農村・山村・離島部では、かつての基幹産業であった第一次産業が停滞する中で、そこに居住する人々は、就業先の確保を始めとして、生活の組み立て方にさまざまな課題を抱えている。このためこれら地域には、各種問題の解決をめざし、さまざまな公共投資がなされてきた。

しかし、これら公共投資を許してきた社会経済状況も、90年代の不況以降は大きく変化しつつある。国の財源不足が切実になる中で、いったい農山村の何が、公共投資を用いて「解決すべき問題」であるかを、厳しく吟味すべき時期にきている。とはいえマスコミその他論調によって伝えられるこれら地域の情報は限られており、彼らの生活のあり様やその変化の具体的なイメージがわきにくいのも事実である。

本講義では、各種資料を用いて、日本の農山村がどのような経済社会であるのか、またそれがどういった方向に向かっているのかについて、具体的に正確な理解をめざす。

成績評価の方法

成績評価は試験で行う。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	<small>ふじ</small> 藤 <small>しま</small> 島 <small>のり</small> 範 <small>たか</small> 孝	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国大陸について正確な地誌の情報が少く、ややもすると政治経済が先導し本来あるべき地理的知識が脱落し興味中心とした物語りで語られる事が多い。地理教育という観点からは、より基礎的識点を拡大すべきと思われる。回想と感想の見方を排し、今日の中国の地理的諸環境の分析を指標としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半と後半に区分すると、前半は大陸中国の自然環境と河川文明との関わりを中心として、基礎的総論を追求し、後半は生活の基盤たる大地と作目、少数民族の習慣的日常生活の背景を考える。

履修上の留意点

地図上で史的領域と影響圏の把握、各族の垂直分布に多重的生活を重ね立体的生活を把握する。

成績評価の方法

出席の度合、課題別報告書、指定地域の地図、各種見解についての討論等併せて個人面接で総合判断するものとする。なお、地図板書の技術などについて対象とする。

教科書

現段階で適切なものがないので、板書と資料配布を中心とする。

参考書等

参考書は都度指示する。

その他

ノートの整理及使用方法、地誌としてのまとめを要求するので、常に提出できるようにしておく。



# 1. 専門教育科目

## (5) 社会学科

社会学専攻

社会(社会学)



# 1. 専門教育科目

## (5) 社会学科(社会学専攻)

社会学概論	〈坪井 健〉	257
社会調査	〈牛島 千尋〉	258
社会学基礎研究	〈川本 勝・安藤 喜久雄・牛島 千尋・金丸 由雄 川崎 賢一・坪井 健〉	259
情報処理実習	〈軽部 幸浩〉	260
調査統計基礎演習	〈川崎 賢一〉	261
調査統計基礎演習	〈三重野 卓〉	261
社会学史	〈安藤 喜久雄〉	262
理論社会学	〈金丸 由雄〉	262
外書講読	〈金丸 由雄〉	263
現代社会論	〈安藤 喜久雄〉	264
政治社会学	〈岩瀬 庸理〉	265
家族社会学	〈岩上 真珠〉	266
法社会学	〈小林 弘人〉	267
文化社会学	〈休 講〉	
宗教社会学	〈芳賀 学〉	267
地域社会学	〈牛島 千尋〉	268
災害社会学	〈田中 淳〉	269
マス・コミュニケーション論	〈休 講〉	
産業・職業社会学	〈休 講〉	
社会心理学	〈坪井 健〉	270
社会病理学	〈休 講〉	
社会学原論	〈渡辺 源樹〉	271
社会調査演習	〈川崎 賢一〉	272
社会統計学演習	〈川崎 賢一〉	272
社会調査実習	〈川本 勝〉	273
社会学理論研究Ⅰ	〈江上 涉〉	273
社会学理論研究Ⅱ	〈江上 涉〉	274
社会学特殊講義Ⅰ	〈川本 勝〉	274
社会学特殊講義Ⅱ	〈川本 勝〉	275
行政法	〈鶏徳 啓登〉	275
法学(福祉)	〈小林 弘人〉	276
社会福祉援助技術総論	〈休 講〉	
社会保障論	〈船水 浩行〉	277
老人福祉論	〈東條 光雅〉	278
児童福祉論	〈山本 真実〉	279
地域福祉論	〈豊田 宗裕〉	280
児童心理学	〈横山 剛〉	282
産業心理学	〈高橋 誠〉	282
環境心理学	〈高橋 鷹志〉	283
老年心理学	〈中里 克治〉	283
社会政策	〈光岡 博美〉	284
労働法	〈藤本 茂〉	285
民法	〈竹中 智香〉	286





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 概 論	つばい 坪 井 健	社 会 1 必	4

講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方-
2. 社会学とは何か - 3つの方法-
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験-
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就-
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能-
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ-
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス-
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス-
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス-
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス-
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為-
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用-
13. 社会学の基礎概念3 - 社会的地位-
14. 社会学の基礎概念4 - 社会的役割-
15. 社会学の基礎概念5 - 文化-
16. 社会学の基礎概念6 - 価値と規範-
17. 社会学の基礎概念7 - 集団と組織-
18. 社会学の基礎概念8 - 社会的性格と社会化-
19. 現代社会論1 - 崩壊する家族-
20. 現代社会論2 - 多文化の世界-
21. 現代社会論3 - 人生と職業労働-
22. 現代社会論4 - 高齢化社会と生き方-
23. 現代社会論5 - 豊かさとは何か-
24. まとめ - 社会学の仕方-

社会(社会学)

履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見・評価用紙を配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後5分程度の質疑応答時間を設けるので、その際、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマを1時間完結の予定である。内容や順序は変更することもある。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書・  
参考書等

各テーマの授業時間に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 調 査	うし じま う ひる 牛 島 千 尋	社 会 1 必	4

講義のねらい

本講義は、私たちの周囲に生起する社会的現象を科学的に解明するために、データの収集・記録・整理・分析という一連の過程としての社会調査の技法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期から後期にかけては主に質問紙法を使用した量的な調査法について、後期は主に質的調査法について講義する。講義内容の概略は以下の通りである。

1. 社会調査の系譜
2. 社会調査の種類－量的方法と質的方法
3. 量的調査の実例
4. 調査対象・対象範囲の決定
5. 調査単位の選定と標本抽出
6. 調査票の作成
7. 既存資料の検討と分析
8. 質的調査の実例
9. 生活史法、参与観察法、内容分析
10. 社会調査の結果分析とまとめ方

成績評価の方法

レポートと試験によって評価する。

教 科 書

渡辺久哲『調査データにだまされない方法』（創元社）1,500円

参 考 書 等

森岡清志編『ガイドブック・社会調査』（日本評論社）2,800円  
K.ブラマー『生活記録の社会学』（光生館）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学基礎研究	<small>かわもと まさる あんどう きくお</small> 川本 勝・安藤喜久雄 <small>うしじま ひろ かなまる よしお</small> 牛島 千尋・金丸 由雄 <small>かわさき けいいち つばい つよし</small> 川崎 賢一・坪井 健	社会 1 必	2

#### 講義のねらい

社会学科社会学専攻に所属することになった新入生諸君は、これから4年間の大学生活で社会学を中心に学んでいくことになる（その成果は「卒業論文」としてまとめられる）。高校までの勉強では、問題が与えられ、それに必ず解答があったはずである。ところが、大学での学習は、問題（研究テーマ）をみずからみつけなければならないし、その問題（研究テーマ）に模範解答などというものは存在しない。自分で解答を探し出していくということが求められるのである。こうした大学での社会学研究を進めていくにあたって必要な知識やノウハウを習得し、同時に社会学という学問がもっている多様な側面を紹介することによって、新入生諸君の問題発見に役立ててもらおう、というのがこの授業のねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：受講生はすべて1つの教室に集まって授業をおこなう。6人の教員が持ち回りで2～3回ずつ講義をおこなう。受講生はわかるがわる登壇する6人の教員全員の講義を聴くことができるわけである。社会学を学んでいくにあたってのところがまえ、あるいは諸君が自分自身で研究テーマを見つけていく手助けとなるような内容の講義をする。社会学と一口にいってもその研究領域は多岐にわたるので、各教員がその専門とする領域の立場から講義をおこない、社会学の多様な側面を紹介することになる。

後期：受講生は6人の教員いずれかのもので授業を受けることになる。したがって少人数で授業をおこなう。内容は、社会学研究にあたって必要となるさまざまな知識やノウハウの習得である。社会学がその研究対象とする「社会」を見る眼とは何かといったことにはじまり、文献や資料、統計データの探し方・読み方・まとめかた、レジュメや論文・レポートの書き方、ゼミでの報告のしかたなど具体的な内容までを含んだ授業内容となる。

#### 履修上の留意点

授業の進め方が前期と後期で異なるなど、複雑である。したがって、必要に応じて掲示などで指示をおこなう。また、必修科目であるから出席は厳しくチェックする。後期の教員の担当（クラス分け）については別途指示するのでそれにしたがうこと。

#### 成績評価の方法

出席状況、受講態度、習得状況などから総合的に評価する。

#### 教科書

安藤喜久雄編『わかりやすい・論文レポートの書き方』（実業文日本社）特に後期に使用する。

#### 参考書等

必要に応じて指示するが、社会学を学ぼうとするものとして「社会学辞典」を1冊もつことが望ましい。「社会学辞典」にも分厚く高価なものからコンパクトで廉価なものまで数多くある。具体的には授業の中で紹介するので、購入するのはその後のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 実 習	かる べ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	社 会 1 必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用してレポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作と OS の基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計ツールパッケージの習得 (秀吉 for Windows)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel、秀吉 for Windows の習得は、単位取得のための必須条件である。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解、実習での応用力の程度によっては、期末試験を免除する場合がある。

#### 教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
調査統計基礎演習	かわ 川 さま 崎 けん 賢 いち 一	社会 2 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会調査の実施・分析に必要な、社会統計学の基礎知識・技術を身につけることを目的とする。具体的には、統計に必要な、確率論・確率分布を基礎にして、記述統計学（グラフ化・度数分布など）と推測統計学（正規分布・平均の差の検定・カイ自乗検定など）とについて学習する。実際の調査データを用いたり、計算問題を解くことなどを中心に授業はおこなわれる。

教科書

テキストはもうけないが、準テキスト扱いのものは、以下の3つである。  
D. ロウントリー、『涙なしの統計学』（新世社）1991  
P. G. ホーエル、『初等統計学』（培風館）1963  
ボンシュテット・ノーキ、『社会統計学』（ハーベスト社）1990

科目名	担当者名	配当学科	単位
調査統計基礎演習	み 三 え 重 の 野 たかし 卓	社会 2 必	4

講義のねらい

社会調査を企画・実施し、調査結果を集計・分析するための統計学の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、記述統計学と推測統計学の基礎を理解することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本演習を理解するためには、高校程度の積分、確率論の知識を必要とする。これらの授業を高校で履修していないひとのために、また、履修しているひとにとっては復習のために、数学的な基礎知識を教授する。

具体的な内容としては、まず、①社会調査のプロセスを明らかにする。その場合、社会学の理論と実証の関係、変数の操作化、尺度化などについて検討する。②記述統計学の理解としては、平均、分散、標準偏差、積率などについて講義し、さらに、2変数間の関係を表すピアソンの相関係数、クラマーの関連係数（クロス表分析）についても検討する。③推測統計学の理解のために、確率変数、確率分布、標本分布の考え方を明らかにし、それらを踏まえ、推定（点推定、区間推定）、検定について詳細に検討する。

履修上の留意点

統計学は、欠席すると次週以降の授業内容の理解が困難になる。授業のペースにあわせて勉強し、復習をすること。分からないところは、積極的に質問しに来て欲しい。

成績評価の方法

前期、後期の2度の試験により評価する。毎回、出欠をとり、出席率のよいものについては、成績評価において加味する。

教科書

D.ロウントリー（加納訳）『涙なしの統計学』新世社。なお、授業では、毎回、プリントを配布する予定。

参考書等

G. W. ボンシュテットほか（海野、中村訳）『社会統計学』（ハーベスト社）

その他

授業は、なるべく学生と会話しながらすすめ、簡単な演習問題をやってみよう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学史	安藤喜久雄 <small>あん どう きく お</small>	社会2必	4

講義のねらい

社会学の創設者である A. コントから現代の社会学者に至るまでの主要な社会学理論を概観する。とくに、その中であって現代の社会学理論に影響を与えている主要な理論を中心に講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、社会学の起源を時代背景をふまえて述べるとともに、個別科学としての社会学の確立に貢献したジンメル、テンニース、ウエーバー、デュルケムなど前世紀末から今世紀初頭に活躍した人びとの理論の内容と特徴について概観する。さらに、アメリカ社会学の基礎を築いた19世紀末から1930年代までの主要な研究について概観する。

次いで、1930年代、アメリカでパーソンズの機能主義社会学があらわれ、第二次大戦後、一世を風靡した。パーソンズの機能主義社会学は社会学のみならず、人文科学や社会科学の各分野にも大きな影響を与えた。それゆえ、パーソンズを中心にマートンなど機能主義社会学に連なる人びとの理論と特徴を概観する。

1960年代後半以降は機能主義社会学に対する批判も含めて多様なパラダイムが輩出した。社会的交換理論、シンボリック相互作用論、現象学的社会学、エスノメソドロジー、構造主義社会学などである。それらの諸理論について概観する予定である。

成績評価の方法

出席点と定期試験の両方で成績を評価する。

教科書

児玉幹夫編著『社会学史の展開』(学文社) 2,500円

社会(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
理論社会学	金丸由雄 <small>かな まる よし お</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学的基礎概念の明確な把握。

講義の内容・授業スケジュール

理論とは如何なる性質の行為に基づいて創られるべきものかの理解。

履修上の留意点

まず指導教員の指示する文献の内容を「自分の立場」に於いて理解し、その上で「自分の理論」を自分の創意に於いて構築すること。借りものの「理論」は役に立たない。

成績評価の方法

平常のクラスでの教員及び学生間の討論とレポートに基く評価。

教科書

適時指示する(単一の文献で十分なものは存在しないから。)

参考書等

教科書に同じ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

外国語の習得は、その言葉の用いられている国に住み、生活し、勉強せねば極度に難しい。然しこれはほとんど不可能な条件である。学生の出来ることは十分に指示された文献を予習して来ることで、それ以外に方法は無い。

講義の内容・  
授業スケジュール

適時に指示する。

履修上の留意点

講義のねらい以外に出来る限り外国語を使う（読み、書き、話す）こと。

成績評価の方法

平常点に依る。従って出席は不可欠であり、教員が休講する場合は補習を行う。

教 科 書

適時指示する。（訳本は絶対に使ってはならない。）

参 考 書 等

適時指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 社 会 論	あん どう き く お 安 藤 喜 久 雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

前期では職業労働が当面している諸問題を、後期では日本資本主義社会の特質、企業の社会的責任や企業と地域社会の関係をめぐる諸問題について論じる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) はじめに——職業労働の構図——
- 2) 情報化、サービス経済化の進展
- 3) 就業構造の変化(1)
- 4)                    〃                  (2)
- 5) 労働市場の階層分化(1)
- 6)                    〃                  (2)
- 7) 女子労働の特質(1)
- 8)                    〃                  (2)
- 9) ワーキングスタイルの多称化
- 10) 職業の意味
- 11) 「会社人間」をめぐって
- 12) 仕事観、職業問をめぐって(1)
- 13)                    〃                  (2)
- 14) 産業社会から脱工業社会へ
- 15) 知識社会と情報技術 (IT)
- 16) 企業の社会的責任
- 17) 企業の社会的貢献
- 18) コーポレート・ガバナンス
- 19) 企業倫理
- 20) 産業政策と地域政策
- 21) 企業城下町の現状と課題
- 22) 地場産業の現状と課題
- 23) 都市再開発と商業(1)
- 24)                    〃                  (2)
- 25) まとめ

成績評価の方法

学年末試験と平常点としての出席点の両者で評価。両者の比率は試験が70%、出席点が30%。

教 科 書

安藤喜久雄編『企業社会の構図』(学文社) 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 社 会 学	いわ 岩 せ 瀬 のぶ 庸 た 理 だ	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することです。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 政治社会学の対象と方法  
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
- (2) 政治的社会化  
政治的自我の形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
- (3) 参加行動  
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
- (4) 権力構造  
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
- (5) イデオロギー  
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

その他

講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	いわ 岩 上 真 珠	社会2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今口、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化に伴って、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をジェンダーを切り口にあららかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) ジェンダーと家族
- 2) 社会変動と家族
- 3) 家族の社会史
- 4) 男と女-多様な結婚のかたち
- 5) 親と子-新しい関係の構築
- 6) ライフコースと家族
- 7) 家族の政策化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時、意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。また、ビデオ視聴も取り入れたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法社会学	小林弘人	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。)

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教科書

及川伸著『法社会学講義』(法律文化社) 2,781円

参考書等

講義初日に説明する。

社会(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教社会学	芳賀学	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々(とその心理)を理解することが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。①有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業開始後に適宜紹介する。

その他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 社 会 学	うし 牛 じま 島 ち 千 ひろ 尋	社会2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、まず、20世紀初頭のシカゴ学派から今日の世界都市化論まで、都市社会学の主要な理論と方法について講述していく。また、これをベースにして、現代日本の大都市、特に東京をとりあげ、ロンドン、ニューヨークなど世界の大都市との比較を通して、近代化の先導的役割を果たした明治期から世界都市としての位置を確保した現代までの歴史・社会的変遷をたどりつつ、脱工業化社会の大都市とその内部の地域社会が抱える問題について考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. シカゴ学派の遺産と人間生態学
2. 都市拡大と分化の過程
3. 都市と都市的生活様式
4. 前産業型都市と産業型都市
5. 都市の人口構造と産業構造
6. 新都市社会学・世界都市化論
7. 近代化と東京
8. 関東大震災と郊外化
9. 東京の都市計画
10. 東京の産業構造の変化と地域社会の変化
11. 人口・機能の東京一極集中
12. 大都市のインナーシティ問題
13. 大都市の階層構造と分極化
14. 中心都市と郊外の変容

成績評価の方法

レポート、試験によって評価する。

教 科 書

特に指定しない。講義中に資料を配布する。

参 考 書 等

鈴木広編『都市化の社会学理論』（ミネルヴァ書房）3,605円  
 高橋勇悦編『大都市社会のリストラクチャリング』（日本評論社）3,398円  
 町村敬志『「世界都市」東京の構造転換』（東京大学出版会）4,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
災 害 社 会 学	た 田 な 中 あ つ し 淳	社会2・3・4選	4

講義のねらい

トルコ地震、台湾地震、有珠山噴火、三宅島噴火、愛知水害と災害が頻発し、近い将来に発生が懸念される災害も多い。これらの災害は、日頃は隠されている社会の特性や問題を顕在化させ、社会自体に大きな変容を迫ってきた。これに対して、災害社会学の構想は、災害という特殊な状況を対象として個人や社会に関する理解を深めること、ならびにその知見を適用して災害による被害や社会問題を軽減することにある。本講義では、現実のデータと心理学、社会心理学、社会学の領域にまたがる理論とに基づき、災害、人間、社会の関わりを見て行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の4領域について議論する。

- ①障害者や高齢者など災害弱者が存在する。災害過程の基本的性格や災害と社会、制度との関わりを理解を通して、災害弱者問題、ひいては災害の社会学的意味を分析する。
- ②他者を押しつけて逃げまどう群衆像、つまり災害=パニックという図式が信じられている。このようなパニック神話を避難行動の実相と集合行動論から批判的に分析する。
- ③避難生活から復興まで、被災コミュニティやボランティアなど様々な社会的主体が関与する。組織論やコミュニティ論を援用しつつ、災害の長期的な側面における社会学的貢献を議論する。
- ④災害の軽減には、事前の防災意識やコミュニティの防災力が重要であるとされる。災害文化、災害イメージ、長期予知の効果などの分析から、社会全体の防災力向上の方策を模索する。

成績評価の方法

成績評価は、前期末および後期末の試験による。  
出席状況が悪い場合には、履修を認めないことがある。

教科書

教科書は用いない（体系的に扱ったものはない）。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	つばい 井 健	社会2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、個人の社会的行動、対人関係、集団行動と個人、集団心理現象など、われわれが日常に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、実験、テスト、観察、調査など社会学と心理学の研究方法が用いられており、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この講義では、境界科学としての特徴を生かし、具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて授業を展開したいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会的自己のはなし - 自己過程の社会心理 -
3. 他者との関わり - 友人関係と対人魅力 -
4. 対人関係の心理 - 援助行動と社会的影響 -
5. 集団の中の個人 - 同調行動と意思決定 -
6. 文化現象と個人 - 異文化と日本人 -
7. 現代社会と個人 - 現代人の社会心理 -
8. その他 (社会的認知、社会的欲求、態度変容、リーダーシップなど)

履修上の留意点

1. 授業中に、小実験や心理テスト、エキササイズなど行うことがあるので積極的に参加すること。
2. 授業内容は、通年テーマの概略である。授業の流れとの関係で内容や順序は変更することもある。
3. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書・  
参考書等

各テーマの授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 授業内容とそれに必要な準備
- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ‘action’からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は‘inter’して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準  
1. 役割の取得——社会化 フロイドとパーソナルの‘社会化の過程’を中心に
- 第5回 2. 役割の準拠——準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第6回 3. 役割の葛藤——マージナル・マン アイデンティティとモロトリアム／  
マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為  
1. 規範と同調——逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第8回 2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／  
逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第12回 2. 社会有機体説と構造・機能 機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第13回 3. 集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、  
地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第14回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／  
PM 理論とリーダーシップ
- 第15回 5. 集団の凝集性・モラル 同調への圧力・斉一性／集団規範／  
凝集性を高める条件／モラル
- 第16回 前期試験 集団・文化・パーソナルティ
- 第17回 組織論と官僚性  
1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第18回 2. 官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則  
(ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第19回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／  
ゲールドナー、ブラウの官僚制論
- 第20回 社会意識  
1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第21回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を  
中心として
- 第22回 3. 社会的性格  
i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第23回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第24回 4. 社会的態度(社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第25回 全体社会の構成  
1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第26回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／  
成層研究の課題

社会(社会学)

成績評価の方法

定期試験(有り)、レポート(有り)

教科書

開講時に提示。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会調査演習 (前期)	かわ 川 さき 崎 けん 賢 いち 一	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、社会調査のマネジメントを講義・実習する。素材として用いるのは、文化社会学に関する調査・データである。最初の数回講義した後、実際に、受講者にデータの収集・集計・分析をしてもらい、最終的に、報告レポートを作成してもらう。(出席点ならびにレポートの出来により成績評価をする予定である。)なお、集計にあたっては、SPSS統計パッケージを用いる予定であるので、事前に、ある程度予習をしておくことが望ましい。教科書・参考書は特に設けないが、授業の進行に併せて、必要な文献を指示していく。受講にあたり、受講者の積極的なコミットメントを期待している。

社会(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会統計学演習 (後期)	かわ 川 さき 崎 けん 賢 いち 一	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この授業は、演習なので、単に講義だけでなく、実際に、受講者の発表と交えた授業を進めていく。素材は、文化社会学(文化政策・文化交流・文化産業・情報文化など)に関するデータを用い、数回にわたり、統計的にどう使えるのかを講義する。それをもとに、受講者による発表・コメントを数回繰り返す。素材の中には、英文のデータも含まれるし、社会統計学の基礎的な知識をマスターしていることを前提に授業は進められる点をあらかじめいっておきたい。成績評価は、最終レポートを作成してもらい、出席点と併せて判定する予定である。参考書や教科書は特に指示しないが、授業の中で必要な文献の指示をしていく予定である。受講者の積極的な取り組みを期待している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会調査実習	かわもと まさる 川 本 勝	社会3・4選	4

講義のねらい

社会調査の手法のなかで、もっともよく用いられる統計調査の方法を実習を通してマスターする。

講義の内容・授業スケジュール

社会調査の手順にそって、次の順に進める。

- ①調査課題の設定。仮説の検討。
- ②調査票の作成。
- ③調査の実施。
- ④集計と分析。
- ⑤報告書の作成。

履修上の留意点

実習科目ゆえに、討論や実査などの作業が中心になる。グループでの実習が行われるので、積極的に参加することができる者が履修すること。

成績評価の方法

実習なので出席と実習(講義)内容の①～⑤についての実習成果とレポートによって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学理論研究 I (前期)	えがみ わたる 江 上 渉	社会3・4選	2

講義のねらい

都市社会学の理論、その中でもコミュニティの理論をとりあげる。コミュニティは社会学にとってきわめて重要な概念であるが、都市社会学は地域性との関連でこれを発展させてきた歴史がある。具体的なコミュニティ理論を学びながら、社会学の基本的発想法と、コミュニティ理論の現代性を考える。

講義の内容・授業スケジュール

古典的なマッキーバーからはじまり、アメリカ・シカゴ学派のコミュニティ理論を経て、1970年代にわが国で議論された規範的コミュニティ理論、さらに今日のボランティアと密接な関連をもつコミュニティ理論までを概観する。

履修上の留意点

地域社会や、現代社会における共同性といった問題に関心のある学生の受講を望みたい。また、出席はとらないが試験(レポート)の評価は厳しい。

成績評価の方法

試験(またはレポート試験)

教科書

使用しない

参考書等

適宜、授業中に指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学理論研究Ⅱ (後 期)	え 江 上 <sup>がみ</sup> <sup>わたる</sup> 渉	社会3・4選	2

講義のねらい

生活構造の理論をとりあげる。“生活”というのは身近なようで、実は非常に難解な概念であるが、それを社会学がどのようにとらえ理論的に展開してきたのかを検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

生活構造の理論の古典として家政学や経済学などの成果を紹介し、その上で社会学的な生活構造論を検討する。また、関連して社会的ネットワーク論にふれ、現代的な生活構造論の可能性を検討したい。

履修上の留意点

講義でとりあげる社会学的な生活構造論は、領域でいえば家族社会学や都市社会学の成果が中心となるので、こうした領域に関心のある学生の受講を望みたい。また、出席はとらないが試験(レポート)の評価は厳しい。

成績評価の方法

試験(またはレポート試験)

教 科 書

使用しない

参 考 書 等

適宜、授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学特殊講義Ⅰ (前 期)	かわ 川 <sup>もと</sup> <sup>まさる</sup> 本 勝	社会3・4選	2

講義のねらい

社会変動の1つである社会の情報化とその社会的影響について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ほぼ次のような内容を扱う予定である。

1. 情報化とは
2. 高度情報化社会と情報環境
3. 高度情報化社会と生活の情報化

成績評価の方法

受講生数にもよるが、レポートと試験によって評価する。出席も加味する。

教 科 書 ・  
参 考 書 等

講義の中で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅱ (後期)	かわもと まさる 川 本 勝	社会3・4選	2

講義のねらい

今日、社会や人々の生活の諸領域に、多様なメディアが位置づいている。メディアが様々な社会現象や社会生活にいかに関連しているかを考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ次のような内容を扱う予定である。

1. メディアの普及とメディア環境
2. メディアの利用と効果
3. メディアの社会的影響過程

成績評価の方法

受講生数にもよるが、レポートと試験によって評価する。出席も加味する。

教科書・参考書等

講義の中で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償  
ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著『行政法要論』(学陽書房) 3,000円

『小六法』出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理
  - 2) 基本的人権
  - 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則
  - 2) 物権
  - 3) 契約
  - 4) 不法行為
  - 5) 親族
  - 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為
  - 2) 行政不服審査
  - 3) 行政訴訟
  - 4) 行政手続き
  - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

#### 成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

#### 教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

#### 参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、高齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒ ・人口高齢化の意味  
・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動  
・高齢者の生活問題  
・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害  
・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期 ⇒ ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策  
・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー  
・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例  
・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例  
・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないので、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

東條光雄・冷水豊編『老人福祉論』第2版、(メヂカルフレンド社) 2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	やまもと まま 山 本 真 実	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

子ども・子育てをめぐる社会環境をふまえ、児童福祉の理念、制度（基本枠組み）について基礎的な学習を行う。ビデオ教材等視聴覚教材も使用し、具体性をもたせつつ児童福祉サービスの現状を理解することをねらいとする。

はじめに子ども・子育てをめぐる社会環境について整理する。また、子どもや子育て、家庭をめぐる社会的な位置づけについて学習する。児童福祉が対象としてきた範囲、理念について整理する。そして、基本的な児童福祉政策・制度の枠組みについて理解し、その枠組みの中で、どのような問題があるのか、児童福祉制度改革等、今後の展望について考察を深める。

後半では、保育、養護、健全育成、相談体制など各論についての講義を行い、児童福祉の全体系を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の内容についてテキストに依り講義を行う。

- I. 児童と社会
  1. 児童と家庭・社会
  2. 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念
  3. 児童福祉の理念と児童の権利
- III. 児童福祉の制度
  4. 児童福祉の法体系
  5. 児童福祉実施体制
  6. 児童福祉施策体系
  7. 子育て環境
  8. 児童福祉改革の動向
- IV. 各論
  1. 保育
  2. 社会的養護
  3. 権利擁護
  4. 健全育成
  5. 相談

社会  
(社会学)

履修上の留意点

社会福祉士資格の取得希望者だけでなく、履修者全員に対して児童福祉についての理解を深める意識を持つことを期待している。

成績評価の方法

学年末の試験のみによる評価。出席状況を加味することもある。

教 科 書

柏女霊峰『現代児童福祉論（第4版）』（誠信書房）2000

参 考 書 等

柏女霊峰、山縣文治編著『新しい子ども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域福祉論	豊田 宗裕	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。  
本講義ではこれらについて、われわれがすすんでいる地域そのものの持つ特色を明らかにし、そこに生活する人々の福祉問題を把握し、解決の方法を探る手段や考え方について学ぶ。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組みの理解(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)
  - ①地域福祉論の概念
  - ②地域福祉の歴史的展開
  - ③コミュニティの捉え方・考え方
  - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法の理解(地域福祉施策の内容と提供方法)
  - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法
  - ②サービス提供組織やその仕組み
  - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
  - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望
  - ②計画づくりと福祉制度
  - ③これからの方向性

講義の内容・授業スケジュール

回数	授業のテーマ	授業の内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ／1	地域社会の変遷とコミュニティの変化
3	地域福祉とコミュニティ／2	コミュニティの形成とその考え方
4	地域福祉とコミュニティ／3	住民の社会参加の状況とコミュニティ
5	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
6	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
7	地域福祉のサービス体系／1	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念
8	地域福祉のサービス体系／2	在宅福祉サービスの体系とその内容
9	地域福祉のサービス体系／3	組織化活動の考え方とその内容
10	地域福祉のサービス体系／4	環境改善と社会資本整備
11	地域福祉の推進方法／1	地域援助技術(コミュニティワーク)の必要性
12	地域福祉の推進方法／2	ニーズの把握とコミュニティワーク
13	地域福祉の推進方法／3	海外のコミュニティワークについて
14	地域福祉の推進方法／4	社会福祉計画の策定と地域福祉計画
15	地域福祉の推進方法／5	地域福祉計画の内容とその種類
16	地域福祉の推進方法／6	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源／1	公的財源と共同募金の概略
18	地域福祉の財源／2	社会福祉基金等の概要
19	地域福祉の財源／3	民間財源の内容とその活用
20	地域福祉の財源／4	海外における地域福祉財源
21	地域福祉の推進組織／1	社会福祉協議会について
22	地域福祉の推進組織／2	行政、施設等の諸機関の動き
23	地域福祉の推進組織／3	非営利団体の活動とNPO法
24	地域福祉のマンパワー／1	現代のコミュニティワーカー(社会福祉協議会職員中心に)
25	地域福祉のマンパワー／2	ボランティア活動とその動き
26	地域福祉のマンパワー／3	地域における地域福祉のマンパワー(民生委員を中心に)
27	地域福祉の現状／1	コミュニティワークの現状
28	地域福祉の現状／2	介護保険と地域福祉(相談援助活動を中心に)
29	これからの地域福祉	現代の地域福祉を取り巻く状況と今後への課題
30	まとめ	これまでのまとめと国家試験に向けて

成績評価の方法

試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

その他

講義形式で行う

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童心理学	よこ 横 山 つよし 剛	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する)。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』(北樹出版)

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業心理学	たか 高 橋 まこと 誠	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。

履修上の留意点

マスコミをとおして、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術改革と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教科書

使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。

参考書等

授業中に提示する。

その他

講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目の一つでも養うための参考になれば幸いと感ずる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 心 理 学	たか 高 はし 橋 たか 鷹 し 志	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

E.ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O.ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y.トゥアン、阿部一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

その他

授業の方法は聴講人数によって決める。

社会（社会学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 年 心 理 学	なか 中 ざと 里 かつ 克 はる 治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教科書

下仲順子（編）『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おが はく み 光 岡 博 美	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べたように(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うほか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正労働者派遣法や職業安定法の改正などもありました。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に大きな役割を担っている組合について法的枠組みを概観します。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。

ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等・同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
- ⑤ 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金
- ⑪ 労働時間、時間外労働
- ⑫ 休憩、休日、休暇
- ⑬ 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

#### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

#### 教科書

指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I マクロ経済学
  - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
  - 2. 所得はどのようにして決まるのか
  - 3. 45度線モデルとISバランス
  - 4. IS-LM分析と財政金融政策
  - 5. 経済の変動と成長
  - 6. 賃金・物価・インフレーション
  - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  - 1. 市場と価格メカニズム
  - 2. 消費者行動の理論
  - 3. 企業行動の理論
  - 4. 不完全市場とは何か
  - 5. 市場の失敗
  - 6. 不完全情報の経済学
  - 7. リスクと不確実性
  - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

社会（社会学）

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うよれ慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミ HP の「過去問コーナー」には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！大いに利用してください。





# 1. 専門教育科目

## (6) 社会学科

社会福祉学専攻



# 1. 専門教育科目

## (6) 社会学科(社会福祉学専攻)

社会福祉原論	〈伊藤秀一〉	293
法学(福祉)	〈小林弘人〉	294
ソーシャルワーク・リサーチ論	〈石川久展〉	295
情報処理論	〈軽部幸浩〉	296
社会福祉援助技術総論	〈桐原宏行〉	297
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	〈桐原宏行〉	297
社会福祉基礎演習	〈小畑和〉	298
社会福祉基礎演習	〈桐原宏行〉	298
社会福祉基礎演習	〈小林弘人〉	299
社会福祉発達史	〈林千代〉	299
国際社会福祉論	〈山本真実〉	300
社会福祉計画論	〈川廷宗之〉	301
リハビリテーション論	〈生川善雄〉	302
家族療法	〈治田哲之〉	303
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕	〈草間吉夫〉	303
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕	〈児玉谷広子〉	304
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕	〈桐原宏行〉	304
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕	〈大須賀力〉	305
社会福祉学特講Ⅴ〔産業福祉〕	〈安藤喜久雄〉	306
社会福祉学特講Ⅵ〔家族〕	〈小畑和〉	307
社会福祉援助技術各論ⅠA	〈北島英治〉	307
社会福祉援助技術各論ⅠB	〈川廷宗之〉	308
社会福祉援助技術各論ⅡA	〈川廷宗之〉	309
社会福祉援助技術各論ⅡB	〈石川久展〉	310
社会保障論	〈船水浩行〉	311
保健福祉論	〈長尾讓治〉	312
家庭福祉論	〈休講〉	
公的扶助論	〈伊藤秀一〉	312
障害者福祉論	〈桐原宏行〉	313
老人福祉論	〈東條光雅〉	314
児童福祉論	〈山本真実〉	315
女性福祉論	〈林千代〉	316
医療福祉論	〈春見静子〉	316
地域福祉論	〈豊田宗裕〉	317
外書講読	〈東條光雅〉	318
社会学(福祉)	〈橋爪敏〉	319
心理学(福祉)	〈高橋良博〉	319
社会病理学	〈休講〉	
心理検査法	〈稲富正治〉	320
医学一般	〈小林臻〉	321
介護概論	〈児玉谷広子〉	322
家族社会学	〈岩上真珠〉	323
法社会学	〈小林弘人〉	324
行政法	〈鶏徳啓登〉	324

環境心理学	〈高橋鷹志〉	325
精神医学	〈西松能子〉	325
社会政策	〈光岡博美〉	326
労働法	〈藤本茂〉	327
民法	〈竹中智香〉	328
経済原論	〈浅野克巳〉	329
社会福祉調査実習	〈東條光雅〉	330
精神保健学	〈坂村雄〉	330
精神科リハビリテーション学	〈城田晴夫〉	331
精神保健福祉論Ⅰ	〈坂野憲司〉	332
精神保健福祉論Ⅱ	〈坂野憲司〉	333
精神保健福祉援助技術各論	〈坂野憲司〉	334
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	〈伊藤秀一〉	334
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	〈小畑和〉	335
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	〈長尾讓治〉	335
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	〈村田一昭〉	336
社会福祉援助技術演習Ⅰ	〈北島英治〉	336
社会福祉援助技術演習Ⅰ	〈讃岐真佐子〉	337
社会福祉援助技術演習Ⅰ	〈長尾讓治〉	338
社会福祉援助技術演習Ⅱ	〈北島英治〉	338
社会福祉援助技術演習Ⅱ	〈讃岐真佐子〉	339
社会福祉援助技術演習Ⅱ	〈長尾讓治〉	339
精神保健福祉援助演習	〈長坂和則〉	340
精神保健福祉援助実習	〈上野容子〉	341

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	福 祉 1 必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業、社会事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福 祉 1 必	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理
  - 2) 基本的人権
  - 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則
  - 2) 物権
  - 3) 契約
  - 4) 不法行為
  - 5) 親族
  - 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為
  - 2) 行政不服審査
  - 3) 行政訴訟
  - 4) 行政手続き
  - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ソーシャルワーク・リサーチ論	いし <sup>かわ</sup> ひさ <sup>のり</sup> 石 川 久 展	福 祉 1 必	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査（ソーシャルワークリサーチ）の基礎的な知識を養うことを目的とする。

具体的な内容としては、まず、社会福祉分野においてなぜリサーチが必要なのか、その目的や意義といった理念からスタートし、社会福祉調査の発展経緯、調査の目的や方法、プロセスなど、基本的な調査の枠組みを中心として学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な講義内容とスケジュールは以下の通りである。

- ①オリエンテーション（授業概要と評価方法）、調査の目的と意義
- ②社会調査及び社会福祉調査の歴史的経緯
- ③仮説や理論モデル及び概念化・操作化について
- ④尺度と変数、尺度の水準について
- ⑤尺度の妥当性、信頼性について
- ⑥量的調査の意義と内容
- ⑦質的調査の意義と内容
- ⑧ソーシャルワークリサーチの実際

履修上の留意点

授業全体としては、講義形式が中心となるが、学生同士のディスカッションによる演習形式も若干取り入れるので、学生の主体的な参加が望まれる。

成績評価の方法

成績の評価方法については、まず、出席についてであるが、出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席日数が出席すべき日数の3分の1に満たない者は、評価の対象としないので注意されたい。その他の評価は、中間レポート（30%）、定期試験（50%）によって行う予定である。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

教 科 書

特に指定無し。

参 考 書 等

- ①社会福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』（中央法規出版）1999年
- ②野村哲也『社会福祉調査論』（新評論）1980年
- ③古谷野巨・長田久雄『実証研究の手引き』（ワールドプランニング）1992年



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 論	かる へ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	福 祉 1 必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作と OS の基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel)
- ・データ解析への応用
- ・プレゼンテーション・ソフトを利用したプレゼンテーションの総合実習
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくとも年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excelの習得は、単位取得のための必須条件である。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術総論	きり 桐 原 宏 行	福祉 2 必	4

## 講義のねらい

ソーシャルワーカーの仕事は、サービス利用者の人権を尊重し、専門対人援助関係を形成・維持しつつ、専門知識・専門技術を活用し、社会資源を利用しつつ個人の well-being を援助していくことにある。本講では、ソーシャルワーカーに必要な「福祉倫理」(福祉観、人権の尊重、自立・自己実現の援助などの視座、守秘義務等ソーシャルワーカーとして必要な価値観)、「専門知識」(歴史、理論、知識、社会福祉制度、隣接科学に関する知識など)、「専門技術」(固有の援助方法・技術)の基礎を学ぶことが中心となる。

## 成績評価の方法

筆記試験及びレポート、授業への出席の状況などの総合評価による。

## 教科書

開講時に指示する。

## 参考書等

講義のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	きり 桐 原 宏 行	福祉 2 必	2

## 講義のねらい

社会福祉の現場で展開される専門職の実践活動は、当事者とともにもその抱える問題を解決していくことを目指して行われる。なかでも援助活動は、利用者の人権を擁護しつつ、専門職者としての対人関係を形成することを通して、利用者が身体的・精神的に健康な生活を送れるように支援していかなくてはならない。

本講では、福祉の専門的マンパワーの養成を念頭に置いて、2年次開講の必修科目として1年次配当科目や2年次に並行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋としての重要な位置を占める。また、この講義の内容は、3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱへの準備学習が中心となる。

 講義の内容・  
授業スケジュール

本講では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解すること、社会福祉実践の実態を把握すること、自己の実習分野を検討することなどについての学習が中心となる。その方法として、ビデオなどの視聴覚教材の活用、グループ学習、福祉現場の専門従事者による講演などを予定している。

## 成績評価の方法

出席状況及び数回のレポートの提出により評価する。

## 教科書

開講時に指示する。

## 参考書等

講義のなかで随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	お 小 畑 和 お 畑 和	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習の内容は『厚生白書』に準拠して行う。  
内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済的実像、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。

履修上の留意点

講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。

成績評価の方法

出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。

教科書・  
参考書等

『厚生白書』（平成12年版）

そ の 他

社会福祉基本用語辞典（日本社会福祉実践理論学会編・川島書店 2,400円）をいつも携帯することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	きり 桐 原 宏 行 桐 原 宏 行	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、専門分野を学習していく上で必要になる基礎的学習を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

少人数のグループに分割し、社会福祉全般の領域を対象にそれぞれの興味・関心のある問題に関して発表し、それをもとに討論をすすめる。

成績評価の方法

出席状況、グループごとの報告内容、年度末の個人別課題の提出またはテストの実施などを総合して評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教科書

授業開始の初日に指示する。

参考書等

授業開始の初日に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	はやし ちよ 代 林 千 代	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

特にきめないが、今岡他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 社 会 福 祉 論	やま もと ま み 山 本 真 実	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定義はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。また、社会福祉を実践サービスとして捉えるよりも、それを支える理念や目的などの概念・考え方を中心にしながら学習していく。「福祉」の意味を諸外国の実態や関係を通して学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるか、国際機関の役割機能の理解、またそれら問題に対する国ごとの扱いの違いを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。また、その具体的な事例として、福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を学習し、それらとの比較を通して日本の社会福祉制度の振り返り、見直す。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験の総合評価により評価する。  
適宜意見・感想を記入するカードを配布。積極的な討議、意見発表を高く評価する

教 科 書

特になし

参 考 書 等

適宜授業中に紹介

そ の 他

ビデオ使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 廷 宗 之 <small>かわ てい もと ゆき</small>	福祉2・3・4選必	4

#### 講義のねらい

- ①この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- ②社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- ③社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- ④問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- ⑤『社会福祉計画』は、市民個人々の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個人々の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

#### 履修上の留意点

- ①この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- ②講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的主体的な参加を期待します。
- ③学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

#### 成績評価の方法

- ①前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- ②前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- ③後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- ④前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

#### 教科書

- ①定藤丈弘・坂田周一・小林良二——編集『社会福祉計画』（有斐閣）定価2,200円

#### 参考書等

- ①高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ②R.パールマン A.グリーン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リハビリテーション論	なる かわ よし お 生 川 善 雄	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

リハビリテーションとは、障害のある人が人間らしく生きる権利の回復、すなわち『全人的復権』である、といえよう。

本講義においては、リハビリテーションの理念について学び、医学・教育・職業・社会の4領域のリハビリテーションについての概略を知る。そして、社会リハビリテーションの基本問題を学習する。これらの学習を進める中で、障害のある人が人間らしく生きる権利をどのように回復してゆくべきかについて考えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、リハビリテーションの理念に触れる。次いで、障害の意味、障害の受容について取り上げる。さらに、医学、教育、職業、社会の4領域のリハビリテーションについての概説を行ない、それら4領域の関連性についても言及する。これら4領域のリハビリテーションのうちでも、社会リハビリテーションは、障害者福祉との関連も深いといえるので、本講義においても主としてこれに多くの時間をあてる予定である。

社会リハビリテーションは、医学リハビリテーションや職業リハビリテーションに比べて、その考え方や技術の枠組みはいまひとつ確立されていないといえよう。そこで、社会リハビリテーションについては、諸々の社会リハビリテーションに関する研究を取り上げながら、検討していきたい。すなわち、障害者の社会活動への参加、障害者のQOLとADL、障害者をめぐる環境、障害者と家族、障害者の自立ならびに自立援助、地域に根ざしたリハビリテーション、施設リハビリテーション、社会リハビリテーションの種々の方法などをとりあげながら、社会リハビリテーションの基本問題を論じていきたい。

履修上の留意点

履修者は、リハビリテーションの意味、すなわち「人間らしく生きる権利の回復」という語句の意味を考えながら、学習を深めてほしい。

成績評価の方法

授業中の小課題に対する回答と、レポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・小島蓉子・奥野英子 編著『新・社会リハビリテーション』（誠信書房）1994
- ・上田 敏『リハビリテーションを考える』（青木書店）1983
- ・新社会福祉学習双書編集委員会編『リハビリテーション論』（全国社会福祉協議会）2000

その他

講義形式で進める。何回かビデオを使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 療 法	はる た てつ ゆき 治 田 哲 之	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・心理臨床と治療構造
- ・家族療法の、心理臨床における位置づけ
- ・心理臨床の基礎理論  
(その1～その5)
- ・家族療法の諸理論  
(その1～その3)
- ・心理臨床の技法論  
(その1～その3)
- ・家族療法の技法論  
(その1～その3)
- ・心理臨床の実践(家族療法的視点から)  
(その1～その3)

成績評価の方法

レポート、試験に、出席等の状況を加味する。

教 科 書

履修者の実態(予備知識等)に合わせて決定し、授業において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 学 特 講 I 〔 児 童 〕	くさ ま よし お 草 間 吉 夫	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

- ①児童虐待問題、子どもの権利、自立支援、第三者評価基準、スピークアウトなど最近話題となっている児童福祉のトレンドを理解すること
  - ②上記を理解した上で、自分なりの考えを深める。
- この2つを講義のねらいとする。

成績評価の方法

- ①出席状況、②課題レポート、③小論文をもって成績評価する。

教 科 書

高橋重宏著『子ども家庭福祉論』(放送大学教育振興会) 4,800円+税

参 考 書 等

- ①許斐有著『子どもの権利と児童福祉法』(信山社) 2,678円
- ②ミネルバー書房編集部編『社会福祉少六法』(ミネルバー書房) 1,500円+税

そ の 他

講義のねらいに述べた事項を達成するために、討論形式を多く用いたい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅱ 〔老人〕	こ だま や ひろ こ 児 玉 谷 広 子	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

高齢者の生活を具体的にとらえられるようになることを目指す。そして、高齢者の生活を支えるサービスネットワークの中で、福祉職が重視する価値観、援助について考察を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期…高齢者の特徴と生活、サービスについて理解を深める。
1. 高齢者の理解
  2. 高齢者の生活と課題（健康、経済、就労、住宅、学習・社会参加等）
  3. 在宅サービスを利用する高齢者の生活と課題
  4. 施設サービスを利用する高齢者の生活と課題
- 後期…高齢者に対する接し方、援助のありかたを考察する。
5. 高齢者の家族の理解と援助
  6. サービス利用者の選択、自己決定を尊重した援助について
  7. サービス利用者の権利擁護を重視した援助について
  8. 高齢者支援のネットワークの中での福祉職の関わり方

履修上の留意点

個人あるいはグループでテーマ毎に文献さらに、可能なら、フィールド調査により課題をまとめ、発表し、議論を深める積み重ねの過程を重視するので、出席、参加が望まれる。

成績評価の方法

出席数…20%  
 テーマ別レポート（個別、グループ）…50%  
 最終レポート…30%

教科書

特定のものを使用しないが、テーマ毎に資料を配布する。

参考書等

テーマ毎に、講義中、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅲ 〔障害児・者〕	まり はら ひろ ゆき 桐 原 宏 行	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

障害児・者の福祉を広い視野でとらえ、福祉制度や社会学的な視点も取り入れて、障害児・者の問題にアプローチしていく。

具体的には、「障害児・者支援の福祉制度」「障害者雇用」「障害者の生きがい」「障害者の地域生活」「バリアフリー」「障害福祉工学」「家族支援」「障害者への偏見・差別」「障害理解（福祉教育）」などのテーマについて、内外の研究（文献）を参考にしながら深く検討していく。

履修上の留意点

授業は講義及びゼミ形式によりすすめる。「障害者福祉論」を既に履修していることが望ましい。

成績評価の方法

出席状況及び数回のレポートの提出、討論への参加の状況などにより総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義のなかで随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅳ 〔相談・援護〕	おおす か 大 須 賀 力	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

核家族化及び女性の社会進出、情報の氾濫と無責任さなどに伴う子育て不安、子どもたちの自己存在の懐疑などからもたらされる各種の社会的ニーズの発生に対して、国家はどのような改善策を準備しているのだろうか。

今日の相談・援助のシステムは多面多様化しており、それだけ国民の生活全般に対する不安・課題が拡大されてきているように思えます。

児童相談所をはじめ各所で行われている相談援助（電話相談など含め）の実態は、虐待をはじめいじめ・不登校など児童の周辺に起きている深刻な問題に対して、また国民の生活問題に対してどのように応えてきているのであろうか。

この講義では、まず相談機関の実態を歴史的に学び、その意義と現在の課題について追究していきたい。

つぎに、そのことに従事しているケースワーカーの専門性について、児童相談所で実際相談援助に従事している児童福祉司の活動及び事例等を検討する過程で明らかにしていきたい。

専門性の第一に必要なとされることは、相談者（利用者）とどのように向き合えるかにあると考える。そのことは「自分とどのように向き合うか」ということに他ありません。

「自分を知る」「相手を知る」ことです。

相談を受けた時に適切にニーズを把握するために、また援助の方法を具体化するための援助技術を習得する必要が欠かせない要件となっています。

ワーカーにとって、複雑重度化した諸問題に対しどのような向き合いをしていったら良いかが問われています。

専門性の第二に必要なとされることは、権利擁護の立場で相談者（利用者）に向き合えるかどうかということなのです。

権利侵害の実態把握、発達障害としての視点、最善の利益の尊重、意見表明の保障等権利の回復及びそのための実戦活動が問われています。

その他、専門性と資格問題、支援と自立の問題、地域支援の実態、ネットワークの意義フィールドワークの位置付など共に学ぶなかで考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

(前期)

1. 相談機関の実態について  
歴史的追究と今日的課題
2. 児童相談所の役割・機能・援助活動
3. 職員の専門性について

(後期)

1. ケース事例から学ぶ相談援助
2. 処遇困難ケースへの対応
3. 児童の自立・家族の自立
4. チーム処遇のあり方  
関係機関との連携

履修上の留意点

職員の専門性に関して  
①フィールドワークの必要性  
②権利擁護への視点  
をもって学習に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート・討論などの総合評価

教 科 書

尾崎新『社会福祉援助技術演習』（誠信書房）2,150円

参 考 書 等

山縣文治監修『児童相談所で出会った子どもたち』（ミネルヴァ書房）  
尾崎 新『対人援助の技法』（誠新書房）

そ の 他

授業の方法  
講義・討論を中心に

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講 V 〔産業福祉〕	あん じょう きたく おお 雄 安 藤 喜 久 雄	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

高令社会の進展にともない政府、企業、個人の各レベルにおいて高令者をめぐる諸問題が議論の対象となっている。これらの諸問題は相互に密接に関連しているが、それをふまえながら、各レベルの主要な課題と対応について論じる予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

政府レベルにあつては高令者の雇用政策や社会保障政策を中心に述べる。企業レベルにあつては定年延長、雇用継続を中心とした雇用制度、高令者雇用や企業福祉を中心に述べる。個人レベルでは定年退職後や引退後の生活世界を中心に述べるが、個人レベルにあつては地域社会レベルでの社会活動や余暇活動と密接に関連していることからふれざるをえないだろう。

成績評価の方法

受講者が少なければ出席点とレポートの両者によって評価する。この場合、過半数の出席が条件となる。受講者が多いときは試験と出席点の両者によって評価するが、両者の比率は試験が70%、出席点が30%である。

参 考 書 等

参考書等は授業中に指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅵ 〔家 族〕	お 小 畑 和 お 小 畑 和	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶（abortion）の容認の傾向は、言い換えれば、Prolife か Prochoice かの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊の繋がり、社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路（blind alley）に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や核家族を促し、他方では老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段の關係になりシビア（severe）でドライ（dry）になる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife（胎児の生まれる権利）か Prochoice（産む、産まないは女性の権利）か
- ③ 資本蓄積と出生減退の關係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の崩壊（墮胎、避妊、殺児、棄子、ホームレス、経済的基盤などの家族の構成要素の変化）
- ⑤ 家族に関する福祉制度（年金、生活保護、児童手当、児童扶養手当、エンゼルプラン…）
- ⑥ 家庭裁判所制度（調停制度、特別養子縁組制度…）
- ⑦ 教育（家庭教育、社会教育…）・就職（雇用制度、雇用保険制度、労働災害保険制度…）

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

初回の講義で説明する。

教科書・  
参考書等

講義の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

授業形態は講義形式であるが、ビデオや OHP が使用可能ならば利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠA	きた じま えい じ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	4

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠB	かわ 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、小集団援助技術を修得する事が、この科目の学習目的である。
- ②小集団援助技術は、個人を援助する場合に小集団を活用する技術と、小集団そのものの援助技術を含む。
- ③小集団の背景となる理論として、特にグループ・ダイナミクスの理論などを学ぶ。
- ④実際の小集団援助場面での、活動テーマとしての様々な素材やその活用方法を修得する。
- ⑤専門職としての所属機関の概要とともに小集団援助援助専門職としての役割を学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ①前期は、個人を援助する場合の小集団活用の技法（特に、様々な状況での援助技術）を、後期は小集団そのものの援助技法（特に、援助計画立案等の援助技術）を中心に学習を進める。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、a 集団援助技術の意義・沿革・定義、b 集団援助技術の構造、c 集団援助技術の実践原則、d 集団援助技術の展開過程、e 集団援助技術の実際とその応用展開などが中心になる。
- ③技術面からは、a 小集団観察技術、b 小集団援助の概要計画作成技術、c メンバー決定技術、d 地域資源の活用技術、e グループワークの全体プログラム作成技術、f 毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、g ソシオメトリー作成技術、等が中心となる。

#### 履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論の単位を取得しておくことが望ましい。
- ②社会福祉援助技術各論ⅠBやⅠAは、社会福祉援助技術各論ⅡAに先立って学ぶことが望ましいので、社会福祉援助技術各論ⅡAとの並行履修は極力避けることが望ましい。
- ③社会福祉援助技術の修得は、理論と同時のその理論を実践に適用する技術の修得を行う。その修得は、課題をこなすことによる体験や、授業時間中の体験学習などで行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回めの授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

#### 成績評価の方法

- ①成績は、授業中（及び宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、又、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

#### 教 科 書

川田啓音編『グループワーク-社会的意義と実践』（海声社）  
福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅰ』（中央法規出版）

#### 参 考 書 等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』（ミネルヴァ書房）  
その他、授業中に適宜指示する。

#### そ の 他

授業中の演習のため、1～2回の授業は（実習で指定される程度に）服装等を指定する事があるので、あらかじめ了解されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡA	かわ 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術(コミュニティワーク)及び社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、目的である。
- ②コミュニティの背景となる理論として、特に地域社会学の業績にその理論を学ぶ。
- ③実際のコミュニティ援助場面での、援助技術や、援助計画の策定について学ぶ。
- ④専門職としての所属機関の概要とともにコミュニティ援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①最初に、個人を援助する場合の資源としてのコミュニティ活用技法を学び、次に、社会福祉運営管理と社会福祉計画の技術を学び、最後にそれを統合して、実践的なコミュニティ援助計画をまとめる。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、aコミュニティ援助技術の意義・沿革・定義、bコミュニティ援助技術の構造、cコミュニティ援助技術の実践原則、dコミュニティ援助技術の展開過程、eコミュニティ援助技術の実際とその応用展開などが中心となる。
- ③技術面からは、aコミュニティ課題の発見方法としてのインタビュー技術、b数値化されないデータの集約技術、c統計からの問題発見(予測)技術、dコミュニティ診断技術、e問題の構造分析と解決効果予測技術、f資源確認発見技術、g計画技術、⑧コミュニティ集団運営のための技術、⑨広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学ぶ。

履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論及び社会福祉援助技術各論ⅠA及びⅠBの単位を取得しておくことが望ましい。
- ②特に社会福祉援助技術各論ⅠBの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- ③社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時のその理論を实践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回めの授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- ①成績は、授業中(及び宿題)に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、又、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教 科 書

高田真治・他・著『コミュニティ・ワーク-地域福祉の理論と方法』(海声社)  
福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』(中央法規出版)

参 考 書 等

高田真治・著『地域福祉計画論』(誠信書房)  
その他、授業中に適宜指示する。

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡB	いし かわ ひさ のり 石 川 久 展	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義には、2つの目的がある。まず、第1に、社会福祉士として求められる調査の知識や実際的な方法を身につけることである。次に、本講義では、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査の基礎的な知識を養うと共に、ソーシャルワークリサーチ論で学んだ基礎を基に、实际的に調査を実施し、コンピュータを使ってデータを入力、分析することにより、調査方法やデータ分析方法の実際を学ぶことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

具体的な講義内容とスケジュールは以下の通りである。

- ①オリエンテーション（授業概要と評価方法）、調査の目的と意義
- ②仮説や理論モデル及び概念化・操作化について
- ③尺度化について
- ④データの収集方法や入力方法
- ⑤データの分析方法について（単純集計、クロス集計、相関など）
- ⑥調査に必要な基礎的な統計知識
- ⑦調査に必要な基礎的な統計知識
- ⑧結果の考察及びまとめ方（レポートの書き方）

#### 履修上の留意点

本講義の前半は講義形式が中心となるが、後期は、学生の主体的な取り組みによる調査実習的な要素が中心となるので、主体的な出席が必要である。

また、ソーシャルワークリサーチ論を履修していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

成績の評価方法については、まず、出席についてであるが、出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席日数が出席すべき日数の3分の1に満たない者は、評価の対象としないので注意されたい。その他の評価は、中間レポート（40%）及び期末レポート（40%）によって行う予定である。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

#### 教 科 書

古谷野亘・長田久雄『実証研究の手引き』（ワールドプランニング）1992年 2,700円程度

#### 参 考 書 等

- ①社会福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』（中央法規出版）1999年
- ②野村哲也『社会福祉調査論』（新評論）1980年
- ③大村 平『統計のはなし』（日科技連）1969年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基つて形成されたきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保険（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 福 祉 論	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害／知的障害／精神障害／難病・結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参 考 書 等

追って紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 的 扶 助 論	い どう しゅう いち 伊 藤 秀 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。  
講義内容としては、上述した問題意義のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権活動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、学年末定期試験を総合して評価する。

教 科 書

テキスト等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	きり桐 ほん原 ひろ宏 ゆき行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点にたって把握していくが必要になる。

本講では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 障害者福祉の理念
  2. 障害の概念と実態
  3. 障害者福祉の施策
  4. 障害者福祉と社会資源
  5. 障害者に対する援助活動
- 前期に1.～3.、後期に4.～5.について扱う。

成績評価の方法

筆記試験及びレポート、授業への出席の状況などの総合評価による。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『障害者福祉論』（中央法規）

参 考 書 等

講義中随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在「青・壮年期」にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景
    - 社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ
    - ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類

- 後期 ⇒
- ・老人保健福祉法制と関連施策
    - 近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源
    - 供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇
    - 在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇
    - 入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

東條光雅・冷水豊編『老人福祉論』第2版、(メヂカルフレンド社) 2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	やまもとまみ実 山 本 真 実	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

子ども・子育てをめぐる社会環境をふまえ、児童福祉の理念、制度（基本枠組み）について基礎的な学習を行う。ビデオ教材等視聴覚教材も使用し、具体性をもたせつつ児童福祉サービスの現状を理解することをねらいとする。

はじめに子ども・子育てをめぐる社会環境について整理する。また、子どもや子育て、家庭をめぐる社会的な位置づけについて学習する。児童福祉が対象としてきた範囲、理念について整理する。そして、基本的な児童福祉政策・制度の枠組みについて理解し、その枠組みの中で、どのような問題があるのか、児童福祉制度改革等、今後の展望について考察を深める。

後半では、保育、養護、健全育成、相談体制など各論についての講義を行い、児童福祉の全体系を学習する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の内容についてテキストに従い講義を行う。

- I. 児童と社会
  1. 児童と家庭・社会
  2. 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念
  3. 児童福祉の理念と児童の権利
- III. 児童福祉の制度
  4. 児童福祉の法体系
  5. 児童福祉実施体制
  6. 児童福祉施策体系
  7. 子育て環境
  8. 児童福祉改革の動向
- IV. 各論
  1. 保育
  2. 社会的養護
  3. 権利擁護
  4. 健全育成
  5. 相談

#### 履修上の留意点

社会福祉士資格の取得希望者だけでなく、履修者全員に対して児童福祉についての理解を深める意識を持つことを期待している。

#### 成績評価の方法

学年末の試験のみによる評価。出席状況を加味することもある。

#### 教 科 書

柏女霊峰『現代児童福祉論（第4版）』（誠信書房）2000

#### 参 考 書 等

柏女霊峰、山縣文治編著『新しい子ども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 福 祉 論	はやし 林 ちよ 代	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に、社会的・経済的、精神的なしわよせを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活の困難や矛盾に対して、社会福祉がかかわる部分はきわめて大きい。

女性を社会福祉の対象者（利用者）としてとり組んできたのは、婦人保護事業（売春防止法）である。それを基底に据えて、社会福祉の分野における女性問題の把握、その発生と解決について考え、女性のそして当然男性の人権の確立をめざす内容としたい。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教 科 書

特になし。資料等を必要に応じて配布する。

そ の 他

ビデオなども使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はるみ 春 見 しず 子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における医療福祉職の実践について理解する。

医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どこで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は理論を中心とした講義、後期は実践現場での事例を通して援助技術を学ぶ。

前期

社会福祉とソーシャルワーク

医療ソーシャルワークの歴史 英国、アメリカ、日本

専門職としての医療ソーシャルワーカー 倫理綱領と業務基準

医療について：健康と病気の概念 キュアとケア

医療機関について

疾病分類と医学知識 リエゾン精神医学 心身症

援助手段としての社会資源

援助関係 面接の技術 援助過程

後期

外来段階のソーシャルワーク

入院段階のソーシャルワーク

精神保健の領域

医療ソーシャルワークの実際 機関別と対象別の実践

履修上の留意点

医療福祉に興味ある人とくに将来、その領域で働きたいと考えている人を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と期末試験で評価します。

教 科 書

山川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）2,500円

そ の 他

医療機関の見学と、現場の医療ソーシャルワーカーの特別講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 豊 田 宗 裕	福祉1・2・3・4選	4

### 講義のねらい

- 地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。  
 本講義ではこれらについて、われわれがすすんでいる地域そのものの持つ特色を明らかにし、そこに生活する人々の福祉問題を把握し、解決の方法を探る手段や考え方について学ぶ。
- (1) 総論としての地域福祉の枠組みの理解(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)
    - ①地域福祉論の概念
    - ②地域福祉の歴史的展開
    - ③コミュニティの捉え方・考え方
    - ④現在の地域福祉施策の特徴
  - (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法の理解(地域福祉施策の内容と提供方法)
    - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法
    - ②サービス提供組織やその仕組み
    - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
  - (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
    - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望
    - ②計画づくりと福祉制度
    - ③これからの方向性

### 講義の内容・ 授業スケジュール

回数	授業のテーマ	授業の内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ/1	地域社会の変遷とコミュニティの変化
3	地域福祉とコミュニティ/2	コミュニティの形成とその考え方
4	地域福祉とコミュニティ/3	住民の社会参加の状況とコミュニティ
5	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
6	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
7	地域福祉のサービス体系/1	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念
8	地域福祉のサービス体系/2	在宅福祉サービスの体系とその内容
9	地域福祉のサービス体系/3	組織化活動の考え方とその内容
10	地域福祉のサービス体系/4	環境改善と社会資本整備
11	地域福祉の推進方法/1	地域援助技術(コミュニティワーク)の必要性
12	地域福祉の推進方法/2	ニーズの把握とコミュニティワーク
13	地域福祉の推進方法/3	海外のコミュニティワークについて
14	地域福祉の推進方法/4	社会福祉計画の策定と地域福祉計画
15	地域福祉の推進方法/5	地域福祉計画の内容とその種類
16	地域福祉の推進方法/6	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源/1	公的財源と共同募金の概略
18	地域福祉の財源/2	社会福祉基金等の概要
19	地域福祉の財源/3	民間財源の内容とその活用
20	地域福祉の財源/4	海外における地域福祉財源
21	地域福祉の推進組織/1	社会福祉協議会について
22	地域福祉の推進組織/2	行政、施設等の諸機関の動き
23	地域福祉の推進組織/3	非営利団体の活動とNPO法
24	地域福祉のマンパワー/1	現代のコミュニティワーカー(社会福祉協議会職員中心に)
25	地域福祉のマンパワー/2	ボランティア活動とその動き
26	地域福祉のマンパワー/3	地域における地域福祉のマンパワー(民生委員を中心に)
27	地域福祉の現状/1	コミュニティワークの現状
28	地域福祉の現状/2	介護保険と地域福祉(相談援助活動を中心に)
29	これからの地域福祉	現代の地域福祉を取り巻く状況と今後への課題
30	まとめ	これまでのまとめと国家試験に向けて

### 成績評価の方法

試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

その他

講義形式で行う

社会(社会福祉学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 書 講 読	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文読解能力は必要であろう。積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教科書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学(福祉)	はし づめ まとし 橋 爪 敏	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士、社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

[目標]

- 1 現代社会の特質について理解させる。
- 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。
- 3 現代社会における社会問題について理解させる。

[内容]

- 1 経済社会の変化と国民の生活及び意識の変化
- 2 現代社会と科学技術
  - 1) 科学技術の展開
  - 2) 現代社会と科学技術
  - 3) 情報化社会と国民生活
- 3 現代社会と専門職
- 4 現代社会における家族
  - 1) 構造及び形態
  - 2) 機能
  - 3) 変化
  - 4) 家族と地域社会
- 5 現代社会における地域社会
  - 1) 都市化と地域社会
  - 2) 過疎化と地域社会
  - 3) 地域社会の社会集団・組織
- 6 現代社会における社会問題

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学(福祉)	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法(総論)心理療法の歴史と種類 ②心理療法(各論)精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』(中央法規)2,500円(税別)



科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理検査法	稲 富 正 治 <small>いな ども まさ はる</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人の身体の状態を示すものに「健康診断」というものがあるように、人の心の状態を知る方法には「心理テスト」があります。人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などがその対象で、検査の種類によってそのやり方も理論背景も違います。人を知るための重要な要素の一つであり、技術でもあります。しかし、近年人間の不可思議な行動や犯罪に、人の心を安易に扱う場面も少なくありません。授業では、心理テストの技術の習得と理論背景の理解、つまり人間をどう見ているのかという考えを大切にしながら、人と向き合うと言う「臨床」場面での心構えも含めて理解を深めてもらいたいと思います。

心理テストの中には、質問紙法（Y-G、TEG、CMIなど）、投影法（ロールシャッハテスト、P-Fスタディ、描画法など）、作業検査法（知能検査、クレペリン精神作業検査など）と大きく分けると3つの分野があります。この講義では、その中の代表的なものを扱いながらも、心理テスト全体を網羅した授業を行ないたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年を通して代表的な心理テストの理論と技法を学びながら、人の理解を深めるような授業を行います。まずは、パーソナリティ論などから入り、質問紙法、作業検査法、投影法という流れで進めていきます。

履修上の留意点

福祉という立場から、直接心理テストに携わる人は少ないかもしれませんが、臨床場面では同じケースに関わっていく人間として、この講義を通して、心理テストという角度からの人間観察を行う目を養ってもらいたいと思っています。

成績評価の方法

臨床は、ユーモアや心の余裕を持ちながらも真剣な世界です。出席はもちろんのこと平常点(授業態度など)は重視します。また、単に心理テストの結果を数字で見るだけではなく、自分の感性を大事にして欲しいので、自分の言葉をいかに使って表現するかを大事な評価にしたいと思います。

教科書

今のところ特に考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

その他

心理テストを体験してもらい実習形式やグループ討議やレポート提出なども行なう予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 学 一 般	こ <sup>こ</sup> 小 <sup>ぼやし</sup> 林 <sup>いたる</sup> 臻	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

健常者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。

履修上の留意点

出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。

成績評価の方法

筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。

教 科 書

『医学一般』（中央法規）2,500円

参 考 書 等

講義開始時に連絡する。

そ の 他

一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
介 護 概 論	こ だま や ひろ こ 児 玉 谷 広 子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

心身の障害を持つ人への生活援助、特に高齢化の進む今日社会において介護に関しては共通の社会的関心事であり、介護の必要な人やその家族を社会的に支える制度や周囲の人々の意識の向上が問われる。介護福祉とは、障害を持つ人が、その人らしさを尊重され、心身の自立をめざし心身の安定を保ち社会との関係を保ちながら、生活の質の向上を達成できるように支える科学的なあり方と方法である。本講義では、ソーシャルワーカーとして、介護の必要な対象者に対して、どのような価値観と知識、技術を持って関わっていくかを学ぶ。また、介護サービスの実情や介護政策の動向について理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・高齢者と介護福祉の背景、問題点
- ・障害者（児）と介護福祉の背景、問題点
- ・家族と介護、介護の社会化
- ・介護福祉の概念
- ・制度的発展、公的介護保険制度
- ・介護福祉の原則、倫理
- ・介護福祉の目的、機能、役割
- ・要介護者と介護サービス提供者との援助関係
- ・介護技術の基本
- ・様々な障害に応じた介護技術（日常生活動作の介護、生活習慣に関する介護、ターミナルケア等）
- ・介護の技法（安全・安楽の方法、観察、コミュニケーション、記録、等）
- ・他職種、他機関との連携
- ・施設介護の活動、在宅介護の活動
- ・介護者の健康管理、労働安全
- ・介護過程
- ・ケアマネジメント、ケアプラン

随時、小レポートやグループディスカッション、ロールプレイ、事例研究、ビデオ学習、質疑を取り入れ、主体的な講義内容理解を促す。また、社会福祉士国家試験対策についても適宜伝える。

成績評価の方法

出席日数…15%  
授業参加度・理解度（提出物等）  
夏休みの課題…35%  
学期末テスト…50%

教 科 書

岡本民夫・井上千津子編『介護福祉入門』（有斐閣アルマ）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	<small>いわ</small> 岩 <small>かみ</small> 上 <small>ま</small> 真 <small>み</small> 珠	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化に伴って、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係や夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。  
講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をジェンダーを切り口にあまりに、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。  
1) ジェンダーと家族  
2) 社会変動と家族  
3) 家族の社会史  
4) 男と女-多様な結婚のかたち  
5) 親と子-新しい関係の構築  
6) ライフコースと家族  
7) 家族の政策化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時、意見や感想をレポートしてもらう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。また、ビデオ視聴も取り入れたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックス・ウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である)。

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『法社会学講義』(法律文化社) 2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制的な方法と制裁 viii 国家による賠償と補償  
ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

原田尚彦著『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
『小六法』出版社・定価各種

参 考 書 等

塩野 宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	高橋 鷹志	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

E.ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O.ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y.トゥアン、阿部 一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

その他

授業の方法は聴講人数によって決める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神医学	西松 能子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学一般の知識

講義の内容・授業スケジュール

前期－総論（用語の説明を含めて）  
後期－各論 DSM-4に従い各障害の説明

履修上の留意点

フル・テキストがありますので、予習を、（前週にレジメをわたします。）

成績評価の方法

筆記テスト（50％ 5択、50％ 記述）

教科書

バルド・I カブウン、ベンジャミン・J・サドック、ジャック・A・グレブ 編纂  
井上令一、四宮滋子 訳『臨床精神医学テキスト－DSM-4、診断基準の臨床への展開』（医学書院）

その他

質疑応答主体の講義です。できるだけ前週にわたすレジメを予習してきてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦前の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うかあるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正労働者派遣法や職業安定法の改正などもありました。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に大きな役割を担っている組合について法的枠組みを概観します。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあるとしても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公-労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定-労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等-同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
- ⑤ 労働条件の決定-労働契約、就業規則、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備-不当労働行為
- ⑦ 雇用の入り口-採用、採用内定、試用期間
- ⑧ 人事異動-配転、出向、転籍
- ⑨ 雇用の出口-解雇、定年、退職
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金
- ⑪ 労働時間、時間外労働
- ⑫ 休憩、休日、休暇
- ⑬ 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

#### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

#### 教 科 書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### そ の 他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I マクロ経済学
  - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
  - 2. 所得はどのようにして決まるのか
  - 3. 45度線モデルとISバランス
  - 4. IS-LM分析と財政金融政策
  - 5. 経済の変動と成長
  - 6. 賃金・物価・インフレーション
  - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  - 1. 市場と価格メカニズム
  - 2. 消費者行動の理論
  - 3. 企業行動の理論
  - 4. 不完全市場とは何か
  - 5. 市場の失敗
  - 6. 不完全情報の経済学
  - 7. リスクと不確実性
  - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコミノックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！大いに利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉調査実習	とう じょう みつ きよ 東 條 光 雅	福祉 2 選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニーズの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。

現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じて教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

参 考 書 等

古谷野巨著『多変量解析ガイドー調査データのまとめかたー』（川島書店）  
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学ー多変量解析入門ー』（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健学	まが むら ゆう 坂 村 雄	福祉2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

精神保健学を国家試験に合わせて講義する。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、あくまでも、精神保健福祉士の実践に役立つ様、臨床的内容になる。単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。精神保健とは精神健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。これが一応の定義だが、精神保健福祉士の国家資格を取得する為の一科目に指定されているので、あくまでも実践的目的にそった講義とする。

成績評価の方法

講義の他、ゼミ形式の発表等も折り込んでいくので、総合的に評価したい。

教 科 書

『精神保健学』（精神保健福祉士養成セミナー 2）（へるす出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神科リハビリテーション学	しろ 城 田 晴 夫	福祉2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害のない人々と共に働き、暮らしていける力、市民社会を共に築いていける力を最大限に持てるように援助する精神科リハビリテーションを学ぶ。近年国家資格となった精神科ソーシャルワーカー（PSW）に関心のある学生を主に対象とする。学問としてはまだまだ新しく耳慣れないが、一部アメリカで行なわれているリハビリテーションの実状並びにその技法を紹介しつつ、より良いリハビリテーションを考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域、の順に教科書に沿って進めていく。

履修上の留意点

履修する学生は、積極性、活動性のあると思うもの・人の世話をすることに関心のあるものが期待される。

成績評価の方法

成績評価については、出席、試験、レポートなどの総合評価とする。

教 科 書

『精神科リハビリテーション学（第3巻：精神保健福祉士養成セミナー）』（へるす出版）3,200円

参 考 書 等

『こころの科学、精神保健福祉士、88巻』（日本評論社）1,143円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉論Ⅰ	さかの野 けんじ 憲 司	福祉2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉の対象である精神障害者は、「疾病と障害とを併せ持つ人」と定義されている。精神保健福祉を学ぶものは、精神障害者の疾病と障害の両者を理解した上で社会福祉の対象として彼らを位置付けていく必要がある。そこで、障害者福祉の中での精神障害者の特殊な位置付けを考察しながら精神障害者のニーズと施策の歴史的な流れをおさえ、精神保健福祉士に期待されている歴史的役割と必要とされる能力とを模索していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①精神障害者とはどのような人達か
- ②障害の概念と精神障害者の特殊性
- ③わが国における精神障害者の処遇の歴史
- ④障害者福祉の理念と精神障害者
- ⑤わが国の精神障害者施策の現状
- ⑥精神障害者の生活上の困難、生きていく上での困難
- ⑦精神保健福祉士の理念と役割
- ⑧精神保健福祉士の業務
- ⑨精神保健福祉法の内容と課題
- ⑩精神障害者の必要とする社会資源とその現状

履修上の留意点

授業への主体的参加（討論など）を期待します。

成績評価の方法

学期末試験

教 科 書

柏木昭他編『精神保健福祉論』（ヘルス出版）1998 3,600円

参 考 書 等

授業の中で必読文献をそのつど指定いたします。

そ の 他

講義の中に討論を織りまぜていく予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉論Ⅱ (前期)	さかの野 けんし 坂 野 憲 司	福祉2・3・4選	2

講義のねらい

精神障害者に接していくための理念と技術を具体的に学んでいくことをとおして、精神保健福祉士としてのアイデンティティを確立していくことを目的とする。そのために、ソーシャルワークの古典的な文献を輪読しながら、ソーシャルワークの理論と人間観とを活用した場合、精神障害者のケースをどう理解し処遇していけるかを、実際の精神保健福祉士の業務とかかわらせながら論議していきたい。輪読する文献は、Eバイステック、Lマグワファイア等の邦訳を予定している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①精神保健福祉士の理念
  - ②精神保健福祉士の技術
  - ③精神障害者への理解
- 文献の各章ごとに学生に内容をまとめてもらい、発表形式で授業を進めたい。  
①～③について念頭に入れた論議を展開して行く予定。

履修上の留意点

発表の場合には、必ずレジメを作成すること。

成績評価の方法

学期末にレポート

教 科 書

- ①Eバイステック (田代不二男他訳)『ケースワークの原則』(誠信書房)1965
- ②Lマグワファイア (小松源助他訳)『ソーシャルサポートシステム』(川島書店)1994

参 考 書 等

授業の中で紹介していく予定。

そ の 他

授業への主体的参加を評価の基準とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健福祉援助技術各論	さかの野憲司	福祉2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学ソーシャルワークの分野は、ワーカーの人間理解と対人援助技術のあり方が常に問われる分野と言える。それは、精神障害者の障害が人間関係の障害として表象される場合が多いからである。当然、ワーカーとクライアントの援助関係の中にも、この障害は持ち込まれてくるのである。本講義では、精神障害者との援助関係の樹立と展開の仕方を軸としてグループや地域社会での援助のあり方と、地域社会の変革のあり方を模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①ソーシャルワークの人間観
- ②ソーシャルワークにおける個人と社会
- ③人と状況との全体関連性と精神医学ソーシャルワークのモデル
- ④精神障害者へのケースワーク
- ⑤精神障害者へのグループワーク
- ⑥精神障害者のためのコミュニティワーク
- ⑦スーパービジョンと自己覚知の必要性

履修上の留意点

授業への主体的参加（討論など）を期待します

成績評価の方法

学期末試験

教科書

牧野田恵美子他編『精神保健福祉援助技術各論』（ヘルス出版）1998 3,200円

参考書等

授業の中で紹介します。

その他

講義の中に事例を織りまぜ、さらにケース検討する機会を設けます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	いとうしゅういち	福祉3選	4

講義のねらい

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的な展開は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」のガイドラインに基づいて行う。

なお、社会福祉援助技術現場実習Ⅱは、2年次の秋に実施した選考試験及び面接に合格した学生が履修できる。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラス・ワーク（事前学習及び実習報告）と配属先での評価表の評価を総合して評価する。

参考書等

日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』（全国社会福祉協議会）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	お ばた かず 小 畑 和	福 祉 3 選	4

講義のねらい

この演習は国家資格「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目であるから、将来福祉事務所の生活保護担当のソーシャルワーカーや特別養護老人ホームの生活指導員、行政機関の行政計画プランナー等などの専門職として勤務されることが期待されている。それ故、人間的資質が強く要求される。何よりも人に優しく接することの出来る人格形成が大切である。日常の講義でも全人教育を重視したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間スケジュールは事前教育、4週間の配属実習、事後教育の3つに分けられる。事前教育は配属実習が上手くいくための指導・教育である。事後教育は配属実習で培われた経験をより有効なものに深め、拡大していくための指導・教育であるから報告と討論が中心になる。

成績評価の方法

社会福祉士としての人間的資質と実習レポートの内容などを勘案して評価する。

教 科 書

初回の講義で説明する。

参 考 書 等

初回の講義で説明する。『社会福祉基本用語辞典』（日本社会福祉実践理論学会編・川島書店）及び社会福祉小六法をいつも携帯することが望ましい。

そ の 他

ビデオ教材の利用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	なが お じょう し 長 尾 譲 治	福 祉 3 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

本授業は、前年に「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の履修者に対して実施された選考試験に合格した学生のみ履修できるものである。

授業の内容としては、1年間のクラスワークと4週間にわたる社会福祉施設・機関への配属実習とから成っている。配属先は学生の希望を勘案して決定されるが、期間・内容に関しては必ずしも学生の希望が生かされるものではない。

クラスワークは、実習前の事前学習と実習後の実習報告から成る。したがって、主に後期の授業は実習体験者による報告とそれに対するディスカッションが中心となる。

また、年度末には「実習総括レポート集」の原稿作成を全員に課す。

履修上の留意点

講義の内容・授業スケジュールにも書いたが、本授業履修の可否は前年度に決定されるので、それ以外の学生は履修出来ない。また、クラスも複数開講され、事前にそのクラス分けが掲示されるので、それを確認して履修手続きを行うこと。

成績評価の方法

実習先の指導担当職員による実習評価表が後日送付されてくるが、大学での評価はそれだけでなく、クラスワークへの出席状況やディスカッションでの貢献度等を加味して行われるが、「レポート集」の原稿提出が絶対条件である。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	むら た かず あき 村 田 一 昭	福祉 3 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

本授業は、前年に「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の履修者に対して実施された選考試験に合格した学生のみ履修できるものである。

授業の内容としては、1年間のクラスワークと4週間にわたる社会福祉施設・機関への配属実習とから成っている。配属先は学生の希望を勘案して決定されるが、期間・内容に関しては必ずしも学生の希望が生かされるものではない。

クラスワークは、実習前の事前学習と実習後の実習報告から成る。したがって、主に後期の授業は実習体験者による報告とそれに対するディスカッションが中心となる。

また、年度末には「実習総括レポート集」の原稿作成を全員に課す。

履修上の留意点

講義の内容・授業スケジュールにも書いたが、本授業履修の可否は前年度に決定されるので、それ以外の学生は履修出来ない。また、クラスも複数開講され、事前にそのクラス分けが掲示されるので、それを確認して履修手続きを行うこと。

成績評価の方法

実習先の指導担当職員による実習評価表が後日送付されてくるが、大学での評価はそれだけによるものではなく、クラスワークへの出席状況やディスカッションでの貢献度等を加味して行われるが、「レポート集」の原稿提出が絶対条件である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	きた しま えい じ 北 島 英 治	福祉 3 選	2

講義のねらい

本演習Ⅰはソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。ソーシャルワーカーは相談による援助だけでなく、社会資源などを活用したり、ケースマネジメントによって対人援助を行うが、この基本的援助技術はその基本といえるものである。児童相談所などの社会福祉機関、養護施設などの生活ホームにおける相談や対人援助活動を将来希望するものにとってこの基本的援助技術の習得は不可欠であるといえる。また本演習は国家試験「社会福祉士」の試験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習の内容は前期はロールプレイ（役演技法）、グループ・エンカウンターなどの方法を用いながら、グループワーク形式で、受講生の参加による体験学習を中心に行う。ソーシャルワーカーとして重要な自己覚知（Selfawareness）の促進を目的とするプログラムを展開する。これによって専門職としてのソーシャルワーカーの援助態度を相互に高め、その習得をめざす。さらに、事例研究などによって、クライアントのウェルビーイングの促進、自己実現への道を専門職としてどのように支援、援助するかを理解するとともに、その時のソーシャルワーカーの援助態度と関与（介入）のあり方についても学びたい。

後期は受講生同志によるロールプレイをビデオで録画し、それから逐語録（対話をおこした記録）をとり、ソーシャルワーカーとしてのクライアントへの関わり方を体験的に学ぶ。

参 考 書 等

追って指示する。

そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。

なお、本科目は「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	讃 岐 真 佐 子	福 祉 3 選	2

講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその日の前の人とどう関わるか、どのように対応していくかというその質が問われてくるだろう。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主に「いかに人の話を聴くか」という観点から、幾つかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたいと思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により良く気づくための幾つかのワーク・プログラムを経て、2人ずつのペアを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ（役割演技法）を実施していく。後期もさらにそれを深めていくと同時に、社会福祉に役立つ臨床心理的知見も折りにふれて伝えていきたい。

履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは録音し、逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

成績評価の方法

上記（履修上の留意点）に基づいて評価する。

教 科 書

必要な資料は随時配布する。

参 考 書 等

- ・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）本体2,000円
- ・鎌幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房）3,500円

そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	<sup>なが</sup> 長 <sup>お</sup> 尾 <sup>じょう</sup> 譲 <sup>じ</sup> 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、社会福祉の専門援助技術を、実技指導を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、老人や障害者を中心とする具体的事例をとりあげ、個別指導ならびに集団指導を通して習得することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術  
社会福祉従事者に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク  
ケース（事例）研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク  
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術との関連  
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

参 考 書 等

追って紹介する。

そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	<sup>また</sup> 北 <sup>しま</sup> 島 <sup>えい</sup> 英 <sup>じ</sup> 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい

本講習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰと同じくソーシャルワークの基本的援助について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。また本講習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習の内容は社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

参 考 書 等

参考書は追って指示する。

そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。  
なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	讃岐真佐子	福祉3選	2

講義のねらい	本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。
講義の内容・授業スケジュール	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
履修上の留意点	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
成績評価の方法	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
教科書	必要な資料は随時配布する。
参考書等	・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）本体2,000円 ・鏑幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房）3,500円
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	長尾譲治	福祉3選	2

講義のねらい	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助演習	なが さか かず のり 長 坂 和 則	福祉3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉士の専門的な援助技術・リハビリテーション技法について演習形態をとり、具体的事例により、実技指導を中心とする個別・集団援助指導を通じて援助関係の実際及びチーム医療の実践を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

精神障害者の理解をより深め、社会復帰に対する援助事例を上げ、テキストによる事例を検討し、報告しあいながらロールプレイ等を行い、精神科病院などの保健・医療施設や社会復帰施設等での援助技術を高めていく。

ガイダンス 精神保健援助演習とは…

- 1) ケースワーク援助 (テキスト事例による)
- 2) グループワーク援助 (テキスト事例による)
- 3) コミュニティワーク援助 (テキスト事例による)
- 4) ソーシャルサポートネットワーク (実習事例による)
- 5) 自己点検・自己覚知を図る。

それぞれの場面における面接実技・記録実技・集団実技を通じて、精神保健福祉士としての技法と職業倫理について理解していく。

履修上の留意点

精神保健福祉士が援助者としての自己覚知・他者への理解およびコミュニケーションなどの会得が基礎的な演習課題となる。

成績評価の方法

実技・ロールプレイ等の取り組みと最終レポートにより評価とする。

教 科 書

精神保健福祉養成セミナー 『精神保健援助演習』 第7巻  
編集 精神保健福祉養成セミナー編集委員会 (へるす出版) 2,800円

参 考 書 等

『精神保健』 これからのライフサイクルと心の健康  
大島 侑・金田鈴江 編 (川島書店) 2,200円

そ の 他

授業は講義及びグループ討論を中心とし、時にビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助実習	うえの 野 容 子	福祉3・4選	6

講義のねらい

精神保健福祉士は、1997（平成9）年12月に成立した精神保健福祉士法により、国家資格となり、社会的に認知された。そして専門職として医療、行政、社会復帰施設等で、長い間諸先輩が築きあげてきた業務に携わることになった。これから精神保健福祉士を目指す者はそのために必要な研修、トレーニングがとて重要である。具体的には対象者である精神障害者及び家族の相談援助技術、具体的な生活支援、関係機関とのネットワークづくり等を学んでいくことになる。この講義は、精神保健、福祉の専門領域を学んでいる学生の皆さんに、具体的な実践の試みを取り入れていき、学んできたことを実際の活動現場で確認したり、課題を試みてみたりすることを「実習」とおして体験学習していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 精神保健福祉現場実習の意義と重要性
  - ・現場実習の目標と達成課題
2. 実習のための事前準備
  - ・動機づけ、事前学習、実習先調査、実習契約の方法
3. 実習上の留意点
  - ・実習生として学ぶべき義務と心得
  - ・実習先指導スタッフとの関係づくり
  - ・精神障害をもった当事者との関わり方
  - ・活動への参加にあたっての留意点
4. 実習計画、プログラムの作成、まとめ
  - ・記録方法、課題設定、留意点
  - ・実習終了後のまとめ

履修上の留意点

1. 資格優先の考え方ではなく、精神保健福祉領域に関心をもってほしい。
2. 実習は、そのために必要な授業を受けないと実習体験しても意味がないので授業を休まないこと。

成績評価の方法

1. 実習に入る前の事前履習に対するレポート
  2. 実習先の評価
  3. 実習終了後の総括的なレポート
- 以上の3点を評価の対象とする。

教 科 書

精神保健福祉士養成セミナー第8巻 『精神保健福祉援助実習』（へるす出版）2,800円

参 考 書 等

- ・『精神保健福祉論』上記セミナー第4巻
- ・『精神保健福祉技術総論』同上第5巻（へるす出版）3,600円
- ・『精神保健福祉技術各論』同上第6巻（へるす出版）2,800円
- ・『精神保健福祉技術演習』同上第7巻（へるす出版）3,200円
- ・『精神保健福祉士の基礎知識』（中央法規出版）3,000円

そ の 他

授業の方法は、講義形式を基本とするが、実習の発表として個人とグループ形式を取り、充分時間をかけたい。又、ビデオ、スライド等で、精神保健福祉の実践活動の様子を伝えたい。



# 1. 專門教育科目

## (7) 心 理 学 科

心  
理





# 1. 専門教育科目

## (7) 心理学科

心理学概論	〈間島英俊〉	347
心理学統計学	〈山田剛史〉	348
コンピュータ実習	〈大塚秀治〉	349
コンピュータ実習	〈中丸茂〉	350
人格心理学	〈間島英俊〉	351
学習心理学	〈小野浩一〉	352
社会心理学	〈萩原滋〉	353
臨床心理学	〈茨木博子〉	354
生理心理学	〈谷口泰富〉	354
認知心理学	〈永田陽子〉	355
心理学基礎実験	〈茅原正・加藤博己・間島英俊・山岸直基〉	355
心理学基礎実験	〈谷口泰富・加藤博己・佐藤理晴・堀内正彦〉	356
心理学研究法	〈小野浩一〉	357
禅心理学	〈茅原正〉	358
心理学実験演習Ⅰ	〈茨木博子〉	359
心理学実験演習Ⅱ	〈茅原正〉	359
心理学実験演習Ⅲ	〈佐々木雄二〉	360
心理学実験演習Ⅳ	〈佐藤理晴〉	360
心理学実験演習Ⅴ	〈小野浩一〉	361
心理学実験演習Ⅵ	〈軽部幸浩〉	361
心理学実験演習Ⅶ	〈間島英俊〉	362
演習	〈茨木博子〉	362
演習	〈小野浩一〉	363
演習	〈佐々木雄二〉	363
演習	〈谷口泰富〉	364
演習	〈茅原正〉	364
演習	〈永田陽子〉	365
演習	〈間島英俊〉	365
環境心理学	〈高橋鷹志〉	366
児童心理学	〈横山剛〉	366
産業心理学	〈高橋誠〉	367
老年心理学	〈中里克治〉	367
宗教心理学	〈久保田圭作〉	368
健康心理学	〈稲松信雄〉	368
比較行動学	〈前期：幸島和子〉 〈後期：櫻井一彦〉	369
精神医学	〈西松能子〉	369
心理学特講Ⅰ	〈デワラジャ, R. D.〉	370
心理学特講Ⅱ	〈佐藤方哉〉	370
心理学特講Ⅲ	〈讀岐真佐子〉	371
心理検査法Ⅰ	〈前期：西脇淳〉 〈後期：佐藤尚代〉	372
心理検査法Ⅱ	〈稲富正治〉	374
カウンセリング	〈鈴木順一〉	375

情報処	理	I	〈輕部幸浩〉	376	
情報処	理	II	〈牧野晋〉	377	
宗教人	類	学	〈佐藤憲昭〉	378	
心理学	特殊	演習	〈茨木博子〉	379	
心理学	特殊	演習	〈小野浩一〉	379	
心理学	特殊	演習	〈佐々木雄二〉	380	
心理学	特殊	演習	〈谷口泰富〉	380	
心理学	特殊	演習	〈茅原正〉	381	
心理学	特殊	演習	〈永田陽子〉	381	
心理学	特殊	演習	〈間島英俊〉	382	
マス・コミュニケーション	論	〈	休講〉		
産業・職業	社会学	〈	休講〉		
社会	病理学	〈	休講〉		
家族	社会学	〈	岩上真珠〉	383	
宗教	社会学	〈	芳賀学〉	384	
行政	法	〈	鷄徳啓登〉	384	
社会福祉援助技術	総論	〈	休講〉		
障害者	福祉	論	〈	桐原宏行〉	385
老人	福祉	論	〈	東條光雅〉	386
児童	福祉	論	〈	山本真実〉	387
労働	法	〈	藤本茂〉	388	
民	法	〈	竹中智香〉	389	
経済	原	論	〈	浅野克巳〉	390

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 概 論	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心 理 1 必	4

#### 講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達 — 自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

#### 履修上の留意点

本講義は1年次の必修専門科目であるために出席を重視します。

#### 成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

#### 教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,800円

#### 参考書等

講義内にて紹介します。資料は都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理統計学	やま だ つよ し 山 田 剛 史	心理 1 必	4

#### 講義のねらい

心理学研究において、実験・観察・調査などから得られたデータから研究者自身の仮説を検証するという手続きの中で、統計的方法の利用は欠くことのできないものであると言えよう。データ解析自体は汎用のソフトウェアを使うことで簡単に行うことができ、データを元にとりあえずそれらしい分析結果を得ることはできてしまう。しかし、コンピュータをクリックするだけで実行される分析がどのような手続きに基づいて行われているか、アウトプットされた結果をどのように解釈すればよいか、そもそも特定の統計的手法を使うために必要な前提条件・適用可能なデータの種類は何か、といったことを理解しないままに統計的方法が利用され、結果が報告されてしまうのは大きな問題であることは明らかである。本講義のねらいは、たくさんの数式を覚えてもらうことではなく、「このデータを分析するにはこの方法を使えばよい」といった、心理学研究で得られたデータに適切な統計手法を取捨選択できる能力をつけてもらうことである。したがって、「数理的な理解」よりも「データを分析していく手続きの理解」に重点を置いて講義する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、記述統計学から推測統計学までを概観する。具体的には、記述統計学については、度数分布・代表値と散布度の指標・データの標準化・相関などを、推測統計学については、母集団と標本・正規分布・区間推定・統計的仮説検定などを学ぶ。

後期は、心理学のデータ解析で利用されることの多い統計手法について学んでいく。t検定・分散分析・重回帰分析・因子分析といった方法について、それらの仕組みを丁寧に解説していく。

#### 履修上の留意点

講義のねらいにも書いたように、本講義は「数理的な理解」に主眼を置いていない。心理統計学は数学の授業ではない。したがって、授業を受ける上で高校レベルの数学の知識が必要であるといったことはない。中学レベル程度の数学がわかっているならば授業内容を理解できないということ起こらないのでその点については安心してほしい。「統計学=数学」という一義的な見方はしないでほしい。「高校で数学を全くやっていないから、私には無理だ」などという先入観を持たず、まっさらな気持ちで授業に参加してほしい。

ただし、授業内容自体は決して簡単なものではない。毎回の授業の内容は一定レベルで負担のない程度の量をこなしていくが、それが積み重なると大変な知識量になっていく。継続して授業に出て、自分自身で毎回の授業内容を習得する努力をしていかないと全てを消化することは難しいだろう。是非、学生諸君の積極的な授業への取り組みを期待する。大学の講義は高校の授業とは違うということを認識して、自分なりの問題点を持って講義を受けてほしい。

#### 成績評価の方法

前期・後期の最後にそれぞれ試験を実施する。成績評価は、試験の結果と平常点によって行う。

#### 教科書

毎回、プリントを配布するので、特に教科書は指定しない。ただし、プリントの内容を補足し理解を深めるとい意味で参考書等にあげた参考書を購入しておくことを強く勧める。

#### 参考書等

1. 吉田寿夫著『本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』（北大路書房）→受講者全員に購入を勧めたい。その名の通り、必要なことが分かりやすく書かれている。
2. 田中敏・山際勇一郎著『新訂ユーザーのための教育・心理統計と実験計画法』（教育出版）→特に分散分析の記述が詳しく、実際のデータをどのように分析すべきかという視点で書かれた本。
3. 山内光哉著『心理・教育のための統計法第2版』（サイエンス社）→標準的な統計学のテキストとして適切な分量とレベルを兼ね備えた本。
4. 芝祐順・南風原朝和著『行動科学における統計解析法』（東京大学出版会）→他の本に比べるとアドバンスな内容。3までの本では物足りないという人向け。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ実習	おお つか ひで はる 大 塚 秀 治	心理 1 必	2

#### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時間をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・MS-Windows の習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

#### 教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、Type Quick については学内紀伊国屋書店で安価(約2,500円)に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度の3.5インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

#### 参考書等

授業中に最新のものを指示する。

#### その他

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回(1回2時間程度)の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センター(有料:年間1,000円)を利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使われていなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ実習	なか まる しげる 中 丸 茂	心理 1 必	2

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能となっている。本コンピュータ実習では、特に、心理学レポートの作成に必要なワープロソフトと表計算ソフトについての技術習得を主な目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 情報処理とは？
2. レポート作成 (MS-WORD)
  - ・文章作成 (ワープロ検定対応)
  - ・図・表作成
3. 表計算 (MS-EXCEL)
  - ・数値計算
  - ・データベース操作
  - ・図・表作成
  - ・統計処理 分析ツール・エクセル統計
4. 心理学レポート
  - ・性格検査の作成 (質問紙法)
  - ・イメージ・印象の測定 (SD 法)

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

1. ワープロ検定 4 級程度以上 (必)
  2. 心理学レポート作成 (必)
  3. その他、随時、課題を提出
- \*すべて、プラス評価

教 科 書

駒沢大学総合処理センター パソコン使いこなし術  
 駒沢大学総合処理センター ネットワークガイド  
 駒沢大学総合処理センター やさしいホームページ作成

参 考 書 等

情報教育研究会編 1997 情報処理演習 MS-Word MS-Excel 入門 ムイスリ出版株式会社  
 その他 MS-Word MS-Excel に関するもの

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 格 心 理 学	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理1・2選必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴的行動や態度がいかんして学習されるかを理解し予測すること、そして最後が、人間の行動をいかに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。  
また、パーソナリティの測定と診断についても一部実施し解説する。

履修上の留意点

遅刻したり欠席したりすると、講義内容の面からして、全体的把握ができなくなるので注意すること。

成績評価の方法

当該時間内でおこなうパーソナリティにともなう検査への参加、小テスト及び定期試験の結果で評価する。

教 科 書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』（八千代出版）2,060円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学 習 心 理 学	おのこ 野 浩 一	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学で学習というとき、それはものを覚えたり技術を習得するという狭い意味ではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数カ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は違っている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲をよく聞くようになった」、「朝寝坊の自分が早起きになった」、「最近学校を休みがちである」、「よく話をするようになった」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学は、このような行動変化の原因を解明し、科学的な言葉で説明しようとするものである。ただし、行動変化はすべて、学習によってもたらされるわけではない。あるものは成長や成熟によって、またあるものは疲労や薬の効果によって生じる。また、行動の中には、その行動様式や行動変化が主として遺伝によって決定されているものもある。その中で、学習心理学は、経験によって生じる比較的永続的な「行動変化」を主に取り扱う。

本講義は、「行動変化」をもたらす2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけのうち、特に言語行動を含む人間の行動変化の多くの部分を説明するオペラント条件づけ研究とその展開の解説に重点をおき、興味深い最新の研究を紹介してゆく予定である。この講義を通して、受講生には、科学的に行動の原因を探求することの重要性、必要性を理解してもらいたいと願っている。随時 OHP やビデオを使ってできるだけ平易に説明するつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 行動の原因とその説明 — 人はなぜどのように行動するのか
  - ① 行動についての常識的な説明と科学的説明
  - ② 行動の原因 — 遺伝と環境
  - ③ 行動の説明 — 行動分析的説明と認知的説明の違い
  - ④ 行動とは何か
2. 行動の種類とその原因
  - ① 単細胞生物の行動から人間のことばまで — おもしろい動物の行動
  - ② 行動変化の2つの手続き — レスポナント条件づけとオペラント条件づけ
3. レスポナント条件づけ
  - ① バブロフの条件反射
  - ② レスポナント条件づけの諸現象 — ボブ・ディランを聞くと甦えるあの甘くせつない想い
  - ③ レスポナント条件づけの発展と応用
  - ④ 現在の研究状況
4. オペラント条件づけ
  - ① 行動の結果の重要性 — 廊下を走るな！「忠告」「貼紙」はなぜ効かない？
  - ② オペラント条件づけの基本 — 三項強化随伴性
  - ③ オペラント研究の基本 — 動物実験のやり方
  - ④ 新たな行動の形成 — シェイピング
  - ⑤ 行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き — 強化スケジュール
  - ⑥ 罰による行動の変化 — そして何もしなくなった
  - ⑦ 行動は時と場合によって変化する — 刺激統制（般化と弁別、行動対比と頂点移動）
  - ⑧ 動物と人間の行動の違い
  - ⑨ オペラント行動に関する最近の研究動向
5. 迷信行動
  - ① 迷信はオペラント条件づけによって生じる
  - ② 行動の変動性は迷信行動を減少させる
6. 選択行動
  - ① すぐの1つより後の3つの方がいい？ — セルフ・コントロール
  - ② 人もハトも「強制」より「自由」を好む
7. 不確実場面における行動
 

確率学習 — なんでそうするの？（非合理的な人間の行動）
8. 言語と認知
  - ① 言語の基本 — ことばの獲得と刺激等価性
  - ② 言語の働き — Skinner の言語行動論
  - ③ ことばによる行動の制御 — ルール支配行動と言行一致訓練
  - ④ 認知的事象も行動である — プライベート・イベント
  - ⑤ 性格は特定の行動パターンに対するラベルである
  - ⑥ 知識の獲得 — 事例からの一般化（帰納的推論）

9. 社会的行動  
競争や協力関係は環境によって作られる
10. 応用行動分析  
オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

教科書

使用せず

参考書等

レイノルズ著、浅野俊夫訳『オペラント行動入門』（サイエンス社）  
佐藤方哉著『行動理論への招待』（大修館書店）  
小川隆監修『行動心理ハンドブック』（培風館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	はぎ わら しの 萩 原 滋	心理1・2選必	4

講義のねらい

主として心理学の立場から社会心理学の研究領域をカバーする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会的認知、態度と態度変容といったことに関して、「均衡理論」「認知的不協和理論」「帰属理論」など従来の社会心理学の代表的理論を紹介する。後期は、説得といった対人コミュニケーションの場面から各種メディア、特にテレビの社会的役割や影響力といったマスコミュニケーションの状況を含めて幅広く「コミュニケーション」に関わる問題を取り上げる。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

前期と後期に1回ずつ筆記試験を行い、それらの得点を総合して成績を評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
臨床心理学	いばら ぎ ひろ こ 茨 木 博 子	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学は、一口に言って、実践の学であり、その目的とするところは、心理学的立場にたつて個人の悩みを解決し、幸福で建設的な社会生活ができるよう援助することにある。

実際の心理臨床の仕事は、人格理解と心理療法の二つに大きく分けられるので、そこに視点をおいた講義をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

①臨床心理学を学ぶ前提として、その基礎理論（発達臨床の基礎理論、深層心理学の理論など）を紹介する。

②人格理解では、人格理解の基本原則と人格理解の方法について述べる。

③心理療法については、まずその基本原則を押さえた後、いくつかの心理療法を紹介する。

履修上の留意点

講義が主となるが、内容によって討論を取り入れるので自発的に参加することを期待する。

成績評価の方法

講義の内容上、出席状況とレポート及び定期試験による総合で評価する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生理心理学	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は、自然科学的手法により心と体の関係を明らかにしていく学問である。本講は、主に、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

心的活動の基礎としての脳の機能と、身体の関係について解説し、さらに、意識や学習、感情、知覚・感覚の概念等について述べる。

また、初歩的な生理心理学的測定について解説し簡単な実験も行う。

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養が欲しい。

成績評価の方法

レポート及び定期試験による総合的評価。

教 科 書

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
認 知 心 理 学	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学においては心理学的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知論の視点に立脚して心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

講義の内容・  
授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年目から4年目までの学生にいわびろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

成績評価の方法

筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価される。

教 科 書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等は紹介される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 基 礎 実 験	ち ほら ただし かとう ひろき 茅原 正・加藤 博己 まじま ひでとし やまよし なおき 間島 英俊・山岸 直基	心理 2 必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 社会的促進 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

教 科 書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学基礎実験	谷口 泰富・加藤 博己 佐藤 理晴・堀内 正彦	心理 2 必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視      系列記憶      重量弁別  
鏡映描写                      社会的促進      好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

教科書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学研究法	小野 浩一	心理 2 必	4

#### 講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、論理的な思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題(目的)の設定-特定の研究デザインによるデータの収集-データの分析-結論づけ-結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅶ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語(日本語と英語)を学習するプログラムを取り入れている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 心理学研究法総論
  - ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
  - ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
  - ③ 科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
  - ④ データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として
2. 文献検索法
  - ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法-学会発表と論文、学術論文と紀要・ジャーナル(国内および海外)のいろいろ
  - ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用法、データベースの利用・図書館の利用方法
  - ③ 引用文献のはたらき：引用法
  - ④ 文献からみた研究の進展課程：Kuhn(1970)の理論の応用
3. 観察法
  - ① 観察法の種類
  - ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義、反応次元の選択(頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ)
  - ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング
  - ④ 信頼性と妥当性
4. 実験法
  - ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
  - ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
  - ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数、実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制法
  - ④ 実験デザイン
    - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実験デザイン・多重処理デザイン
    - 2) 単一被験体法：ABAデザイン・多重ベースラインデザイン
5. テスト理論
  - ① 項目反応理論と内的整合性
  - ② 心理テスト作製の方法
6. 質問紙調査

#### 成績評価の方法

出席と定期試験とレポート(授業期間中に1回提出)による総合評価

#### 教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禪 心 理 学	茅 原 正 <small>ち はら ただし</small>	心 理 3 必	4

講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。

本学における「禪の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学のコースの3年次必修専門科目としての「禪心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禪の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禪の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禪の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禪と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禪瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勸坐禅儀」考
- ・禪とコトバ
- ・禪の心理論理
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

秋重義治『禪の心理学』（法政大学出版局）  
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）  
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）  
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

そ の 他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禪の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習 I	いばら き 木 ひろ 子 茨 木 博 子	心理 3 選 必	2

講義のねらい

臨床心理学においては、人格理解、心理療法と共に、「心理学的アセスメント」は重要な部分を占めている。とりわけ、病院臨床では心理テストの依頼が多く、将来、心理臨床の仕事を目指す者は、必要不可欠な課題である。従って本講では、心理学的アセスメントの習得を目的とした演習を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

心理学的アセスメントを習得するということは、諸心理テストの理論の理解にはじまり、施行法、結果の整理、解釈、報告までを含んでいる。従って本演習では、受講者が検査者、被検査者になり、実際に心理テストを実施することによって、より具体的、体験的にアセスメントを学習できるように進める。取り上げる心理テストとしては、質問紙から投影法（描画テスト、ロールシヤハ・テスト）まで、よく使われているテストをあつかう。

履修上の留意点

実際にテストを取ることによって、いろいろ重要な点に気づくので、出席を重視する。なお、心理学的アセスメントは、被検者の人格理解のために行なうものであって、単に自分を知りたいというような興味本位での受講はしないしてほしい。

成績評価の方法

実習態度、実施した心理テストのレポートで評価する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習 II	ち はら ただし 茅 原 正	心理 3 選 必	2

講義のねらい

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的条件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の実習テーマとして、精神テンポや時間評価など、時間体験に関する実験、情動に関わる呼吸機能の生理学的測定、精神集中やリラクゼーションなど、身心のコントロールに関する実験等を予定しているが、受講者と相談の上、別のテーマを設定して実験を計画することも考えている。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質から出席を重視する。実習テーマの課題レポート提出は必須である。

成績評価の方法

年度末の筆記試験、課題レポート、出席状況等、総合的に行う。

教科書・参考書等

特に使用しないが、必要に応じて文献等の紹介をする。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅲ	佐々木 雄 二	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学領域（臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学など）における心理学的研究を進めていく上で必要な具体的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、比較的最近の心理学系専門誌（とくに臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学領域）から自分が関心のある論文を選ぶ。その内容を発表する過程を通して、臨床心理学領域の現在の課題を知り、研究計画、研究結果のまとめ方、論文の書き方などを学びながら、実際に自分の研究を進めることになる。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席、発表内容、質疑応答の内容を勘案して評価する。

そ の 他

経過報告に基づいて指導する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅳ	佐藤 理 晴	心理3選必	2

講義のねらい

知覚研究においては、刺激の提示から、被験者の反応の記録、データの分析にいたるまでコンピュータが広く用いられている。本講では知覚研究に必要な技術の習得を目的とし、刺激のプログラミング、結果の分析、研究発表の資料作成など実習形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期はプログラミング言語（C++）、および実験に必要なハードウェア関連の知識について説明する。後期はいくつかの例題から研究テーマを選択し、実験計画から結果の分析、発表資料の作成までを実習形式で進め、年度末に期末試験として研究発表を行う。

履修上の留意点

コンピュータに関する予備知識は特に要求しないが、プログラミング、実験などの実習が中心となるため、課題として時間外に行う作業は多くなる。また本講は研究方法のみにテーマを絞っているため、他の感覚、知覚、認知心理学関連科目を併せて履修することを強く推奨する。

成績評価の方法

課題の提出状況、年度末の研究発表により評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

授業中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 V	おのの 小 野 浩 一	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインの組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）の行動の分析」、「迷信行動の生成」、「性格テストの作り方」などを予定しているが、これとは別に受講者と相談の上適当なテーマを設定して実験を計画することも考えている。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教 科 書

その都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 VI	かるべ ゆきひろ 軽 部 幸 浩	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

本講は、生理心理学的測定の技法、機器の操作方法及び資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講者の数によっては内容を一部変更することがあり得る。従って、受講者が決定した後に計画表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験を行うこと。受講者をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験を行う。従って、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、予め生理心理学を受講しておくこと。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅶ	間島英俊	心理3選必	2

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実習テーマは発達に関することを予定していますが、別に受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度、並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。

参考書等

教材についてはその都度コピー等にて配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習	茨木博子	心理4必	4

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は、①受講者白らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手続きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	小 野 浩 一 <small>の こう いち</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

教 科 書

本年は、次の文献をテキストに使う予定である。  
Skinner, B. F. (1987). *Whatever happened to psychology as the science of behavior?*  
(*American Psychologist*,) 42, 780-786.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	佐 々 木 雄 二 <small>の さ さ き ゆう し</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

受講生各自のテーマに合せた卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

研究論文の「構想発表」、「中間発表」の時間を設ける。

成績評価の方法

出席と発表内容によって評価する。

心  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	たにぐち やすとみ 谷 口 泰 富	心 理 4 必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけでの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別的に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

心  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	もはら ただし 茅 原 正	心 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。  
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。  
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくこととなる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接は随時行われる。

成績評価の方法

演習における年間を通じた研究姿勢によって評価される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題（卒論テーマの決定）、問題（文献研究）、目的・方法（研究計画とその実施）、結果・考察（研究結果の分析、議論）のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についての研究経過において、ゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も考えられますので、個別に調整します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなれます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 心 理 学	たか 高 橋 鷹 志	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

E.ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O.ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y.トゥアン、阿部 一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

その他

授業の方法は聴講人数によって決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 心 理 学	よこ 横 山 つよし 剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する機制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動・知覚・認知・言語・記憶・思考・情緒・パーソナリティ・社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

（詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する）。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履習しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える上』（北樹出版）

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業心理学	<small>たか</small> 高 <small>はし</small> 橋 <small>まこと</small> 誠	心理2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。

履修上の留意点

マスコミをとおして、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術革新と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教科書

使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。

参考書等

授業中に提示する

その他

講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目を一つでも養うための参考になれば幸いと感じる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老年心理学	<small>なか</small> 中 <small>ざと</small> 里 <small>かつ</small> 克 <small>はる</small> 治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢(老化)と病的な加齢(病気)を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教科書

下仲順子(編)『老年心理学』(培風館)1997 1,995円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 心 理 学	くほ た しい さく 久保田 圭 作	心理2・3・4選	4

講義のねらい

宗教はさまざまな形で人々の生活に大きな影響をおよぼしているが、それは何よりもまず人間の心の奥深くに根をおろしている。宗教心理学は人々の心の中にある宗教、つまり信仰を捉え、宗教的人格を明らかにしようとする学問である。本講義では多様な宗教現象のうち、宗教の心理的側面や次元を探究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教心理学のさまざまな領域の中から、本講義で取り上げるテーマは次のとおり。

- ① 心理学と宗教：心理学的宗教心理学と宗教学的宗教心理学、宗教心理学史
- ② 気質・性格の類型と宗教
- ③ 宗教意識：神観念、罪意識など
- ④ 宗教経験：回心、ヌミノーズ、神秘体験、至高体験など
- ⑤ 宗教情操：成熟した宗教情操と未成熟な宗教情操
- ⑥ 「聖なるもの」の心理：聖者と聖者性
- ⑦ 宗教の内面化の次元
- ⑧ 自己実現と宗教：A.H.マズロー、C.G.ユング、E.フロムの所説から
- ⑨ 修行の心理：ヨーガ、十牛図、靈操など
- ⑩ 病と宗教：信仰治療、癒し、心理療法との関係
- ⑪ 母性原理・父性原理と宗教

成績評価の方法

年2回の定期試験とレポートによる。

参 考 書 等

松本慈『宗教心理学』（東大出版）  
G.S.スピックス（久保田圭伍訳）『人間心理と宗教』（大明堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健 康 心 理 学	いな まつ のぶ お 稲 松 信 雄	心理2・3・4選	4

講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W. B. Cannon & H. Selye の学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stressを中心にStressor Agentsの認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学(Psychoneuroimmunology)を関係づけて、最後にpsychoの部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動(Asthenic Emotion)の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は以下のような項目となる

- ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性
- ②精神活動と身体反応との関係
- ③心理学的ストレスと生理学的ストレス
- ④ストレスと情緒反応
- ⑤情緒の生理学的機構
- ⑥情緒の分類と感情の統御
- ⑦情緒と精神神経免疫学
- ⑧情緒と欲求との関係
- ⑨感情&ストレスと健康の総括

履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。

成績評価の方法

最終講義時間に筆記試験を行う。多肢選択形式と記述式を併用する。出席を加味する。

教 科 書

教科書として健康心理学：資料集（東邦大学医学部心理学研究室編）を使用する（授業開始時に配布：実費徴収）、その他随時補助プリントを用いる。

参 考 書 等

参考書は Rober J. Gatchel et al.[An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY Second Edition] (McGraw, Inc.)

そ の 他

講義を中心とするが、ビデオや OHP を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較行動学	前期：幸島和子 後期：櫻井一彦	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くだろう。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろう。どうして雄と雌がいるのだろう。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろう。私達はなぜ日本語が話せるのだろう。赤ちゃんはなぜかわいいのだろう。  
比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。  
後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。  
行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをとおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。  
講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料(ビデオ、スライド、OHP)を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神医学	にし西松よしこ	心理2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学一般の知識

講義の内容・授業スケジュール

前期－総論 (用語の説明を含めて)  
後期－各論 DSM-4に従い各障害の説明

履修上の留意点

フル、テキストがありますので、予習を、(前週にレジメをわたします。)

成績評価の方法

筆記テスト (50% 5択、50% 記述)

教科書

パルド・I・カプラン、ベンジャミン・J・サドック、ジャック・A・グレイブ、訳・井上令一、四宮滋子『臨床精神医学テキスト－DSM-4診断基準の臨床への展開』(医学書院)

参考書等

質疑応答主体の講義です。できるだけ前週にわたすレジメを予習してきてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 講 I	DEWARAJA, RATNIN (デワラジャ, R. D.)	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講座では、主に「行動療法」がよくつかわれる臨床心理学および医学心理学的な問題を概観し、その心理的問題が「行動療法」を用いてどのように治療されているのかその実際を事例研究（ケーススタディ）を通して学習し、クラスディスカッションによって理解を深めていく。そしてこの講座の終わりには、心理的問題を行動心理学的な立場から理解することを目指している。また適宜心理学用語を英語で教示していくので、専門用語の習得にも役立ててほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行動療法の特徴と他の治療法との比較
- 2) 行動療法の基礎
- 3) 恐怖症とその行動療法
- 4) 広場恐怖症とその行動療法
- 5) 社会恐怖および対人恐怖症とその行動療法
- 6) 社会的技能訓練 (social skills training)
- 7) 強迫神経症とその行動療法
- 8) パニックディスオーダー
- 9) 不眠症とその行動療法
- 10) 痛みと痛みに対する行動療法
- 11) 摂食障害とその行動療法
- 12) 異常性行動とその行動療法
- 13) 家族問題とその行動療法
- 14) 認知行動療法

履修上の留意点

各学生が積極的にディスカッションに参加することを望む。

成績評価の方法

出席と平常のディスカッションでの参加態度・内容で評価する。さらに個人またはグループ単位で、「行動療法」の事例研究（ケーススタディ）を一つ選んで学習発表してもらい、そのディスカッションの内容も評価する。

教科書

とくにない。

参考書等

随時紹介していく。MEDLINE と PSYCHOLOGICAL ABSTRACTS データベースからも適当な論文を提示する。

その他

さらに詳しい情報が欲しい場合は、インターネットの <http://www.intio.or.jp/ratnin> のホームページにアクセスしてください。なお授業は日本語で行います。

心  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 講 II	佐 藤 方 哉 <small>さとう まさや</small>	心理2・3・4選	4

講義のねらい

テーマは「人間行動論」。行動主義心理学の立場から、人間が他の動物と比較してどのようにユニークかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

動物行動の一般的原理を概観した後、人間を人間たらしめているともいえる言語の問題を分析し、それを踏まえて人間の特徴を浮き彫りにする。言語を有するが故に、人間の知覚、動機づけ、情動、学習、記憶、思考などが他の動物とどのように異なるかを明らかにしたい。

履修上の留意点

「学習心理学」を履修済みか履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末テストの成績のみではなく、随時行う小テストの結果や、平常の討論への参加などを考慮して総合的に評価する。

教科書

教科書は、杉山尚子・他『行動分析学入門』（産業図書）1998

参考書等

参考文献は、必要に応じて紹介する。

その他

講義を中心とするが、活発な討論を期待する。毎時間 OHP を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 講 Ⅲ	讃 岐 真 佐 子	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、臨床心理学の基礎を学ぶ事を目的としている。臨床心理学は、何らかの状況において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう、心理的な働きかけをする面接活動を中心とし、その過程で生じる様々な現象や問題について研究する領域と考えられる。そのためには種々の勉強が必要だが、①人間の心をどう把握するかという“理論的学習”、②多様な体験をとおして自分自身を理解していく“体験的学習”、③実際のカウンセリング（面接）場面で起こり得る事柄を、事例によって学んでいく“事例研究”等が特に重要と思われる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義では、主にこの①と③を中心に進めていく。具体的には、前期はまず一般的な面接について、その位置付けや構造、初回面接の意味等を学び、さらに主に深層心理学的観点から心の基礎理論を概観する。次にこれらを踏まえ、人間の発達段階にそってその時期に発現してくる様々な問題行動や症状を説明し、事例を通してその理解を深めていく。

後期は、前期の内容をさらに発展させ、細かく学んでいく。また箱庭療法や絵画療法等、言語を直接用いない諸技法についても、適宜触れていきたい。（スライド・ビデオ使用）

#### 履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。講義中心で進めるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらう。また事例は事実とは異なるが、十分な配慮をもって扱う事。事例に関する資料は原則として回収する。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験の両方を考慮する。

#### 教 科 書

必要な資料はその都度配布する。

#### 参 考 書 等

- ・ 鏑幹八郎・名島潤慈編著『心理臨床家の手引』（誠信書房）4,000円
- ・ 河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）2,000円
- ・ 河合隼雄著『ユング心理学入門』（培風館）1,300円
- ・ 『箱庭療法入門』（誠信書房）約2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法Ⅰ	前期：西脇 淳 後期：佐藤 尚代	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈知能検査とその関連領域〉を、後期には〈投影法心理検査〉を学ぶ。この二領域の検査は、検査場面自体が対人関係場面である（検査者と被検査者が同じ場面に身を置き、課題を提示したり言葉を交わしたりしながら検査を執り行う）ものが多い。

前期の〈知能検査とその関連領域〉では、知能・発達検査を中心に講義する。これらは構成度の高い課題を遂行する検査であり、「自分が何を検査されているか」「（親への質問によって児童の発達を測る場合）我が子の発達のどの点を検査されているか」が被検査者にも伝わりやすい。自身の知的機能の低下や、我が子の発達の遅れなどを自覚している場合、検査されることで緊張や不安が高まることもある。従って、これらの検査を理解するためには、検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶことが必要である。講義では、検査の有用性と限界、利用の注意点などについても考えたい。

後期の〈投影法心理検査〉では、その施行・解釈技法をしっかりと身につけるためには、系統的かつインテンシブな専門トレーニング（大学院や各種研修機関などでの専門教育）が必要な領域である。将来このような専門トレーニングを受けることを希望している学生は、講義を通じて、その土台となるであろう投影法の基礎的理解を体得し、心理アセスメントの基本的な心構えを身につけてもらいたい。後期の講義では、（心理学の専門家を目指す者も目指さない者も）全ての受講生が、投影法心理検査に関する基本的な知識と教養を身につけることを第1の目標とする。また、知識の習得にとどまらず、投影法心理検査を施行する際に不可欠であるところの「相手の話したことを素早く正確に書き取る力」、検査結果の解釈の際に必要な「自分の感じていること（わかったこと）を根拠を提示しながらまとめる力」を高めることが、後期講義の第2の目標である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）

- 1、心理検査とは何か  
心理査定とは何か、発達・知能検査の位置づけ
- 2、発達検査について  
津守式、デンバー式など
- 3、知的機能の検査について  
（個人）WAIS-R、田中ビネー、痴呆のスケール、RPCM、コースなど  
（集団）京大NXなど
- 4、発達・知能検査の実際  
テストのバッテリーと施行のインターバル、検査の見方・まとめ方、疾患との関連

（後期）

- 1、投影法心理検査について  
心理アセスメントと心理検査、心理検査と投影法、なぜ査定するのか？、何が査定できるのか？
- 2、各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、歴史、適用、施行（実習））  
ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、描画法、その他の投影法
- 3、心理アセスメントの実際  
査定結果の活かし方、受け取る側にわかるような査定結果の報告

#### 履修上の留意点

前期・後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

実習では、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行なうので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法Ⅱ」の授業も履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可）

#### 成績評価の方法

出席を重視する。前期、後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学年末に定期試験を行なう。

#### 教科書

講義において指示する。

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

そ の 他

実習や提出用授業ノート作成など、個人学習のウェイトが大きいと思われる。また、検査者・被検者体験を伴うため、相互の体験を共有するグループ・ディスカッションの場を持つ予定であり、レポート中にもそれらの体験をまとめた記述が必須となる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理検査法Ⅱ	いな とも まさ はる 稲 富 正 治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、多くの心理検査法（心理テスト）の中で、前期では知覚・感覚・記憶に関するテストや適性検査などを、後期では性格・行動・社会性に関するテストなどを主に扱っていきます。

近年、様々な社会問題の中に人間の不可解な側面を見ることが多くなりました。しかし、単に見聞きした印象だけ、表面的で目立つ行動だけで人を判断することはできません。特に、心理学を学ぶ人間にとって、安易な人間判断はつしまなければなりません。そこで、我々は、客観性を持つために「心理テスト」を用います。

心理テストには、精神発達、知能検査、学力・創造性テスト、性格・人格テストなど多くの種類があり、また実施されている領域も、精神科・心療内科などの医療の領域をはじめ、学校教育の領域や産業関係の領域に至るまでさまざまな領域で用いられてきています。

このような心理テストを学ぶということは、大きな視点に立てば、人間理解を深め、人間を幸せにするための技術の1つを学ぶことだと考えられます。

本講義では、様々な心理テストを紹介して、実際にテストを体験しながら、心理テストの理論背景やその意義、そして効用さらにその限界について学んでいくことを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、以下のようなテストを扱い、実践を通して理論背景などを講義します。

1. 「認知・知覚」機能（何を見、それをどう表すか）を重視した検査  
ベントン視覚記憶検査、ベンダーゲシュタルトテスト、フロスティック視知覚発達検査  
基本的な記憶力の検査、神経心理学的な検査など
2. 代表的な作業性格検査  
内田クレペリン精神作業検査など  
その他にも学生にとって身近な「適性検査」などを通して、自らの進路・職業の適性についても考えたいと思います。

後期は、主に代表的な質問紙法について、実習をおりませながら、必要であればその理論的背景なども講義していきます。取り扱う予定の心理テストは、

1. 性格・人格に関するテスト  
MMPI 日本版、矢田部ギルフォード性格検査、日本版 STAI、顕在性不安検査（MAS）、モーズレイ性格検査（MPI）、CMI 健康調査表、SDS 自己評価式抑うつ性尺度など
2. 行動・社会性に関するテスト  
東大式エゴグラム（TEG）など  
必要に応じてさらにいくつかの質問紙による心理テストを追加し紹介していく予定です。

履修上の留意点

臨床心理の専門職を希望している学生はもちろんのこと、教育関係、企業就職を希望している学生もおおいに受講して下さい。

なお心理検査法ⅠとⅡに関しては、どちらを先に履修しても同時に履修しても問題ありません。心理検査全般を把握するためにはⅠとⅡ両方の履修をすすめます。

成績評価の方法

出席と定期試験とレポートによる総合評価。

教科書

特に使用しません。適宜、プリント等を配布していきます。

参考書等

必要に応じて授業中に紹介していきます。

その他

講義と実習とグループ討論などを織り交ぜながら進めていく予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カ ウ ン セ リ ン グ	まず 鈴 木 じゅん いち	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カウンセリングは、単に知識や理論を概念学習するだけでは不十分な実践習です。実際に人とかかわり、援助し援助される関係を体験学習すると共に、絶えず自己を見つめ自己成長しつづける必要があります。本講座では、様々なカウンセリングの理論と技法を、まず自分自身に適用してみて自己理解を深め、カウンセラーとしての自己成長をめざして、グループによる体験学習をすすめていきます。

履修上の留意点

毎回出席をとり、出席が重視されます。

成績評価の方法

平常点と体験レポートにより評価します。

教 科 書

中西信男・渡辺三枝子編『最新カウンセリング入門』（ナカニシヤ出版）2,000円

参 考 書 等

西光義敏『暮らしの中のカウンセリング』（有斐閣）  
 國分康孝『カウンセリングの理論』（誠信書房）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 I	<small>かる</small> 部 <small>ゆき</small> 幸 <small>ひろ</small> 浩	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、コンピュータを用いて、自らが心理学実験システムを構築できうるだけの、最低限のプログラミング知識をやしなうことを目的としている。具体的に授業中で習得を目標としているコンピュータ言語は、Visual Basicである。また、プログラミングをおこなう上で、必要となる種々の基本的な知識については、1年次の「コンピュータ実習」ですでに習得済みであるので、授業では、さらに深くコンピュータ・システムについての説明をおこなう。また、授業内で提出する印刷物は、すべてワープロ（MS-Word）によって作成する。

なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで、より理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中に購入することをすすめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、授業内でその課題についての説明と実習をおこなう。課題は基本的プログラミングと、それに付随して応用的プログラミングの両方をおこなう。具体的な内容は次のとおりである。

- ・プログラミングの基礎
- ・フローチャートについて
- ・Visual Basicの基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよびWWWの利用方法

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を3回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする（心理学基礎実験準拠）。

授業時間内だけでは、絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間）程度の実習が必要となるであろう。また、課題を電子メールにて提出することをおこなうため、電子メールアドレスは必須のものである。

なお、教室のパソコン台数の都合上、履修を希望する学生が多数の場合、抽選をおこなうこともありうる。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

教 科 書

基本的には授業中に配布する資料でおこなう。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理Ⅱ	まさの 牧野 晋	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理Ⅰなどを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。まず、情報処理に関する基礎知識、コンピュータ・ネットワークに関する基礎知識などを学ぶ。次に、実験データの分析について学ぶ。また、コンピュータを利用した効果的なプレゼンテーション方法などについても身に付けてもらいたいと考えている。これらを通して、各自がパーソナルコンピュータを個人で所有した際、それを自力で活用できるような応用力を身に付けさせたい。

具体的な主な講義内容は次のとおり。まず、計算機・情報処理、コンピュータ・ネットワークやインターネットに関する基礎知識の習得を行う。この単元は主に講義形式になる。次に計算機を使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。実習には PC-SAS を使用する予定だが、単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。得られた結果をレポートにまとめることで、他のアプリケーションとの連携についても学習する。さらに、コンピュータを使ったプレゼンテーションの技術を習得し、自分の考えをいかに効果的に表現するかについて学ぶ。これは卒論の発表などや卒業後社会に出てから必要になる知識であろう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならばビデオ教材も使用したい。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・情報処理概論
  - ハードウェアとソフトウェア、OS の理解、データの符号化と内部表現など
- ・コンピュータ・ネットワークの基礎とインターネットの現状について
  - ネットワークの基礎知識の習得
  - 自分のパソコンをインターネットに接続するには？
  - HTML 入門など（可能ならば）
- ・主に PC-SAS を利用しての統計処理および分析方法の理解
  - データ解析と統計的手法の基礎
  - PS-SAS の操作方法の習得
  - SAS プログラムの書き方
- ・コンピュータを使ったプレゼンテーションの総合実習
  - MS-PowerPoint を使ったプレゼンテーション

#### 履修上の留意点

本講義の受講にあたっては、コンピュータ実習の単位を習得していること、または同等の知識を持っていることが条件となる。キーボードのブラインドタッチもできないような状態での受講はできない。ワープロを使つてのレポート提出、Excel を使つてのグラフ作成などを求めるので、これらを習得していることも条件になる。

また、本講義は実習形式で行うことが多いので、2 回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

さらに、本格的にコンピュータを応用するためには実習が不可欠である。授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・新城明久著『PC SAS による基礎統計学入門』（東海大学出版会）

#### 参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。

SAS、ネットワークの基礎については、次の参考書をあげておく。

- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著『SAS によるデータ解析入門 [第2版]』（東京大学出版会）

SAS の具体的なプログラミング方法についてわかりやすく解説してある。独力でプログラミングする必要に迫られたとき、よい参考書になるので教科書と合わせて手元に置きたい。

- ・高辻秀興・大塚秀治編著『インターネット・リテラシー』（工学図書）

コンピュータ・ネットワークやインターネットの基礎知識から利用マナーまで、大学生とし

て身に付けておくべき知識について解説してある。電子メールなどの具体的な操作方法については環境が異なる部分もあるが、是非目を通してもらいたい。

そ の 他

年間2～3枚程度のフロッピーディスク（2HD）が必要となる。

心  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	さ とう けん しょう 佐 藤 憲 昭	心理2・3・4選	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。

日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

講義内容を踏まえたレポート試験の予定。

教 科 書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社、学術文庫）

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	いげら き 木 ひろ こ 茨 木 博 子	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることが目的にしている。

講義の内容・授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する他、文献講読も行なう。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。従って、探し求めたテーマは諦めないで取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参 考 書 等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	お の こう いち 小 野 浩 一	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについての学習を行い、データ収集の準備（できれば予備実験や予備調査）を行う。

演習は、テーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べたり、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

参 考 書 等

米国科学アカデミー編『科学者をめざす君たちへ』（化学同人）（1996）  
B. E. スキナー『罰なき社会 行動分析学研究第5巻第2号』（1990）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	佐々木 雄二	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

①最近発刊された臨床心理学やカウンセリング心理学、健康心理学領域の専門誌（原則として英文誌）からゼミ生自身が関心のある論文を探し、2、3編選んでくる。②その中から講師が指定する1編を訳し、原文、全訳文、抄訳文、参考資料をつけて提出する。提出資料をゼミ生全員に配布し、その論文の要点を説明した後、論文の展開に従って研究課題、具体的な研究目的、対象、実験や調査などの方法、結果の分析、検討内容、今後の課題などについて発表する。③その発表に基づいて質疑応答を行う中で、ゼミ生自身の臨床心理学研究の課題を見つけ、方法論を学び、卒業研究の準備にあたる。

成績評価の方法

発表および質疑応答の内容に基づいて評価する。

参考書等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域欧文誌の「一覧表」を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	谷口 泰富	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	茅原 正 <sup>ち ばら ただし</sup>	心理 3 選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に進ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文献を輪読する。

〔後期〕

各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究結果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教科書

*The Psychology of Consciousness* by R. E. Ornstein の予定である。  
プリント配布。

参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	永田陽子 <sup>なが た よう こ</sup>	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次に提出の卒業論文を2年間かけて作成することを希望する3年次の学生を対象として設けられた演習である。従って、受講者が卒業論文のための各自の主題を明確にし、そのための文献研究や実験・調査の準備を行うことが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、文献研究を中心に行う。後半は、その研究テーマをもとにした具体的な研究方法について検討する。受講者は各自のテーマについて個別に指導を受けると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点

各受講者の研究に基づく面接は随時行われる。

成績評価の方法

口頭発表とレポートによって総合的に評価される。

参考書等

必要な参考図書および文献は演習時に随時提示される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 殊 演 習	間 島 英 俊	心 理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・  
授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、前期はエリクソン、E.Hの理論を中心に進め、後期は研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思います。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート、発表、ゼミ合宿等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参 考 書 等

参考書、文献等については随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
家族社会学	岩 <sup>いわ</sup> 上 <sup>かみ</sup> 真 <sup>ま</sup> 珠 <sup>み</sup>	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化に伴って、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をジェンダーを切り口にあららかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) ジェンダーと家族
- 2) 社会変動と家族
- 3) 家族の社会史
- 4) 男と女-多様な結婚のかたち
- 5) 親と子-新しい関係の構築
- 6) ライフコースと家族
- 7) 家族の政策化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時、意見や感想をレポートしてもらう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教科書

講義のはじめに指示する。

参考書等

講義中、適宜指示する。

その他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。また、ビデオ視聴も取り入れたい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 社 会 学	は 芳 が 賀 まなぶ 学	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本では、多くの若者たちが宗教現象に関心を寄せていると言われる。「豊かな時代」の今、若者たちは宗教に何を求めているのだろうか。この講義では、この問題を解くことを目指して、さまざまな現象を順次取り上げ、社会的背景とそこに生きる人々の心理構造に照準して考察を進めていくこととしたい。言い換えれば、ここでは、白黒の判断を下す前段階として、まず、宗教現象に関与する人々（とその心理）を理解することが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール

スケジュールを示せば、まず、最初の数回、ここで採用するアイデンティティに関わる視角について、その特徴を解説する。それに続く前期の講義では、この視角を用いて、幕末から現在に至る日本の新宗教の歴史を、信者の入信理由とその社会的背景の変遷に着目しつつ概観する。一方、後期の講義では、自己啓発セミナー・エステ・占いなどの宗教周辺現象を取り上げ、現代の若者の置かれている社会状況に関して、より突っ込んだ考察を進めていく。

履修上の留意点

この講義を履修するに当たって要望したいのは以下の2点である。①有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に摂取すると同時に、それを鵜呑みにせず、自分に引きつけてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに課すレポートと、年度末に行うペーパーテストとの総合評定で行う。なお、レポート・テストのいずれかが欠ける場合には、単位は基本的に認定しない。

教科書

使用しない

参考書等

授業開始後に適宜紹介する。

その他

授業方法の中心は講義であるが、ビデオ映像なども折にふれ積極的に活用する予定である。

心  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁  
viii 国家による賠償と補償 ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著『行政法要論』（学陽書房）3,000円  
『小六法』出版社・定価各種

参考書等

塩野 宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）4,000円  
その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	きり 桐 原 宏 ひろ ゆき 行	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点にたって把握していくことが必要になる。

本講では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 障害者福祉の理念
2. 障害者の概念と実態
3. 障害者福祉の施策
4. 障害者福祉と社会資源
5. 障害者に対する援助活動

前期に1.～3.、後期に4.～5.について扱う。

成績評価の方法

筆記試験及びレポート、授業への出席の状況などの総合評価による。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『障害者福祉論』（中央法規）

参 考 書 等

講義中随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期 ⇒ ・人口高齢化の意味  
・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動  
・高齢者の生活問題  
・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害  
・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期 ⇒ ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、  
介護保険法、関連施策  
・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、  
財源、マンパワー  
・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、  
在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例  
・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、  
保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、  
施設サービスにおける援助事例  
・地域及び住環境の整備と福祉機器

心  
理

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないので、そのつもりで履修すること。

成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

教 科 書

東條光雄・冷水豊編『老人福祉論』第2版、(メヂカルフレンド社) 2,000円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	やま もと ま み 山 本 真 実	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

子ども・子育てをめぐる社会環境をふまえ、児童福祉の理念、制度（基本枠組み）について基礎的な学習を行う。ビデオ教材等視聴覚教材も使用し、具体性をもたせつつ児童福祉サービスの現状を理解することをねらいとする。

はじめに子ども・子育てをめぐる社会環境について整理する。また、子どもや子育て、家庭をめぐる社会的な位置づけについて学習する。児童福祉が対象としてきた範囲、理念について整理する。そして、基本的な児童福祉政策・制度の枠組みについて理解し、その枠組みの中で、どのような問題があるのか、児童福祉制度改革等、今後の展望について考察を深める。

後半では、保育、養護、健全育成、相談体制など各論についての講義を行い、児童福祉の全体系を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の内容についてテキストに従い講義を行う。

- I. 児童と社会
  1. 児童と家庭・社会
  2. 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念
  3. 児童福祉の理念と児童の権利
- III. 児童福祉の制度
  4. 児童福祉の法体系
  5. 児童福祉実施体制
  6. 児童福祉施策体系
  7. 子育て環境
  8. 児童福祉改革の動向
- IV. 各論
  1. 保育
  2. 社会的養護
  3. 権利擁護
  4. 健全育成
  5. 相談

履修上の留意点

社会福祉士資格の取得希望者だけでなく、履修者全員に対して児童福祉についての理解を深める意識を持つことを期待している。

成績評価の方法

学年末の試験のみによる評価。出席状況を加味することもある。

教 科 書

柏女霊峰『現代児童福祉論（第4版）』（誠信書房）2000

参 考 書 等

柏女霊峰、山縣文治編著『新しい子ども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	心理1・2・3・4選	4

### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正労働者派遣法や職業安定法の改正などもありました。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に大きな役割を担っている組合について法的枠組みを概観します。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント
- ⑤ 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金
- ⑪ 労働時間、時間外労働
- ⑫ 休憩、休日、休暇
- ⑬ 労働災害など

### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

### 成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

### 教科書

指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

### その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
  - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
  - 2. 所得はどのようにして決まるのか
  - 3. 45度線モデルとISバランス
  - 4. IS-LM 分析と財政金融政策
  - 5. 経済の変動と成長
  - 6. 賃金・物価・インフレーション
  - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
  - 1. 市場と価格メカニズム
  - 2. 消費者行動の理論
  - 3. 企業行動の理論
  - 4. 不完全市場とは何か
  - 5. 市場の失敗
  - 6. 不完全情報の経済学
  - 7. リスクと不確実性
  - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うよれ慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習をすれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）  
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！大いに利用してください。

## 2. 他学部履修科目





## 2. 他学部履修科目

### 〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	397
中国禅宗史	〈田中良昭〉	398
日本禅宗史	〈石井清純〉	398
禅籍講読Ⅰ	〈田中良昭〉	399
禅籍講読Ⅲ	〈佐藤秀孝〉	400
仏教概論	〈池田練太郎〉	400
インド仏教文化史	〈休講〉	
中国仏教文化史	〈永井政之〉	401
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	401
中国古典語初級	〈石井公成〉	402
中国哲学史	〈前川亨〉	402
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	403
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	403
中世文学研究Ⅰ	〈村上光徳〉	404
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	404
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	405
比較文学	〈満谷マーガレット〉	406
児童文学	〈山口節子〉	407
西洋思想史	〈麻生建〉	407
演劇概論	〈井上理恵〉	408
編集実務	〈長谷川孝〉	408
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	409
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	409
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	410
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	410
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	411
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	412
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	413
アメリカ文学特講Ⅲ	〈川崎笑佳〉	413
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	414
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	414
地理思想史	〈竹内啓一〉	415
地形学	〈小池一之〉	416
人口地理学	〈大友篤〉	416
文化地理学	〈小田匡保〉	417
応用地理学	〈高木正博〉	417
現代地理学特論	〈長谷川均〉	418
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	418
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈趙軍〉	419
考古学特講Ⅲ	〈酒井清治〉	420
日本仏教史Ⅱ	〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	421
哲学史	〈山口祐弘〉	422
歴史哲学	〈麻生建〉	422

産業・職業社会学	〈 休 講 〉	
マス・コミュニケーション論	〈 休 講 〉	
社会福祉発達史	〈林 千 代〉	423
国民所得論	〈吉 野 紀〉	424
日本経済史	〈橋 野 知 子〉	425
中小企業論	〈和 田 耕 治〉	426
社会政策	〈光 岡 博 美〉	427
教育経済論	〈谷 敷 正 光〉	428
日本経済論	〈小 林 正 人〉	430
アジア経済論	〈鄭 章 淵〉	431
中国経済論	〈 休 講 〉	
アメリカ経済論	〈瀬戸岡 紘 志〉	432
ロシア・東欧経済論	〈山 縣 弘 志〉	434
商業政策	〈岩 下 弘 志〉	435
マーケティング	〈曾 我 信 孝〉	436
経営管理論	〈百 田 義 治〉	437
労務管理論	〈堀 龍 二〉	438
財務会計論	〈小 栗 崇 資〉	439
会計監査論	〈飯 岡 透〉	440
管理会計論	〈 休 講 〉	
原価計算論	〈加 藤 利 安〉	441
貿易論	〈古 沢 紘 造〉	442
銀行法論	〈齊 藤 正 寿〉	443
比較憲法	〈 休 講 〉	
親族法	〈竹 中 智 香〉	445
相統法	〈竹 中 智 香〉	445
西洋法制史	〈北 野 かほる〉	446
英米法	〈北 野 かほる〉	447
経済法	〈岡 田 外 司 博〉	448
ヨーロッパ政治論(1)	〈中 野 裕 二〉	448
国際政治学	〈南 山 淳 淳〉	449
ヨーロッパ政治史	〈浦 田 早 苗〉	449
地方自治法	〈富 井 幸 雄〉	450
議会関係法	〈 休 講 〉	
立法過程論	〈前 田 英 昭〉	451
比較政治学	〈三 竹 直 哉〉	452
現代国家論	〈大 塚 桂 桂〉	453
比較憲法	〈 休 講 〉	
経営労務論	〈鹿 嶋 秀 晃〉	454
国際経営論	〈茂 垣 広 志〉	455
商業史	〈山 田 勝 勝〉	456
保険経営論	〈石 名 坂 邦 昭〉	457
財務会計論	〈渡 邊 惠 一 郎〉	458
経営分析論	〈片 桐 伸 夫〉	459
税務論	〈高 木 克 己〉	460
経営情報論	〈高 井 徹 雄〉	461
情報管理論	〈西 村 和 夫〉	462

経営統計	〈長国強〉	463
上代文学史	〈佐原作美〉	464
中古文学史	〈鈴木裕子〉	464
中世文学史	〈岡本恭子〉	465
近世文学史	〈清田啓子〉	465
近代文学史	〈井上優〉	466
現代文学史	〈小林治〉	467
異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	467
時事英語	〈岡本誠〉	468
英語演習Ⅰ〔英語音声の基礎〕	〈岡本誠〉	468
応用計測学	〈檀尾英次〉	469

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	470
社会思想史	〈阿部弘〉	471
国際経済論	〈徳永俊明〉	472
社会政策	〈休講〉	
価格理論	〈荒木勝啓〉	473
国民所得論	〈吉野紀〉	474
銀行業論	〈齊藤正〉	475
中小企業論	〈和田耕治〉	476
人口論	〈森岡仁〉	477
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈休講〉	
貿易論	〈古沢紘造〉	478
会計監査論	〈休講〉	
管理会計論	〈休講〉	
法思想史	〈高橋洋城〉	479
日本法制史	〈休講〉	
西洋法制史	〈北野かほる〉	480
経済法	〈岡田外司博〉	481
国際関係論	〈首藤素子〉	481
地方自治法	〈富井幸雄〉	482
倒産処理法	〈奥野善彦〉	483



[第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅学概論	さ とう ひで たか 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禪宗）の基本的な歴史（禪宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国 禅 宗 史	田 中 良 昭 <small>た な か りょう しょう</small>	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達摩を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

菩提達摩の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達摩の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教 科 書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参 考 書 等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 禅 宗 史	石 井 清 純 <small>い し い せい じゅん</small>	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

中国において成立した禅宗は、鎌倉時代に日本に伝播し発展した。それは、ある部分では中国の叢林制度そのままの移植であり、またある部分では柔軟に日本の文化に順応して変容した。本講義では、その展開の様相を歴史的に概観し、現存する禅宗各派の成立基盤を明確化してゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

禅の伝来より、時代を追って明治時代の禅宗三派の成立までを概観する。

1. 奈良・平安時代の「禅」の伝来、
2. 「禅宗」の成立、
3. 五山と林下、
4. 禅宗教団の地方展開、
5. 江戸幕府の宗教政策と禅宗、
6. 隠元の来朝
7. 明治維新と禅宗の統合、
8. 禅宗各派の再成立。

成績評価の方法

前期終了時のレポートおよび年度末の筆記試験をもって判定する。

教 科 書

講義ごとにプリントを配布。

参 考 書 等

竹貫元勝『日本禅宗史』（大蔵出版）・船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 I	た なか りょう しょう 田 中 良 昭	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、昨年に引続き、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した記録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生まれ出され、その間に著しい増広がなされたが、本講義では、最も素朴な姿を伝える現存最古のテキストである敦煌本の内、最初にその存在の知られたスタイン本（S5475号）と、近年、周紹良氏によってその内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦博本）を比較しつつ、その読解を通じて、初期の禅宗語録の特徴、禅思想、特に南宗禅の基本的立場を明らかにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 慧能に至る初期の禅宗について、2. 『六祖壇経』とその構成、3. 前年に講読した部分の概要、4. 新たな部分の講読

履修上の留意点

原文（影印本）に触れることの意義を体験し、認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の出席状況と学年末試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

スタイン本に興聖寺本を加えて校訂したヤンボルスキー校訂本と周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参 考 書 等

柳田聖山訳『六祖壇経』（世界の名著）18『禅語録』（中央公論社）及び〈世界古典文学全集〉36A『禅家語録』I（筑摩書房）、楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）



科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅籍講読Ⅲ	佐藤秀孝	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まり、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨済宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名法語などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次を読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（？～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参考書等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』（岩波文庫・岩波書店）520円  
 酒井得元訳註『永平元禅師語録』（『道元禅師全集』第5巻に所収）（春秋社）4,120円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教概論	池田練太郎	英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブッダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがひ、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブッダの生涯、②仏の本質、③法——仏教の真理観、④一切法——法の分類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心——実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』、東京大学出版会刊、2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国 仏教 文化 史	<sup>なが</sup> 永 <sup>い</sup> 井 <sup>まさ</sup> 政 <sup>し</sup> 之	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参 考 書 等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本 仏教 文化 史	<sup>はかま</sup> 袴 <sup>や</sup> 谷 <sup>のり</sup> 憲 <sup>あき</sup> 昭	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

「成仏と捨身と聖（ひじり）」という課題のもとに講義を行いたい。「捨身」は、飛鳥時代の玉虫厨子に描かれた絵を見ても分かるように、我が国古来よりの重要なテーマである。これに穢れなどの観念も加わって、穢れた身を清める行、およびそれを行う行者としての「聖」の観念も我が国の文化の中には大いに定着した。かかる文化の展開の背景には、大乘仏教と共に展開した「成仏」思想というものが大きく影響している。このような文化史の問題を、上記の課題のもとに、高崎直道博士の下記の著書を教科書として用いながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書を中心に、そのテーマの展開に応じて、下記の参考書などを資料として取り上げながら、課題追求を行っていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義において指示する資料や文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教 科 書

高崎直道『死は成仏か』（佼成出版社）1,400円

参 考 書 等

『大乘本生心地観経』（大正蔵、3巻、291-331頁）

本居宣長『大祓詞後釈』（本居宣長全集、第7巻、筑摩書房、75-183頁）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	石井 公成	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『庄子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	前川 亨	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。その際、東アジア世界の中での中国思想という広い視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式がどのような特徴をもち、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なるかを考える機会となれば幸いである。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の関心を勘案して、前年度同様に孔子から始めて唐・宋代に及ぶか、唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国の思想・宗教・文化などに関心を有する多様な受講者の参加を期待する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識を持っていること（持とうという意欲をもっていること）が望ましいが、授業じたいはそれなしでも理解可能であろう。継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで受講しないでもらいたい。問題意識と積極的な意欲に富む受講者を求める。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらおう。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徹しながら進めたい。積極的な問題提起、討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	おののひろし 小野寛	禅・仏教・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は万葉集巻三から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	まつおかともゆき 松岡智之	禅・仏教・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

古典の文学作品は現代においていかに読みうるか。作品理解の基盤となるものは何であるかというのを、『源氏物語』について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

作中人物の死をめぐる叙述を中心に、『源氏物語』を読み進める。

履修上の留意点

『源氏物語』を通読したことのある者、またはこれを機会に通読する意欲のある者の受講を求める。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	むら 村上 かつ 光 徳	禅・仏教・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい 「中世女流日記」文学について考察する。作者の問題、時代背景、人間関係などにつき講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール 「十六夜日記」・「たけむきが記」・「とはずがたり」などの作者、作品を中心に他の時代の作品をも参考にして考える。

履修上の留意点 出席を考慮する。

成績評価の方法 筆記試験が中心

教 科 書 教科書は使用しない

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	この 近 え 衛 のり こ 典 子	禅・仏教・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい 井原西鶴の浮世草子のうち、『本朝二十不孝』を読む。下剋上の世界を生き延びて政権の座に就いた徳川氏は、主君への忠・親への孝を絶対的な価値として、永くその頂点に君臨することとなった。その、幕府による忠孝の奨励を逆手に取って「孝を勧める一助」と称して書かれたのが本書である。徹底した親不孝者を描き出すこの作品は、中国に淵源を持つ『二十四孝』や藤井瀨斎作『本朝孝子伝』を下敷にしたパロディともなっている。近世の時代背景を押さえつつ、西鶴の軽妙な文章を味わいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール  
I 西鶴略歴  
II 『本朝二十不孝』概略  
III 卷一の一「今の都も世は借物」  
IV 卷二の二「旅行の暮の僧にて候」  
V 卷二の四「親子五人仍書置如件」  
VI 『二十四孝』『本朝孝子伝』との比較  
VII まとめ

成績評価の方法 出席状況、及びレポートで評価する。

教 科 書 佐竹昭広『絵入本朝二十不孝』（岩波書店）2,400円。適宜プリントを配布する。

そ の 他 講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅰ	やま さき ま き こ 山 崎 真 紀 子	禅・仏教・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

21世紀の幕開けである。日本近代文学を通して私たちはいったい何を学びとることができるのだろうか。20世紀最後のオリンピックは女性の活躍が目立ったと報道されていた。(男性)と(女性)という枠組みで未だ語られることの多い現代であり、それならばこの境界線を崩す前に、(女性)という枠組みから見えるものは何であったのか? この百年間において、(女性)は歴史的・文化的にどのような変貌を遂げたのか? いったい何が変わり、何が変わらなかったのか? を考えてみる必要があるのだろう。講義では日本の近代化が進められた明治期から昭和までの女性作家の作品を読むことを通して、上記の問題を考えていきたいと思う。女性が表現してきた言語空間を、さまざまなアプローチ方法で読みとり、現代に照射させ、未来に向かってどのようなヴィジョンを抱くことができるのかを考察していきたい。また、未だ学問の世界は男性中心である。実社会の現実はそれ以上だ。人=manではないように男性の視点=ニュートラルではないことを、女性文学を通じて発見・認知していく力をつけたいと思う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

樋口一葉、与謝野晶子、水野仙子、田村俊子、吉屋信子、宇野千代、尾崎翠、岡本かの子、佐多稲子、林芙美子などの短編小説を読む。女性作家の作品を読むからといって、女子学生のみが対象とさせていただきたくはない(そんなことを考える人はいないだろうか)。女性がいったいどのようなメンタリティをもつのかを身体構造も含めて、より一層理解を深めるよい機会となるように小説以外の資料も用いてアプローチしていく。一方的な講義ではなく、双方向的な授業を行う。

#### 履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を読んでくること。ただ講義を聴くという受け身的な態度ではなく、常に意見を発表できるよう、積極的な態度を望む。

#### 成績評価の方法

平常点を重要視する。前期・後期終了時にレポート提出を課し、ペーパーテストは行わない。3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しない。

#### 教 科 書

女性文学会編『女性文学の近代』(双文社出版)2,000円  
 この他、文庫本などを使用することもあるかもしれない。その際は適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	みつたに 満谷マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

#### 成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

#### 教 科 書

プリント

#### 参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995  
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991  
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童文学	やま ぐち せつ こ 山 口 節 子	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日的状況をのり超える力をもつことを、M. エンダの『モモ』ヤルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教科書

授業の際に、事前に紹介する。

参考書等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

その他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋思想史	あ せい けん 麻 生 建	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。  
特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教科書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参考書等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

その他

講義。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇概論	井上理恵	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウロジー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオや舞台で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講 X を同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいった批評を書いてもらうつもりでいるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト。

教科書

授業時に販売（約500～800円）「井上理恵講義ノート」（私家版）

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

その他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
編集実務	長谷川孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理	4

講義のねらい

編集とは、〈だれかに—何かを—伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」（視点・視野・視角）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取る力、自分の表現をつくり出す力を養うことを大切にします。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した（自分なりに感じ気づき考えた）ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、自己評価点および感想文（授業で書く短文）など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅰ	いしはら こうさい 石原孝哉	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

シェイクスピアを中心に、ルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。

講義の内容・  
授業スケジュール

主として取り上げる内容は、① 神話と文学 ② 文学の源流 ③ 詩・民話・劇 ④ ルネッサンスと新学問 ⑤ トマス・モアと新しい流れ ⑥ エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦ クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ ウィリアム・シェイクスピアの世界Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ ⑨ シェイクスピアと歴史Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ⑩ イギリスの文化（歴史と文学を中心に）

成績評価の方法

期末試験およびレポートで評価する。

教科書

『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかの まさお 高野正夫	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おが ぎま とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教 科 書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参 考 書 等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おが ひろし 中 岡 洋	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがなくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教 科 書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

そ の 他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらおう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講 V	ふ じ かわ よし かつ 富 士 川 義 之	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい	英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。
講義の内容・ 授業スケジュール	講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。
履修上の留意点	積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。
成績評価の方法	レポートと試験。
教 科 書	コピーを配布する。
参 考 書 等	適宜指定する。
そ の 他	講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自往していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆかかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を知るためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構の世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

#### 成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

#### 教科書

- イ) *Elements of fiction* by R.Scholes（英宝社）
- ロ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）
- ハ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

#### 参考書等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
- ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand 等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	かわ さき えみ か 川 崎 笑 佳	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

Mark Twain の作品を読み、歴史的背景等を考慮に入れつつ、その作風、思想を探っていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

ディスカッション形式で授業を行う。又、毎回数名の学生に発表してもらう。

履修上の留意点

予習を前提に授業を進める。

成績評価の方法

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言や小レポートを平常点とし、前期・後期あわせて2回のレポートを加えて、年間の評価とする。

教 科 書

『*The Higher Animals*』（北星堂書店）1,500円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Shirley Jackson (1919-65)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947- )、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930- )である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

定期試験ではなく、前期二回、後期二回の課題やその他の合計で評価する。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）

教科書

- 1) マクミラン『演劇用語辞典』3,300円
- 2) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禅・仏教・国文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	たけうち けいいち 竹内啓一	禅・仏教・国文・ 英米文・歴史	4

#### 講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシャンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の連接と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的実践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をし、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを年間4回おこなう。

#### 成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

#### 教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円  
日本の地理思想史については、私が作成した資料を配布。

#### 参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。  
手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 (古今書院)  
西川治 (編) 『地理学総論』 (総総観地理学講座1) (朝倉書店)  
水津一郎 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)  
野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)  
飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)  
野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)  
竹内啓一 『とぼろうく』 (古今書院)  
織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)  
織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)  
長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)  
スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』 (原書房)  
増田義郎 『大航海時代』 (世界の歴史13) (講談社)  
ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代までにいたる地図製作の偉大な物語』 (河出書房新社)

日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。  
*Modern Japanese Geography: An Intellectual History*. Kokon-Shoin



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 形 学	こ 小 池 一 之	禅・仏教・国文・英米文・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：  
地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、  
地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）  
海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形（火山地形など）  
地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教 科 書

小池一之・坂上寛一ほか著『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学-地形と土壌」』（東海大学出版会）2,575円

参 考 書 等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円  
小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

そ の 他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人 口 地 理 学	おお とも 大 友 篤	禅・仏教・国文・英米文・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	禅・仏教・国文・英米文・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、本講義では、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市  
5. 巡礼

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	た か き ま さ ひ ろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とののかかわりあいを利水・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教 科 書

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書 等

配布プリントをとおり随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教・国文・英米文・ 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつぎ込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ (近代)	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘	禅・仏教・国文・英米文・ 地理・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 X (近・現代)	ちょう 趙	禪・仏教・国文・英米文・ 地理・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山滿と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

#### 履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

#### 成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

#### 教科書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年  
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

#### 参考書等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年  
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.esthi-hone.jp/~zhaojun> など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	さか い きよ じ 酒 井 清 治	禅・仏教・国文・英米文・ 地理・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

考古学における古墳時代は、古墳の築造に特色をもつように古墳の変遷はその時代を知る重要な要素である。また、古墳からの出土遺物も古墳時代を知るためにも重要である。このような古墳の変遷、地域色、あるいは出土遺物から、列島における中央・地方の関係、あるいは各地の首長層の動静を知ることが可能である。

この講義では、古墳時代を知るために、古墳あるいは出土遺物から古墳時代史を探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

古墳時代の論文を受講者とともに読み解く。

履修上の留意点

遅刻はしないように。

成績評価の方法

平常点とレポートによる。

教科書

白石太郎編『古代を考える 古墳』（吉川弘文館）

参考書等

授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	禪・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やまぐちまさひろ 山口 祐 弘	国文・英米文・地理 社会・福祉・心理	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	あそけん 麻 生 建	禅・仏教・国文・英米文・ 地理・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・心理	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

特にきめないが、今岡他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。



科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よし の 吉野 おさむ 紀	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウドイング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウドイング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし 橋 野 知 子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知ることこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済1－世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済2－動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済－国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長1－政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長2－産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望－市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にして下さい。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずです。

成績評価の方法

夏休みのレポートと試験を総合して評価します。再試験を実施します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式ですが、ビデオの利用による説明も取り入れたいと思っています。昨年度は夏休みのレポートの準備として、講義中に「自分のふるさとの経済史」に関するアンケートを1回行いました。今年度も類似の内容のアンケートを行う予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	わ 和 だ 田 こ う じ 治 耕 治	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

平成8年度版「事業所統計」によると、わが国の第1次産業を除く約650万の事業所の内、中小事業所は98.9%を占めており、大企業所は0.7%に過ぎない。また、雇用者数についても、総雇用者、約5,435万人の内、中小事業所で雇用されているものは、80.4%、大企業所では19.6%となっている。このようにみていくと、中小企業はわが国経済において、大きな位置にあるといえる。本講義は、わが国経済で大きな地位を占めている中小企業の実態を踏まえつつ、今日までの中小企業研究の蓄積に基づいて、理論的水準を落とすことなく進めることとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

中小企業に関する実態や問題を理論的、歴史的に把握した上で、中小企業を構造的視点により考察する。また、近年、中小企業研究は非常に多面的な展開を示している現状を鑑み、最新の研究動向について、触れることとする。さらに、必要に応じて、視聴覚教材を用いることにより、受講者の問題意識を鮮明化させる。

成績評価の方法

期末試験とレポートによる評価とする。片方だけの提出は合格点にはならない。

教 科 書

三井逸友編著『現代中小企業の創業と革新』（仮題）（同友館） 近刊

参 考 書 等

中小企業庁編『平成13年度版中小企業白書』（大蔵省印刷局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	禅・仏教・国文 英米文・地理・歴史	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上のべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育経済論	や 谷 敷 正 光	禅・仏教・国文・英米文・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
  - (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
  - (2) 日本の経済成長と教育
  - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
  - (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
  - (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
  - (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
  - (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
  - (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
  - (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
  - (10) メージャー首相の経済と教育「競争力白書」(一部ビデオ)
  - (11) ブレア首相の経済と教育「知のネットワーク」(一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
  - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
  - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
  - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
  - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
  - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
  - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
  - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
  - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
  - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
  - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ①授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ②再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

## 参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

- 土志田征一『レーガノミックス』（中公新書）
  - 原田和明『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）
  - 大原進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）
  - 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
  - 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
  - G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
  - 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
  - ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
  - A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
  - 榎西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
  - 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
  - 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
  - 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
  - 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
- その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	こ ばやし まさと 小 林 正 人	禅・仏教・国文 英米文・地理・歴史	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、今の平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程  
戦後改革  
日本の高度経済成長：歴史とその原因  
産業政策の役割  
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の産業構造  
産業構造の理論と歴史  
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
3. 日本の経済発展の総括と展望  
平成不況の意義  
情報通信革命（インターネット）
4. 日本の産業問題  
製品の安全性と PL 法  
環境問題と経済発展

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義では OHP などをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適時指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
  - (1) 植民地経済の概要
  - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジア NIEs の経済発展
  - (1) アジア NIEs の範囲と経済発展の特徴
    - ※ NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
  - (2) 開発独裁体制の成立
    - ※ 韓国の事例、その他の開発独裁
  - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
  - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
  - (2) ASEAN の歴史
  - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
  - (1) アジア NIEs 論
  - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
  - (1) APEC の発展過程
  - (2) ASEAN の自由化過程
  - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
  - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
  - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
  - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

### 講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカでのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済について関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し、資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマにはおおむね以下のような項目を予定していますが、すべてをとりあげることは時間の制約上むずかしいので、受講者の要望の強いものから優先的に講義していきます。

#### 《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

#### 《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

#### 《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とベンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

#### 《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位と IMF

◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカと EU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- ◇アメリカとカナダ・メキシコ

《むすびの話題》

- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

授業の方法

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりは、ふたたび今日的话题にもどって、その日の講義で学んだことが現実経済のなかでどのように機能しているのかを確認します。

あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。トピックスのコーナーは、この講義の大きな特色として位置づけています。

アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして楽しくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

成績評価の方法

熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

年間をとおして随時、ほぼ授業2～3回につき1回の割合で受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。それぞれ前回または前々回の講義の内容にかんすることを書いてもらうことになるので、おのずと授業には恒常的に出席していないとよい成績がとれないこととなります。

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には退屈させない楽しい講義をするつもりですし、またそういう受講者がよい成績をおさめられるようにしているからです。この平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のたてまえから、再試験も実施いたしません。

教科書・参考書等

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店 1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英文・米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 90年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
  - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
    - 3) 1991年改正法
  - 5 凍結宣言、要綱及び条例
  - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
  - 7 規制緩和
    - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
    - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
  - 8 特定商業集積法
  - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
  - 1 大店立地法
  - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
  - 1 イギリス
    - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
    - 2) 日曜営業問題－商店法
  - 2 フランス－ロワイエ法
  - 3 ドイツ－土地利用計画
  - 4 アメリカ－ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない

参 考 書 等

その都度指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	曾 我 信 孝	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いとしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
  - ・消費者の価値観とマーケティング支配
  - ・マーケティングと取奪関係
2. 製品政策
  - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
  - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
  - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
  - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
  - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
  - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
  - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
  - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
  - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
  - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
  - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
  - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
  - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
  - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
  - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけでなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からは必ず可能性がある。
4. 再試験は実施する

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	禅・仏教・国文・英米文・ 地理・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

21世紀を迎えて、日本企業は大きく変貌しています。その底流には、IT革命やグローバル化の進展があります。IT革命はいん石が地球に衝突した（恐竜の死滅）のと同様な影響を産業構造・経営組織・労働組織に及ぼし、コア・コンピタンスを武器としたネットワーク型経営を現実化し、ビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できる時代に終止符を打とうとしています。また、ボーダレス化したグローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、「グローバル・スタンダード（アメリカン・スタンダード）」が「日本的経営」の根本的変革を迫っています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併や提携）、持株会社の解禁・普及、企業集団や下請関係の再編、猛烈なリストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭など、日本企業の変貌が日々新聞やテレビで報じられています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からその現状と今後の課題についてアプローチします。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

（前期の授業スケジュール）

- ① 授業ガイダンス（経営管理論とはどのような学問か）
- ② 現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ③ 大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ④ 経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ⑤ 経営組織の基本形態と発展形態（ラインとスタッフ、事業部制、カンパニー制、分社化…）

（夏休みのレポート）

（後期の授業スケジュール）

- ⑥ IT革命の進展と企業経営の変容（ネットワーク型経営と企業間関係）
- ⑦ グローバリゼーションの進展と企業経営の課題（グローバル化、ローカル化、異文化共生）
- ⑧ 日本の企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府）
- ⑨ 日本の生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ⑩ 日本の労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…）

（学年末試験）

#### 履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業テーマと関連づけて講義します。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心に向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学総論、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

#### 成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。  
再試験なし。

#### 教 科 書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2001年。

#### 参 考 書 等

授業や課題レポート（夏休み）に関連して随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、おおよその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
  1. 労務管理の目的、機能、対象
  2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
  1. 電産型賃金体系
  2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
  1. 日本的労務管理の形成と展開
  2. 労使関係の転換
  3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
  1. 雇用形態の多様化
  2. 賃金・処遇の成果主義化
  3. 職能資格制度とキャリア形成
  4. 成果主義と目標管理と人事考課
  5. 労働時間の弾力化
  6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施する。

教 科 書

未定。初回のガイダンス時に指示する予定。

参 考 書 等

講義中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	小栗 嵩 資	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

#### 履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要で、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。なお、再試験は行わないので、注意して下さい。

#### 成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので、注意して下さい。

#### 教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

#### 参考書等

必要に応じて紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	飯岡透	簿・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表が、その企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義での授業内容とスケジュールは、次のとおりである。

[前期]

- 4月 会計監査の目的と種類  
 (1)会計監査の目的  
 (2)会計監査の種類  
 (3)監査基準の必要性和その構造
- 5月 わが国監査制度の展開  
 (1)第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開  
 (2)第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開  
 監査人の要件と責任  
 (1)監査人の要件  
 (2)監査人の選任と解任  
 (3)監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用  
 (1)監査要点の意義と種類  
 (2)通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容  
 (1)監査証拠の意義と分類  
 (2)十分な監査証拠と合理的な基礎

[後期]

- 9月 内部統制と監査リスク  
 (1)内部統制の構成要素  
 (2)内部統制の評価  
 (3)監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査  
 (1)監査契約と予備調査  
 (2)監査計画の目的とその設定  
 (3)組織的監査の重要性と審査機能の整備  
 (4)他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調書の目的と種類  
 (1)監査調書の目的と作成要件  
 (2)監査調書の種類と保存  
 経営者確認書の意義と記載内容  
 (1)経営者確認書の意義と目的  
 (2)経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書  
 (1)監査報告書の意義と機能  
 (2)監査報告書の種類  
 (3)短形式監査報告書の記載内容  
 (4)特記事項の記載内容  
 (5)監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、財務会計論及び簿記論の講義を履修し、財務諸表について十分理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート(30%)及び年度末のテスト(70%)の結果によって評価する。  
 なお、再試験は実施する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』(中央経済社)  
 飯岡透著『中間財務情報制度論』(中央経済社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	かとうとし やす 加藤利安	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状况の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになっている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとすれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

#### 成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。  
再試験を実施しない。

#### 教科書

最初の授業時に指示する。

#### 参考書等

授業時に適宜挙げる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる古 さわ沢 こう紘 そう造	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. 公正と貿易
  4. グローバリゼーションと貿易
  5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

#### 成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。再試験を実施する。

#### 教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正 齋 藤 正	禅・仏教・国文・英米文・ 地理・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバル」な金融市場の実現を掲げ、98年4月にスタートした「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度が大きく変わろうとしている。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の不況が長引き、不良債権処理が遅れるなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安が高まってきた。それは、特に地域金融機関において厳しく表れ、地域経済に深刻な影響を及ぼしている。

銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く求められている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 前期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
  - ① まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
  - ② 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
  - ③ 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- 2) 後期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
  - ① 銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いはどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
  - ② 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書

大橋・小西・齋藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー 金融業』（大月書店）2001年  
山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年。  
日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひさし 齊 藤 寿	権・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用取用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
親 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禪・仏教・国文 英米文・地理・歴史	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円  
六法

科目名	担当者名	配当学科	単位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 I 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造 II イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1編 概論
  - 第1章 法系論
    - 第1節 西洋近代法の法系
    - 第2節 英米法系の特色
  - 第2章 英米法の特徴
    - 第1節 法内容の歴史性
    - 第2節 法観念の社会性
    - 第3節 法思考の実務性
  - 第3章 判例法の理論
    - 第1節 総論：「判例法主義」
    - 第2節 先例拘束性の原理
    - 第3節 判決における「法」
    - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
  - 第1章 裁判所制度
    - 第1節 イギリス
    - 第2節 アメリカ合衆国
  - 第2章 訴訟過程
    - 第1節 英米訴訟制度の特徴
    - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おがだ としひろ 岡田 外司 博	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1)	なかの ゆうじ 中野 裕 二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

本講義では、西ヨーロッパの政治や社会の今の動きをできるだけ理論的に把握することを目標とする。対象となるのが「西ヨーロッパ」であるので、すべての国やすべての政治現象を網羅的に紹介することはできないので、取り扱う国やテーマを絞っていく。そこで、本年度はフランスを素材として、フランスの共和制は「共生」の理念であるとの理解に立って、共和制への異議申し立てと見なされるコルシカの民族主義、移民の自己確立、極右政党の台頭の実状、それが共和制にもたらす影響を明確にしていこう。そして、「共生」のためにはどのような社会編成の理念に立つべきかについて考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

1. フランス共和制と共生の問題
2. コルシカとフランス共和制  
補論 コルシカの紛争に見る「民族」
3. 「フランス人であること」の多様性  
補論 90年代フランスにおける「もうひとつの民族問題」
4. 「新しい人権主義」の社会観と共和制
5. フランス共和制の理論的位置
6. 「新共和主義」と「ポスト共和主義」  
補論 統合原理を模索するフランス
7. 「共和制モデル」とフランス共和制

成績評価の方法

学年末試験と小テスト・レポートを7：3の割合で総合的に評価する。ただし、学生の積極的参加（意見、質問）は別個に高く評価する。

教科書

中野裕二『フランス国家とマイノリティ』（国際書院）1996年 2,718円  
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』（人文書院）1998年 2,600円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	みなみ やま あつし 南 山 淳	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は「戦争」と「新たな世界秩序の構築」というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバリゼーション」に象徴される国境を越えた様々な活動の増殖が、今日では国際政治構造そのものに大きな影響を与えるようになってきている。

このような（国家間関係およびトランスナショナルな行為主体間の関係の総体としての）国際政治現象を構造として理解することが本講義の目的である。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際政治の動態のなかで「持続」と「変容」の領域を各々確定していく作業に他ならない。具体的には、変動する国際政治構造の全体像を歴史と理論の両側面を連関させながら検証していきたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存等、国際政治学の基礎概念の理解と主要理論の概説に重点をおき、後期は地域紛争、グローバル経済、地球環境、ジェンダー等、冷戦後の国際政治における具体的諸問題を取りあげる予定である。詳細については開講時に述べる。

履修上の留意点

政治学、近現代史および国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

レポートおよび定期試験。

教科書

特定の教科書は使用しないが、講義理解のために下記の参考書を読んでおくことを必須とする。

参考書等

PRビオティ・M.V.カピ 著 (D.J.ウェッセルズ・石坂菜穂子 訳)  
『国際関係論 第二版-現実主義・多元主義・グローバリズム-』(彩流社) 1993年。  
小林誠・遠藤誠治 編『グローバル・ポリティクス』(有信堂) 2000年。  
石井修 著『国際政治史としての二〇世紀』(有信堂) 2000年。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うら た き なえ 浦 田 早 苗	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- 近代の始点-ルネサンス期と18世紀 ○英国革命とIRA ○ジャコバイトと英国王室
- 議院内閣制の成立変遷過程 ○英国における政治腐敗防止過程 ○フランス革命と国家の概念
- フランス政治におけるジャコバン主義 ○「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- 統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート—7～8×400字—は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）、『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）

なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度に地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
立 法 過 程 論	まえ だ ひて あき 前 田 英 昭	禅・仏教・国文・英文・文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

法律はどのような経過を経て、どのような人々の手によって、どのようにつくられるのかを勉強することによって、法律、政令、条例などの法令の起案の仕方や、社会生活において必要とされる規則のつくり方に習熟し、法令や規則の理解を容易にすることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

立法過程とは、立法を中心に議会でのさまざまな決定をめぐって繰り返される議会内外諸勢力の公式・非公式の相互作用の実質的な過程であり、狭義には、議会内部での法律制定に関する立法手続の諸過程をさす。今年度は、後者を主として対象とする。

[取り上げるテーマ] 立法過程とは。国会における審議過程。立法過程における政府の役割。立法過程における議員の役割。内閣提出法律案。議員提出法律案。内閣法制局と議院法制局。常任委員会制。法律の体裁と用語の解説。法律・政令・条例。政府委員。審議会。会期制。会議の公開。委任立法（行政立法）。法律と予算。法律の公布・施行。その他サッカーくじ法など個別法案。（順不同）

#### 履修上の留意点

この講義は、公務員志望の学生、立法機関としての国会や地方議会に関心のある学生向きである。できるだけ出席して国会職員としての経験談も聞き、講義のテーマに関連した時事問題の解説にも注目すること。

#### 成績評価の方法

平常点と期末試験（ノート持ち込み可）

#### 教科書

前田英昭『国会の立法活動』（信山社）

#### 参考書等

小島和夫『法律のできるまで』（日本評論社）  
浅野一郎『立法過程』（ぎょうせい）  
前田英昭『国会の100年』（原書房）  
岩井奉信『立法過程』（東大出版会）  
林修三『法令用語の常識』（日本評論社）  
中村睦男・前田英昭『立法過程の研究』（信山社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	み たけ なお や 三 竹 直 哉	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

民主化、民族対立管理、移民政策という三つのテーマを柱にします。

履修上の留意点

専門科目の中でも専門性の高い授業として提供します。

成績評価の方法

期末試験は12月の授業期間中と、1月の定期試験期間中の二度です。授業中の発言や小テストでも得点できます。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は〈必ず〉参照してください。

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円

参 考 書 等

授業中に指示します。

そ の 他

最新の情報は、ゼミのホームページで確認できるようにします。法学部の公式ページからリンクをたどってきてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学において重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論(史)的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたとき、政治学=国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目(憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学)の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

A 国家論の課題ならびに研究方法

①序論 ②官立アカデミズムの形成

B 国家学説の史的展開

①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説

C 法治国家の構成原理

①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権

D 行政国家の構成原理

①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

#### 成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

A方式(レポートによる単位認定)

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式(試験による単位認定)

～ペーパーテスト(中間・期末)による評価です。

C方式(AとBの折衷)

※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

#### 教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂) 3,000円

#### 参 考 書 等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

#### そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)にあります。電話は、3418-9377(直)です。質問など気軽に訪問してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をする。出席は取らないので、出席点はなし。①私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。②携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、減点の対象とする。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみによる。①空欄補充問題・正誤問題・穴うめ問題（約60点分）②論述問題3問（約40点分）の予定。中間試験・出席点はなし。詳細はホームページでも公開。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）、1993、(3,000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）、1995、(2,600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992、(3,500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。参考文献はホームページで紹介。

そ の 他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフ、ビデオを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。  
[http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima\\_Seminar/index.html](http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html)  
 この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣ひろ志	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

### 講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか？」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業（MNC）特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

### 講義の内容・授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本的マネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。その日系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点について理解を深められる授業内容と構成を予定している。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説、経営資源移動仮説等）
- III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、アンゾフ・モデル、EPRG モデル等）
- IV. 国際競争戦略（国際戦略の基本パターンないしタイプ）
  1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済、比較優位・国家特殊優位性）
  2. 国際競争戦略の類型（ポーター・モデル、ドズ＝ブラハラード・モデル、バートレット＝ゴシャール・モデル等）
  3. 国際戦略提携
- V. 国際戦略と組織構造
  1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）
  2. ミクロ構造および内部ネットワーク（トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル）
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
  1. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
  2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その必要性と問題点、進出地域別特徴）
  3. 異文化マネジメントと海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
- VII. 国際マーケティング戦略（海外市場参入、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略等）

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

### 成績評価の方法

成績は、期末試験の結果による。

### 教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

### 参考書等

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』（学文社）2,800円

### その他

プロジェクターを用いて授業を進める。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継 続 性     |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量     |
| (3) 利 潤         | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品         | (9) 価 格 革 命   |
| (5) 市 場         | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。  
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いし な ざか く に あき 昭 石 名 坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ え いち ろう 渡 邊 恵 一 郎	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、質的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開など）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と表示、外貨換算、財務分析、国際会計基準の動向など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

(1)授業の方法は、講義による。(2)簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析論	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

- 皆さんが将来を託そうとする会社は、
- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- \* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」  
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\* テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	祥・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅲ、Ⅱ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSS と ES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待される DSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお受講人数が収容可能であれば、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータルームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。  
その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教科書

開講時に指定する。

その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。  
この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・  
授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の間中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教 科 書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参 考 書 等

そのつど紹介します。

そ の 他

[関連科目] → 経営情報論  
この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営統計	ちようこ きよう 長 国 強	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを取集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(7月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意思決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年1月中旬)	2回

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

参考書等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』(培風館)1992  
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』(日本理工出版社)1992

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。  
この科目は、再試験を実施しません。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学史	佐原作美	禅・仏教・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に平安初期頃までの文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話を豊富に含む『古事記』や『日本書紀』や『風土記』などの散文学をはじめ、『万葉集』や漢詩集などの韻文文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況（重視）などを見て評価する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』（新典社）1,030円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学史	鈴木裕子	禅・仏教・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

古代後期（平安時代を中心として）の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

神作光一編『中古文学研究』（双文社出版）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学史	おか もと ゆき こ 岡 本 恭 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

日本文学とは何か。それを説明する方法の一つに文学史がある。これは日本文学の全体を歴史的展開の軌道に乗せながら、作品・作者・思想などを考えもので、日本文学の全貌を理解する有力な方法の一つである。

ここでは中世期という範囲を設けてはいるが、いうまでもなく前時代の、そして次代への影響についても考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 和歌伝統の回復と衰退について
- ② 新しい詩の創造（連歌）について
- ③ 擬古物語と歴史物語について
- ④ 短篇小説への移行について
- ⑤ 説話集の盛行について
- ⑥ 禅僧たちの文学について
- ⑦ 叙事詩文学世界の展開（軍記もの）について
- ⑧ 自照文学について
- ⑨ 芸能と文学について

履修上の留意点

教科書を用いないが、プリントにて参考資料を配布する。ただし、これはあくまでも「参考資料」であって、主たる資料とはならないので、個々で調べて勉強しなければならない。

成績評価の方法

前期、後期に分けて行う予定であるが、授業の状態によって変更する。また出席状況も評価点に加味する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学史	せい だ けい こ 清 田 啓 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

近世（江戸時代）の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生まれ出されたかを探って行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭に置いてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』（双文社出版）1,800円

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学史	井 上 優	禅・仏教・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

### 講義のねらい

「文学史」という言葉を聞くと、どのようなことを思い浮かべるだろうか。たとえば、中学高校時代の国語の試験問題や、大学入試の問題に出題された、有名な作者や重要とされる作品、その文学上の主義に関する事項、あるいはそのためにそれらをやみくもに暗記させられた記憶などであろうか。「文学史」とは何かと問われると、文学の生成発展の歴史を記したものとすぐに答えたいだろうか。しかし「文学史」も、ひとつの歴史記述として作成されたものである以上、そこに描かれているものは、文学現象として生じたありとあらゆる事実を無私な立場から客観的に、ありのままに復元したものではあり得ない。国語の授業時間や試験の際に覚えたあの傑作とされる作品名やそれを書いた著者名の羅列は、ある立場からの選択と分類によるものにほかならず、そうした「文学史」の記述からこぼれ落ちている数多くの作品や作者が存在していたことはいうまでもない。たとえば、ある「文学史」と銘打たれた書物が取り上げている特定の時期について、当時の雑誌などに掲載されている文壇月評の類いを実際に手にとって見れば、従来の「文学史」が整理し記述している文学的事象との間にさまざまな相異が発見できることになる。クレマン・モワザンは、「文学史は、作品の〈出版〉と同じプロセスによっている。そのプロセスから、選択と組織化のモードに従ってひとつの言説が構成されるのであるが、その言説の主たる特徴は価値づけにある」、「この価値づけは、視点の取りかたとそこから生ずる価値判断に依拠する。文学史が差異や差別によって根拠を示したものを、教育機関が承認して公的なものとする。こうして、過去へとさかのぼって、文学作品として指定されたものが、教育という価値づけの装置によって固定化される」（『文学史再考』）と指摘している。多くの国語教科書に採用され、全国の生徒たちに教授される安定教材のように、えてして、「文学史」は教育と連動する形で、ある作品の正典化を行うと共に、そこに定められた規範や価値観を生徒達が受け入れさせられることに帰結する。だからまず、わたしたちは、教育現場で「文学史」が教授されるとはいかなることかを問いかけなければならない。そしてそのうえで、文学作品を規制し意味を付与している規範、コード、文体やジャンル、そして文学生産物の市場とその流通、消費の過程と場、あるいは発表された作品を読む当時の読者の「期待の地平」と作品との関わりなど、文学現象の広く総合的な目配りのもとで、近代文学を再考することが目標となるだろう。

### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では明治大正期の文学的事象について探って行く。文芸思潮の紹介とそれに付随する作品の列挙に終始することは避け、いくつかの作品を個々に具体的に読解しながら、近代文学として出来たことは何かを見極めることに努めたい。「文学」論であると同時に、最終的には「文学史」のディスクールの構成規則を明らかにする「文学史」論にいたることを目標としたい。

### 履修上の留意点

数々の作品を抜粋に頼らず粘り強く読んで行くことになるし、実際に受講学生が図書館等で当時の新聞雑誌を調査分析し、今日流布している文学史書の記載と比較検討する作業も要請されることにもなるかと思われるので、作品を準備もせず漫然と出席するだけの学生ではない、意欲的に学ぼうとする人たちの受講を希望する。

### 成績評価の方法

学年末に教場試験を行う予定だが、折々小課題も課す。なお、そうした素点のみならず、出欠状況や授業態度なども総合して評価したい。

### 教科書

特定の文学史の教科書は指定しないが、扱う作品は授業で指示し、各自文庫本などで用意し、あらかじめ読んだうえで臨むこと。

### 参考書等

授業の中でその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学史	小林 治	禅・仏教・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12（1923）年前後に置き、以降、昭和の終り（1988）まで見ていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

三好行雄編『近代文学史必携』（学燈社－別冊國文學－）1,000円

参考書等

『時代別日本文学史事典（現代編）』（東京堂出版）6,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
異文化コミュニケーション	奥原 淳子	禅・仏教・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、以下の問題について考えていきます。

- ・「異文化」、「異文化コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・文化摩擦はどうして起こるのか。
- ・言語や非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本文化や日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたいたいと思ひます。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教科書・参考書等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語 (前期)	おの 岡 もと 本 まこと 誠	禅・仏教・地理・歴史 社会・福祉・心理	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしうて言えば“Current English”ということになろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。英字新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journales に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 I [英語音声の基礎] (前期)	おの 岡 もと 本 まこと 誠	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の“r”音と“P”音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文題になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL500点以上、TOEIC700点以上を達成したい人はどうぞ。

講義の内容・授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものがない。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the joneses”と言う。また、もともとは人物の名前(実在の市長さん)であったのだが“maverick”は「一匹狼」の意味で現在は用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

教科書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用計測学 (前期)	かし 櫃 おお 尾 えい 英 し 次	禅・仏教・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・心理	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。  
医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
  - 放射性核種および放射線計測の基礎
  - ガンマカメラ
  - SPECT
  - PET
  - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
  - CR (Computed Radiography)
  - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

[フレックスBで開講される他学部履修科目]

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	おお だ ぶき かつ お 男 大 吹 勝 男	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり。また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（e コマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粹流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教科書

- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| 1 大吹勝男著『新版流通過程とサービス理論』（梓出版社） | 5 『経済学論集』第22巻第4号 |
| 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号 | 6 『経済学論集』第26巻第1号 |
| 3 『経済学論集』第20巻第4号             | 7 『経済学論集』第27巻第1号 |
| 4 『経済学論集』第22巻第1号             |                  |

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会思想史	あ べ 部 弘	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

#### 成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。

年4回のレポートを行うのは、講義形成のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受験生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません。

#### そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/☎03-3976-7984

研究室：第2研究棟5F No.2538/TEL03-3418-9360



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	とく なが とし あき 徳 永 俊 明	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

### 講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか？」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えにはなりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈国民的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう一本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### 〈講義のテーマ（予定）〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

#### 前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

#### 後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済  
貿易・国際通貨制度・資本輸出——（「援助」と多国籍企業）・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

#### 〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

### 成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート（3回予定）および学年末レポートで評価します。（追・再試験は行ないません。）

### 参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点ではもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分はそのための準備と練習に当てられると思っていたきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

#### 成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よし の 野 紀	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言える。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回

GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。

《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)

2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。

《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章

3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回

この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。

《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章

4. 「金融政策、財政政策」……………4回

前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。

《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章

5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回

ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。

教科書

R.J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』第6版(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正 齋 藤 正	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

「フリー、フェア、グローバル」な金融市場の実現を掲げ、98年4月にスタートした「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度が大きく変わろうとしている。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の不況が長引き、不良債権処理が遅れるなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安が高まってきた。それは、特に地域金融機関において厳しく表れ、地域経済に深刻な影響を及ぼしている。

銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く求められている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
  - ①まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
  - ②「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
  - ③時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- 後期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
  - ①銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
  - ②銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

#### 成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

#### 教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

#### 参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー 金融業』（大月書店）2001年  
山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年  
日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	わ だ こう じ 和 田 耕 治	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

平成8年度版「事業所統計」によると、わが国の第1次産業を除く約650万の事業所の内、中小事業所は98.9%を占めており、大企業所は0.7%に過ぎない。また、雇用者数についても、総雇用者、約5,435万人の内、中小事業所で雇用されているものは、80.4%、大企業所では19.6%となっている。このようにみていくと、中小企業はわが国経済において、大きな位置にあるといえる。本講義は、わが国経済で大きな地位を占めている中小企業の実態を踏まえつつ、今日までの中小企業研究の蓄積に基づいて、理論的水準を落とすことなく進めることとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

中小企業に関する実態や問題を理論的、歴史的に把握した上で、中小企業を構造的視点により考察する。また、近年、中小企業研究は非常に多面的な展開を示している現状を鑑み、最新の研究動向について、触れることとする。さらに、必要に応じて、視聴覚教材を用いることにより、受講者の問題意識を鮮明化させる。

成績評価の方法

期末試験とレポートによる評価とする。片方だけの提出では合格点にはならない。

教 科 書

三井逸友編著『現代中小企業の創業と革新』（仮題）（同友館） 近刊

参 考 書 等

中小企業庁編『平成13年度版中小企業白書』（大蔵省印刷局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のためには緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

何はともあれ、この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

#### 履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況  
再試験を実施する。

#### 教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

#### 参 考 書 等

大淵・水野・森岡・吉田訳『マルサス人口の原理』（中央大学出版部）1985年  
大淵寛・黒田俊夫編『現代人口問題』（大明堂）1990年

#### そ の 他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生態との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
    1. 農産物と貿易
    2. 水産物と貿易
    3. 林産物と貿易
    4. 鉱物資源と貿易
    5. 工業製品と貿易
  - II. 政治・経済・社会と貿易
    1. 開発援助と貿易
    2. 環境と貿易
    3. 公正と貿易
    4. グローバリゼーションと貿易
    5. 持続可能な発展と貿易
- 具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは評価の対象とはならないでしょう。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、その都度説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もし少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談に来て下さい。参考になる本など教えます（研究室第2研究館4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

西欧の様々な法思想を跡づけ再吟味する営みを通じて、近代法の環境の中で自明のものと考えられている思考のワクを相対化し、批判する視点を持つためのきっかけとしたい。こうした作業は、揺れ動く現代の法状況へ対峙してゆくのに必要であると思われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは大まかなアウトラインしか述べることができないが、重点をおくトピックおよび思想家として、以下を予定している。

- (前期) ヨーロッパ法思想の核となったギリシャの法思想（プラトン、アリストテレス）、キリスト教思想（アウグスティヌス）、中世自然法論（トマス・アクィナス）
- (後期) 前近代から近代への世界像の転換、近代法の基礎理論とも言える自然権論や社会契約思想（ホッブズ、ロック、ルソー）、これを批判的に受け継ぐドイツ啓蒙期の法思想（カント）、ドイツ観念論の法思想（ヘーゲル）

基本的には、時代を順に追い、代表的な思想家と思索を共にする形で述べていくことになるが、断片的な紹介ではなく、影響関係や重要な概念枠組の変遷などを重視し、明らかにできればと思う。また狭い意味での法学理論史の枠にとらわれず、各々の法思想を、その時代の人間観やコスモロジーの中に法理解を位置づけて検討し、そうした作業を通じて最終的には、近代という時代が獲得したものと忘却してしまったものについて考えてみたい。なお、時間の都合上、最大限順調に講義が進んだとしても、19世紀前半の法思想までをカバーするのが精一杯だと思う。19、20世紀以降の法思想ないし法学理論の諸潮流については、法哲学講義の一環として取り扱うつもりである。

成績評価の方法

定期の記述試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他に任意提出課題として、講義で紹介した思想家の著作を読んでレポートを提出してもらえば、一定範囲内で評価に加える。

教 科 書

ここでは、三島淑臣『法思想史』[新版]（青林書院）4,854円を挙げておくが、講義の補完、通常の学習には自分にあった概説書を選んでもらってかまわない。詳細については講義のはじめに紹介する。

そ の 他

講義の概要、参考資料を必要に応じて配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

イギリスと法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 I 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造 II イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	おか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	禅・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	しゅ とう もと こ 首 藤 素 子	禅・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

現代の国際関係の理論と現状の課題について、知識と理解を深めることを目的とする。とくにアジア太平洋地域の開発と民主化、安全保障の問題について具体的な知識を深めつつ、国際関係研究の理論について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の各項目をほぼ2週の割合で進める予定。

1. 国際政治理論の展開（現実主義）
2. 国際政治理論の展開（現実主義批判の多様なアプローチ）
3. 冷戦後の国際政治理論
4. 冷戦後の安全保障研究
5. 冷戦後の紛争と国際システム
6. 経済のグローバル化と国際機関の機能
7. 開発理論の変遷
8. 開発金融の国際化、民営化と開発体制の形成
9. 人権保障の国際的制度化と人権 NGO の役割
10. 地球環境問題と環境外交の進展
11. グローバル化、国家、市民社会の関係と課題

成績評価の方法

出席と定期試験により評価する。

教 科 書

毎週使用するという意味の教科書は指定しない。授業ではテーマ毎に資料を配付し、参考文献を紹介する。

他学部履修科目  
フレB開講

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに添って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教 科 書

南博方他『行政法(3) (第3版)』(有斐閣双書) 1,800円

参 考 書 等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)、『地方自治判例百選 (第2版)』(別冊ジュリスト)。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	おくの野よしひこ彦	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理	4

#### 講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

#### 履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

#### 成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

#### 教 科 書

追って指定

#### 参 考 書 等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）1,600円

#### そ の 他

前期－講義 後期－ゼミ



# 3. 随 意 科 目



### 3. 隨意科目

英語(海外演習)	.....	489
國語(海外演習)	.....	489
宗教學概說(洗建)	.....	490
宗教學概說(池上良正)	.....	490
宗教學概說(津城寬文)	.....	491
哲學概說(末木恭彥)	.....	491
哲學概說(久保陽一)	.....	492
倫理學概說(河谷淳)	.....	492
宗人學類學(佐藤憲昭)	.....	493
民間信仰論(谷口貢)	.....	493
日本宗教文化史(池上良正)	.....	494
民衆宗教成立史(津城寬文)	.....	494
歷史哲學(麻生建)	.....	495
美術史概說(矢野陽子)	.....	495
東洋思想史(末木恭彥)	.....	496
日本仏教史(休講)		
日本文化史Ⅱ(休講)		
日本民俗學(谷口貢)	.....	497





科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 ( 海 外 演 習 )	全学科・短大 1 年 次 ~	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学(オーストラリア)、ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)、エクセター大学(イギリス)、カリフォルニア大学アーバイン校(アメリカ)における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に4大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
中国語(海外演習)	全学科・短大 1 年 次 ~	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学(中国)における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。中国語受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	あらい 洗 けん 建	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することと、いかに深くかかわっているかを明らかにする。

この教科は教職科目であるので、国家と宗教、憲法理念と宗教の問題を中心に考える。

講義の内容・授業スケジュール

宗教改革以降、信教の自由の確立に至るまでのキリスト教思想の変遷をたどって、その特質を理解し、日本における導入と変容、現代における諸問題を考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っている場合は、参照すること。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	いけ 池 がみ よし まさ 上 良 正	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

「宗教」という言葉を聞くと、特定の教祖によって開かれ、経典や教団を備えた組織的宗教や、そこで説かれてきた高度な宗教思想などを思い浮かべる人が多いと思う。しかし宗教には、共同体の生活習慣や年中行事に組み込まれた習俗や、祈祷・供養・祭礼・禁忌・呪詛などとよばれる実践や行為としての側面もある。

本講義では、こうした広がりやを考慮したうえで、とくに実践的な行為としての宗教について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、儀礼、タブー、イニシエーション、アニミズムなどのトピックを取り上げ、実践的宗教の多様な側面に光を当てる。

後期は、「死をめぐる宗教的観念と実践」というテーマで、仏教やキリスト教をはじめとする諸宗教が、人間の死や死者を実際にどのように扱ってきたか、という問題を考えてみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	つ 津 城 寛 文 しろう ひろ ふみ	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

集団的宗教から個人的宗教まで、また、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は宗教と他界を軸に、後期は宗教と社会を軸に、講義を進めます。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前 期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、神秘主義、スピリチュアル

後 期

公共宗教、市民宗教、宗教と国家、宗教と文化

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に年度末のレポートで行ないます。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 概 説	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。-哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい——そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新原人』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教 科 書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新原人』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参 考 書 等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山書房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学概説	くぼ 陽一	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

ヘーゲルの名著『精神現象学』（1807年）の主要な箇所を解説しながら、哲学の諸問題を取り上げる。『精神現象学』は、個人的意識の形成の叙述であると同時に、人類の精神の歴史でもあり、また現代にも通ずる様々な思想内容の宝庫である。これを読解することを通して、「自己」や「世界」に関するものの考え方の基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

『精神現象学』の主要な箇所（例えば「感覚的確信」の弁証法、主人と奴隷の関係、「不幸な意識」、「快楽とさだめ」等約20箇所）を解説する。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席やレポート等によって評価する。

教科書

いずれかの邦訳（ヘーゲル『精神現象学』）を手もとに置くのが望ましい。

参考書等

加藤尚武編『ヘーゲル「精神現象学」入門』（有斐閣）  
イポリット『ヘーゲル精神現象学の生成と構造』（岩波書店）  
久保陽一『ヘーゲル論理学の基底』（創文社）

その他

時々、講義内容について簡単なレポートを書いてもらい、それについてコメントを付けて返すことにする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学概説	かわ 谷 淳	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では(a)主に、古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で(b)現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことから「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。  
(a) 西洋倫理思想史：徳倫理学（古代ギリシア）、義務論（カント）、功利主義（ベンサム、ミル）  
(b) 現代倫理学の諸問題：メタ倫理学、生命倫理、環境倫理など

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義においてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉 2年次～	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

成績評価の方法

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

講義内容を踏まえたレポート試験の予定。

参考書等

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社学術文庫）

その他

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口眞	英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理 2年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

履修上の留意点

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

とくに教科書を使用しないが、参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

日本の宗教文化を考えるうえで、巫覡、ミコなどとよばれてきた巫者信仰の系譜は重要な意味をもつ。本講義では、この巫者信仰に焦点を合わせ、宗教史と実態調査研究の両面から得られた成果をもとに、その多様な形態と文化史的な意義を明らかにしてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、柳田國男にはじまる巫者研究の歴史を概観したうえで、主として東北地方や沖縄地方の巫者信仰の具体的事例を考察する。ここでは、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムヌシリなど、様々な名称で呼ばれてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方が中心となる。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

スライドを適宜使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 衆 宗 教 成 立 史	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にたつて、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点をあてて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

前期

- ① 深層文化論の整理
- ② 深層文化論と宗教研究

後期

- ① 民俗主義的な深層文化
- ② 深層文化と集会的宗教

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に年度末のレポートで行ないます。

教 科 書

拙著『日本の深層文化序説 ― 3つの深層と宗教』（玉川大学出版部）1995年を用います。

参 考 書 等

その都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ 麻 生 けん 建	国 文 ・ 英 米 文 ・ 地 理 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	や の 陽 こ 子	英 米 文 ・ 地 理 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

フランス絵画史。西欧の中心に位置するフランスは、交通の要衝であり、商業活動の経由地であり、巡礼の道も通っていた。国際的に開かれているという状況から、フランスは周囲の国々からさまざまな要素を受け入れながら固有の文化を生み出していった。この授業では、17世紀から19世紀にいたるフランス絵画の歴史をたどり、その特色を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

絶対王政が確立する17世紀から始め、18世紀末フランス革命を経て、新しい芸術運動が次々に起こった19世紀まで、時代を追って主要な流れを見ていく。前期は17・18世紀を、後期はフランス革命以後を扱う予定である。

成績評価の方法

前期のレポート提出と後期の筆記試験、出席等を合わせて評価する予定。

教 科 書

高階秀爾著『フランス絵画史』（講談社学術文庫）

参 考 書 等

授業ではスライドを使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 思 想 史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	英米文・地理・歴史・ 社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛かりにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に触れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教 科 書

授業は講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	英 米 文 ・ 地 理 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 2 年 次 ～	4

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼ー出産と子育てー
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

#### 成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

#### 教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

#### 参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）



## 4. 「日本語」・「日本事情」科目



## 4. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

### 《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	503
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	503
日 本 語	II	〈佐野典子〉	504
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	504
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	505
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	505
日 本 語	IV	〈石川守〉	506
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	506
日 本 語	V	〈石川守〉	507
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	507
日 本 語	VI	〈石川守〉	508
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	508

### 《日本事情科目》

日本事情 I〔地理〕	〈前期〉	〈須山 聡〉	509
日本事情 II〔自然〕	〈前期〉	〈清水 善和〉	509
日本事情 III〔歴史〕	〈後期〉	〈宮本 由紀子〉	510
日本事情 IV〔思想〕	〈前期〉	〈赤羽 由規子〉	510
日本事情 V〔社会〕	〈後期〉	〈牛島 千尋〉	511
日本事情 VI〔政治・法律〕	〈後期〉	〈前田 英昭〉	511
日本事情 VII〔文学〕	〈後期〉	〈奥原 淳子〉	512
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	〈後期〉	〈赤羽 由規子〉	512
日本事情 IX〔経済〕	〈前期〉	〈瀬戸岡 紘〉	513
日本事情 X〔経営〕	〈前期〉	〈鈴木 幸毅〉	514



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の映画、TVドラマ、ニュース、などの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教 科 書

特に教科書は使わない。聴解シートはその都度、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の現代作家の小説、ノンフィクション、エッセイ等を輪読する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は担当者がそのコピーを用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を養う。

- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
  - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	<small>いし</small> <small>かわ</small> <small>まもる</small> 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	<small>ゆ</small> <small>むら</small> <small>れい</small> <small>こ</small> 湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 V	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。  
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオも使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。

講義の内容・  
授業スケジュール

「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。

履修上の留意点

できるだけ、発言すること。

成績評価の方法

平常点と試験

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

随時、教室で指示する。

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。  
文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教 科 書

プリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	須 山 聡 <small>す やま さとし</small>	全 学 科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれの地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	清 水 善 和 <small>し みず よし かず</small>	全 学 科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。また、日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候、地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中の日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート（2、3回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ 〔 歴 史 〕 (後 期)	<small>みやもと ゆきこ</small> 宮 本 由 紀 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。
講義の内容・ 授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。
教 科 書	なし
参 考 書 等	なし
そ の 他	講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ 〔 思 想 〕 (前 期)	<small>あかば ゆきこ</small> 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
そ の 他	その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 V 〔 社 会 〕 (後 期)	うし じま ち ひろ 牛 島 千 尋	全 学 科	2

講義のねらい

本講義は、新聞・雑誌記事、ビデオ、関連文献・資料を用いて、日本の社会・文化等に関する基礎的な知識の学習とともに、現代日本の社会の仕組み、および、その成り立ちを学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概略は次の通りである。1. 都市と農村の変容 2. 労働と余暇 3. マスメディアと若者文化 4. 都市と環境問題 5. 家族の変化と少子化 6. 女性の社会的地位 7. 日本の教育と階層構造 8. ライフスタイルと生活意識

成績評価の方法

レポートと講義中の発言によって総合的に評価する。

教 科 書

特に指定しない。資料を配布する。

そ の 他

ビデオなどのマルチメディア教材を利用した講義を行う。履修者の人数にもよるが、それぞれのテーマについて、毎回、質疑応答や議論を合わせて行いたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VI 〔 政 治 ・ 法 律 〕 (後 期)	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	全 学 科	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。  
日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教 科 書

『国会と政治改革』(小学館文庫)



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(後期)	おく ばら しゆん こ 奥 原 淳 子	全 学 科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。

テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。

第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書・  
参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あか ば ゆき こ 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回日にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔 経 済 〕 ( 前 期 )	せ と お か ひろし 瀬 戸 岡 紘	全 学 科	2

#### 講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくいいねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本的経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口に占める農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？ そして時には余談もします。たとえば、この国の本当の名前ってニホンなの？ ニッポンなの？ それともジャパンでもいいの？ など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

日本の工業地帯と工業  
日本の農村と農業および日本の水産業  
日本のサービス業および金融  
明治維新以前の日本経済の歴史  
明治維新以降の日本経済の歴史  
第2次世界大戦以降の日本経済の展開  
日本経済とアメリカ経済  
日本経済とアジア経済  
日本経済と政府の役割  
日本の労働者・サラリーマンの生活  
日本経済と社会や文化の変化  
その他

#### 成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施いたしません。

#### 教科書・ 参考書等

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介いたします。日々のニュースをよく聞いてみてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

#### そ の 他

授業は、おおむね日本語です。しかし、希望があれば、その日の要点を英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 ( 前 期 )	すず き こう き 鈴 木 幸 毅	全 学 科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教 科 書 ・  
参 考 書 等

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

## 5. 教職課程・資格講座科目

- I 教 職 課 程
- II 学校図書館司書教諭講座
- III 社会教育主事講座
- IV 博物館学講座
- V 社会福祉主事講座  
社会福祉士基礎

※上記の教職課程および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。  
(履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部



## 5. 教職課程・資格講座科目

〔注意〕頁（ ）は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

### I 教 職 課 程

#### (1) 教職に関する科目（必修）

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤 司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉〉	527
教 育 の 思 想	〈豊 田 千代子〉	527
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	528
教 育 の 思 想	〈伊 藤 茂 樹〉	528
教 育 の 思 想	〈村 山 輝 吉〉	529
教 育 の 思 想	〈坂 本 信 昭〉	530
教 育 と 社 会	〈豊 田 千代子〉	531
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	531
教 育 と 社 会	〈伊 藤 茂 樹〉	532
教 育 と 社 会	〈村 山 輝 吉〉	532
教 育 と 社 会	〈坂 本 信 昭〉	533
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾久子〉	533
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈川 田 三 夫〉	534
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈上 淵 寿〉	535
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈角 野 善 司〉	536
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈大 浜 幾久子〉	537
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈川 田 三 夫〉	537
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈上 淵 寿〉	538
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈角 野 善 司〉	539
教 育 と メ デ ィ ア	〈小 倉 康 仁〉	540
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	541
教 育 と メ デ ィ ア	〈芝 崎 順 司〉	542
道 徳 教 育 の 研 究	〈加 藤 幸 夫〉	543
道 徳 教 育 の 研 究	〈小 川 一 郎〉	544
道 徳 教 育 の 研 究	〈鶴 卷 武〉	545
特 別 活 動	〈加 藤 幸 夫〉	546
特 別 活 動	〈小 川 一 郎〉	547
特 別 活 動	〈鶴 卷 武〉	548
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈小 宮 山 要〉	549
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈国 眼 眞 理 子〉	550
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈佐 藤 尚 人〉	551
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	551
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈川 原 誠 司〉	552
教 育 臨 床	〈小 宮 山 要〉	552
教 育 臨 床	〈国 眼 眞 理 子〉	553
教 育 臨 床	〈佐 藤 尚 人〉	554
教 育 臨 床	〈遠 藤 司〉	554
教 育 臨 床	〈川 原 誠 司〉	555
総 合 演 習 (1) [障 害 児 と 教 育]	〈遠 藤 司〉	555
総 合 演 習 (2) [障 害 児 と 福 祉]	〈遠 藤 司〉	556

総合演習(3)	〔環境教育〕	〈北村和夫〉	556
総合演習(4)	〔近代社会と身体〕	〈北村和夫〉	557
総合演習(5)	〔対人関係とストレス〕	〈川原誠司〉	557
総合演習(6)	〔学校における対人関係〕	〈川原誠司〉	558
総合演習(7)	〔精神障害者と地域〕	〈野中弘敏〉	558
総合演習(8)	〔精神障害者とボランティア〕	〈野中弘敏〉	559
総合演習(9)	〔教育と法律〕	〈広沢明〉	559
総合演習(10)	〔子どもの人権〕	〈広沢明〉	560
総合演習(11)	〔生と死の教育〕	〈柳堀素雅子〉	560
総合演習(12)	〔生命倫理〕	〈柳堀素雅子〉	561
総合演習(13)	〔現代的学習課題とジェンダー〕	〈中澤智恵〉	561
総合演習(14)	〔学校教育におけるジェンダー〕	〈中澤智恵〉	562
総合演習(15)		〈休講〉	
総合演習(16)		〈休講〉	
総合演習(17)	〔現代家族の諸問題と教育〕	〈熊谷一乗〉	563
宗教科	教育法	〈小山一乗〉	564
国語科	教育法	〈神谷道倫〉	565
書道科	教育法	〈那須隆吉〉	565
英語科	教育法	〈荒井良雄〉	566
社会科	教育法 I	〈生田清人〉	566
地理歴史科	教育法 I	〈生田清人〉	567
社会科	教育法 I	〈桜井明久〉	567
地理歴史科	教育法 I	〈桜井明久〉	568
社会科	教育法 I	〈藤木正国〉	568
地理歴史科	教育法 I	〈藤木正国〉	569
社会科	教育法 II	〈橋爪敏〉	569
公民科	教育法 I	〈橋爪敏〉	570
社会科	教育法 II	〈谷敷正光〉	571
公民科	教育法 I	〈谷敷正光〉	572
社会科	教育法 II	〈小川輝之〉	573
公民科	教育法 I	〈小川輝之〉	573
商業科	教育法	〈谷敷正光〉	574
職業科	教育法	〈前田幸一〉	575
教育実習 I・II		〈豊田千代子〉	575
教育実習 I・II		〈坂本信昭〉	576
教育実習 I・II		〈村山輝吉〉	576
教育実習 I・II		〈北村三子〉	577
教育実習 I・II		〈伊藤茂樹〉	577

(2) 教科又は教職に関する科目〔平成12年度以降入学生〕

教職に関する科目(選択)〔平成11年度以前入学生〕

教育関係法規	〈広沢明〉	578
教育評価	〈大浜幾久子〉	578
教育法規研究	〈休講〉	
教育哲学	〈北村三子〉	579
教育情報学	〈小倉康仁〉	579
教育臨床心理学	〈牟田隆郎〉	580
教育社会学	〈熊谷一乗〉	581
教育史	〈山本敏子〉	582

教育調査	〈鈴木規夫〉	583
芸術教育	〈香川良成〉	583
現代社会の諸問題と教育Ⅱ	〈熊谷一乗〉	584
青少年問題研究	〈讚岐真佐子〉	585
宗教教育	〈小山一乗〉	586
生涯学習概論Ⅰ	〈豊田千代子〉	(587)
生涯学習概論Ⅱ	〈豊田千代子〉	(587)
視聴覚教育	〈飯森彬彦〉	(587)
社会教育施設	〈村山輝吉〉	(587)
学校経営と学校図書館	〈山田節子〉	(587)
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	(587)
学校図書館メディアの構成	〈源昌久〉	(588)
学校図書館メディアの構成	〈篠田耀子〉	(588)
情報メディアの活用	〈源昌久〉	(588)
情報メディアの活用	〈篠田耀子〉	(588)
学習指導と学校図書館	〈山田節子〉	(588)

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

東洋思想史	〈末木恭彦〉	589
美術史概説	〈矢野陽子〉	589
民間信仰論	〈谷口貢〉	590
人文地理学概説	〈小池とみ子〉	590
自然地理学概説	〈高木正博〉	591
自然地理学概説	〈中村和郎〉	591
地誌学概説	〈川元豊和〉	592
地誌学概説	〈新井祥穂〉	593
地誌学概説	〈藤島範孝〉	593
日本仏教史	〈休講〉	
日本文化史Ⅰ	〈廣瀬良弘〉	594
日本文化史Ⅱ	〈休講〉	
歴史哲学	〈麻生建〉	594
日本史概説	〈出口宏幸〉	595
日本史概説	〈小松寿治〉	595
世界史概説	〈井村行子〉	596
世界史概説	〈渡辺惇〉	597
社会学原論	〈渡辺源樹〉	598
宗教人類学	〈佐藤憲昭〉	599
経済原論	〈畠中貴〉	600
経済原論	〈大石雄爾〉	601
経済原論	〈浅野克巳〉	602
経済原論	〈松井柳平〉	603
経済原論	〈橋本泰明〉	604
民法学Ⅰ	〈大宮隆〉	605
政治学原論	〈大塚塚桂〉	606
日本宗教文化史	〈池上良正〉	607
民衆宗教成立史	〈津城寛文〉	607
宗教学概説	〈洗建〉	608
宗教学概説	〈池上良正〉	608



宗	教	学	概	説	〈津	城	寛	文〉	.....	609	
哲	学	概	説	〈久	保	陽	一〉	.....	609		
哲	学	概	説	〈末	木	恭	彦〉	.....	610		
倫	理	学	概	説	〈河	谷	淳〉	.....	610		
【職業】											
産	業	概	説	〈前	田	幸	一〉	.....	611		
職	業	指	導	〈前	田	幸	一〉	.....	611		
商	業	実	習	〈前	田	幸	一〉	.....	612		
【商業】											
職	業	指	導	〈前	田	幸	一〉	.....	(612)		
コンピュータ基礎〔教職課程登録者用〕										〈鈴木健司〉	..... 613

## II 学校図書館司書教諭講座

### 必修科目

学校経営と学校図書館	〈山 田 節 子〉	617
読書と豊かな人間性	〈山 田 節 子〉	617
学校図書館メディアの構成	〈源 昌 久〉	618
学校図書館メディアの構成	〈篠 田 耀 子〉	618
情報メディアの活用	〈源 昌 久〉	619
情報メディアの活用	〈篠 田 耀 子〉	619
学習指導と学校図書館	〈山 田 節 子〉	620

## III 社会教育主事講座

### (1) 必修科目

社会教育計画	〈村 山 輝 吉〉	623
生涯学習概論 I	〈豊 田 千代子〉	624
生涯学習概論 II	〈豊 田 千代子〉	625
社会教育実習	〈豊 田 千代子〉	626
社会教育実習	〈村 山 輝 吉〉	626

### (2) 選択必修科目

社会教育行政	〈荒 井 隆〉	627
社会教育施設	〈村 山 輝 吉〉	627
成人学習論	〈荒 井 隆〉	628
ジェンダーと教育 I	〈中 澤 智 恵〉	628
ジェンダーと教育 II	〈中 澤 智 恵〉	629
職業教育 I	〈塩 川 正 人〉	629
職業教育 II	〈塩 川 正 人〉	630
社会体育 I	〈古 田 潤 子〉	630
社会体育 II	〈古 田 潤 子〉	631
教育の思想		(631)
教育と社会		(631)
発達と学習の心理学		(631)
教育とメディア		(631)
社会心理学	〈坪 井 健〉	632
視聴覚教育	〈飯 森 彬 彦〉	(632)
教育社会学	〈熊 谷 一 乘〉	(632)
教育史	〈山 本 敏 子〉	(633)
教育調査	〈鈴 木 規 夫〉	(633)
青少年文化	〈香 川 良 成〉	633
現代社会の諸問題と教育 I	〈熊 谷 一 乘〉	634
現代社会の諸問題と教育 II	〈熊 谷 一 乘〉	635
青少年問題研究	〈讚 岐 真 佐 子〉	(635)
青少年指導演習	〈平 野 学〉	636
博物館学 I (概論)	〈太 田 喜 美 子〉	(637)
博物館学 II (資料論)	〈岸 上 興 一 郎〉	(637)
情報メディアの活用	〈源 昌 久〉	(637)
情報メディアの活用	〈篠 田 耀 子〉	(637)
読書と豊かな人間性	〈山 田 節 子〉	(637)

## IV 博物館学講座

### (1) 必修科目

視聴覚教育〈飯森彬彦〉	641
考古発掘実習〈飯島武次・酒井清治〉	641
博物館学Ⅰ(概論)〈太田喜美子〉	642
博物館学Ⅱ(資料論)〈岸上興一郎〉	642
博物館学Ⅲ(経営論・情報論)〈岸上興一郎〉	643
博物館実習Ⅰ(館務)〈太田喜美子・飯島武次・酒井清治〉	643
博物館実習Ⅱ(収集)〈太田喜美子・國見徹・久保田昌希 小林和幸・酒井清治・佐々木真 瀧音能之・廣瀬良弘〉	644
博物館実習Ⅲ(見学)〈太田喜美子・酒井清治・松本信道〉	644
教育の思想	(645)
教育と社会	(645)
生涯学習概論Ⅰ〈豊田千代子〉	(645)
生涯学習概論Ⅱ〈豊田千代子〉	(645)

### (2) 選択必修科目

インド仏教文化史〈休講〉	
中国仏教文化史〈永井政之〉	646
日本仏教文化史〈袴谷憲昭〉	646
禅美術 〈前期：松村哲文〉 〈後期：海老根聰郎〉	647
仏教美術〈松田誠一郎〉	647
仏教民俗学〈須藤寛人〉	648
日本民俗学〈谷口貢〉	649
美術史概説〈矢野陽子〉	649
現代美術〈矢野陽子〉	650
地形学〈小池一之〉	650
第四紀学〈鈴木毅彦〉	651
考古学概説Ⅰ(日本)〈酒井清治〉	651
考古学概説Ⅱ(外国)〈飯島武次〉	652
日本文化史Ⅰ〈廣瀬良弘〉	652
西洋文化史Ⅰ〈休講〉	
日本文化史Ⅱ〈休講〉	
西洋文化史Ⅱ〈佐々木真〉	653
考古学特講Ⅰ〈休講〉	
考古学特講Ⅱ〈田村晃一〉	653
考古学特講Ⅲ〈酒井清治〉	654
考古学特講Ⅳ〈矢野和之〉	655
西域美術史〈松平美和子〉	656
宗教人類学〈佐藤憲昭〉	656

## V 社会福祉主事・社会福祉士基礎講座

### (1) 必修科目

※社会福祉原論〈伊藤秀一〉	659
※社会福祉原論〈船水浩行〉	660

### (2) 選択科目

※法学（福祉）〈小林弘人〉	661
社会福祉発達史〈林千代〉	662
リハビリテーション論〈生川善雄〉	662
※社会保障論〈船水浩行〉	663
家庭福祉論〈休講〉	
社会福祉計画論〈川廷宗之〉	664
国際社会福祉論〈山本真実〉	665
保健福祉論〈長尾譲治〉	666
※公的扶助論〈伊藤秀一〉	666
※障害者福祉論〈桐原宏行〉	667
※老人福祉論〈東條光雅〉	668
児童福祉論〈山本真実〉	669
女性福祉論〈林千代〉	670
医療福祉論〈春見静子〉	670
※地域福祉論〈豊田宗裕〉	671
※社会学（福祉）〈橋爪敏〉	672
※心理学（福祉）〈高橋良博〉	673

上記科目のうち、※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみを対象とする科目です。



# I 教 職 課 程



## (1) 教職に関する科目（必修）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 職 （ 後 入 期 ）	大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤 司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉	12以降入学生/教職1必	2

### 講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員7名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきませんが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということ、まずは実感してください。

### 講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます（毎回テーマと講師が代わっていきます）。また11月12日（月）および11月15日（木）は、普通の講義ではなく、学部1年次生を対象とした教職課程・資格講座のガイダンスが予定されています。詳しいスケジュールは、初回の講義で配布される予定です。

### 成績評価の方法

レポートによる評価。

### そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 （ 前 期 ） の 思 想	豊 田 千 代 子	教 職 2 必 （ 禅 ・ 仏 教 ）	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

### 成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

### 教 科 書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

### 参 考 書 等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

### そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	教職2必 (国文・英米文・社会・福祉・心理)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周知的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	いとうしげき 伊藤茂樹	教職2必 (地理・歴史・法A・政治)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・近代社会と教育
- ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 ( 前 期 )	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教 職 2 必 ( 経 A )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のあり方によって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想（前期）」と「教育と社会（後期）」の両科目を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種の資料や下村湖人の著作等をも参考にしながら、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育の思想」では、主として教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想に関する基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表（口頭または作文）と、それを系統的・論理的に整理する作業

第2ステップ 第1ステップで整理された諸課題のうち、主として教育の理念や歴史、思想にかかわるものについて、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつと紹介する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 ( 前 期 )	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 2 必 ( 商 ・ 経 営 )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教 科 書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参 考 書 等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

そ の 他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	豊田千代子	教職2必 (禅・仏教・国文)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	北村三子	教職2必 (禅・仏教・国文・英米文・地理・歴史)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……不登校その他の具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげま</small>	教職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) 経A・法A・政治・経営	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
 ・現代の教育問題  
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	村山 輝吉 <small>むらやま てるよし</small>	教職 2 必 (英米文・福祉・心理・経A・商)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のあり方によって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想(前期)」と「教育と社会(後期)」を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種資料や文献を参考にして、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育と社会」では、主として教育に関する社会的・制度的事項についての基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表(口頭または作文)と、それを系統的・論理的に整理する作業

第2ステップ 第1ステップで整理された諸問題のうち、主として教育に関する社会的、制度的事項について、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職2必 (備・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教職2必 (禅・仏教・国文・英米文) (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 夫 川 田 三 夫	教 職 2 必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- (1)子供の成長・発達の概要を理解する。  
(2)教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①発達について、乳児期、②幼児期前期、③幼児期後期、④児童期前期、⑤児童期後期、⑥青年期前期、⑦青年期中期、⑧青年期後期、⑨人格の発達、⑩社会性の発達、⑪問題行動、⑫学習・教育心理学、⑬教育学・教育原理、⑭学校・教員をめぐる問題点、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点（100点満点）で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

教科書は特に指定しない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。  
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	うえぶち ひまし 上 淵 寿	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) (経 A・商・法 A・政治・経営)	2

※経 B・法 B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

本講義は、従来でいえば「教育心理学」と呼ばれていたものである。そのため、学校教育に関する問題や現象について理解し、そこにいかに心理学的知識をもって関わっていく必要があるのかを、理解することが重要である。

したがって、講師からの一方的な講義は問題に焦点をあてたり、この内容の理解の導入を容易にするのにとどめる。受講者の人数にもよるが、受講者同士でグループによるディスカッションや資料調査などを中心に行ってもらうこともある。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 オリエンテーション (全体の概説)
  - 2 教育心理学とは (学校心理学と教育心理学) グループ編成
  - 3 問題を抱える教師 1 - 子どもがわからない - (教師の教育観、学級崩壊)
  - 4 問題をかかえる教師 2 - 忙しさと向き合う - (教師のバーンアウトとその対策)
  - 5 問題を抱える子ども 1 (意欲の減退、他人との関わり、ひきこもり)
  - 6 問題を抱える子ども 2 (学習観や認知方略の指導等、学習相談)
  - 7 みとりとまなざし (評価、学力の問題)
  - 8 意思決定と判断のあやまり (教育活動の判断の偏り)
  - 9 発達に応じた関わりをするには?
- 以上のような内容について講義をする。

#### 履修上の留意点

単に受け身で講義を聴くような態度では、単位取得は難しいだろう。  
当然だが、講義中の私語はマナー違反である。いつまでも平気で私語をするような学生には、即座に退室してもらう。  
授業には流れがあるので、履修登録だけして一月以上も経ってから教室に現れるようなことはないようにしてほしい。

#### 成績評価の方法

学期末に提出するレポートによる。具体的な評定の仕方については、初回の講義で述べる。

#### 教 科 書

無藤隆・市川伸一 (編者) 「学校教育の心理学」(学文社)

#### 参 考 書 等

講義中に指示する。

#### そ の 他

講義形式で行うが、ビデオ・OHP等を使うこともある。また、グループによるディスカッションや、資料調べなどもする場合がある。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学 (教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学 (教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	すみ の ぜん じ 角 野 善 司	教 職 2 必 (禅・仏教・国文・英米文) (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育心理学は、教育場面に對して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の2つを中心テーマとして進めます。  
①人間の生涯にわたる発達  
②学習への動機づけ

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席して、主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目としても履修可能ですが、それらの学生にも同様のことを要求します。

成績評価の方法

出席・課題提出・学期末テスト・学期末レポートの4点から、評価する予定です。いずれか1つでも、合格水準に達していなければ、単位を与えません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大 浜 幾 久 子	12以降入学生/教職2必 (禅・仏教・国文・英米文) (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部省)

その他

前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。  
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだみつお 川 田 三 夫	12以降入学生/教職2必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- (1)教育課程を中心に学校の全般的な運営について理解する。
- (2)教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・授業スケジュール

- ①教育について、②学習・教育心理学、③教育学・教育原理、④発達心理学、⑤教育課程、⑥学習指導要領、⑦普通教育・職業教育、⑧障害児教育、⑨教育方法、⑩教育評価、⑪新しい動向(1)、⑫新しい動向(2)、⑬生徒・教師の諸問題、⑭教育・学校の諸問題、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点(100点満点)で所定の基準に従い評価される。

教科書

教科書は特に指定しない。参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。  
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。  
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後 期)	うえ ぶち ひさし 上 淵 寿	12以降入学生/教職2必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) 経A・商・法A・政治・経営	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

本講義は、教師が実際に学校の中でどのように学習者とかかわり、教え、教育内容を作り上げていくのか、といった点の理解に主眼をおく。

したがって、そのまなざしは、教師からのものを中心に、逆に受講者は、自分も持っているであろう、学習者としてのまなざしとのギャップ、そしてそれをいかに乗り越えていくのかについて、考えてもらいたい。講師からの一方的な講義は問題に焦点をあてたり、この内容の理解の導入を容易にするのにとどめる。受講者の人数にもよるが、受講者同士でグループによるディスカッションや資料調査などを中心に行ってもらうこともある。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 オリエンテーション (全体の概説)
  - 2 教師としてのまなざしをもつ (教師の見方、学習者の見方)
  - 3 教育をめぐる考え方の変化 (新しい学力観、生きる力、体験型学習、学力低下等)
  - 4 ふれあい、かかわり、つきはなし (ケアリング、教師学など)
  - 5 教室に入って出るまで (子どもへのかかわり、支援、教育方法)
  - 6 教えないことと教えること (カリキュラムの構成原理)
  - 7 わかることとわからないこと (カリキュラムと経験主義、活動)
  - 8 なぜ学校教育があるのか (人格陶冶、形式的陶冶、実質陶冶…)
  - 9 教師として生きる (気質、熟達化、専門性、一人の人間として)
- 以上のような内容について講義をする。

#### 履修上の留意点

単に受け身で講義を聴くような態度では、単位取得は難しいだろう。

当然だが、講義中の私語はマナー違反である。いつまでも平気で私語をするような学生には、即座に退室してもらう。

授業には流れがあるので、履修登録だけして一月以上も経ってから教室に現れるようなことはないようにしてほしい。

#### 成績評価の方法

学期末に提出するレポートによる。具体的な評定の仕方については、初回の講義で述べる。

#### 教 科 書

鹿毛雅治・奈須正裕 (編著)『学ぶこと・教えること－学校教育の心理学－』(金子書房)

#### 参 考 書 等

講義中に指示する。

#### そ の 他

講義形式で行うが、ビデオ・OHP等を使うこともある。また、グループによるディスカッションや、資料調べなどもする場合がある。

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後 期)	すみの 角 野 善 司	12以降入学生/教職2必 (禅・仏教・国文・英米文) (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

教育心理学は、教育場面に對して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特にカリキュラムと学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと願っています。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の3つを中心テーマとして進めます。

- ①カリキュラムとは
- ②生徒の学習、および学習に対する教授過程
- ③教育場面における評価の目的やあり方

#### 履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で教員免許や社会教育主事などの資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席して、主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目としても履修可能ですが、それらの学生にも同様のことを要求します。

#### 成績評価の方法

出席・課題提出・学期末テスト・学期末レポートの4点から、評価する予定です。いずれか1つでも、合格水準に達していなければ、単位を与えません。

#### 教 科 書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

#### 参 考 書 等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

#### そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。  
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	お くら やす よし 小 倉 康 仁	教 職 2 必 ( 禅・仏教・国文・英米文 ) ( 地理・歴史・社会・福祉・心理 )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

ここ十年あまりの間に、コンピュータ関連技術のめざましい進歩と同時に、我々とコンピュータとの係わり合いの在り方が以前と比べて様変わりしてきている。かつてルーティンワークの省力化・効率化の手段として我々の社会に導入されたコンピュータは、今や個人の表現・創造活動や問題解決思考のツール（道具）として不可欠のものとなっている。しかもそれらの活動を行うための単なる道具的手段に止まるものではなく、我々がそれらの活動を通じてこの世界に参加していく（世界と相互作用する）際のメディア（媒介物・媒体）としての役割を果たしていると言える。とくに最近では、個人と個人の間を取り持ち人間のネットワークを支える「コミュニケーションのメディア、コラボレーション（協働作業）のメディアとしてのコンピュータ」という位置づけが重要視されるようになってきている。

このようなコンピュータの利用形態と社会的位置づけの変化を背景として、教育分野におけるコンピュータ活用形態も大幅に変化してきている。そこでこの授業のねらいは、次の三つとする。

1. 「メディアとしてのコンピュータ」という切り口で、教育分野におけるコンピュータの活用方法について、教育学（教育方法論）の視点から理論的に考察する。
2. 問題解決思考のツール（メディア）としてコンピュータを利用してみる。
3. コミュニケーションやコラボレーションのメディアとしてコンピュータを利用してみる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる。講義部分の授業内容は、上述のねらい1. としてあげた事柄が主体となる。実習部分の授業内容は、上述のねらい2. と3. としてあげたものが相当し、具体的には以下の事項を予定している。（なお実習授業の進行速度は、パソコン初心者でも付いて来られるように配慮するつもりである。）

パソコンの基本操作

表計算ソフト EXCEL によるデータ整理・集計・分析、およびシミュレーション

WWW ブラウザによるホームページ閲覧

インターネット（WWW）上での情報検索・収集

インターネット上での電子メールによるやりとり

#### 履修上の留意点

履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。

#### 成績評価の方法

平常点（出席、学習態度、提出物など）と期末試験（ペーパーテスト）との総合点によって、成績評価を行なう。

#### 教 科 書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

#### 参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

#### そ の 他

授業内の操作実習には Windows パソコンを使用する。

また、この授業の履修希望者は、前期履修/後期履修を問わず、全員必ず4月の第1回授業に出席すること。（正当な理由なしに欠席した場合には、履修を認めないこともあります。）

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	いし ぼし たつ や 石 橋 達 也	教 職 2 必 (傳・仏教・国文・英米文・地理・歴史・社会) (福祉・心理・経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

本授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の実況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育／学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な操作や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の注意点や問題点についても検討していきます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。  
1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会の参加態度など。

#### 履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、毎回まじめに出席することと授業に積極的に取り組むことを期待します。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

#### 教科書

教科書は、次のものを使用する予定です。今榮国晴編著『新版 教育の情報化と認知科学——教育の方法と技術の革新——』（福村出版）1988 定価：本体2,400円＋税

#### 参考書等

授業の中で必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく予定です。

#### その他

授業の中で、毎回コンピュータを使用する実習時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも学ぶ意欲があれば、安心して学習していただけるはずで

教室のパソコンの台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部(昼間)の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	しば さき じゆん じ 芝 崎 順 司	教 職 2 必 (科・仏教・国文・英米文・地理・歴史・社会 福祉・心理・経A・商法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、マルチメディア・ネットワーク時代の学校教育・社会教育等教育活動の担い手として、さらには、生涯学習者として、必須と思われる各種のリテラシー（知識・技能・態度）を修得する目的や方法論について検討することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 メディアの歴史を概観し、現状、および将来の展望について検討する。
- 2 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。
- 3 マルチメディア・ネットワークに対応する各種のリテラシーについて、主として、欧米の先行的事例を紹介し、かつ、検討する。
- 4 マルチメディア・ネットワークワークリテラシープログラムを具体的に体験し、自己の情報リテラシーを高めるとともに、その目的や方法論について検討する。

履修上の留意点

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起にならざるをえない内容も多く含む。授業への積極的参加を期待する。

成績評価の方法

出席重視。評価は小レポートと最終レポートを総合的に評価しておく。

教 科 書

授業中に紹介する。

参 考 書 等

必要に応じて、授業中に紹介する。

そ の 他

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を中心とする。  
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究 (前期)	かとう ゆきお 加藤 幸夫	教職2・3必 (地理・歴史・経A・商)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

道徳教育の問題は、単に学校教育だけの問題ではなく、子どもを取り巻く社会生活全体に係わる問題である。すなわち、時代や社会の変化の中で、人間（子ども）はいかに生きるべきかという課題と密接に関連している。それ故、道徳教育の研究においては、道徳性の原理的追究と学校教育における実践的側面を精確に把握することが常に求められる。

このような視点に立って、人間形成における道徳教育の位置づけを明確にし、且つ、道徳教育の歴史の変遷を概観しながら、現代における道徳教育の基本的課題を分析・考察することが本講義のねらいである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I 道徳および道徳教育の本質
- II 現代社会と道徳教育
- III 戦前・戦後における道徳教育
- IV 道徳性の発達と道徳教育
- V 学習指導要領と道徳教育
- VI 道徳の時間における道徳教育
- VII 道徳教育の評価
- VIII 道徳教育の課題と展望

#### 履修上の留意点

これまで各自が受けた道徳教育を思い起こし、整理しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

#### 教科書

中野日直明・小川一郎編『新しい道徳教育』（酒井書店・育英堂）1,995円

#### 参考書等

岩村俊郎・志村欣一・他編『資料 道徳教育の研究』（北樹出版）

#### その他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 ( 前 期 )	お 小 川 一 郎 がわ 川 一 郎	教職2・3必 (国文・英米文・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

道徳教育は、人格の完成を目指す教育の根幹をなすものである。道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものであるが、小・中学校には、その中核として「道徳の時間」が設置され、学級担任が担当することになっている。

この「道徳の時間」を指導することができることを目指して、授業案を作成したり、模擬授業など実施し、実践的指導力を身につけさせたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①道徳教育の目的と意義
- ②戦前の道徳教育の特色
- ③戦後の道徳教育の特色、道徳の時間の設置の意味
- ④学習指導要領と道徳教育
- ⑤道徳性と道徳的实践力
- ⑥道徳の時間の内容と方法
- ⑦学習指導案の作成
- ⑧模擬授業の実施
- ⑨道徳の授業展開の問題点
- ⑩道徳教育と教師の役割

履修上の留意点

単なる知識の習得でなく、実践的指導力をつけることを目指しているので、授業に出席して、指導力を身につけるようにする。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教 科 書

小川一郎・中野目直明編著『新しい道徳教育』(酒井書店) 2,000円

参 考 書 等

小川一郎著『在り方生き方指導の理論と実践』(清水書院) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 ( 前 期 )	つる 鶴 巻 たけし 武	教 職 2 ・ 3 必 ( 徳・仏・教・社・福・社・心・理・経・語 )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の学校教育では、一人ひとりの生徒が夢や目標をもち、自らの人生や社会を切り開くことのできる豊かでたくましい心を育てるための道徳教育の一層の充実発展が求められている。この時間では、教育課程の一領域として位置づけられている「道徳」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を行う。また、新学習指導要領に示された改善の趣旨に基づいて教師としての実職的な指導力を身につけるため道徳の時間の指導計画（道徳の学習指導案）について、実際に立案し、具体的な指導の方法などを研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

①教育改革の動向と求められる心の教育 ②道徳教育の目標と道徳の時間の目標 ③道徳の時間の指導内容 ④生徒の道徳性をどうとらえるか ⑤規範なき時代の心の教育 ⑥心の底から納得できる道徳の時間の指導 ⑦力のある資料での道徳の時間の指導の実際 ⑧生命を尊重する心を育てる指導の在り方 ⑨社会のルールを守る心を育てる指導の在り方 ⑩道徳の時間の学習指導案の書き方 ⑪道徳の時間の資料分析の仕方 ⑫道徳の時間の学習指導案を実際に書く ⑬教師の指導技術をどう高めるか

履修上の留意点

文献に基づく道徳教育に関する研究だけでなく、道徳の具体的な指導の内容や方法について理解し、実際に指導できる能力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成等を総合的に判断し、評価する。

教 科 書

文部省『中学校学習指導要領解説－道徳編－』（大蔵省印刷局）260円

参 考 書 等

七條正典編著 『改訂 中学校学習指導要領の展開』（明治図書）1,480円

そ の 他

指導案の立案、毎時間の講義内容に則した小レポートを提出する等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 後 期 )	かとう ゆきお 加藤 幸夫	教職2・3必 (地理・歴史・経A・商)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

登校拒否やいじめ・非行など学校の内外を取り巻く諸問題が社会的問題となりつつある今日、児童・生徒の自主的・実践的態度を育成することを主なねらいとする特別活動が、現代の学校教育において果たすべき役割は誠に重要である。

教育現場において、これまで開発・展開されてきた特別活動の指導原理及びその方法について分析かつ考察し、特別活動の現代的意義と課題を明確にすることが本講の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| I 学校教育の構造と特別活動 | VI 児童会・生徒会活動の指導  |
| II 特別活動の歴史の変遷  | VII クラブ活動・部活動の指導 |
| III 特別活動の特質と内容 | VIII 学校行事の意義と課題  |
| IV 学級活動        | IX 特別活動の評価       |
| V ホームルーム活動     | X 特別活動の課題と展望     |

履修上の留意点

小・中・高校時代に受けた特別活動の内容を整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教 科 書

中野日直明・小川一郎 編『現代の特別活動』（酒井書店・育英堂）

参 考 書 等

柴田義松 編『特別活動』（教職課程講座・第6巻）（ぎょうせい）

そ の 他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 後 期 )	お 小 川 一 郎 <small>がわ 川 いち ろう</small>	教職 2・3 必 (国文・英美文・法A・政治)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

特別活動が人間形成に果たす役割は大きい。特に、青少年の社会性の欠如が言われている現代では、望ましい集団活動を通じて人間形成を図る特別活動の重要性は増大している。  
すべての教員が学級活動（ホームルーム活動）を中心に特別活動を指導することになるので、その実践的指導力をつけることがねらいとなる。

講義の内容・  
授業スケジュール

①特別活動の意義・目的 ②特別活動の方法的特質 ③特別活動の歴史的変遷 ④特別活動の内容 ⑤特別活動の指導計画と実践 ⑥特別活動と新しい学力観 ⑦特別活動と総合的な学習の時間 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨特別活動と道徳教育 ⑩特別活動と進路指導 ⑪特別活動と地域との連携 ⑫特別活動と人間形成

履修上の留意点

単なる知識の記憶でなく、実践的指導力を身につけることをねらいとしているので、出席して、意見・疑問等を出すことを希望する。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教 科 書

小川一郎・中野目直明編著『現代の特別活動』（酒井書店）2,000円

参 考 書 等

小川一朗著『在り方生き方指導の理論と実践』（清水書院）1,500円

そ の 他

講義を主に、随時討議などを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 後 期 )	つる 鶴 巻 武	教職 2・3 必 (簿記・社会・福祉・心理・経営)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

現在、教師には生徒の心身の健全な発達を図り、当面する課題に適切な指導や援助をする実践的な指導力が求められている。この時間で学ぶ「特別活動」は、集団活動を通じた教育活動により、集団や社会の一員としての自覚を深め、生徒の個性の伸張と調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、学級や学校生活の基盤の形成に重要な役割を果たしている。この「特別活動」の教育的意義や目標、内容及び方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。中でも、実践的な面を重視し特別活動の内容や活動内容の取り扱い方、指導方法などについての具体的な研究を通して、教師としての実践的な指導力を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

①生きる力の育成と特別活動の役割 ②生きる力の火種を培う指導 ③不登校生徒の現状から生徒指導の課題を考える ④特別活動の目標と基本的な性格 ⑤学級活動の特質と学級経営の関連 ⑥学級活動の指導(1)「適応」を中心に ⑦学級活動の指導(2)「ガイダンスの機能の充実」を中心に ⑧学級活動の指導(3)「生徒の活動と教師の指導性」 ⑨生徒会活動とボランティア活動 ⑩学校行事と開かれた学校・開かれた教育活動 ⑪特別活動と総合的な学習との関連 ⑫学級崩壊と教師の指導の在り方 ⑬生徒指導の充実と教育相談の進め方

#### 履修上の留意点

特別活動の具体的な実践にかかわる指導内容、指導方法等についての理解を深め、教師としての識見を高め、実践的な指導力を身につけて欲しい。

#### 成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し評価する。

#### 教科書

文部省『中学校学習指導要領 解説－特別活動編－』（ぎょうせい）70円

#### 参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『改訂中学校学習指導要領の展開－特別活動編－』（明治図書）1,680円

#### その他

毎時間の講義の内容に則した小レポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こ み やま 小 宮 山 かなめ 要	教職 2・3 必 (准:教経A・商法A・政治・経営)	2

※経 B・法 B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

現在の学校現場には、「いじめ」「不登校」「校内暴力」「学級崩壊」等さまざまな問題が発生している。本講義ではこれらの問題を正しく理解し、適切に対応できる教師としての基礎的能力を身につけることを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本講義では生徒のいじめ問題に焦点を当てながら、生徒指導の理論と方法を下記のような流れに従って具体的に学習する。

- 1 生徒指導の意義と課題
- 2 生徒指導の原理
- 3 生徒の問題行動の実態
- 4 行動理解のための基礎理論・心の法則
- 5 生徒の問題行動の発現メカニズムとその理解
- 6 生徒の問題行動への対応
- 7 学校・家庭・関係機関との連携

#### 履修上の留意点

履修する学生は、教職志望者であることを念頭に置き、授業に積極的に参加することを希望する。

#### 成績評価の方法

定期試験、レポート、出席等をもとに総合的に判断する。

#### 教 科 書

小宮山要著『間違いだらけのいじめ指導』（明治図書）1,760円

#### そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こく がん ま り こ 国 眼 眞 理 子	教職2・3必 <small>(国・文・英・数・理・社会・保健・心理)</small>	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

心理学をベースにして、生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで必要な基礎的な視点を学ぶとともに、思春期・青年期についての理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 「思春期」「青年期」とはいかなる時期か
- ② 青年期における心理的な課題
- ③ アイデンティティの視点から（形成・発達）
- ④ アイデンティティ形成と人間関係
- ⑤ 進路選択と職業的なアイデンティティ
- ⑥ アイデンティティをめぐる混乱
- ⑦ サポーターとしての教師の役割

履修上の留意点

教養教育科目として開設されている「発達と学習の心理学」「教育心理学」「心理学」のいずれかを履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

- ① 指定図書（授業時に提示）を読み、論題に添ってレポートを作成
- ② 「職業的アイデンティティ形成」に関するレポートを作成
- ③ 定期試験

レポート点（各30点、計60点）、定期試験（30点）、出席点（10点）合計100点で成績の認定を行う。但し、レポートの期限内提出と定期試験受験を成績認定の条件とし、いずれかのレポートが未提出ないし定期試験を受験しなかった者は、成績を認定しない

教 科 書

今年度は特に使用しない。授業中に配布する資料に沿って講義を進める

参 考 書 等

- ① 鏑幹八郎『アイデンティティの心理学』（講談社現代新書）1990
- ② 鏑幹八郎・山下格（編）『アイデンティティ』（日本評論社）1999

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得したものは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	佐 藤 尚 人 <small>さとう なおと</small>	教職2・3必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	生徒指導や進路指導を行なうにあたり、生徒を正しく理解することは必須の条件である。本講義では、まず年齢に則して子どもの特性を見てゆく。その上で、各年齢各時期で注意しなければならない指導の内容や方法について考えてゆく。
講義の内容・ 授業スケジュール	E.H.エリクソンの発達段階・課題の考え方を参考に、発達にともなう子どもの特性やその変化を理解する。その上で、各年齢各時期に起こりやすい問題行動の解決や進路選択での指導を考えてゆく。
履修上の留意点	第1時間めの授業で履修上の留意点(授業に参加する際の注意事項)を話すので、履修希望者は必ず出席すること。
成績評価の方法	評価は原則として期末試験の結果で行なう。ただし、日常の授業への積極的な参加態度(発言・質問・課題提出など)をプラスして評価する。
教科書	テキストは特に使用しない。
参考書等	参考書等は逐次紹介する。
その他	この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	遠 藤 司 <small>えん どうつか</small>	教職2・3必 (国文・英米文・歴史・地理・政治・経済)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒(他者)の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。
講義の内容・ 授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷</li> <li>2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題</li> <li>3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察</li> <li>4. 教師-生徒関係の中での生徒指導、進路指導</li> <li>5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導</li> </ol>
履修上の留意点	考えることを厭わない学生の履修を望む。
成績評価の方法	期末試験、またはレポートを予定している。
教科書	特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。
その他	この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	かわ 川 原 誠 司	教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

生徒を指導するとはどういうことか、生徒指導を行っていく上で必要ことは何かを、主に教師の「心のありよう」という点を中心にして、心理学的に解明していくことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください。

成績評価の方法

成績評価の柱は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定します。詳細は最初の授業で説明します。

教 科 書

教科書は授業中に指示します。

そ の 他

授業の一部では、生徒指導に関する和文献や英文献をグループで発表してもらったり、あるいは実技を行うことなども考えています。

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 臨 床 (後 期)	こ み や す 小 宮 山 要	12以降入学生/教職2・3必 (禅・仏教・経A・商) (法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育現場での「いじめ」「不登校」「校内暴力」「学級崩壊」をはじめ「無気力」「学習不振」等さまざまな問題を抱えている。本講義では、学校現場で何らかの援助を必要としている生徒たちに、どのように対処していくかという具体的な手法を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講義では幅広い臨床心理学の考え方を柔軟に取り入れて、臨床指導の基本的考え方と方法について下記のような流れに従って学習する。

- 1 心が病むとは何か
- 2 生徒の問題のとらえ方(理解の基本的視座)
- 3 心理診断
- 4 学校カウンセリングの諸問題
- 5 指導の諸技法
- 6 事例研究法
- 7 父母面接の進め方

履修上の留意点

履修する学生は、教職志望者であることを念頭に置き、授業に積極的に参加することを希望する。

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席等をもとに総合的に判断する。

教 科 書

使用しない。授業時に資料を配付して講義を行う。

参 考 書 等

授業時に適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 臨 床 ( 後 期 )	こくがんま 国 眼 真理子	12以降入学生/教職2・3必 (国文・英米文・地理) (歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

現代社会における思春期・青年期についての理解を深め、心理学をベースにして、生徒理解についての基本的な視点を学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ① 臨床的な視点とは何か
- ② 現代社会における「思春期」「青年期」
- ③ 思春期・青年期における臨床的な問題
- ④ 演習（「見る」「聴く」を中心にして）
- ⑤ 教師の役割（カウンセリング・マインドとは）
- ⑥ カウンセリングの基礎知識

#### 履修上の留意点

教養教育科目として開設されている「発達と学習の心理学」「教育心理学」「心理学」のいずれかを履修済みであることが望ましい。

なお授業は、後半部分は演習を中心に行うので、積極的に参加してほしい。

#### 成績評価の方法

- ① 指定図書（授業時に提示）を読み、論題に添ってレポートを作成
- ② 各演習後のレポート提出
- ③ 定期試験

レポート点（60点）、定期試験（30点）、出席点（10点）合計100点で成績を認定。但し、レポートの期限内提出と定期試験受験を成績認定の条件とし、いずれかのレポートが未提出ないし定期試験を受験しなかった者は、成績を認定しない。

#### 教 科 書

今年度は特に使用しない。授業中に配布する資料に沿って講義を進める。

#### 参 考 書 等

授業時に提示する。

#### そ の 他

この科目は、平成11年度以前の入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 ( 後 臨 期 )	さ とう な お と 佐 藤 尚 人	12以降入学生/教職2・3必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	不登校やいじめ、非行や無気力などのさまざまな子どもの問題行動を、具体的な事例を参照しながら検討する。あわせて生徒指導や進路指導を行なう際の注意点や教師としての対処方法も考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	問題行動解決のための方法の1つとして、行動療法や心理療法、カウンセリングなどの考え方を紹介する。教師としてしなければならないこと、してはならないこと、教師として知っておくべきことなどを整理分類して考える。
履修上の留意点	第1時間めの授業で履修上の留意点（授業に参加する際の注意事項）を話すので、履修希望者は必ず出席すること。
成績評価の方法	評価は原則として期末試験の結果で行なう。ただし、日常の授業への積極的な参加態度（発言・質問・課題提出など）をプラスして評価する。
教 科 書	テキストは特に使用しない。
参 考 書 等	参考書等は逐次紹介する。
そ の 他	この科目は、平成11年度以前の入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 ( 後 臨 期 )	えん とう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生/教職2・3必 (国文・英米文・経A) (商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	心の教育が重視されている現在の教育現場において、生徒が自らの生き方を考え、自己を確立するために、一方的な指導ではなく、相互の対話を基に生徒との関係を作ろうとする教師の姿勢が求められている。特に、カウンセリングに代表されるような、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業においては、臨床心理学的視点に学びながら、生徒が陥りやすい心の危機に対する対処法や援助法について、実践的に学ぶことを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	1. 人が人と関係をもつことの意味 2. カウンセリングマインドとは 3. 教師としてカウンセリングマインドをもつことの意味 4. 教師-生徒関係の見直しと再生の過程 5. 人間の生涯における思春期・青年期の諸問題
履修上の留意点	考えることを厭わない学生の履修を望む。
成績評価の方法	期末試験、またはレポートを予定している。
教 科 書	特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。
そ の 他	この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 ( 後 臨 期 )	かわ ほう せい し 川 原 誠 司	12以降入学生/教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校という場所で子どもや教師の中に起こっていることについて、主に心理学的な面から注目して、教師の仕事を行うにあたっての視点の広がりや深まりを獲得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください。

成績評価の方法

成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定します。詳細は最初の授業で説明します。

教 科 書

教科書は授業中に指示します。

そ の 他

授業の一部では、和文献や英文文献を読んでもらうこと（グループで発表してもらうこと）や自分自身のことについて考えてもらう機会も予定しています。

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(1)[障害児と教育] ( 前 臨 期 )	えん とう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「総合的な学習の時間」の本質やその意義について理解するという目的の上に、本時間の運営のために必要な教師としての諸能力や態度を養う。この授業においては、あらゆる教育の根本に位置するという意味で、教育問題を考える上で非常に重要な問題であるところの障害児教育問題について、障害児教育の在り方について、実践を含めて現在の在り方まで総合的に学んでいく。最終的には、このテーマに即した授業プランを作成できるように学びを深めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

「総合的な学習の時間」を実際に授業することを仮定した案を参加者に作成してもらい発表してもらったことをもとに授業を進めていくことを考えている。具体的には、参加者の数や問題意識等を把握した上で決定する。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教 科 書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(2)〔障害児と福祉〕 (後 期)	えん とう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「総合的な学習の時間」の本質やその意義について理解するという目的の上に、本時間の運営のために必要な教師としての諸能力や態度を養う。この授業においては、現代日本社会における様々な問題を根本的に考える意味において非常に重要な問題であるところの障害者福祉について、実践を含めて現在の在り方まで総合的に学んでいく。最終的には、このテーマに即した授業プランを作成できるように学びを深めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

「総合的な学習の時間」を実際に授業することを仮定した案を参加者に作成してもらい発表してもらったことをもとに授業を進めていくことを考えている。具体的には、参加者の数や問題意識等を把握した上で決定する。

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教 科 書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(3)〔環境教育〕 (前 期)	きた むら かず お 北 村 和 夫	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

環境問題がなぜ生じているのか、そしてなぜ解決できないのかを検討することを通して、環境問題の解決のために環境教育が何をなしているのかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

環境教育の意義を理解した上で、具体的内容について考える。特に、人間、社会、環境といったことについて、常識的な見方の修正を迫るものを扱う。視野が広がるという体験をすることを目標とする。

履修上の留意点

欠席しないこと

成績評価の方法

レポート

教 科 書

北村和夫『環境教育と学校の変革－ひとりの教師として何ができるか』(農山漁村文化協会) 2000年 2,900円(税込)

そ の 他

最初の何回かは講義をするが、その後は、可能ならばゼミ形式で進めたい。  
この科目は、平成11年度以前の入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習4〔近代社会と身体〕 (後 期)	きたむら かずお 北 村 和 夫	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

近代社会において、身体がどのようなものと見なされ、扱われてきたかを考える。そのことを通して、私たちの身体観が特殊近代的なものであることを理解し、それにどのような問題があるかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

身体観についての研究成果を学ぶことと平行して、自分自身の身体観が、いつ、どのようにして形成されてきたのかを振り返る。そうする中で、身体観が意外に大きく自分の生き方を左右していることに気付くはずであるが、そこで、別の身体観を持っていたらどうだったろう、と考える。

履修上の留意点

欠席しないこと

成績評価の方法

レポート

教 科 書

最初に読むべき本の一覧表を配り、内容を解説する。その中から一冊を選び、きちんと読む。

そ の 他

最初の何回かは講義をする。その後は、可能ならばゼミ形式にする。  
この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習5〔対人関係とストレス〕 (前 期)	かわはら せいし 川 原 誠 司	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「ストレス」という言葉が日常頻繁に用いられているが、そのメカニズムについて考えることは少ない。本演習ではストレスの心理学的プロセスの詳細について学習し、学校現場でのストレスの実情を理解することを目的とする。子どもの時期のストレスを中心に進めていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください

成績評価の方法

成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定します。詳細は最初の授業で説明します。

教 科 書

教科書は授業中に指示します。

そ の 他

ストレスに関する文献をできるだけ毎週読んでもらい、それらに対してきちんと思考・批評してもらおうことを考えています。  
この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(6)[学校における対人関係] (後 期)	かわ 川 原 誠 司	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教師-生徒関係、子ども同士の関係、教師同士の関係など学校における対人関係について、心理学的な面から考えていくことを目的とする。とりわけ、対人関係における支え合い（ソーシャル・サポート）の面を中心に考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業スケジュールについては初めの方の授業で述べる予定です。

履修上の留意点

一番最初の授業で受講人数を把握して、大まかなスケジュールを作成しますので、受講希望の学生は最初の授業に必ず出席してください。いろいろな面で「自分で考えて動くこと」を授業の柱にしますので、そのことを念頭に置いて受講してください

成績評価の方法

成績評価の形式は、受講人数や受講態度などによって変わるものなので、授業を進めていく中で決定します。詳細は最初の授業で説明します。

教 科 書

教科書は授業中に指示します。

そ の 他

対人関係やソーシャル・サポートに関する文献をできるだけ毎週読んでもらい、それらに対してきちんと思考・批評してもらおうことを考えています。  
この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(7)[精神障害者と地域] (前 期)	の 野 なか ひろ とし 敏	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

いわゆる「精神障害」とそれへの援助的関与について、諸事例を手掛りに考えてみたい。  
主に以下のようなテーマをとり上げ、輪講及び対話形式で授業を進めていく予定である。  
○「精神障害」を経験する者の体験の様相について。  
○「疾病」というよりは「障害」「ハンディキャップ」としての「精神障害」について。  
○「精神障害者」が地域で生きることをめぐって。

履修上の留意点

授業の中で交わされるであろう語りに、真摯に聴きいることを、基本的な参加態度としたい。  
具体的な授業の進め方については、受講数及び受講者の問題意識なども考慮して決定したい。

成績評価の方法

発表を含めた出席状況及びレポートによる。

教 科 書

講義の中で紹介する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合演習⑧〔精神障害者とボランティア〕 (後 期)	の 野 <sup>なか</sup> ひろ とし 敏	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

総合演習⑦〔精神障害者と地域〕に掲げたテーマ及び講義形式をふまえて、授業を進めていく。  
(総合演習⑦を参照のこと。)

成績評価の方法

発表を含めた出席状況及びレポートによる。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合演習⑨〔教育と法律〕 (前 期)	ひろ さわ あきら 広 沢 明	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本年度から新設された「総合演習」の一つとして、「教育と法律」について扱う。今年度は教育基本法の改正問題に焦点を合わせ、教育基本法の各条文の理解を深めようと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

学生をテーマごとにグループ分けし、毎回担当者が報告し、全員で討論する。テーマについては、最初の授業で提示する。

履修上の留意点

演習形式で進めるので、授業への積極的参加が不可欠である。

成績評価の方法

出席状況、報告、レポートで評価する。

教 科 書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参 考 書 等

授業にて指示する。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(10)[子どもの人権] (後 期)	ひろ さわ あきら 広 沢 明	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	本年度から新設された「総合演習」の一つとして、「子どもの人権」について扱う。子どもの権利条約に焦点を合わせ、様々な子どもの人権問題の理解を深めようと思う。
講義の内容・ 授業スケジュール	学生をテーマごとにグループ分けし、毎回担当者が報告し、全員で討論する。
履修上の留意点	演習形式で進めるので、授業への積極的参加が不可欠である。
成績評価の方法	出席状況、報告、レポートで評価する。
教 科 書	『解説教育六法』（三省堂）を必携。
参 考 書 等	授業にて指示する。
そ の 他	この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習(11)[生と死の教育] (前 期)	やなぎ ほり まが こ 柳 堀 素 雅 子	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい	現代医学の中心は「治癒（cure）を目的にしたものであり、いかに病気を治すかに力点が置かれていた。しかし治癒不可能な病気はどうしたらいいかについては、なおざりにされがちであった。治らない病気に対しては延命中心主義でのぞんできた現代医療のあり方を問い直し、ケア（care）の概念を導入した「ターミナルケア」のあり方について考えていきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	①現代の死の特徴 ②現代の病院の状況 ③末期医療の状況と問題点 ④ホスピスとはどのようなところか ⑤がん告知について etc.
履修上の留意点	与えられたテーマについて報告者を決めて報告してもらい、ディスカッションをしていく予定なので、参加者全員に自分の意見を述べてもらいます。
成績評価の方法	平常点の比重が高くなります。
教 科 書	柏木哲夫『死を看取る医学』（NHK 出版） 870円
参 考 書 等	講義の中で、その都度お知らせします。
そ の 他	講義とゼミとディスカッションを織り交ぜていきます。 ビデオも使用します。 この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合演習12〔生命倫理〕 (後 期)	やなぎ ほり す が こ 柳 堀 素 雅 子	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

20世紀後半は、医学技術が加速度的に開発された。その結果脳死と臓器移植、安楽死と尊厳死、生殖技術、ヒトゲノム解析、遺伝子治療や出生前診断、クローンの問題など、旧来の生や死の概念の変更を迫るような問題が出てきた。これら人間の生命をめぐる問題と人間の生命の価値を考えていくために「生命倫理」という新しい学問分野が生まれた。現代医療がもたらした問題点を探りながら、改めて人間の生命の尊厳と価値という問題について取り組んでいきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①生命倫理とは何か
- ②先端医療をめぐる個別的な問題点
- ③患者の人権
- ④先端医療と障害者差別の問題
- ⑤先端医療の問題点の克服に向けて

履修上の留意点

取り出された問題点について、個々人が自らの意見をきちんと述べられるようにすること。

成績評価の方法

平常点に比重が置かれます。

教科書

なし

参考書等

講義の中で、その都度お知らせします。

そ の 他

ビデオ、OHPなどを使って講義をしますが、それぞれのテーマについてディスカッション、レポート報告などもしてもらいます。自らの意見を述べられるように準備してください。この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合演習13(現代的学習課題とジェンダー) (前 期)	なか さわ ち え 中 澤 智 恵	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の生活経験をふまえて考察し、受講者同士の相互学習の中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容は、①ジェンダーとは何か、②ジェンダーの形成、③学校教育とジェンダーなどを予定している。後半は、受講者各自のレポート発表にもとづいた討議を中心とする。

履修上の留意点

履修上、後期「学校教育におけるジェンダー」とあわせて受講されたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席、授業中のディスカッションへの参加状況、およびレポート発表の内容にもとづいて行うので、受講者の授業への積極的な参加を求める。

参考書等

参考書は、石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年）・木村涼子『学校教育とジェンダー』（勁草書房、1999年）ほか、適宜指示する。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習Ⅳ(学校教育におけるジェンダー) (後 期)	なか ざわ ち へい 中 澤 智 恵	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の生活経験をふまえて考察し、受講者同士の相互学習の中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容としては、ジェンダーの観点からマス・メディアの問題について概説し、メディア・リテラシーに関するワークショップを行う。また、セクシュアリティをめぐる問題について取り上げる。後半では、前期の講義をふまえ、各自の問題意識をほりさげたレポート発表にもとづいて討議する。

履修上の留意点

履修上、前期「現代的学習課題とジェンダー」とあわせて受講されたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席、授業中のディスカッションへの参加状況、およびレポート発表の内容にもとづいて行うので、受講者の授業への積極的な参加を求める。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合演習Ⅱ(現代家族の諸問題と教育) (前 期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	12以降入学生 /教職2・3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現代社会の諸問題のなかでも、子どもの発達の基盤として重要な意味をもつ家族について、今日の諸問題を取り上げ、教育の観点から、その実態、背景、原因を解明し、有効な問題解決の方策をさぐることをねらいとしている。社会的に憂慮されている社会性の発達の遅れなど子どもの発達をめぐる問題、不登校・いじめ・校内暴力など学校における問題、その他の非行問題の背景には、近年、大きく変容しつつある現代家族の在り方をめぐる問題がある。この点を十分に理解し、どのように対応すればよいかを考えるとところに講義のポイントがある。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次ぎの三つのセクションに分けて行われる。  
 第1セクション「家族集団と子どもの発達」-4月。  
 教育の場としての家族の意義。人間形成を方向づける家族の集団力学と文化。教育をめぐる定住家族と生殖家族。  
 第2セクション「産業の発展にともなう家族の変容と教育機能の衰退」-5月。  
 産業構造の変化と家族規模の縮小、核家族の一般化。役割構造の変化と学習-教育プロセスの変化。共同体としての家族の“崩れ”と教育機能の低下。  
 第3セクション「現代の家族をめぐる問題の諸相と人間形成」-6、7月  
 出生率の低下-少子化の教育問題。親子関係の変容。メディアの家庭支配と連帯の弛緩。共働きの一般化と保育問題。高齢化における家族の福祉機能と教育機能-その可能性と限界・家族間の格差。

履修上の留意点

家族問題への関心。

成績評価の方法

出席状況と試験の成績。

授業の方法

講義に討論場面を加える。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に紹介。

その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 科 教 育 法	こ 山 一 乗 こ やま かず のり 乗	教 職 3 必 ( 禅 ・ 仏 教 )	4

講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。  
教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。  
特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。  
我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。

その上で、「宗教の定義集」への着目をし、「『宗教に関する寛容の態度』の涵養」への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。

宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『仏教概論——分かりやすい仏教——』をテキストにして、原則として模擬授業(50分)を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらおう。

模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

模擬授業、レポート、出席点により総合的に評価する。

教 科 書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社)2,940円  
『仏教概論——分かりやすい仏教——』(曹洞宗宗務庁)800円  
小中高各『学習指導要領』各 230円 250円 370円

参 考 書 等

井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版)3,900円  
『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版)1985年  
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道 どこが違うか』(大法輪閣)1,600円  
『教育小六法』(学陽書房)2,200円  
その他適宜紹介する。

そ の 他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業(演習)を折衷した形態となろう。定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。

プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語科教育法	かみ 谷 道 倫 神 谷 道 倫	教職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のものの提出と、実際の教材による模擬授業の形式(グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加)で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。(なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。)

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加(出席)の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書

全国大学国語教育学会編 新中学校・高等学校『国語科教育研究』(学芸図書株式会社)  
1,300円+消費税

参考書等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道科教育法	な す たか よし 那 須 隆 吉	教職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特質を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教科書

高等学校芸術科書道指導資料 文部省編著『指導計画の作成と学習指導の工夫』(教育図書)  
990円

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語科教育法	荒井良雄	教職3必 (英米文)	4

講義のねらい

英語科教育法の理論と実践を、教授法の実際面を重視しつつ、授業計画、授業の展開、評価などを中心に実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 主な英語教授法
2. 言語材料と指導
3. 「聞き方」の指導法
4. 「話し方」の指導法
5. 「読み方」の指導法
6. 「書き方」の指導法
7. 指導案のあり方
8. 指導形態の研究
9. 評価とテストの方法
10. 視聴覚器具の利用法

履修上の留意点

中学校や高等学校の教壇に立って教える立場になることを常に念頭において、英検準1級、TOEFL600点前後を取得していることが望ましい。中学生や高校生で2級はもとより準1級取得者もいることを忘れないように。

成績評価の方法

平常点を重視し、前期、後期、学年末試験の成績を総合して判定する。

教科書

土屋澄男、広野威志著『新英語科教育法入門』（研究社出版）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法 I (後期)	生田清人	教職3必	2

講義のねらい

- (1) 中学校社会科がどのような教科であるか理解すること。
- (2) 授業を行うために必要な基礎的知識を習得すること。
- (3) 実際に授業を計画し展開できる技術を習得すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 「社会科」がどのように成立しどのようなあゆみをしてきたのかを、とくに教科書の記述の検証を通して考える。この検討をもとに年間授業計画を作成する。
- (2) 学習指導案、授業教材を作成するために、いろいろな教材を使った授業や授業形態の実践例を紹介し、この時期の生徒の発達段階にあった「社会科」の学習指導について考える。また、「社会科」を中心とした総合的学習についても考える。このまとめとして学習指導案と授業教材を作成する。
- (3) 「社会科」を構成する地理・歴史・公民各分野の内容とこの時期の生徒の学習活動の発達段階をもとに学習評価について考える。

成績評価の方法

年間授業計画・学習指導案・教材プリントなどをまとめたレポートの到達度評価と出席状況により評価する。なお詳細は最初の講義において述べる。試験は実施しない。

教科書

社会認識教育学会 編 『改訂新版 中学校社会科教育』（学術図書出版社）1854円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	い きた きよ と 生 田 清 人	教 職 3 必	2

講義のねらい

- (1)地理、歴史それぞれの科目の学習目標を理解すること。
- (2)授業を行うために必要な基礎的知識を習得すること。
- (3)実際に授業を計画し展開できる技術を習得すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1)同じテーマ（例えば、アメリカ合衆国の西部開拓、イギリスの穀物法など）について、地理と歴史の扱い方の違いを検証し、それぞれの科目の学習目標を考える。
- (2)地理を例に、日本と諸外国（とくにイギリス）の地理教科書の比較から、授業の構成についてのいろいろな考え方を紹介し、授業の構成について各自が自分なりの考え・姿勢を持つことを目標とする。このまとめとして年間授業計画を作成する。
- (3)学習指導案、授業教材を作成するときに必要な知識と技術を習得するために、いろいろな教材を使った授業や授業形態の実践例を紹介し、これらの作成の方法や学習評価について考える。この検討をもとに学習指導案と授業教材を作成する。

成績評価の方法

年間授業計画・学習指導案・教材プリントなどをまとめたレポートの到達度評価と出席状況により評価する。なお詳細は最初の講義において述べる。試験は実施しない。

教科書

社会認識教育学会 編 『改訂新版 地理歴史科教育』 学術図書出版社 1751円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅰ (後期)	ま くら い あき ひさ 桜 井 明 久	教 職 3 必	2

講義のねらい

中学校社会科の内容・教授法について、地理分野を例に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおよその内容は、以下の通りである。

- ④指導案の作成
- ⑤模擬授業
- ⑥授業の研究と方法
- ⑦地理教師の仕事

履修上の留意点

授業計画上、前期の地理歴史科教育法Ⅰ（地理A、地理Bを中心課題とする）とセットとして授業計画を組むので注意すること。後期のみ受講するものは、後期の最初に模擬授業の準備のための宿題を課すので、講義の第1日目には必ず出席のこと。それが不可能な場合には、事前に桜井まで申し出ること。

中学校社会科のうち、地理的分野を中心題材とする。

個人またはグループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については厳しく取り扱う。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。又、実践を中心とするため、必要な情報は教科書から得てもらうことになるので、そのレポートも指定された時期に必ず提出すること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、模擬授業の成果など 50点  
レポート 30点 期末試験 20点

教科書

桜井明久 (1999) 『地理教育学入門』 (古今書院) 3,800円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	教職 3 必	2

講義のねらい

高等学校地理歴史科の教育目標・内容と教授法について、地理 A、地理 B を例に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおよその内容は、以下の通りである。  
①地理教育の目標 ②マイクロティーチング ③教授方法上の工夫  
④指導案の作成

履修上の留意点

授業計画上、後期の中学校社会科教育法Ⅰ(中学校地理的分野を中心課題とする)とセットとして、すなわち通年の授業として計画を組むつもりであるので注意すること。  
各自マイクロティーチングを試みるなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については、厳重に注意すること。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。なお、地理歴史科の科目・地理 A、B を中心題材とするので注意すること。  
また、実践中心の授業を計画するため、伝えたい情報の多くは教科書を読んで掴んでいただくことになるが、指定された期日までに指定された内容のレポートを出すことになることにも十分に注意すること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチングなど 50点  
レポート 30点 期末試験 20点

教科書

桜井明久(1999)『地理教育学入門』(古今書院)3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅰ (後期)	かじ き まさ くに 藤 木 正 国	教職 3 必	2

講義のねらい

中学校社会科(特に歴史的分野)の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①戦後日本教育制度の変遷
- ②社会科成立の事情と学習指導要領の変遷
- ③歴史的分野の目標と内容
- ④学習指導案の作成
- ⑤個別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員を旨ざし努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫とを忘れぬように。

成績評価の方法

出席状況(重視)、提出物、定期考査などを総合し評価する。

参考書等

『中学校学習指導要領解説-社会編-』(文部省・大阪書籍)と中学校社会科歴史分野の教科書を一冊用意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	ふしき まさくに 藤 木 正 国	教職 3 必	2

講義のねらい

高等学校社会科(特に日本史)の教師として、自から授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①日本教育制度の変遷(古代～戦前)
- ②地理歴史科の日標
- ③日本史(A・B)の目標と内容
- ④学習指導案の作成
- ⑤グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員を目指し努力すること。安易な単位修得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫とを忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況(重視)、提出物、定期考査などを総合し評価する。

教科書

『高等学校学習指導要領解説・地理歴史編』(文部省・実教出版)と高等学校日本史Bの教科書を一冊用意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	はしつめ さとし 橋 爪 敏	教職 3 必	2

講義のねらい

この授業は、中学校社会科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、社会科教育法に関する文献購読(下記テキスト)を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教科書

社会認識教育学会編『社会科教育学ハンドブック』(明治図書)

参考書等

適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 I ( 前 期 )	はし づの さとし 橋 爪 敏	教 職 3 必	2

講義のねらい

この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献購読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教 科 書

使用するが、未定。

参 考 書 等

適宜、授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅱ (後期)	や しま ただ みつ 谷 敷 正 光	教職3必	2

#### 講義のねらい

本講は中学校社会科で教育実習を行う学生や社会科教師を目指す学生に、「教育とは」「社会科教育とは何か」といった社会科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで社会科教師としての資質・力量形成を目標に行います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立と意義
3. 中学校社会科学習指導要領の変遷
4. 中学校の教育課程と社会科
5. 中学校社会科の授業設計
6. 中学校社会科の指導法
7. 中学校社会科と思考力を育てる授業
8. 中学校社会科の教材開発と資料の活用
9. 中学校社会科学習指導案の意義と作成
10. ビデオによる社会科教師の授業研究
11. 中学校社会科の目標（平成元年度版・平成10年度版）
12. 中学校社会科の内容・取り扱い（平成元年度版・平成10年度版）
13. 社会科の評価
14. 社会科教育実習における「教師教育」
15. 社会科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導します。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚室に変更することがあります。

#### 成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。小テストは授業中に実施。

#### 教科書

毎時間、講義の教材として年間数十枚のプリントを配布するので、教科書は使用しない。

#### 参考書等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』（岩波新書）
- ②無着成恭『山びこ学校』（角川文庫）
- ③灰谷健次郎『兎の眼』（新潮文庫）
- ④大森・谷敷『社会科教育研究』（梓出版）
- ⑤槐一男『社会科教材発掘の技術』（日本書籍）
- ⑥谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』（黎明書房）
- ⑦谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』（明治図書）
- ⑧浜上薫『発問づくりの技術』（明治図書）
- ⑨鈴木健二『社会科指導案づくりの上達法』（明治図書）
- ⑩中学校社会科（地理的分野、歴史的分野、公民的分野）の教科書
- ⑪文部省『中学校学習指導要領』、文部省『中学校指導書』（大阪書籍）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 I ( 前 期 )	や 谷 敷 正 光	教 職 3 必	2

#### 講義のねらい

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで公民科教師としての資質・力量形成を行います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立と意義
3. 高等学校社会科（公民科）学習指導要領の変遷
4. 高等学校の教育課程と公民科
5. 高等学校公民科の授業設計
6. 高等学校公民科の指導法
7. 高等学校公民科と思考力育成の学習過程
8. 高等学校公民科の教材開発と資料の活用
9. 高等学校公民科学習指導案の意義と作成
10. 4年生による模範授業（授業研究）
11. 模範授業を通じての高等学校公民科の授業実践研究
12. 高等学校公民科の目標（平成元年度版・平成11年度版）
13. 高等学校公民科の内容・取り扱い（平成元年度版・平成11年度版）
14. 教育評価
15. 公民科教師論
16. 公民科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

#### 成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。小テストは授業中に実施します。

#### 教 科 書

毎時間、講義の教材として年間数十枚のプリントを配布するので、教科書は使用しません。

#### 参 考 書 等

講義に関する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』（岩波新書）
- ②槐一男『社会科教材発掘の技術』（日本書籍）
- ③谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』（黎明書房）
- ④谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』（明治図書）
- ⑤福山憲市『資料提示の技術』（明治図書）
- ⑥大森・谷敷『社会科教育研究』（梓出版）
- ⑦高等学校社会科（現代社会、政治経済、倫理）の教科書
- ⑧文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』（実教出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	お <small>がわ</small> 川 <small>てる</small> 輝 <small>ゆき</small> 之	教職3必	2

講義のねらい

社会科教育の目的、社会科教育の歴史、社会科の各分野（地理的分野、歴史的分野、公的的分野）の目標及び内容構成、授業計画、実践事例等について考える。新学習指導要領における社会科の改善点や社会科教育との関連性が深い中学校道徳についても検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

社会科教育の目標、内容構成、年間授業計画、実践事例を検討、その上で授業指導案（学習指導案）を作成し、模擬授業を実践する。模擬授業は指定された内容の中から教材を選択し、提出された授業指導案（学習指導案）に基づき、できるだけ全員が行うこととするが、受講生が多い場合には、班を編成して代表者が行う。授業終了後には自己評価を行い、受講生による合評会を開いて検討し、さらに評価問題を作成する。

履修上の留意点

社会科の指導に要請される広い視野を養うために、社会科の各分野（道徳も含めて）に関心を持つとともに、教材研究に努めることが期待される。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、出席状況・レポート（50%）、授業指導案（学習指導案）・模擬授業・評価問題の作成（50%）などにより総合的に評価する。

教科書・  
参考書等

教科書は使用しないが、文部省発行の学習指導要領の解説書を使用する。具体的には開講時に指示する。また、授業時に適宜印刷物を配付する予定である。

そ の 他

受講生数にもよるが、講義、討論、発表など多様な授業展開に心がけ、実践力を養うよう工夫したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公民科教育法Ⅰ (前期)	お <small>がわ</small> 川 <small>てる</small> 輝 <small>ゆき</small> 之	教職3必	2

講義のねらい

公民科教育の目的、公民科教育の歴史、公民科の各科目（「現代社会」「倫理」「政治・経済」）の内容構成、授業計画、実践事例などについて考える。新学習指導要領における生命倫理や環境教育、福祉教育等の公民科教育における新しい課題についても検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

公民科教育の目標、内容構成、年間授業計画、実践事例等を検討、その上で授業指導案（学習指導案）を作成し、模擬授業を展開する。模擬授業は指定された内容の中から教材を選択し、提出された授業指導案（学習指導案）に基づき、できるだけ全員が行うこととするが、受講生が多い場合には班を編成して代表者が行うこともある。授業終了後には自己評価を行い、受講生による検討会を開き、さらに評価問題を作成する。

履修上の留意点

公民科の指導に要請される広い視野を養うために専門分野にとどまらず、広く公民科の内容領域に関心を持つとともに、教材研究に努めることが肝要である。

成績評価の方法

定期試験は行わず、出席状況・レポート（50%）、授業指導案（学習指導案）・模擬授業・評価問題作成（50%）などにより、総合的に評価する。

教科書・  
参考書等

教科書は使用しないが、文部省「高等学校学習指導要領解説・公民編」（実教出版）と、のちに指定する公民科の教科書を必ず購入すること。その他資料は授業時に印刷配付する。参考書等については随時授業時に紹介する。

そ の 他

講義、討論、発表等できるだけ多様な授業形態で実践力を養えるよう工夫する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	谷 敷 正 光	教 職 3 必 (経 A・商・経営)	4

#### 講義のねらい

「専門教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなつてめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「専門学科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従つて、この講義のねらいは、「専門教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 専門教育・商業教育の現状
2. 専門教育・商業教育の改革動向
3. 専門教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の授業設計
8. 商業科の指導法
9. 商業科の教材開発と資料の活用
10. 商業科学習指導案の作成(実践)
11. ビデオによる商業科教師の授業研究
12. 4年生による模範授業(授業研究)
13. 模擬授業を通じての商業科の授業実践研究
14. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
15. 商業科における評価
16. 商業科教育実習における「教師教育」
17. 商業科教師論
18. 商業科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

#### 成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価する。小テストは授業中に実施。
- ② 定期試験、追再試は実施は行いません。

#### 教 科 書

岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

#### 参 考 書 等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ① 大田 堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ② 産経新聞社『学校ってなんだろう』(新潮社)
- ③ 灰谷健次郎『兔の眼』(新潮文庫)
- ④ 斎藤喜博『授業入門』(国土社)
- ⑤ 毎日新聞社『教育改革 現場の試み』(毎日新聞社)
- ⑥ 岩下 修『指導案づくりの技術』(明治図書)
- ⑦ 新牧賢三郎『やる気を引き出す技術』(明治図書)
- ⑧ 高等学校商業科の教科書(「流通経済」「商業経済」など)
- ⑨ 文部省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(大日本図書)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業科教育法	まえ だ ちき かず 前 田 幸 一	教職3必 (経A・商)	4

講義のねらい

授業は以下の項目に沿って進めていきます。

- ①『中学校学習指導要領』（昭和52年版、平成元年版、平成10年版）の「技術・家庭」について、その新旧の比較検討をしていく。
- ②「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
- ③職業教育について考えていく。

履修上の留意点

自分や周りの家庭や職業について改めて考えてきてほしい。新聞の家庭欄や経済面などにも目を通しておいて下さい。

成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。再試験はしません。

教科書

『中学校学習指導要領』（文部省、平成10年12月）、他については授業において指示します。

参考書等

中学校の『技術・家庭』の教科書など

その他

授業を受ける人は少数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	とよ た きよ こ 豊 田 千 代 子	教職4必(禅・仏教・社会・福祉・心理)	3
教育実習Ⅱ		12(3)系入学生・教職4必(禅・仏教・社会・福祉・心理)	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行なうことと、実習をとおしてみえてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 事前指導 — ・実習の心がまえ  
・生徒指導について  
・教科指導について  
・指導案作成  
・模擬授業
- 訪問指導 — ・研究授業訪問指導
- 事後指導 — ・授業実習の検討

成績評価の方法

実習ノート、実習校からの評価、授業での実習報告、レポート。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成13年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。



科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	さかもと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職4必(国文・歴史・法A・政治・経営)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(国文・歴史・法A・政治・経営)	5

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か—どうあるべきか—について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント(感想)、④年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えている。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円  
西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成13年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教職4必(英米文)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(英米文)	5

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。

- 教育実習の意義と心がまえ
- 学習指導について
- 生徒指導について
- 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教科書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成13年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	またむらみつこ 北村三子	教職4必(地理・経A・商)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(地理・経A・商)	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題であろう。教生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、その実習のための準備と、実習後その体験を他の人々と共有し、深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、講義の内容・授業のスケジュールで述べるような様々なことを試みたい。また、実習後は、教える立場から新たに見えてきた、学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を、考え合いたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な注意、ビデオによる実習の概要把握、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から、後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は、話し合いの上で決めたいが、今まで扱われたテーマは、いじめや体罰といった学校内での暴力、不登校、若者の文化や人間関係に関連するものなど、多岐にわたる。

履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。教場を変更する場合がありますので注意すること。

成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

そ の 他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成13年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	いとうしげき 伊藤茂樹	教職4必(歴史)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(歴史)	5

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献講読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書・参考書等

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成13年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

(2) 教科又は教職に関する科目〔平成12年度以降入学生〕  
 教職に関する科目（選択）〔平成11年度以前入学生〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 関 係 法 規	ひろ さわ あきら 広 沢 明	教 職 2 選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教 科 書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参 考 書 等

授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 評 価	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教 職 2・3・4 選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに、教育心理学の研究手法（実験・観察・調査・テスト）の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。

履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。パソコンに関しては、まったくの初心者でも可。

成績評価の方法

平常点による。

参 考 書 等

資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育哲学	また 北 村 三 子 きた むら みつ こ	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、近代社会の矛盾が様々な形で人間の生活を脅かしており、その中で、かつての人々が当然のこととしてあてにできた子育ての社会的、自然的基盤も揺るがされている。この混迷の時代に、私たちはどのようなありかたに向けて、またいかにして、次の世代を育み、支えてゆくことができるのだろうか。この授業では、生命とは何か、また、生命的な知とは何かを学ぶことを通して、そうしたことを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

G・ペイトソン『精神の生態学(上・下)』(思索社)を検討する予定であるが、進め方等は、受講者と相談の上決定したい。

成績評価の方法

平常点

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育情報学	お 倉 やす よし 仁 お くら やす よし	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業のねらいは、次の三つである。

1. 我々の社会におけるコンピュータの役割・位置づけの歴史の変遷について概観し、コンピュータと我々の社会との係わり合いの在り方について考察する。
2. 教育分野でのコンピュータ利用方法・形態の変化について教育学の視点から理論的に考察し、コンピュータの教育的活用とは何かを探る。
3. 普遍性のあるソフトウェアの操作実習を通して、教育現場で必要とされる実際的なコンピュータ(パソコン)活用能力とセンスを育成する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる授業を進める。

前期の授業内容としては、以下のものを予定している。

コンピュータの基礎知識(講義)、情報理論の基礎知識(講義)、パソコンの基本操作(実習)、コンピュータの社会的役割の変遷(講義)、ワープロソフトの基本操作(実習)、表計算ソフトの基本操作(実習)、インターネットの基礎知識(講義)、ネットサーフィンと検索エンジンおよびリンク集(実習)

後期の授業内容としては、以下のものを予定している。

教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理(講義)、コンピュータの教育的活用とは?(講義)、教育用ソフトウェアの選択・活用方法について(講義と実習)、コンピュータネットワーク(LAN、パソコン通信、インターネットなど)と教育(講義)、インターネット(WWW)上での情報収集の方法(実習)、HTMLによるホームページ作成方法(実習)、画像データの加工処理方法(実習)

履修上の留意点

パソコンに初めて触れるという初心者も歓迎する。履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。

成績評価の方法

平常点(出欠、学習態度)、小テスト(ペーパーテスト)、提出物(レポート、課題作品)の総合点によって成績評価を行う。

教科書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

参考書等

参考書等については、そのつと授業時間内で指示する。

その他

授業で使用するパソコンはMacintoshのみを用いる。  
また、スキャナやデジタルカメラの操作実習も行う予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育臨床心理学	牟 田 隆 郎	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育現場並びに教育をとりまく諸状況において生じている青少年の問題（教師、学校の問題も含む）の、臨床心理学的観点からの考察を施す。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、人間事象を見つめる基本的視点について講義する。次いで、リアルタイムに今現在教育並びにその周辺に生じている種々の出来事を、新聞・雑誌・書籍等の媒体をテキストとし、その「人間心理」的側面の解説を試みる。

履修上の留意点

知識伝達型の講義ではなく、種々生起している事柄を「何故そうなのか」と共に考え、そしてまたそれらが、実は自ら自身にも深く関わるものとして考察する態度をもつことを期待したい。

成績評価の方法

出席点を基本とする。

教科書

特定の教科書・参考書は使用しない。必要とあらばその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育社会学	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は、親と子、教師と生徒などの関係を中心に実に多くの社会的文化的要因が作用しあうなかで行われている。講義では、教育が行われるためにさまざまな要因が作用しあう社会的関係を明らかにして、教育の本質に触れ、よりよい教育への方途をさぐることをねらいとしている。また今日の教育問題の社会的背景、その発生のメカニズムを明らかにすることもめざしている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次ぎの四つの章に分けて行われる。

第1章「教育問題と今日の社会」- 4、5月。

社会の急激な変化にともなって発生している教育問題-特に教師と児童・生徒との関係における問題の実態。子供の意識・性質の変化。教育問題を発生される社会的要因。生活環、生態系の変化にともなう子供の生活と文化をめぐる問題。子供の発達をめぐる問題-「社会性不全症候群」の問題と教師の悩み。

第2章「人間の発達と集団」- 6、7月。

人間を文化的共同存在として把握し、人間が社会的環境の刺激のもとで文化を学習して発達する過程の解明。社会化と教育。集団の性質・構造と教育。集団力学と教育の効果。家族と教育。家族の変容と教育問題。

第3章「教育の社会的条件」- 9、10、11月。

教育をめぐる社会的関係。社会システムとしての教育。教育の政治的性質。政治体制と教育の在り方との関係。ナショナリズムの圧力と公教育。教育と経済との関係、特に教育の機会と経済的条件。経済成長と教育。

第4章「社会としての学校」-12、1月。

現代社会の特徴と学校の機能。学校と現代人の生涯。生涯学習と学校。学校選択の問題。学校批判と教育改革。学校をめぐる病理。

履修上の留意点

教育への問題意識。

成績評価の方法

出席状況と試験の成績。

教科書

プリント配布

参考書等

熊谷一乗『現代の教育社会学』（東信堂）  
その他、教室で紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 史	やまもととしこ 山本敏子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、近代の教育システムは様々な問題を孕み、子どもたちの日々の暮らしを生きにくいものになっています。私たちの身体に染み込んでいる学校の時間もその一つです。この授業では、近代学校の抱えている矛盾や困難を発生史に沿って検討していきますが、近代教育史の歴史時間を遙かに遡って、人類史、さらには自然史の視点から、人間形成や教育の営みを捉え直す試みも同時に行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、下記教科書を共通文献に日本の近世から近代への教育史の大きな流れを捉えることに重点をおきます。後半は、時間論に焦点を絞って、学校の時間の成立、それとは異なる「もうひとつの時間」世界の再発見と回復ということをテーマに、例えば、次のような著作や論文を検討していく予定です。

福井憲彦著『時間と習俗の社会史』  
阿部謹也著『ヨーロッパ・原点への旅』  
内山節著『時間についての十二章』  
星野道夫著『イニユニック [生命]』  
松井友著・小田イト語り『火の神の懐にて』

履修上の留意点

歴史の授業ですが、現代の子どもや若者が置かれている社会状況、教育諸問題などにも関心をもって受講されることをのぞみます。

成績評価の方法

授業時間内の発表および期末レポート。

教 科 書

高橋敏著『近代史のなかの教育』（岩波書店）2,300円。随時、史・資料も配布します。

そ の 他

最初は講義や史料講読の時間を多く入れますが、徐々にゼミ形式へ移行させていきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 調 査	すずき のりお 鈴 木 規 夫	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。

履修上の留意点

調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。

教 科 書

講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。

参 考 書 等

特に指定しない。

そ の 他

授業は討論中心の形態をとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 教 育	か 香 川 よし け 良 成	11以前入学生/教職2・3・4選	4

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための劇活動）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（発表、レポート）と試験で成績評価を決めたい。

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学』I 総論（大月書店）

そ の 他

現在行われている演劇教育（“劇あそび”その他）の様態や舞台をビデオで観たり、実際観劇するということも行いたい。またテーマを決めて討論するという事も考えています。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後 期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	12以降入学生/教職2・3・4履	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

現代の社会は、急激な変化にともなって解決の難しい多くの問題を発生させている。これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしている。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを早め、激しさを増している。講義では、わが国の高度経済成長以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は、次ぎの三つのセクションに分けて行われる。

第1セクション「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」－9月。

経済成長のための教育と能力主義。都市化－過疎・過密の問題と教育。環境問題と教育。非行、心の問題と教育における能力主義の限界。社教審答申の問題提起。第三の教育改革。ナショナルリズムの高揚と教科書裁判。高度成長にともなう“光”と“陰”のなかの教育。

第2セクション「情報化にともなう問題と生涯学習」－10・11月。

コンピューターの普及・メディアの発達にともなう脱工業化－情報の大量流通・第三次産業の発展にともなう学習需要の増大、学習機会の普遍化。生涯教育論から生涯学習論へ。学習権の主張。生涯学習体系をめざす。

第3セクション「自由化をめぐる問題と教育」－11・12・1月。

自由化と個性重視の教育政策。変化の激しさと生きる力。“ゆとり教育”の問題。再びナショナルリズムと教育基本法改正問題。

#### 履修上の留意点

現代の社会への問題意識。

#### 成績評価の方法

出席状況と試験の成績。

#### 教 科 書

プリント配布。

#### 参 考 書 等

授業中に紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	讃岐真佐子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。

講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中で青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

#### 履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験

#### 教科書

必要な資料は適宜配布する

#### 参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』  
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教——特集癒し』No. 31（法藏館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（檢出版）『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円
- ・小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』（心理臨床の実際2）（金子書店）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こ 山 やま かず のり 一 乗	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風上、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取されるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができないのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえある。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から議論を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と措定したい。その上で、tell(告げる)と teach(教える)との差異、(religious education)と(education about religion)との差異につき、教授概念を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬等を注意深く観察する。(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何〜何事、what〜whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雑祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケアー等を組上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共住社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には数人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。本講義では無知解消の教育を考える。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点によって総合的に評価する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社) 2,940円

参考書等

指定図書→『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版) 1985年  
井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版) 3,900円  
杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐる』(日本評論社)  
小中高各『学習指導要領』各230円 250円 370円  
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣) 1,600円  
参考図書→KYOUKO INOUE. 1991. *MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION* (THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS)

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.624) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.625) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視聴覚教育	しい もり あま ひこ 飯 森 彬 彦	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.641) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	11以前入学生/教職2・3・4選	4

(P.627) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.617) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.617) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	<small>みなもと</small> 源 <small>しょう きゅう</small> 昌 久	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.618) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	<small>しの</small> 篠 <small>だ</small> 田 <small>しょう</small> 耀 <small>こ</small> 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.618) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	<small>みなもと</small> 源 <small>しょう きゅう</small> 昌 久	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.619) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	<small>しの</small> 篠 <small>だ</small> 田 <small>しょう</small> 耀 <small>こ</small> 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.619) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前 期)	<small>やま</small> 山 <small>だ</small> 田 <small>せつ</small> 節 <small>こ</small> 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.620) 参照

### (3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋思想史	末木 恭彦	教職教科	4

#### 講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を購読する。購読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

#### 履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

#### 成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

#### 教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。

#### 参考書等

適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	矢野 陽子	教職教科	4

#### 講義のねらい

フランス絵画史。西欧の中心に位置するフランスは、交通の要衝であり、商業活動の経由地であり、巡礼の道も通っていた。国際的に開かれているという状況から、フランスは周囲の国々からさまざまな要素を受け入れながら固有の文化を生み出していった。この授業では、17世紀から19世紀にいたるフランス絵画の歴史をたどり、その特色を考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

絶対王政が確立する17世紀から始め、18世紀末フランス革命を経て、新しい芸術運動が次々に起こった19世紀まで、時代を追って主要な流れを見ていく。前期は17・18世紀を、後期はフランス革命以後を扱う予定である。

#### 履修上の留意点

前期のレポート提出と後期の筆記試験、出席等を合わせて評価する予定。

#### 参考書等

高階秀爾著『フランス絵画史』（講談社学術文庫）

#### その他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民間信仰論	谷口 貢	教職教科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	小池 とみ子	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、人文地理学と地域論をとりあげる。  
次に前期は主として民族・国家・人口の観点から、後期は経済発展と地域の変容の観点から、世界の諸地域が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら検討する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）  
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学概説	たかぎ まさひろ 高木正博	教職教科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

自然地理学の分野のうち、河川や地下水などにかかわる水の地理学を講ずる。  
近年、河川環境や地下水汚染などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の特性について、地域事例をもとに説明する。

講義の内容・授業スケジュール

次の諸点について講ずる。  
1) 水循環・水収支など水文学の基礎について  
2) 河川や地下水の水量・水質などの特性と地域とのかかわりについて  
3) 河川地形と水災害について  
4) 身近な水源としての地下水・湧水の保全などについて  
地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。

成績評価の方法

学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中に随時実施する課題など平常点も加味して行う。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学概説	なかむら かずお 中村和郎	教職教科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本の自然は、世界のほかの地方と比べて、どんな特色をもつのだろうか。自然は人間にとって美しく、やさしい一面をもつと同時に、激しくて、一瞬にして多数の人命を奪う恐ろしさも持っている。人文地理学で扱う諸現象と違って、長い時間スケールで初めて理解できるものもある。日本各地の自然（地形、気候、植生、土壌、海など）を取り上げ、なぜそのような現象が起こるのか、世界のほかの地域と比べてどのように違うのかなどを学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 火山と地震
2. 川と平野
3. 海と海岸
4. 森と草原
5. 大気の流れ
6. 自然の変化
7. 人間が変えた自然
8. 自然災害

履修上の留意点

OHP などを使って講義をすることが多い。  
講義を聴きっぱなしにするのではなく、参考書を読み、自ら進んで学んでほしい。  
学校地図帳などを活用してほしい。

成績評価の方法

出席状況。前期のレポート、および年度末の試験によって評価する。

参考書等

- 貝塚爽平『富士山はなぜそこにあるのか』（丸善）1990  
貝塚爽平ほか編『日本の自然』（全8巻）（岩波書店）  
貝塚爽平ほか編『日本の自然 地域編』（全巻）（岩波書店）  
小泉武栄『日本の山はなぜ美しい』（古今書院）1993  
杉谷隆・平井幸弘・松本淳『風景のなかの自然地理』（古今書院）1993  
中村和郎『雲と風をよむ』（岩波書店）1991



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわもととよかず 川元豊和	教 職 教 科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特徴を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

白田雅之・佐藤宏・谷口晋吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円  
水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円

そ の 他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	あら い さち ほ 新 井 祥 穂	教職教科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義の内容・  
授業スケジュール

わが国の農村・山村・離島部では、かつての基幹産業であった第一次産業が停滞する中で、そこに居住する人々は、就業先の確保を始めとして、生活の組み立て方にさまざまな課題を抱えている。このためこれら地域には、各種問題の解決をめざし、さまざまな公共投資がなされてきた。

しかし、これら公共投資を許してきた社会経済状況も、90年代の不況以降は大きく変化しつつある。国の財源不足が切実になる中で、いったい農山村の何が、公共投資を用いて「解決すべき問題」であるかを、厳しく吟味すべき時期にきている。とはいえマスコミその他論調によって伝えられるこれら地域の情報は限られており、彼らの生活のあり様やその変化の具体的なイメージがわきにくいのも事実である。

本講義では、各種資料を用いて、日本の農山村がどのような経済社会であるのか、またそれがどういった方向に向かっているのかについて、具体的で正確な理解をめざす。

成績評価の方法

成績評価は試験で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	教職教科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中国大陸について正確な地誌の情報が少なく、ややもすると政治経済が先導し本来あるべき地理的知識が脱落し興味中心とした物語りで語られる事が多い。地理教育という観点からは、より基礎的識点を拡大すべきと思われる。回想と感想の見方を排し、今回の中国の地理的諸環境の分析を指標としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半と後半に区分すると、前半は大陸中国の自然環境と河川文明との関わりを中心として、基礎的総論を追求し、後半は生活の基盤たる大地と作目、少数民族の習慣的日常生活の背景を考える。

履修上の留意点

地図上で史的領域と影響圏の把握、各族の垂直分布に多重的生活を重ね立体的生活を把握する。

成績評価の方法

出席の度合い、課題別報告書、指定地域の地図、各種見解についての討論等併せて個人面接で総合判断するものとする。なお、地図板書の技術などについて対象とする。

教科書

現段階で適切なものがないので、板書と資料配布を中心とする。

参考書等

参考書は都度指示する。

その他

ノートの整理及使用方法、地誌としてのまとめを要求するので、常に提出できるようにしておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ そ う けん 麻 生 建	教 職 教 科	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説	でぐちひろゆき 出口宏幸	教職教科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本の歴史を概説的に学ぶことにより、各時代の社会のあり方について考える。その際、できるだけ現代社会との対比をすることで、歴史上の問題をより身近な感覚で捉えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

古代～近・現代へと続く時代の流れには、いくつもの画期があり、社会的にも様々な変化を遂げてきた。そこで、日本の歴史を概説的に学び、その展開過程を考えることで、各社会を有機的に捉えたい。なかでも、近代社会の直前に位置し、幕藩体制が260年もの間続いた近世社会に注目し、その多様性と独自性などについて、時間が許す範囲で詳しく言及したい。

また、歴史を理解するには、政治・経済・文化、あるいは都市と農村など、様々な角度からのアプローチが可能であるが、できるだけその時代に生きた人々に焦点をあて、その生活をピピットに描くことに努めたい。

歴史上に起こった事件や、いろいろな問題の背景を探りながら、その時代を追体験する。そのことが年代や事件を記憶することから、一歩踏み込んだ歴史学の世界への入り口になれば、と思う。

成績評価の方法

試験80% 平常点20%

教科書

特に指定しない。必要な資料はコピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説	こまつとしはる 小松 寿治	教職教科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会科教員として最低限の日本史に関する知識をつけてもらえればと思います。したがって高校時代に日本史の経験がなくても問題はありません。

講義の内容・授業スケジュール

講義は日本史全般を話すつもりですが、武士の時代が中心になります。板書を多くしますのでノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

成績の評価は試験で行いますが、出席を重視しますので、より多く出席することを望みます。

教科書

教科書等は設定しませんが、参考図書については、必要に応じて話しますが、強制するものではありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	井 村 行 子	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- |      |               |      |                |
|------|---------------|------|----------------|
| 第1講  | 世界史とは何か       | 第13講 | 南北戦争と農奴解放      |
| 第2講  | 古代オリエント       | 第14講 | イタリアとドイツの統一    |
| 第3講  | 古代ヨーロッパ       | 第15講 | 19世紀後半のヨーロッパ   |
| 第4講  | 中世ヨーロッパ       | 第16講 | 帝国主義の世界分割      |
| 第5講  | 16世紀のヨーロッパ    | 第17講 | 20世紀初頭のヨーロッパ   |
| 第6講  | 17世紀のヨーロッパ    | 第18講 | 第1次世界大戦とロシア革命  |
| 第7講  | 18世紀のヨーロッパ    | 第19講 | 1920年代のヨーロッパ   |
| 第8講  | 産業革命とアメリカ独立革命 | 第20講 | 戦間期のアメリカとソ連    |
| 第9講  | フランス革命        | 第22講 | 1930年代のヨーロッパ   |
| 第10講 | ナポレオン独裁       | 第23講 | 第2次世界大戦        |
| 第11講 | ウィーン体制        | 第24講 | 第2次世界大戦後のヨーロッパ |
| 第12講 | 自由主義の発展       |      |                |

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

教科書

近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社) 1999 3,200円(必ずしも購入しなくてよい)

参考書等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

その他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
世界史概説	わた 渡 辺 <sup>なべ</sup> あつし 惇	教職教科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

世界史概説は担当者の関係により、東洋史と西洋史の二つの部分に分けて行われます。受講者はこのいずれか1つをとればよい。

上記のうち、私は東洋史の部分を担当します。東洋史はアジア全体を対象とするもので、その領域は非常に広く、かつ多面的です。この授業は教職科目であり、また時間の関係から、以下に記すような順序で、広く浅く行うことになります。換言すれば“アジア歴史散歩”とでもいえましょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### (1) 世界史教育の歩み

学校教育における世界史という科目は戦後の教育の中で新しく成立したもので、はじめは東洋史と西洋史を束ねたようなものであったが、やがてヨーロッパ中心主義、大国（中国）中心主義が批判され、よりグローバルな世界史が求められるようになった。以上の経緯を文部省の世界史指導要領の変遷等を折り込んで説明したい。

(2) アジアの歴史世界は多元的でモザイクである。それゆえ、以下のような5つの世界に分けて、それぞれの世界の歴史の舞台となった自然環境、風土、そして歴史展開の特色などについて概観する。

- a. 東アジア世界；中国を中心とし、その周辺を含む地域。農耕生活。
- b. 中央(内陸)アジア；海への出口をもたない砂漠と草原の地域。遊牧とオアシス農耕の生活。
- c. 西アジア世界；オリエン特及び地中海の一部を含む乾燥風土の地域。オアシス農耕と遊牧生活。
- d. 南アジア世界；インドを中心とした地域。農耕生活。
- e. 東南アジア世界；半島部と世界最大の多島海よりなる地域。海洋生活。

#### 履修上の留意点

出席は必ずとります。

#### 成績評価の方法

評価は定期試験、平常点に出席点を加味する。

#### そ の 他

またビデオを活用して、各地域の特色を視覚を通して把握することも行いたい。その際感想文を書いてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	教職教科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性 “予期せんがために見る”／社会的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は“inter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準  
1. 役割の取得 — 社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第5回 2. 役割の準拠 — 準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第6回 3. 役割の葛藤 — マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為  
1. 規範と同調 — 逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第8回 2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第12回 2. 集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能・機能連関・機能要件(AGIL 図式)
- 第13回 3. 集団の構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第14回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第15回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第16回 集団・文化・パーソナルティ
- 第17回 組織論と官僚性  
1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第18回 2. 官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則(ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第19回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第20回 社会意識  
1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第21回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第22回 3. 社会的性格  
i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第23回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第24回 4. 社会的態度(社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第25回 全体社会の構成  
1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第26回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭 <small>さとう けん しょう</small>	教職教科	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

講義内容を踏まえたレポート試験の予定。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	はた なか たかし 畠 中 貴	教 職 教 科	4

講義のねらい

価格機構が果たす基本的な役割をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学）について一通り講義する。価格機構がうまく機能しないのはどのような場合かという問題（市場の失敗）も扱う。

この講義の目標とするところは、以下の2点である。

- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための能力を磨く。
- (ii) 注意深く筋道だった思考ができるようになるための訓練を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。ただし、この講義で扱うのは、教科書の第3章（数学からの準備）から第9章（価格機構と経済の効率）までである。教科書に書かれている内容は、経済学の骨子である。上記の二つの目標を達成するためにはまず、教科書に書かれている内容を正確に理解し、ミクロ経済学の理論体系をしっかりと頭に入れることが肝要である。

数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上で非常に有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学（集合・関数・微分）も併せて一から講義する。初歩的な数学のマスターは、経済学の勉強に役立つだけでなく、自分の頭で物を考える力をつけてくれる。数学をこれまであまり勉強してこなかった人や苦手意識を持っている人は、これを機会にがんばって得意科目にしてほしい。

履修上の留意点

講義の内容は、大した苦勞もせずすいすいと理解できるような簡単なものではない。根気よく予習・復習を行い、分かってと努力することが肝要である。「高く飛ばんと欲すれば深く学ばざるべからず」

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価

教 科 書

丸山徹著『新講 経済原論』（岩波書店）3000円

参 考 書 等

S. ラング著・松坂和夫他訳『解析入門 原書第3版』（岩波書店）3700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

現在私たちが生活している社会は、資本主義社会とよばれています。それは利潤を追求する資本が生産や分配を規定する力となっているからです。現代社会はますます複雑化していますが、資本主義の一般的な経済法則やその仕組みを学ぶことは、この社会で生活していく私たちにとって不可欠のことといえるでしょう。経済理論IA（およびIB）では、現実の経済現象を分析することによって立ち立てられた、科学的な方法を駆使したマルクスの経済学を講義することになります。

今の世界は封建制が崩壊することによって確立され、今でも変化発展しています。しかし、そのことは資本主義社会が調和的かつ平穏なかたちで発展してきたものであることを意味するものではありません。たしかに、アメリカ・日本など先進資本主義国では人々の所得が多くなりましたが、それだけに南の貧しい発展途上国の人たちの所得格差は拡大しています。先進国どうしの間にも貿易摩擦などの形で対立が明るみに出ています。先進国内部をさらにみても、財政赤字や高い失業率という実態があり、特に日本では労働者は長時間労働に悩まされています。

資本主義は経済成長をとげてきたのに、どうしてこれらの問題を解決ができないのか、という疑問が生じるのも当然のことといつてよいでしょう。環境問題も、実はよく見ると資本主義の発展がひきおこしてきたものであることが分かります。私たちは、21世紀に向けてこうした直面する問題について考え、その解決に向けて取り組むことを余儀なくされています。このように、少し考えてみると、様々な問題をひきおこす資本主義の一般法則をよく理解し把握しておくことが何よりも重要であることが分かります。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義は、以上のようなところに焦点を当てながら、次のようなテーマにそって進めていく予定です。

1. 経済学とはどのような学問か
2. 商品の2要因と商品生産関係
3. 貨幣の諸機能
4. 貨幣の資本への転化
5. 資本の生産過程
6. 資金とは何か
7. 資本の蓄積
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産
10. 剰余価値の利潤への転化
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

#### 履修上の留意点

経済理論は1つのまとまりをもっていますので、毎回出席してノートをよく取ることが必要です。この講義はまた、経済理論IBと切っても切れない関係にありますので、次年度以降に経済理論IBも必ず履修することを勧めます。

#### 成績評価の方法

授業時間中に何回か小レポートを書いていただきます。後期に定期試験を実施し、成績の評価は、その定期試験と小レポートの点数を合計することによって行ないます。追・再試験を実施します。

#### 教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

#### 参考書等

大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あぶの かつみ 浅野 克巳	教職教科	4

#### 講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは「大きい」という意味をもち、「ミクロ」とは「小さい」という意味をもつ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。たとえば、景気の良し悪しは何によって決まるのか？物価の変化はどのような要因によるものか？現在、我が国の失業率は上昇傾向にあるといわれるが、その原因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えようとするもので、きわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースの1つだ。

なお、上にも述べたように「ミクロ理論」とはベアであるから、必ず両方の授業を履修することが現代経済学を体系的に理解するためには不可欠である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくい部分をできるだけクローズアップし時間をかけて説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済の仕組みと考え方
2. 国民経済計算と国民所得の諸概念
3. 国内総生産とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立収支の変化と国内総生産の関係
5. 消費と投資は何によって決まるのだろうか
6. 利子率とは何か
7. IS-LM モデルと財政金融政策の考え方
8. インフレとデフレ
9. 輸出と輸入
10. 経済成長の仕組み

#### 履修上の留意点

現代経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとってもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習にかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

#### 成績評価の方法

定期試験（再試験も実施する）による。問題は2種類出す。1つは論述形式で、もう1つは客観式（グラフを書いたり、簡単な計算問題など）を数題出題する予定。

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミクス』（成蹊堂）1995年

#### 参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1998年、これは問題集だけど、できるかぎり練習問題を解くことも、理解を確実にする第一歩。自分で復習を兼ねて解いてみることをすすめる。この方法は公務員試験等の国家試験の受験対策としても大変有効だ。

#### その他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！大いに利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	まついりゅうへい 松 井 柳 平	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済のモデル（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的なモデルを作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスといっしょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験等を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーション等を通じて学んでいくことになる。

#### 履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

#### 成績評価の方法

期末試験によって評価するが、授業中の練習問題解答のプレゼンテーションや実験への参加などにも特別の評価を与える。（再試験実施）

#### 教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	橋もと 泰明	教職教科	4

講義のねらい

経済学的ものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、一国の経済規模や国民の所得の大きさ、物価、労働環境などの決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が市場を形成し、その結果、ものの価格の決定や経済の効率性がどのように作用されるのかを理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：経済循環 国民総生産 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 乗数理論 物価 為替変動と国民所得

後期：需要と供給 消費者の経済行動 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産者の経済行動 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論的メカニズムを理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考を繰り返し、論理展開を十分理解することが大切である。しかしいったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利く財産になり、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教科書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社） 3,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 I	おお <small>みや</small> たかし 大 宮 隆	教 職 教 科	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んできること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教 科 書

玉田弘毅『図解民法講義 総則・物権』（住宅新報社）

参 考 書 等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	教 職 教 科	4

※経B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず、ひろく隣接領域（法学・哲学・歴史学・社会学・経済学）にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

講義の目的

第一の目的は、将来教壇にたったときに役立つ基本的な知識の習得をめざすことです。

第二の目的は、社会科学の思考方法を会得することです。

第三の目的は、自己の意見を論理的にはっきりと述べられるようにすることです。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のすすめ方

政治学の基本問題を、一回一テーマ主義でとりあげます。ワン・ウェイの講義をするのではなく、学生諸君との対話・討論形式をとりいれて授業をすすめていきます（場合によっては、学生諸君の報告や模擬授業も）。質問には、はずかしがらずに積極的にこたえて授業を盛り上げてください。

授業では、政治学のみならず隣接科目にまで話がおよんでいきます。履修者はあらかじめ高校時代の「政治経済」の教科書や参考書などに目をとおしておくとういでしょう。

講義内容

講義でとりあげる問題は、以下のとおりです。

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| A 政治の思想         | C 日本の政治  |
| ～古代ギリシャ・ローマ政治思想 | ～明治国家の形成 |
| 中世政治思想          | 大正デモクラシー |
| 近代政治思想          | 軍部独裁     |
| 現代政治思想          | 戦後の政治    |
| B 政治の仕組み        | D 国際政治   |
| ～議会             | ～国際連合    |
| 内閣              | N G O    |
| 地方自治            | 国際関係     |
| 官僚制             |          |
| 政党              |          |
| 選挙              |          |
| 世論              |          |

履修上の留意点

将来教職を希望する人間が、教室に足を運ばないのはもってのほかです。単位の認定にあたっては、出席を特に重視します。正当な理由があって欠席する場合（実習・研修など）には、必ず届けを提出してください。

成績評価の方法

出席：30% 中間試験：20% 学年末試験：30% レポート：20%

以上の割合で評価します。

なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂編『政治学へのいざない』（成文堂）2,500円  
大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

参考書等

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円  
大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本宗教文化史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教職教科	4

講義のねらい

日本の宗教文化を考えるうえで、巫覡、ミコなどよばれてきた巫者信仰の系譜は重要な意味をもつ。本講義では、この巫者信仰に焦点を合わせ、宗教史と実態調査研究の両面から得られた成果をもとに、その多様な形態と文化史的な意義を明らかにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、柳田國男にはじまる巫者研究の歴史を概観したうえで、主として東北地方や沖縄地方の巫者信仰の具体的事例を考察する。ここでは、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムスシリなど、様々な名称で呼ばれてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方が中心となる。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

スライドを適宜使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民衆宗教成立史	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教職教科	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にあって、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点を当てて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

- 前期
- ① 深層文化論の整理
  - ② 深層文化と宗教研究
- 後期
- ③ 民俗主義的な深層文化
  - ④ 深層文化と集合的宗教

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に年度末のレポートで行います。

教科書

拙著『日本の深層文化序説——三つの深層と宗教』（玉川大学出版部）1995年を用います。

参考書等

その都度紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	あらい 洗 けん 建	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することと深くかかわっているかを明らかにする。  
この教科は教職科目であるので、国家と宗教、憲法理念と宗教の問題を中心に考える。

講義の内容・授業スケジュール

宗教改革以降、信教の自由の確立に至るまでのキリスト教思想の変遷をたどって、その特質を理解し、日本における導入と変容、現代における諸問題を考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参考書等

随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 概 説	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「宗教」という言葉を聞くと、特定の教祖によって開かれ、経典や教団を備えた組織的宗教や、そこで説かれてきた高度な宗教思想などを思い浮かべる人が多いと思う。しかし宗教には、共同体の生活慣習や年中行事に組み込まれた習俗や、祈祷・供養・祭礼・禁忌・呪詛などよばれる実践や行為としての側面もある。  
本講義では、こうした広がりやを考慮したうえで、とくに実践的な行為としての宗教について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、儀礼、タブー、イニシエーション、アニミズムなどのトピックを取り上げ、実践的宗教の多様な側面に光を当てる。  
後期は、「死をめぐる宗教的観念と実践」というテーマで、仏教やキリスト教をはじめとする諸宗教が、人間の死や死者を実際にどのように扱ってきたか、という問題を考えてみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	津 城 寛 文	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

集团的宗教から個人的宗教まで、また、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は宗教と他界を軸に、後期は宗教と社会を軸に、講義を進めます。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、神秘主義、スピリチュアリズム

後期

公共宗教、市民宗教、宗教と国家、宗教と文化

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に年度末のレポートで行ないます。

教科書

用いません。

参考書等

その都度紹介します。

その他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 概 説	久 保 陽 一	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

ヘーゲルの名著『精神現象学』（1807年）の主要な箇所を解説しながら、哲学の諸問題を取り上げる。『精神現象学』は、個人的意識の形成の叙述であると同時に、人類の精神の歴史でもあり、また現代にも通ずる様々な思想内容の宝庫である。これを読解することを通して、「自己」や「世界」に関するものの考え方の基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

『精神現象学』の主要な箇所（例えば「感覚的確信」の弁証法、主人と奴隷の関係、「不幸な意識」、「快樂とさだめ」等約20箇所）を解説する。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席やレポート等によって評価する。

教科書

いずれかの邦訳（ヘーゲル『精神現象学』）を手もとに置くのが望ましい。

参考書等

加藤尚武編『ヘーゲル「精神現象学」入門』（有斐閣）  
イポリット『ヘーゲル精神現象学の生成と構造』（岩波書店）  
久保陽一『ヘーゲル論理学の基底』（創文社）

その他

時々、講義内容について簡単なレポートを書いてもらい、それについてコメントをつけて返すことにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	末木 恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新原人』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問（書面で提出して貰う）などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新原人』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学概説	河谷 淳 <small>かわ たに あつし</small>	教職教科	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では (a) 主に、古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で (b) 現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

- (a) 西洋倫理思想史：徳倫理学（古代ギリシア）、義務論（カント）、功利主義（ベンサム、ミル）
- (b) 現代倫理学の諸問題：メタ倫理学、生命倫理、環境倫理など

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義においてその都度紹介する。

【職業】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業概説	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

授業は'85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

講義の内容・  
授業スケジュール

（総論）バブル経済と平成不況  
 （各論）非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、  
 なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。  
 （その他）企業見学などを実施（昨年は三菱自動車工業の工場見学を実施）

履修上の留意点

日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。再試験はしません。

教科書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』（日本経済新聞社）1,500円

参考書等

授業の際に提示します。

その他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業指導	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経B・二宮の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本及び諸外国の職業教育の特徴を把握しながら、今後の職業指導を考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では日本の職業教育制度の歴史を、また後期ではアメリカ、ドイツ、イギリス、フランスなどの職業教育について授業をしていく予定です。

成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点及びレポート提出等で評価をしていく。

教科書

開講時に指示

参考書等

宮地誠哉・倉内史郎編『職業教育』（開隆堂）  
 有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』（福村出版）  
 寺田晃・佐藤玲監修『進路指導』（中央法規出版）  
 仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編『進路指導論』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業実習	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

貿易における商品取引の基礎的な実務を習得するに目標をおいて授業を進めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 輸出実務の概要       | 10. 為替の予約   |
| 2. 取引関係の創設       | 11. 海上保険契約  |
| 3. 取引条件の取決め      | 12. 輸出検査と包装 |
| 4. 売買条件の取決めと契約成立 | 13. 輸出通関    |
| 5. 輸出信用状の照合      | 14. 船積み     |
| 6. 約定品の調達        | 15. 船積書類    |
| 7. 輸出保険          | 16. 輸出決済    |
| 8. 輸出承認と認証の取付け   | 17. 貿易クレーム  |
| 9. 運送契約の締結       |             |

成績評価の方法

筆記試験はしない。評価は平常点かレポート提出等によって行います。再試験はしません。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

石田貞夫『貿易取引の実務』（教出版）  
 渋谷源蔵『貿易実務』（同文館）  
 藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

【商業】

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業指導	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.611) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(教職課程登録者用) (前期)(後期)	すずき けん じ 鈴 木 健 司	12以降入学生2選 (禅・仏教・国文・英米文) (地理・歴史・法A・政治)	2

講義のねらい

コンピュータの操作法の習得とコンピュータの基本構造の理解、およびインターネットを利用した情報収集、情報発信法の習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. コンピュータの基礎 (ハードウェア、ソフトウェア、ファイルシステム)
2. Windows の基礎知識と操作法
3. インターネットの原理と利用法 (電子メールの利用、ホームページ)

成績評価の方法

出席を重視し、レポートを加味して総合的に評価する。

教 科 書

適宜プリントを配布する。



## Ⅱ 学校図書館司書教諭講座





## 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

### 成績評価の方法

小論文とテストによる。

### 参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

### その他

講義・討論・ビデオ  
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらう。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子ども読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

### 成績評価の方法

小論文とテストによる

### 参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

### その他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからのが望ましい。  
1. 学校経営と学校図書館(前期)  
2. 学習指導と学校図書館(前期)  
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	司書教諭2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク
- 2) 分類法(表)の解説・演習
- 3) 目録の解説・演習
- 4) 資料組織の機械化
- 5) 多様な学習環境と学校図書館メディアの配置

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教科書

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円  
『日本目録規則 1987年版 改訂版』(日本図書館協会) 3,500円

参考書等

講義中に指示する。

その他

必要に応じて、ビデオを活用する。  
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	しの だ よう こ 篠 田 耀 子	司書教諭2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

図書および視聴覚メディア、その他多様なメディアの構成を学校現場に合わせて考え、選択できる実務能力の育成をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①学校図書館メディアの種類と特性
  - ②学校図書館メディアの選択と構成
  - ③学校図書館メディアの組織化
    - ・分類の意義と機能、日本十進分類法等の解説
    - ・目録の意義と機能、日本目録規則の解説
    - ・目録の機械化(コンピュータ化)
  - ④多様な学習環境と学校図書館メディアの配置
- ◆授業スケジュール  
上記①② 4～5月 講義  
③④ 6～7月 講義および実習

履修上の留意点

実習を伴う授業を行うので、欠席したり、実習レポート等の提出を怠らないこと。

成績評価の方法

レポート等を含む平常点評価の予定。

参考書等

志村尚夫編著『学校図書館実践テキストシリーズ2：学校図書館メディアの構成』(樹村房) 1,800円

その他

現役の司書教諭という立場で、学校図書館の現状と将来への展望など実践を生かした授業を心がけたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう ぎゅう 源 昌 久	司書教諭2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 情報化社会と人間
- 2) 情報メディアの特性と選択
- 3) 視聴覚メディアの活用
- 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用
- 5) 情報検索

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』（日外アソシエーツ）2,200円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	しの だ しょう こ 篠 田 耀 子	司書教諭2・3・4必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①高度情報社会と人間（情報メディアの発達と変化を含む）
- ②情報メディアの特性と選択
- ③視聴覚メディアの活用
- ④コンピュータの活用
  - ・教育用ソフトウェア活用
  - ・データベースと情報検索
  - ・インターネットによる情報検索と発信
- ⑤学校図書館メディアと著作権

◆授業スケジュール

- ①②……10、11月 講義
- ③④⑤……11、12月 講義

小、中、高いいずれかの学校を選んで、学校現場での視聴覚メディア、コンピュータの活用の状況を調査し、分析報告をする。

履修上の留意点

実習を伴う授業を行うので、欠席をしたり、実習レポート等の提出を怠らないこと。

成績評価の方法

レポート等を含む、平常点評価の予定。

参 考 書 等

大串夏身編著『学校図書館実践テキストシリーズ1：情報メディアの意義と活用』（樹村房）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭2・3・4必	2

※経 B・法 B・二當の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。  
この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

#### 成績評価の方法

小論文とテストによる。

#### 参 考 書 等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井澤純著『図書館学大系7 読書教育原論』（全国 SLA 刊行）

#### そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

この科目は、平成10年度までに「図書館学 I」の単位を修得した者は、履修できません。

### Ⅲ 社会教育主事講座



## (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育計画	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2必	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

かつて社会教育職員の専門性として、4P論（プランナー、プログラマー、プロデューサー、プロモーター）がいわれた。いま各自治体では住民の生活課題や地域づくりの課題に対応したきめ細かな生涯学習振興策とその計画化がもとめられている。この講義では、自治体の生涯学習計画の策定を中心に、できるだけ具体例に即して、ひろく生涯学習の方法、事業計画などの理論について理解を深められるようにしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 生涯学習の方法と計画の今日的課題
2. 住民の課題と生涯学習計画
3. 生涯学習の方法と事業の計画・運営
4. 生涯学習と条件整備
5. 地域生涯学習計画の策定
6. 生涯学習計画と社会教育計画
7. 学習権の思想と社会教育計画の課題

### 履修上の留意点

できるだけ「生涯学習概論」を修得していることが望ましい。

### 成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に判定する。

### 教科書

酒匂・村山他編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,800円

### 参考書等

そのつと紹介する。

### その他

夏休み中に、各自、自分のまちの社会教育行政の実情について調査し、レポートにまとめることをもとめる。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論 I (前期)	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	社教主事2必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。

授業では、OECDやILOなどの国際機関ならびにわが国における生涯学習政策の動向を概観し、その検討を通して、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・生涯教育・生涯学習の理念
- ・生涯教育・生涯学習の国際的動向
- ・わが国における生涯学習政策
  - ・国レベルの政策－「生涯学習振興整備法」の制定とその後の動き
  - ・地方自治体における生涯学習政策の展開
- ・生涯学習と学校計画
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後 期)	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社教主事2必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、わが国では、生涯学習の観点での教育の見直しが、学校教育でも社会教育でも求められている。授業では、とくに社会教育に焦点を当て、改革の方向性を探ることを目的としたい。  
そのために、社会教育の歴史や社会教育行政の役割等とともに「おとなの学び」に注目しながら、社会教育についての理解をはかりたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・社会教育とは
  - ・社会教育の定義
  - ・社会教育の歴史
  - ・社会教育法
  - ・社会教育施設（公民館など）
  - ・社会教育行財政
- ・成人教育としての社会教育
  - ・「おとなが学ぶ」とは
  - ・「おとなの学び」の事例
  - ・おとなの学びに関わる職員の役割
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教 科 書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 実 習	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社 教 主 事 3 必	4

講義のねらい

公民館、図書館などの社会教育施設や、教育委員会での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

事前指導 — 社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。  
 訪問指導 — 実習先訪問指導。  
 事後指導 — 実習をとおして学んだこと、疑問に思ったことなどについて報告する。実習報告書を作成する。

成績評価の方法

①実習ノート ②授業への参加度（授業での実習報告、報告書作成への取り組みなど）

教 科 書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

小林文人編『公民館の再発見 — その新しい実践』（国土社）  
 社会教育推進全国協議会編『新版 社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

そ の 他

実習報告書の作成に関しては、企画、編集、印刷、製本のすべてを自分たちで行なう。このこととおして、共同で学ぶ方法を身につけたり、共同で学ぶことの楽しさに気づいてほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社 教 主 事 3 必	4

講義のねらい

学生が社会教育実習に主体的にとりくみ、社会教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・社会教育実習の意義と心がまえ — これまでの実習の経験に学ぶ事前指導
- ・実習期間 — 個別の訪問指導
- ・実習後 — 個別の体験の整理・検討と共通する課題の追求。  
 [例] 社会教育職員の専門性とはなにか。

成績評価の方法

平常の受講態度（出席、口頭発表、レポート、討議の質等）や実習ノート等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつと紹介する。

そ の 他

社会教育実習を受講する学生は、前年11月中におこなわれるガイダンスに必ず出席すること。

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育行政	あら い たかし 荒 井 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

社会教育行政現場で永く実践を続けてきた立場で講義をしますので、体験に基づく具体的な話  
が中心となります。堅い印象の講義題ですが、内容は柔らかいものです。理論だけでなく、実践  
的な社会教育の見方を身につけたいと考えている人を歓迎します。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

①私の社会教育行政の体験談、②社会教育から行政を見る、③東京23区の社会教育行政の特徴、  
④社会教育行政の仕組み、⑤社会教育行政の働き、⑥社会教育主事の具体的仕事  
概ね以上の内容を、それぞれ4回を目安（1ヵ月）に講義し、1年を通じ社会教育行政の具体  
像の把握を目指します。

### 履修上の留意点

社会教育の基礎知識があればより広く深く理解ができますが、初めて社会教育の講義に参加す  
る場合でも、体験に基づきわかりやすい講義をしますので、安心して参加してください。

### 成績評価の方法

出席及び試験内容等をもって評価します。

### 教科書

特に使用しません。

### 参考書等

講義に関係する参考書を随時紹介しますので、理解を深めるため読んでください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

社会教育の方法や形態を考えるうえで、戦後のわが国では公民館をはじめとする図書館・博物  
館等社会教育施設の重要性があらためて認識された。本講ではその社会教育施設の歴史と現状に  
ついて考察を深め、それが抱える諸問題について、望ましい展望を拓きたいと考えている。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・社会教育施設とは何か
  - ・社会教育施設にかかわる人々
  - ・公民館の歴史と現状
  - ・図書館の歴史と現状
  - ・博物館の歴史と現状
  - ・社会体育施設の歴史と現状
  - ・その他の社会教育施設・関連施設
  - ・社会教育施設をめぐる最近の動向と課題
- それぞれできるだけ具体例・実践例を挙げて理解をはかるようにしたい。

### 履修上の留意点

できればいくつかの施設見学を実施したいと考えているが、学生自身もすすんで適宜、施設の  
利用、見学、施設で行われている学級・講座・サークル活動等に参加して施設体験を豊かにして  
ほしい。

### 成績評価の方法

出席・受講態度等の平常点、レポート等により総合的に判定する。

### 教科書

適宜指示または紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
成人学習論	<small>あら</small> 荒 <small>い</small> 井 <small>たかし</small> 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

成人の学習は、生涯学習時代といわれる今日、その具体的な姿が私たちの周辺で見られるようになりました。講義ではその実像の一端にふれて、成人の学習のリアリティに接し、生涯学習の意義を理解するだけでなく、自らの学習の一助にもなることができれば幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

①大人も学習するのか、②成人の学習事例～自分史～、③成人の学習事例～人権学習～、④成人の学習事例～文字を獲得する学習～、⑤成人の学習のあり方

履修上の留意点

実践に基づく授業です。本からの理解と異なり、できるだけ多様な方法を用いて学んでいきます。学生の学習と少し趣きの違う成人の学習に興味のある人の参加を期待しています。

成績評価の方法

出席及び試験内容等を参考に、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

授業で随時紹介します。理解を深めるため授業で使用する場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジェンダーと教育Ⅰ (前期)	<small>なか</small> 中 <small>ざわ</small> 澤 <small>ち</small> 智 <small>え</small> 恵	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の生活経験をふまえて考察し、受講者同士の相互学習の中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、①ジェンダーとは何か、②ジェンダーの形成、③学校教育とジェンダーなどを予定している。後半は、受講者各自のレポート発表にもとづいた討議を中心とする。

履修上の留意点

履修上、後期「ジェンダーと教育Ⅱ」とあわせて受講されたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席、授業中のディスカッションへの参加状況、およびレポート発表の内容にもとづいて行うので、受講者の授業への積極的な参加を求める。

参考書等

参考書は、石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年）・木村涼子『学校教育とジェンダー』（勁草書房、1999年）ほか、適宜指示する。

その他

この科目は、平成11年度以前の入学者には、総合演習(3)の単位としては認められません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ジェンダーと教育Ⅱ (後期)	なか ざわ ち え 中 澤 智 恵	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の生活経験をふまえて考察し、受講者同士の相互学習の中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容としては、ジェンダーの観点からマス・メディアの問題について概説し、メディア・リテラシーに関するワークショップを行う。また、セクシュアリティをめぐる問題について取り上げる。後半では、前期の講義をふまえ、各自の問題意識をほりさげたレポート発表にもとづいて討議する。

履修上の留意点

履修上、前期「ジェンダーと教育Ⅰ」とあわせて受講されたい。

成績評価の方法

成績評価は、出席、授業中のディスカッションへの参加状況、およびレポート発表の内容にもとづいて行うので、受講者の授業への積極的な参加を求める。

そ の 他

この科目は、平成11年度以前の入学者には、総合演習(14)の単位としては認められません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業教育Ⅰ (前期)	しお かわ まさ と 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本授業のねらいは「就職に役立つ授業」この一点にある。二十一世紀の大学志願者は「就職率の高い大学」を最優先で選ぶ時代となる。本授業はそうした学生達のニーズに真正面から応える授業としたい。

講師の本業は経営コンサルタント。ゆえに日々ビジネスを共にしている企業の人事・採用責任者の立場から、カリキュラムを編成する。

本授業を選ぶ諸君は、まず学生意識の甘えを捨てなければならない。「社会人」としての意識と行動なくして「就職」への準備は成り立たない。

学生諸君の未来を決める「人生最大の決断」が就職への準備である。しかもその門に入ることは極めて厳しい。君の未来を、この授業の中で見出す覚悟をもって、授業に参画してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①学生と企業人の違い。
- ②企業は学生に何を期待しているか。
- ③就職への準備。
- ④企業選択の基準。
- ⑤面接試験の本質と取組み方。
- ⑥論文試験の本質と取組み方。
- ⑦いかにして自己を鍛えるか。

授業の半分は、学生との質疑応答の時間としたい。質疑応答の中で、企業という「生きもの」の厳しさと素晴らしさを伝えたい。

履修上の留意点

- ①講師が企業で実践している資料の配布が多い。資料を保存するためのバインダーを準備すること。
- ②授業の度に発言や返答、意見発表、討論などがあることを想定していること。
- ③教員や公務員を志望する諸君にとっても「就職」の基本は同じ。役立つことと確信する。

成績評価の方法

平常授業とレポートによって評価

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 教 育 II ( 後 期 )	しお かわ まさ と 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

前期と全く同じである。授業の目的は「就職試験に勝つ」。そのための自己革命を学生諸君は本授業で実践する。  
授業内容は、前期の内容を更に詳しく掘り下げていく。前期以上に、面接や自己アピールのための演習を多くしたい。

成績評価の方法

前期同様に平常授業とレポートによって行う。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 体 育 I ( 前 期 )	ふる た じゅん こ 古 田 潤 子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現在、社会の複雑なうねりは日々変化の度とスピードを上げて、私たちの日常生活に深刻な影響を及ぼしつつあります。本当が見えにくく現実の諸問題に対応しきれない不安さに様々なストレスも生まれています。しかしこのような不安定な状態に置かれた時こそ今までとは別の新しい安定が生まれる可能性があると思います。この授業では、私たちのからだは自然が生み出した自然の一部であり、自然と調和して生きる生命だという原点に戻って、それぞれの人に本来備わっている能力を回復すること、そこから自然や自分自身、そして他者とのように関わっていくのかなどを模索しながら、社会生活の中で安定し共生していける創造的なからだを育てることに取り組みます。

講義の内容・  
授業スケジュール

野口三千三の野口体操理論に基づいています。野口三千三は、従来のからだの価値基準を解剖、分析、計測による数値化可能なものによって作り出された、外側にあるものを体にはめるといふのではなく、人間のからだを生きている丸ごと全体として捕らえ、自分自身のからだの動きを手がかりにして人間とは何かを探検するいとなみ、というからだの内側に価値基準を置いています。従ってこの授業では、私がこの理論に基づいて長年体験し研究してきたものを、皆さんに体験してもらいます。それを手がかりに各人が自分の本来のからだの自然に気づき、自分の価値観で現実に対処できるからだを育てていきます。

〈基本となる要素〉

自然の原理に沿った動きで、ゆったりと自分のからだに向き合いからだの声を聴く。

その時々のかたがを支える必要最小限の緊張を残してリラックス。

その時々姿勢におけるからだの最下部に全体重を任せ切る。

自然な呼吸。

履修上の留意点

からだの内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要です。

成績評価の方法

平常授業（レポートも含む）

参 考 書 等

野口三千三著『原初生命体としての人間』（三笠書房）

野口三千三著『野口体操からだに貞く』（柏樹社）

野口三千三著『野口体操重さに貞く』（柏樹社）

池田潤子執筆 雑誌「からだのレッスン」「ひと」（太郎次郎社）

古田潤子「自然なからだのあり方を考える【門筒エリア】の発見と意義」

『駒沢大学教育学研究論集』第13号1997年

そ の 他

授業は実技を主に行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅱ (後期)	ふるたじゅんこ 古田潤子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

他者とひびき合う豊かな関係を拓いていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

環境の変化に応じて、的確に落ち着いて対処できる心とからだを、自らの力でとらえ育て自信を身に付けます。屋内、屋外のいろいろな場所での体験実習も考えています。

また、海外でのワークショップにおける豊富な経験をもとに様々な遊び道具の製作や、それを使った楽しい遊びも加味します。同時に日本人と外国人の考え方、感じ方、環境の変化に対する即応の仕方の違いなどについても一緒に研究をしていきます。

科目名	配当学科	単 位
教育の思想	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.527～530) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育と社会	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.531～533) 参照

科目名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.533～536) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育とメディア	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.540～542) 参照



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	つばい 坪井 健	社教主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、個人の社会的行動、対人関係、集団行動と個人、集団心理現象など、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、実験、テスト、観察、調査など社会学と心理学の研究方法が用いられており、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この講義では、境界科学としての特徴を生かし、具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて授業を展開したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会的自己のはなし - 自己過程の社会心理 -
3. 他者との関わり - 友人関係と対人魅力 -
4. 対人関係の心理 - 援助行動と社会的影響 -
5. 集団の中の個人 - 同調行動と意思決定 -
6. 文化現象と個人 - 異文化と日本人 -
7. 現代社会と個人 - 現代人の社会心理 -
8. その他 (社会的認知、社会的欲求、態度変容、リーダーシップなど)

履修上の留意点

1. 授業中に、小実験や心理テスト、エキササイズなど行うことがあるので積極的に参加すること。
2. 授業内容は、通年テーマの概略である。授業の流れとの関係で内容や順序は変更することもある。
3. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席 + 毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書・参考書等

各テーマの授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視聴覚教育	いもり あき ひこ 飯森 彬彦	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.641) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育社会学	くま がい かず のり 熊谷 一 乘	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.581) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 史	やまもととしこ 山 本 敏 子	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.582) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 調 査	すずきのりお 鈴 木 規 夫	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.583) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
青 少 年 文 化	か がわ よし しげ 香 川 良 成	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための劇活動）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（発表、レポート）と試験で成績評価を決めたい。

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学』1総論（大月書店）

そ の 他

現在行われている演劇教育（“劇あそび”その他）の様態や舞台をビデオで観たり、実際観劇するということも行いたい。またテーマを決めて討論することも考えています。  
この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得したものは、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅰ (前 期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

現代社会の諸問題のなかでも、子どもの発達の基盤として重要な意味をもつ家族について、今日の諸問題を取り上げ、教育の観点から、その実態、背景、原因を解明し、有効な問題解決の方策をさぐることをねらいとしている。社会的に憂慮されている社会性の発達の遅れなど子どもの発達をめぐる問題、不登校・いじめ・校内暴力など学校における問題、その他の非行問題の背景には、近年、大きく変容しつつある現代家族の在り方をめぐる問題がある。この点を十分に理解し、どのように対応すればよいかを考えるとところに講義のポイントがある。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、下記の三つのセクションに分けて行われる。

第1セクション「家族集団と子どもの発達」－4月。

教育の場としての家族の意義。人間形成を方向づける家族の集団力学と文化。教育をめぐる定住家族と生殖家族。

第2セクション「産業の発展にともなう家族の変容と教育機能の衰退」－5月。

産業構造の変化と家族規模の縮小、核家族の一般化。役割構造の変化と学習－教育プロセスの変化。共同体としての家族の“崩れ”と教育機能の低下。

第3セクション「現代の家族をめぐる問題の諸相と人間形成」－6、7月。

出生率の低下－少子化と教育問題。親子関係の変容。メディアの家庭支配と連帯の弛緩。共働きの一般化と保育問題。高齢化における家族の福祉機能と教育機能－その可能性と限界。家族間の格差。

#### 履修上の留意点

家族問題への関心。

#### 成績評価の方法

出席状況と試験の成績。

#### 授業の方法

講義に討論場面を加える。

#### 教科書

プリント配布。

#### 参考書等

授業中に紹介。

#### その他

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後期)	くまがいのり 熊谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現代の社会は、急激な変化にともなって解決の難しい多くの問題を発生させている。これらの問題は、教育の在り方に直接的、間接的に重大な影響をおよぼしている。わが国の場合、社会的変化は、とりわけ、1960年代の経済成長政策以降、テンポを早め、激しさを増している。講義では、わが国の高度経済成長以降の社会的変化の過程で生じた重要な問題と教育との関係を明らかにして将来を展望し、問題解決の方途を探ることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次ぎの三つのセクションに分けて行われる。

第1セクション「高度経済成長にともなう社会の諸問題と教育」-9月。

経済成長のための教育と能力主義。都市化・過疎・過密の問題と教育。環境問題と教育。非行、心の問題と教育における能力主義の限界。社教審答申の問題提起。第三の教育改革。ナショナリズムの高揚と教科書裁判。高度成長にともなう“光”と“陰”のなかの教育。

第2セクション「情報化にともなう問題と生涯学習」-10・11月。

コンピューターの普及・メディアの発達にともなう脱工業化-情報の大量流通・第三次産業の発展にともなう学習需要の増大、学習機会の普遍化。生涯教育論から生涯学習論へ。学習権の主張。生涯学習体系をめざす。

第3セクション「自由化をめぐる問題と教育」-11・12・1月。

自由化と個性重視の教育政策。変化の激しさと生きる力。“ゆとり教育”の問題。再びナショナリズムと教育基本法改正問題。

履修上の留意点

現代の社会への問題意識。

成績評価の方法

出席状況と試験の成績。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年問題研究	さぬままざこ 讃岐 真佐子	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.585) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年指導演習	ひらの まなぶ 平野学	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が「青少年指導」について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていきたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりである。

##### 《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の見点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

##### 《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例(不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング)の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題、ストーカーやドメスティックバイオレンスの問題とそのカウンセリング(4回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボランティア活動他)の報告と討議。同時にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(3回)
7. その他(全体の振り返り他)。(2回)

#### 履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。

出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらい、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたく、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)

尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話しするが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

#### 成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

#### 教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上・下)』(創元社)各1,300円

#### 参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上・下)』(創元社)各1,300円

同『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)1,240円

同『ユング心理学と仏教』(岩波書店)1,800円

佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』(東大出版会)2,800円

乾吉佑、平野学編『臨床心理士になるには』(ぺりかん社)1,230円

他にも授業の中で随時紹介していきたい。

#### その他

VIRも多く使用して、具体的に学べるようにしたい。

授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	おお たい きょ みこ 太田喜美子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.642) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	きし がみ こう いちろう 岸上興一郎	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.642) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 （後期）	みなもと しょう きゅう 源昌久	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.619) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 （後期）	しの た よう こ 篠田耀子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.619) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 （後期）	やま た せつ こ 山田節子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.617) 参照



# IV 博 物 館 学 講 座





## (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視 聴 覚 教 育	<small>い い</small> <small>も り</small> <small>あ ま</small> <small>ひ こ</small> 飯 森 彬 彦	学芸員2・3必	4

### 講義のねらい

視聴覚教育の背景にある基本的な考えを理解したうえで、個々の視聴覚教材の特性と基礎的な技法（教材の制作の仕方、利用の仕方）を習得する。  
併せて、変動する今日の社会におけるメディア事情を把握し、メディアを活用する態度や能力を養う。

### 講義の内容・授業スケジュール

ア. 視聴覚教育の歴史とその思想的背景  
イ. 情報の授受に関する基礎的な理論  
ウ. 各視聴覚教材の特性と制作法、利用法  
エ. 教育に関連したメディア状況の展望と諸問題  
以上のような内容を、実践に関連したウに重点をおいて行う。

### 履修上の留意点

実践に重点をおくという考えから、夏休み、冬休みなどを中心に2・3度、課題を出し、作品の提出を求める。作品制作のために若干の経費の負担がある。

### 成績評価の方法

課題で提出された作品の評価で50%、期末のテストで50%。  
出席の不足は、作品評価やテストの採点に必ず反映されるので、特に出席状況を評価の基準にはしない。

### 教 科 書

使用しない。

### 参 考 書 等

講義の参考に使用しているのは以下の書物である。  
浅野孝夫・堀江尚功編著『新視聴覚教育』（日本放送教育協会）  
秋山隆志郎・岩崎三郎編著『視聴覚教育』（樹村房）  
野津良夫編『視聴覚教育の新しい展開』（東信堂）  
赤堀正宣・佐賀啓・中野照海編著『メディアと教育』（小林書房）

### そ の 他

ビデオ、写真などをできるだけ多用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考 古 発 掘 実 習	<small>い い</small> <small>な げ</small> <small>つ く</small> <small>さ か</small> <small>い</small> <small>き よ</small> <small>し</small> 飯 島 武 次 ・ 酒 井 清 治	学芸員3・4必	2

### 講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

### 履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後に計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

### 成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点および発掘実習と発掘日誌。

### 教 科 書

『考古学調査ハンドブックス1（野外編）』（雄山閣）1984年 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	お 太 田 き 喜 美 子 太 田 喜 美 子	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館学講座（学芸員課程）の必修科目である。博物館法施行規則によると、「博物館学」6単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、6単位を充たすためには、あとふたつの「博物館学Ⅱ・Ⅲ（岸上講師）、各2単位」も履修していただかないと次年度へ進めないので注意を要する。

この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ・Ⅲ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、岸上興一郎講師に講義していただいている。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に来て、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないことをお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事の選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しない。注意しておきたい。

成績評価の方法

試験による評価（詳細は、第1回目に説明する。）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	まし 岸 がみ こう いち ろう 岸 上 興 一 郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。

講義の内容・  
授業スケジュール

博物館法および関連法でいう博物館資料について述べる。資料は多様な環境の中におかれている。それらの資料がいかなる過程を経て博物館に寄贈・寄託・借用・購入され、研究・収蔵そして展示されていくのかを事例をもとに展開する。

履修上の留意点

資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。

成績評価の方法

レポート提出。

教科書

財日本博物館協会編『博物館関係法令集』  
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参考書等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』  
財日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

その他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅲ(経営論・情報論) (後期)	まし かがみ こう いち ろう 岸 上 興 一郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。

講義の内容・授業スケジュール

各博物館は、その創設時の状況によって、公立・市立・財団など種々の組織形態をとっているが、形式知化は、すべての博物館に共通する経営理論である。ここでは、それによって積算された予算、その執行と展開などの事例にふれる。さらには近年論議されている博物館の公設民営化、独立行政法人化についてふれる。

履修上の留意点

予算の仕組みおよび博物館資料のもつ情報と、そのあつかいを理解すること。

成績評価の方法

レポート提出。

教科書

(財)日本博物館協会編『博物館関係法令集』  
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参考書等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』  
(財)日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

その他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅰ (館務)	おおた きみこ いいしほ たけつぐ 太田喜美子・飯島 武次 さかい 清治 酒井 清治	学芸員 3・4 必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、来年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生といっしょに行うため、他流試合的な趣きももっているため、日頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしゃるため、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行う館が80%を占めるが、別の時期に行う館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の締括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」・「博物館実習Ⅲ(見学)」に先だて、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ(館務)」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」あるいは「博物館実習Ⅲ(見学)」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

成績評価の方法

授業態度・実習評価・発表能力による評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅱ (収集)	太田喜美子・國見徹 久保田昌希・小林和幸 酒井清治・佐々木真 瀧音能之・廣瀬良弘	学芸員3・4必	2

#### 講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ(収集)」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けている、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ(収集)」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきついようである。この実習は、必ず合宿して実施しているの、共同生活を知ろうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を目指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思ってしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなのかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ(館務)」・「Ⅱ(収集)」・「Ⅲ(見学)」の3つが必修であるが、「Ⅱ(収集)」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ(収集)」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
2. 同上町での石仏収集調査実習。
3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

#### 履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅲ (見学)	太田喜美子・酒井清治 松本信道	学芸員2・3必	2

#### 講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ(館務)」と「Ⅱ(収集)」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あふれてしまう人がでないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA~Dの4組ぐらいに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

#### 成績評価の方法

レポート点による評価。

科目名	配当学科	単 位
教育の思想	学芸員2必	2

(P.527～530) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育と社会	学芸員2必	2

(P.531～533) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	とよ た ちよ こ 豊田千代子	学芸員2・3必	2

(P.624) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ た ちよ こ 豊田千代子	学芸員2・3必	2

(P.625) 参照

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	<small>なが</small> 永 <small>い</small> 井 <small>まさ</small> 政 <small>し</small> 之	学芸員2・3・4選	4

### 講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

### 成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

### 教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	<small>はかま</small> 袴 <small>や</small> 谷 <small>のり</small> 憲 <small>あき</small> 昭	学芸員2・3・4選	4

### 講義のねらい

「成仏と捨身と聖（ひじり）」という課題のもとに講義を行いたい。「捨身」は、飛鳥時代の玉虫廚子に描かれた絵を見ても分かるように、我が国古来よりの重要なテーマである。これに穢れなどの観念も加わって、穢れた身を清める行、およびそれを行う行者としての「聖」の概念も我が国の文化の中には大いに定着した。かかる文化の展開の背景には、大乘仏教と共に展開した「成仏」思想というものが大きく影響している。このような文化史の問題を、上記の課題のもとに、高崎直道博士の下記の著書を教科書として用いながら、講義を進めていきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

教科書を中心に、そのテーマの展開に応じて、下記の参考書などを資料として取り上げながら、課題追求を行っていく。

### 履修上の留意点

講義において指示する資料や文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

### 成績評価の方法

学年末の定期試験による。

### 教科書

高崎直道『死は成仏か』（佼成出版社）1,400円

### 参考書等

『大乘本生心地観経』（大正蔵、3巻、291-331頁）  
本居宣長『大祓詞後釈』（本居宣長全集、第7巻、筑摩書房、75-183頁）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅美術	前期：村松哲文 後期：海老根聰郎	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

今年度は前期、後期で別の教官が担当する。  
前期（村松）は、宋・元時代の中国禅宗美術について、後期（海老根）は、鎌倉時代以後の日本の禅宗美術、とくに絵画について講義する。講義はほぼ毎回、スライドを影写して進める。

成績評価の方法

成績評価の方法は、各教官担当の前期末、後期末に、それぞれ筆記試験を行ない、両者の総合によって判定する。

禅美術全体については、適当な概説書などの教科書的なものは見当たらないのが現状であるから、試験は講義中に述べたことから出題する。その為、出席を良くすることを要望する。とくに最初の数回は、講義全体の見直しなど基本的なことを述べるから、出席を希望する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	まつ だ せい いち ろう 松 田 誠 一 郎	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

平安時代前期〔784～951〕から平安時代後期〔951～1185〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連資料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史の変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題にも論及する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 第1回 ガイダンス  
第2～3回 1. 神護寺の薬師如来像  
第4回 2. 新薬師寺の薬師如来像  
第5～6回 3. 神護寺・観心寺の密教彫塑  
第7～8回 4. 広隆寺金堂・講堂の仏像  
第9～10回 5. 東寺講堂の密教彫塑  
第11～12回 6. 法華寺の十一面観音像  
第13～15回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第1回 7. 仁和寺の阿弥陀三尊像  
第2回 8. 清涼寺の阿弥陀三尊像  
第3～4回 9. 室生寺金堂の仏像  
第5回 10. 上醍醐寺の薬師三尊像  
第6回 11. 六波羅蜜寺の十一面観音像  
第7～8回 12. 同聚院の不動明王像  
第9～12回 13. 平等院鳳凰堂の仏像  
第13～15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

前期末と後期末に筆記試験を実施し、その単純平均によって厳密に評価する。

教科書

水野敬三著『奈良・京都の古寺めぐり－仏像の見かた－』、1985年（岩波書店）

その他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 民 俗 学	須 藤 寛 人 す とう ひろ と	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われます。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民俗の意味と歴史とを考察することによって、仏教と新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- a. 先祖崇拜 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、祖先祭祀という民俗的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。
- b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。
- c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりたい。
- 以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思っています。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートと学期末の定期試験を中心に、出欠状況とあわせて総合的に評価します。

教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本民俗学	谷口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	矢野 陽子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

フランス絵画史。西欧の中心に位置するフランスは、交通の要衝であり、商業活動の経由地であり、巡礼の道も通っていた。国際的に開かれているという状況から、フランスは周囲の国々からさまざまな要素を受け入れながら固有の文化を生み出していった。この授業では、17世紀から19世紀にいたるフランス絵画の歴史をたどり、その特色を考える。

講義の内容・授業スケジュール

絶対王政が確立する17世紀から始め、18世紀末フランス革命を経て、新しい芸術運動が次々に起こった19世紀まで、時代を追って主要な流れを見ていく。前期は17・18世紀を、後期はフランス革命以後を扱う予定である。

成績評価の方法

前期のレポート提出と後期の筆記試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

高階秀爾著『フランス絵画史』（講談社学術文庫）

その他

授業ではスライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術、すなわち20世紀の美術においてはかつてないほど大胆で革新的な活動が展開されてきた。この授業では、現代美術の多様な動向について、主要な芸術家と作品を紹介しながら、それらのもつ意味や周囲に与えた影響などを考察していく。美術は同時代の社会と共に存在するものであり、したがって美術は戦争、機械文明の著しい発展、マスメディアの発達、大量消費型の生活といった現代社会と深く関わっている。現代美術を知ることは、今日の社会を考えるのに大きな示唆を考えてくれるのである。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、20世紀美術のバックグラウンドである19世紀後半の美術から始めていく。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィズムとキュビズムを中心に、後期はシュルレアリスムやポップアートなどを取り上げる。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集、テレビなどを通して、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を総合して評価する予定。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	小 池 一 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
 地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、  
 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）  
 海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）  
 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

小池一之・坂上寛一ほか著 新版地学教育講座⑨『地表環境の地学－地形と土壌』（東海大学出版会）2,575円

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円  
 小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

そ の 他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
第四紀学	すずき たけひこ 鈴 木 毅 彦	学芸員3・4選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、人類、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末と後期末の筆記試験

教科書

特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

その他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説 I (日本)	さか い きよ し 酒 井 清 治	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。

講義の内容・授業スケジュール

考古学の研究史、方法論、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

定期試験で採点。

参考書等

鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会）  
安森政雄『考古学キーワード』（有斐閣）  
江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）

その他

OHP 等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学概説Ⅱ (外国)	飯 島 武 次	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』(山川出版社)1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』(山川出版社)1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』(同成社)1998年
その他	スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本文化史Ⅰ	廣 瀬 良 弘	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。 ① 日本文化史概観 ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立 ③ 中世文化史研究の動向 ④ 中世文化の展開 ⑤ 室町文化(北山・東山文化) ⑥ 禅宗と文化 ⑦ 京都と大名領国の文化 ⑧ 下廻上の世と文化 ⑨ 桃山文化 ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化 ⑪ 近世文化史研究の動向 ⑫ 寛永文化 ⑬ 元禄文化と化政文化
履修上の留意点	日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。
成績評価の方法	定期試験の結果、出席状況など。
教科書	特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。
参考書等	授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史Ⅱ	佐々木 真 <sup>まこと</sup>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ヴェルサイユ宮殿についての歴史的解説を中心に、権力と宮廷の関係について検討を加える。ヴェルサイユについて語る場合、その大きさと豪華さが強調される傾向が強い。しかし、ヴェルサイユは、室内装飾や庭園の構成、宮廷での儀礼を通じて、非常に計算された形で国王イメージのプロパガンダを行ったという点で、従来の宮廷とは質的にも大きく変化していた。この講義では、王権の表象物としてヴェルサイユがどのように機能していたのかを、建造物とそこで繰り広げられた儀式を通じて検討し、絶対王政期の権力のあり方について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. ヴェルサイユ前史
2. ルイ14世と宮殿の建設
3. 室内装飾
4. 庭園
5. 宮廷儀礼
6. 国王権力と宮殿

履修上の留意点

授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献は必要に応じて講義中に紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅱ	田村 晃一 <sup>こういち</sup>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

朝鮮半島はその地理的位置のゆえに日本と深い関係をもっている。それにもかかわらず朝鮮半島の文化について、多くの日本人は無関心ないし無知であるように思われる。それは明治時代以来、日本政府のとってきた政策のせいでもあるが、同時にまたわれわれの取り組み方の問題でもあるようである。

ここでは、日本と朝鮮の関係を視野にいれつつ、主として先史時代から三国時代ころまでを対象に、朝鮮半島での考古学的事象について講義し、朝鮮半島の文化の実態を究明することとした。ただし、通史的ではなく、トピック的になるであろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	酒 井 清 治 <small>さか い きよ じ</small>	学 芸 員 2・3・4 選	4

講義のねらい	<p>考古学における古墳時代は、古墳の築造に特色をもつように古墳の変遷はその時代を知る重要な要素である。また、古墳からの出土遺物も古墳時代を知るためにも重要である。このような古墳の変遷、地域色、あるいは出土遺物から、列島における中央・地方の関係、あるいは各地の首長層の動静を知ることが可能である。</p> <p>この講義では、古墳時代を知るために、古墳あるいは出土遺物から古墳時代史を探ってみたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	古墳時代の論文を受講者とともに読み解く。
履修上の留意点	遅刻はしないように。
成績評価の方法	平常点とレポートによる。
教科書	白石太郎編『古代を考える 古墳』（吉川弘文館）
参考書等	授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 IV	矢 野 和 之 <sup>や の かず ゆき</sup>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学・歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造隊の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例・文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
西域美術史	まつ だいら みわ こ 松 平 美 和 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

西域、いわゆるシルクロードは装飾文様の宝庫である。欧米の美術の中では概して二次的な位置が与えられてきた装飾文様は、西域では美術の中心的な位置を占めてきた。本講義ではパミール高原東側の東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、この地域の古代美術品、特にその装飾文様の中に東西文化交流の様を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①シルクロードの主要な遺跡とその美術。  
イラン周辺の遺跡、クシャーン朝の遺跡、タクラマカン砂漠周辺のアアシス都市近郊の遺跡、さらに最近注目を集める旧ソ連領の各遺跡などを概説する。
- ②シルクロードの装飾文様とその東西交流。  
各遺跡の出土品にみられる装飾文様をとり上げ、その様式を分析し、地域や時代によりどのように変化しながら伝播していったかを考察する。装飾文様としては「バルメット文」、「聖樹文」、「葡萄唐草文」などの植物文、「花喰鳥文」、「動物闘争文」などの動物文、さらに「飛天文」、「グリロス」、「アラベスク」などをとり上げていく。

成績評価の方法

夏季休暇後と学年末の二回のレポートで評価する。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

その他

具体的な作品を対象とするので、毎時間スライドを使用し、必要に応じてビデオも用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	さ とう けん しょう 佐 藤 憲 昭	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化を比較研究する学問が宗教人類学である。そしてその常為を通して「人間とは何か」という問題にひとつの解答を与えようとするものである。本年度は、人類に根元的・普遍的な宗教文化のひとつに数えられている憑霊文化を取り上げる。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは神霊・精霊が憑いていることを本来は意味しているが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象は憑霊現象と呼ばれるが、その内容はすこぶる多岐にわたっている。本講では宗教人類学の学問的特色について概観した後に、日本及びアジアの諸地域で見られる憑霊文化を取り上げて、社会組織との関係を含むさまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して人間理解の可能性を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、2. 宗教人類学と宗教民俗学、3. フィールドワーク、4. 民俗宗教の特質、5. アニマ（霊）とマナ（力）、6. 憑きもの研究・憑霊研究・シャーマニズム研究、7. 憑霊現象と社会組織、8. 民俗仏教に見られる憑霊現象、9. 憑霊文化と王権、10. 憑霊文化から見た人間理解の可能性。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

講義内容を踏まえたレポート試験の予定。

教科書

佐々木宏幹『聖と呪力の人類学』（講談社学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

V 社会福祉主事 講座  
社会福祉士基礎



## (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	伊藤 秀一	社福主事2必	4

### 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

### 成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

### 教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

### 参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	小 船 水 浩 行 みず ひろ ぎ	社 福 主 事 2 必	4

#### 講義のねらい

「社会福祉」という言葉は、現代社会ではとてもポピュラーな言葉となっている。新聞、テレビ等においても、しばしば目にし、また耳にする。選挙があれば、国政・地方、首長・議員いずれのレベルでも多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかしながら、そのイメージだけが先行し、改めて「社会福祉とは何なのであろうか」とか、「社会福祉の援助や活動とはどのようなものなのであろうか」とか、「社会福祉の基盤となっている考え方はどのようなものなのであろうか」とか、「現代社会において何が求められているのであろうか」といったことを問われた時、多くの人々はなかなか上手く答えることができないのが現実と思われる。

一方、わが国の社会福祉は、現在、「社会保障構造改革」「社会福祉基礎構造改革」「介護保険の創設」等のキーワードに代表されるように、大きな転換期を迎えている。

本講の主題は、上記にあげたような社会福祉を学んでいくにあたってのベースとなる諸点を学習し、わが国における社会福祉のあり方を考察していくことにある。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の諸点を柱として授業を展開する。

- 現代社会における私たちの生活と社会福祉
  - ・社会福祉をどうとらえるか、私たちの生活と社会福祉の課題など
- 社会福祉のしくみ
  - ・社会福祉の制度体系、財政など
- 社会福祉とその理論の史的展開過程
  - ・欧米における社会福祉の展開、わが国における社会福祉の展開など
- 社会福祉の分野
  - ・生活保護、高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉など
- 社会福祉の実践方法
  - ・社会福祉実践の専門性、基本原則など

#### 成績評価の方法

各学期末の試験、課題レポート、出席状況、等の総合評価により実施します。詳細は、授業時に提示します。

#### 教 科 書

浅井春夫、佐野英司編著『現代の社会福祉入門』（保育出版社）  
※テキストを中心に授業を展開しますので、必ず購入してください。

#### 参 考 書 等

随時、紹介します。

## (2) 選択科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社福主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### [目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法および行政法の基礎を理解させる。

#### [内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理
  - 2) 基本的人権
  - 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則
  - 2) 物権
  - 3) 契約
  - 4) 不法行為
  - 5) 親族
  - 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為
  - 2) 行政不服審査
  - 3) 行政訴訟
  - 4) 行政手続き
  - 5) 地方行政組織

### 成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

### 教 科 書

小林弘人『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

### 参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	はやし ちよ 代 林	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらい、それによって行なう。

教科書・参考書等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
リハビリテーション論	なる かわ よし 雄 生 川 善 雄	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

リハビリテーションとは、障害のある人が人間らしく生きる権利の回復、すなわち「全人的復権」である、といえよう。

本講義においては、リハビリテーションの理念について学び、医学・教育・職業・社会の4領域のリハビリテーションについての概略を知る。そして、社会リハビリテーションの基本問題を学習する。これらの学習を進める中で、障害のある人が人間らしく生きる権利をどのように回復してゆくべきかについて考えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、リハビリテーションの理念に触れる。次いで、障害の意味、障害の受容について取り上げる。さらに、医学、教育、職業、社会の4領域のリハビリテーションについての概説を行ない、それら4領域の関連性についても言及する。これら4領域のリハビリテーションのうちでも、社会リハビリテーションは、障害者福祉との関連も深いといえるので、本講義においても主としてこれに多くの時間をあてる予定である。

社会リハビリテーションは、医学リハビリテーションや職業リハビリテーションに比べて、その考え方や技術の枠組みはいまひとつ確立されていないといえよう。そこで、社会リハビリテーションについては、諸々の社会リハビリテーションに関する研究を取り上げながら、検討していきたい。すなわち、障害者の社会活動への参加、障害者のQOLとADL、障害者をめぐる環境、障害者と家族、障害者の自立ならびに自立援助、地域に根ざしたリハビリテーション、施設リハビリテーション、社会リハビリテーションの種々の方法などをとりあげながら、社会リハビリテーションの基本問題を論じていきたい。

履修上の留意点

履修者は、リハビリテーションの意味、すなわち「人間らしく生きる権利の回復」という語句の意味を考えながら、学習を深めてほしい。

成績評価の方法

授業中の小課題に対する回答と、レポートにより評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・小島蓉子・奥野英子編著『新・社会リハビリテーション』（誠信書房）1994
- ・上田 敏『リハビリテーションを考える』（青木書店）1983
- ・新社会福祉学習双書編集委員会編『リハビリテーション論』（全国社会福祉協議会）2000

その他

講義形式で進める。何回かビデオを使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	ふな 船 水 みず ひろ 浩 行	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障がどのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ※ 以下の諸点を主要な内容とする。
- 1 現代社会と社会保障
  - 2 社会保障制度の体系
  - 3 年金保険
  - 4 医療保険
  - 5 介護保険
  - 6 労働保険（労災保険、雇用保険）
  - 7 民間保険
  - 8 社会保障の運営管理
  - 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

#### 成績評価の方法

学年末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

#### 教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

#### 参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 廷 宗 之 <small>か かわ てい もと のぶ</small>	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

- ①. この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- ②. 社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- ③. 社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- ④. 問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- ⑤. 『社会福祉計画』は、市民個人の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個人の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ①. 前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②. 後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

#### 履修上の留意点

- ①. この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- ②. 講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的な主体的な参加を期待します。
- ③. 学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

#### 成績評価の方法

- ①. 前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う
- ②. 前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる『日本の福祉問題』を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- ③. 後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- ④. 前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

#### 教 科 書

- ①. 定藤文弘・坂田周一・小林良二 編集『社会福祉計画』（有斐閣）定価2200円

#### 参 考 書 等

- ①高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ②R. パールマン A. グリン 著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 社 会 福 祉 論	やまもと まみ 山 本 真 実	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定義はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。また、社会福祉を実践サービスとして捉えるよりも、それを支える理念や目的などの概念・考え方を中心にしながら学習していく。「福祉」の意味を諸外国の実態や関係を通して学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるか、国際機関の役割機能の理解、またそれら問題に対する国ごとの扱いの違いを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。また、その具体的な事例として、福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を学習し、それらとの比較を通して日本の社会福祉制度を振り返り、見直す。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験の総合評価により評価する。  
適宜意見・感想を記入するカードを配布。積極的な討議、意見発表を高く評価する

教 科 書

特になし

参 考 書 等

適宜授業中に紹介

そ の 他

ビデオ使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 福 祉 論	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害／知的障害／精神障害／難病／結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参 考 書 等

追って紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 的 扶 助 論	い とう しゅう いち 伊 藤 秀 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。  
講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権運動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、小テスト、学年末定期試験を総合して評価する。

教 科 書

なお、テキスト等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	きり 桐 はら 原 ひろ 宏 ゆき 行	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点にたって把握していくが必要になる。

本講では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 障害者福祉の理念
2. 障害の概念と実態
3. 障害者福祉の施策
4. 障害者福祉と社会資源
5. 障害者に対する援助活動

前期に1.～3.、後期に4.～5.について扱う。

成績評価の方法

筆記試験及びレポート、授業への出席の状況などの総合評価による。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『障害者福祉論』（中央法規）

参 考 書 等

講義中随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とう しょう みつ まさ 東 條 光 雅	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年宮にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期 ⇒
- ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないのもので、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

東條光雅・冷水豊編『老人福祉論』（第2版）（メヂカルフレンド社）2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	やまもと まみ 山 本 真 実	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

子ども・子育てをめぐる社会環境をふまえ、児童福祉の理念、制度（基本枠組み）について基礎的な学習を行う。ビデオ教材等視聴覚教材も使用し、具体性をもたせつつ児童福祉サービスの現状を理解することをねらいとする。

はじめに子ども・子育てをめぐる社会環境について整理する。また、子どもや子育て、家庭をめぐる社会的な位置づけについて学習する。児童福祉が対象としてきた範囲、理念について整理する。そして、基本的な児童福祉政策・制度の枠組みについて理解し、その枠組みの中で、どのような問題があるのか、児童福祉制度改革等、今後の展望について考察を深める。

後半では、保育、養護、健全育成、相談体制など各論についての講義を行い、児童福祉の全体系を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の内容についてテキストに従い講義を行う。

- I. 児童と社会
  1. 児童と家庭・社会
  2. 児童福祉ニーズ
- II. 児童福祉の理念
  3. 児童福祉の理念と児童の権利
- III. 児童福祉の制度
  4. 児童福祉の法体系
  5. 児童福祉実施体制
  6. 児童福祉施策体系
  7. 子育て環境
  8. 児童福祉改革の動向
- IV. 各論
  1. 保育
  2. 社会的養護
  3. 権利擁護
  4. 健全育成
  5. 相談

履修上の留意点

社会福祉士資格の取得希望者だけでなく、履修者全員に対して児童福祉についての理解を深める意識を持つことを期待している。

成績評価の方法

学年末の試験のみによる評価。出席状況を加味することもある。

教 科 書

柏女霊峰『現代児童福祉論（第4版）』（誠信書房）2000

参 考 書 等

柏女霊峰・山縣文治編著『新しい子ども家庭福祉』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 福 祉 論	はやし 林 千代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に、社会的・経済的・精神的なしわ寄せを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が直面する生活の困難や矛盾に対して、社会福祉がかかわる部分はきわめて大きい。

女性を社会福祉の対象者（利用者）としてとり組んできたのは、婦人保護事業（売春防止法）である。それを基底に据えて、社会福祉の分野における女性問題の把握、その発生と解決について考え、女性のそして当然男性の人権の確立をめざす内容としたい。

成績評価の方法

成績評価は、後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教 科 書

教科書は特に無いが、資料等は必要に応じて配布する。ビデオなども使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はるみ 春 見 静 子	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における医療福祉職の実践について理解する。  
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どこで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は理論を中心とした講義、後期は実践現場での事例を通して援助技術を学ぶ

前期  
社会福祉とソーシャルワーク  
医療ソーシャルワークの歴史 英国、アメリカ、日本  
専門職としての医療ソーシャルワーカー 倫理綱領と業務基準  
医療について：健康と病気の概念 キュアとケア  
医療機関について  
疾病分類と医学知識 リエゾン精神医学 心身症  
援助手段としての社会資源  
援助関係 面接の技術 援助過程

後期  
外来段階のソーシャルワーク  
入院段階のソーシャルワーク  
精神保健の領域  
医療ソーシャルワークの実際 機関別と対象別の実践

履修上の留意点

医療福祉に興味ある人とくに将来、その領域で働きたいと考えている人を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と期末試験で評価します。

教 科 書

山川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）2,500円

そ の 他

医療機関の見学と、現場の医療ソーシャルワーカーの特別講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域福祉論	とよ だ おね ひろ 豊 田 宗 裕	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

- 地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。  
 本講義ではこれらについて、われわれがすすんでいる地域そのもの持つ特色を明らかにし、そこに生活する人々の福祉問題を把握し、解決の方法を探る手段や考え方について学ぶ。
- (1) 総論としての地域福祉の枠組みの理解(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)
    - ①地域福祉論の概念
    - ②地域福祉の歴史的展開
    - ③コミュニティの捉え方・考え方
    - ④現在の地域福祉施策の特徴
  - (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法の理解(地域福祉施策の内容と提供方法)
    - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法
    - ②サービス提供組織やその仕組み
    - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
  - (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
    - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望
    - ②計画づくりと福祉制度
    - ③これからの方向性

講義の内容・  
授業スケジュール

回数	授業のテーマ	授業の内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ/1	地域社会の変遷とコミュニティの変化
3	地域福祉とコミュニティ/2	コミュニティの形成とその考え方
4	地域福祉とコミュニティ/3	住民の社会参加の状況とコミュニティ
5	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
6	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
7	地域福祉のサービス体系/1	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念
8	地域福祉のサービス体系/2	在宅福祉サービスの体系とその内容
9	地域福祉のサービス体系/3	組織化活動の考え方とその内容
10	地域福祉のサービス体系/4	環境改善と社会資本整備
11	地域福祉の推進方法/1	地域援助技術(コミュニティワーク)の必要性
12	地域福祉の推進方法/2	ニーズの把握とコミュニティワーク
13	地域福祉の推進方法/3	海外のコミュニティワークについて
14	地域福祉の推進方法/4	社会福祉計画の策定と地域福祉計画
15	地域福祉の推進方法/5	地域福祉計画の内容とその種類
16	地域福祉の推進方法/6	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源/1	公的財源と共同募金の概略
18	地域福祉の財源/2	社会福祉基金等の概要
19	地域福祉の財源/3	民間財源の内容とその活用
20	地域福祉の財源/4	海外における地域福祉財源
21	地域福祉の推進組織/1	社会福祉協議会について
22	地域福祉の推進組織/2	行政、施設等の諸機関の動き
23	地域福祉の推進組織/3	非営利団体の活動とNPO法
24	地域福祉のマンパワー/1	現代のコミュニティワーカー(社会福祉協議会職員中心に)
25	地域福祉のマンパワー/2	ボランティア活動とその動き
26	地域福祉のマンパワー/3	地域における地域福祉のマンパワー(民生委員を中心に)
27	地域福祉の現状/1	コミュニティワークの現状
28	地域福祉の現状/2	介護保険と地域福祉(相談援助活動を中心に)
29	これからの地域福祉	現代の地域福祉を取り巻く状況と今後への課題
30	まとめ	これまでのまとめと国家試験に向けて

成績評価の方法

試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。



教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

その他

講義形式で行う

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（福祉）	はしづめ さとし 橋爪 敏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士・社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

[目標]

- 1 現代社会の特質について理解させる。
- 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。
- 3 現代社会における社会問題について理解させる。

[内容]

- 1 経済社会の変化と国民の生活及び意識の変化
- 2 現代社会と科学技術
  - 1) 科学技術の展開
  - 2) 現代社会と科学技術
  - 3) 情報化社会と国民生活
- 3 現代社会と専門職
- 4 現代社会における家族
  - 1) 構造及び形態
  - 2) 機能
  - 3) 変化
  - 4) 家族と地域社会
- 5 現代社会における地域社会
  - 1) 都市化と地域社会
  - 2) 過疎化と地域社会
  - 3) 地域社会の社会集団・組織
- 6 現代社会における社会問題

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 ( 福 祉 )	たか 高 橋 よし 良 ひろ 博	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。
- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
  - 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
  - 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
  - 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

[x 毛]